

# HP Designjet Z3200ps Photo プリンタ プリンタの使い方



## 法律に関する注記

© 2008 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

ここに記載した内容は、予告なしに変更することがあります。

HP 製品およびサービスの保証は、該当する製品およびサービスに付属する明示された保証書の記載内容に限られるものとします。本書中のいかなる記載も、付加的な保証を構成するものとして解釈されないものとします。弊社は、本書に含まれる技術上または編集上の誤りおよび欠落について、一切責任を負うものではありません。



USB 2.0 high-speed certified.

## 商標

Adobe®、Acrobat®、Adobe Photoshop®、および Adobe® PostScript® 3™ は Adobe Systems Incorporated の商標です。

Corel® は Corel Corporation または Corel Corporation Limited の商標または登録商標です。

Energy Star® は、米国環境保護局の米国における登録マークです。

Microsoft® および Windows® は、Microsoft Corporation の米国における登録商標です。

PANTONE® は、Pantone, Inc. のカラー標準であり、商標です。

# 目次

## 1 はじめに

安全に関する注意事項 .....	2
HP スタートアップ キット .....	2
プリンタのマニュアル .....	2
このガイドの使用方法 .....	2
はじめに .....	2
使用方法と保守方法 .....	3
トラブルシューティング .....	3
アクセサリ、サポート、および仕様 .....	3
用語集 .....	3
インデックス .....	3
警告および注意 .....	3
プリンタの主な機能 .....	4
プリンタの主なコンポーネント .....	4
前面図 .....	5
背面図 .....	5
フロントパネル .....	6
プリンタ ソフトウェア .....	7
プリンタの印刷メニュー .....	8

## 2 ソフトウェアのインストール

使用する接続方法を選択する .....	10
ネットワークに接続する (Windows) .....	10
直接コンピュータに接続する (Windows) .....	11
プリンタの共有に関する注意事項 .....	12
プリンタ ソフトウェアをアンインストールする (Windows) .....	12
ネットワークに接続する (Mac OS) .....	12
Bonjour/Rendezvous 接続 .....	12
TCP/IP 接続 .....	14
直接コンピュータに接続する (Mac OS) .....	15
プリンタの共有 .....	16
プリンタ ソフトウェアをアンインストールする (Mac OS) .....	16

## 3 プリンタのカスタマイズ

プリンタをオン/オフにする .....	18
フロントパネルの表示の言語を変更する .....	18
HP Printer Utility にアクセスする .....	19

内蔵 Web サーバにアクセスする .....	19
HP Printer Utility の言語の変更 .....	20
内蔵 Web サーバの言語を変更する .....	20
内蔵 Web サーバをパスワードで保護する .....	20
日付と時刻を設定する .....	21
スリープ モード設定を変更する .....	21
ブザーをオン/オフにする .....	21
フロントパネルの表示のコントラストを変更する .....	21
測定単位を変更する .....	21
ネットワーク設定を構成する .....	22
グラフィック言語の設定を変更する .....	23

#### 4 用紙の取り扱い

一般的なヒント .....	26
ロール紙をスピンドルに取り付ける .....	26
ロール紙をプリンタに取り付ける .....	29
簡単な取り付け手順 .....	29
用紙のメニューの手順 .....	32
ロール紙を取り外す .....	33
ロールに用紙がある場合の 用紙の取り外し ボタンの手順 .....	33
ロールに用紙がある場合の用紙のメニューの手順 .....	33
ロールに用紙がない場合の手順 .....	34
カット紙を取り付ける .....	34
簡単な取り付け手順 .....	34
用紙のメニューの手順 .....	36
カット紙を取り外す .....	37
用紙の取り外し ボタンの手順 .....	37
用紙のメニューの手順 .....	38
用紙に関する情報を表示する .....	38
用紙プリセット .....	39
ダウンロードした用紙プリセットをインストールする方法 .....	39
独自の用紙プリセットを作成する方法 .....	40
高度な用紙プリセットの作成 .....	41
取り付けられている用紙への印刷 .....	43
用紙を移動する .....	43
用紙を保守する .....	44
乾燥時間を変更する .....	44
自動カッターのオン/オフを切り替える .....	45
用紙を給紙してカットする .....	45

#### 5 印刷

印刷ジョブを作成する .....	48
内蔵 Web サーバを使用したファイルの印刷 .....	48
保存ジョブの印刷 .....	48
印刷品質を選択する .....	49
用紙サイズを選択する .....	50

カスタム用紙サイズ .....	51
マージン オプションを選択する .....	51
ショートカットを使用して印刷する .....	52
印刷を拡大縮小する .....	53
印刷をプレビューする .....	54
試し印刷をする .....	55
高品質で印刷する .....	56
高解像度のイメージがある場合 .....	56
プリントヘッドに問題がある場合 .....	56
フォト用紙に印刷する場合 .....	57
半光沢フォト用紙に印刷する場合 .....	57
16 ビット カラー イメージの印刷 .....	57
グレー階調で印刷する .....	58
マージンなしで印刷する .....	58
イメージの回転 .....	59
自動回転 .....	60
切り取り線付きで印刷する .....	60
カット紙への印刷 .....	60
用紙を節約する .....	61
ジョブをネスティングしてロール紙を節約する .....	61
プリンタがページをネスティングしようとするタイミングは？ .....	62
ネスティングできるページは？ .....	62
ネスティングに適したページとは？ .....	62
プリンタが別のファイルを待機する時間は？ .....	63
インクを節約する .....	63

## 6 カラーマネジメント

色について .....	66
問題：コンピュータの世界での色 .....	66
解決法：カラーマネジメント .....	68
色と使用するプリンタ .....	69
HP 内蔵分光測光器 .....	69
カラーマネジメント プロセスの概要 .....	70
カラーキャリブレーション .....	71
キャリブレーション ステータスの確認 .....	72
キャリブレーション .....	72
Photoshop からのキャリブレーション .....	73
カラー プロファイリング .....	73
独自のプロファイルを作成する .....	74
カラー計測 .....	75
モニタのプロファイリングを行う .....	76
カラーマネジメント オプション .....	76
Photoshop によるカラーマネジメントの例 .....	77
Photoshop により同期されたカラーマネジメント .....	77
黒点補正の実行 .....	77
レンダリング用途の設定 .....	78

カラー エミュレーション .....	78
CMYK カラー エミュレーション .....	79
RGB カラー エミュレーション .....	80
HP プロフェッショナル PANTONE エミュレーション .....	80
カラー調整オプション .....	82
カラーでの印刷 .....	83
グレースケールでの印刷 .....	83
カラーマネジメント シナリオ .....	84
カラー写真を展覧会用に印刷する (Photoshop、PS ドライバ) .....	84
カラー写真を展覧会用に印刷する (Photoshop、PCL3 ドライバ) .....	87
モノクロ写真を展覧会用に印刷する (Photoshop、PS ドライバ) .....	90
モノクロ写真を展覧会用に印刷する (Photoshop、PCL3 ドライバ) .....	95
デジタル アルバムを印刷する (Aperture、PS ドライバ) .....	98
デジタル アルバムを印刷する (Aperture、PCL3 ドライバ) .....	101
モニタで出力を確認する (InDesign、PS ドライバ) .....	103
プリンタで出力を確認する (QuarkXPress、PS ドライバ) .....	106

## 7 ジョブ キューの管理

内蔵 Web サーバのジョブ キュー ページ .....	112
ジョブのプレビュー .....	112
ジョブ キューをオフにする .....	113
キュー内のジョブを印刷するタイミングを選択する .....	113
キュー内のジョブの識別 .....	113
キュー内の特定ジョブを優先させる .....	114
キューからジョブを削除する .....	114
キュー内のジョブを再印刷またはコピーする .....	114
ジョブのステータス メッセージ .....	114
保留を解除する .....	115

## 8 プリンタの使用状況に関する情報を取得する

プリンタのアカウント情報 .....	118
プリンタの使用状況に関する情報を確認する .....	118
HP Printer Utility でのプリンタ情報 .....	118
内蔵 Web サーバでのプリンタ情報 .....	118
ジョブのインクと用紙の使用状況を確認する .....	118
HP Printer Utility でのインクと用紙の情報 .....	119
内蔵 Web サーバでのプリンタ情報 .....	119
コスト アカウンティング .....	119
アカウント データの電子メールによる要求 .....	119

## 9 インクカートリッジとプリントヘッドの取り扱い

インクカートリッジについて .....	122
インクカートリッジのステータスの確認 .....	122
インクのメニューの使用手順 .....	122
HP Printer Utility の手順 .....	122
インクカートリッジを取り外す .....	122

インクカートリッジを取り付ける .....	124
プリントヘッドについて .....	124
プリントヘッドのステータスを確認する .....	125
プリントヘッドを取り外す .....	125
プリントヘッドを取り付ける .....	127

## 10 プリンタを保守する

プリンタ ステータスを確認する .....	132
プリンタの外部をクリーニングする .....	132
カッターを交換する .....	132
インクカートリッジを保守する .....	137
プリンタを移動または保管する .....	137
ファームウェアをアップデートする .....	138
ソフトウェアをアップデートする .....	139
電池を交換する .....	139
プリンタ保守キット .....	139
安全なディスク消去 .....	139

## 11 アクセサリ

サプライ品およびアクセサリ .....	142
インク サプライ品について .....	142
用紙について .....	143
推奨しない用紙の種類 .....	148
アクセサリについて .....	148
アクセサリ .....	149
スタンド .....	149

## 12 用紙に関するトラブルシューティング

用紙が正しく取り付けられない .....	152
ロール紙の取り付けに失敗する .....	152
カット紙の取り付けに失敗する .....	153
用紙の取り付けのエラー メッセージ .....	153
用紙の種類がドライバに含まれていない .....	154
触ると、黒インクが簡単に落ちる .....	154
印刷後、用紙がしわになるか、インクが多すぎる .....	154
用紙が詰まっている .....	155
印刷物がバスケットに正しく排出されない .....	157
印刷が完了してもカット紙がプリンタに留まる .....	157
印刷が完了すると用紙がカットされる .....	157
カッターで正しくカットされない .....	157
ロール紙がスピンドルでたるむ .....	157
帯が排紙トレイに残り、紙詰まりが発生する .....	157
用紙送りのキャリブレーションを行う .....	158
用紙送りのキャリブレーションを再度行う .....	159
デフォルトのキャリブレーションに戻す .....	159

### 13 印刷品質に関するトラブルシューティング

一般的なヒント	162
印刷品質のトラブルシューティング ウィザード	162
イメージに横線 (バンディング) が見られる	163
イメージ全体がぼやけているかざらついている	164
用紙が平らになっていない	164
印刷が擦り切れる、または傷がつく	165
用紙にインクが残る	165
コート紙の表面に水平方向の汚れがある	166
用紙の裏にインクが付着する	166
印刷物に垂直方向の点線または破線が現れる	166
印刷物に縦に連続した線が現れる	167
印刷部に触れると黒インクが擦れる	167
オブジェクトの端が段状になっているかまたは鮮明ではない	167
オブジェクトの端が予期したよりも暗い	168
褐色化する	168
カット紙の端に横線が印刷される	168
異なる色の縦線が印刷される	169
印刷物に白色の点がある	169
色が正確に再現されない	169
ページ レイアウト アプリケーションで EPS または PDF イメージを使用した場合の カラー精度	170
イメージが不完全 (下部の一部が印刷されない)	170
イメージの一部が印刷されない	170
一部のオブジェクトがイメージ内に印刷されない	171
描画/テキストが太すぎるか細すぎる、または印刷されない	172
線画が段状またはギザギザに表示される	172
線画が二重または間違っただけで印刷される	173
線が不連続になる	173
線がぼやけている	174
[イメージ診断の印刷] を印刷します。	175
解決のための処置	177
問題が解決されない場合	178

### 14 インクカートリッジとプリントヘッドに関するトラブルシューティング

インクカートリッジを取り付けられない	180
インクカートリッジのステータス メッセージ	180
プリントヘッドを取り付けられない	180
フロントパネルにプリントヘッドを取り付け直す、または交換するようにメッセージが表示される	181
プリントヘッドのクリーニング	181
プリントヘッド ドロップ検出器のクリーニング	182
プリントヘッドの軸合わせ	184
プリントヘッドを再度取り付ける手順	184
[イメージ品質の保守] メニューの手順	185
軸合わせ中のスキャン エラー	185
プリントヘッドのステータス メッセージ	186

<b>15 一般的なプリンタに関するトラブルシューティング</b>	
プリンタで印刷されない	188
プリンタの印刷が遅い	188
コンピュータとプリンタ間の通信に問題がある	189
HP Printer Utility にアクセスできない	189
一部の Color Center オプションが使用できない	190
内蔵 Web サーバにアクセスできない	190
ファイルシステムの自動確認	190
Microsoft Visio 2003 から印刷しても出力されない	191
QuarkXPress から印刷する際に使用できない機能	191
プリンタ アラート	192
<b>16 フロントパネルのエラー メッセージ</b>	
<b>17 HP カスタマー・ケア</b>	
はじめに	200
HP プロフェッショナル グラフィック サービス	200
Knowledge Center	200
HP スタートアップキット	200
HP Care Pack および保証期間の延長	200
HP インストレーション	201
HP Proactive Support	201
HP サポートへのお問い合わせ	201
電話番号	202
<b>18 プリンタの仕様</b>	
プリンタ機能の仕様	204
物理的仕様	205
メモリの仕様	205
電源の仕様	205
エコロジーに関する仕様	206
動作環境の仕様	206
動作音に関する仕様	206
<b>用語集</b>	<b>207</b>
<b>索引</b>	<b>209</b>



# 1 はじめに

- [安全に関する注意事項](#)
- [HP スタートアップ キット](#)
- [プリンタのマニュアル](#)
- [このガイドの使用方法](#)
- [プリンタの主な機能](#)
- [プリンタの主なコンポーネント](#)
- [フロントパネル](#)
- [プリンタ ソフトウェア](#)
- [プリンタの印刷メニュー](#)

## 安全に関する注意事項

次の注意事項に従うことにより、プリンタを適切に使用してプリンタの故障を防ぐことができます。常にこれらの注意事項に従ってください。

- 製品プレートに示された電源電圧を使用してください。プリンタの電源コンセントに複数のデバイスを接続して、過負荷をかけないようにしてください。
- 必ずプリンタを接地してください。プリンタを接地しないと、感電、発火、電磁妨害の影響を受ける可能性があります。
- プリンタを分解または修理しないでください。サービスについては、HP カスタマー・ケア・センターにお問い合わせください ([201 ページの「HP サポートへのお問い合わせ」](#)を参照)。
- プリンタ付属の HP が提供する電源コード以外は使用しないでください。電源コードの破損、切断、修理は避けてください。破損した電源コードは、発火や感電の恐れがあります。破損した電源コードは HP 純正の電源コードと交換してください。
- 金属または液体 (HP クリーニング キットで使用するものを除く) がプリンタの内部部品に触れないようにしてください。発火、感電、またはその他の重大な事故の原因となる可能性があります。
- 次のいずれかの場合には、プリンタの電源をオフにして、電源コンセントから電源ケーブルを抜いてください。
  - プリンタ内部に手を入れる場合
  - プリンタから煙が出たり、異様な臭いがする場合
  - プリンタが通常の動作中には発生しない異常なノイズを発生する場合
  - 金属や液体 (クリーニングおよび保守手順の一部ではなく) がプリンタの内部部品に触れた場合
  - 雷雨時
  - 停電時

## HP スタートアップ キット

『HP スタートアップ キット』は、プリンタに同梱されている CD で、プリンタのソフトウェアを含んでいます。

## プリンタのマニュアル

プリンタの使用方法については、『プリンタの使い方』および『クイック リファレンス ガイド』を参照してください。最も詳細な情報については、『プリンタの使い方』を参照してください。このマニュアルは <http://www.hp.com/go/z3200ps/manuals/> から入手できます。『クイック リファレンス ガイド』には、一般的に必要とされる情報が記載されており、印刷されたマニュアルとしてプリンタと共に提供されます。

## このガイドの使用方法

『プリンタの使い方』は、以下の章で構成されています。

### はじめに

この章では、このプリンタを初めて使用するユーザのために、このプリンタおよびマニュアルについて簡単に説明します。

## 使用方法と保守方法

これらの章では、通常のプリンタ操作手順を説明します。以下の項目が含まれます。

- [9 ページの「ソフトウェアのインストール」](#)
- [17 ページの「プリンタのカスタマイズ」](#)
- [25 ページの「用紙の取り扱い」](#)
- [47 ページの「印刷」](#)
- [65 ページの「カラーマネジメント」](#)
- [117 ページの「プリンタの使用状況に関する情報を取得する」](#)
- [121 ページの「インクカートリッジとプリントヘッドの取り扱い」](#)
- [131 ページの「プリンタを保守する」](#)

## トラブルシューティング

これらの章では、印刷中に発生する可能性のある問題の解決策を説明しています。以下の項目が含まれます。

- [151 ページの「用紙に関するトラブルシューティング」](#)
- [161 ページの「印刷品質に関するトラブルシューティング」](#)
- [179 ページの「インクカートリッジとプリントヘッドに関するトラブルシューティング」](#)
- [187 ページの「一般的なプリンタに関するトラブルシューティング」](#)
- [195 ページの「フロントパネルのエラーメッセージ」](#)

## アクセサリ、サポート、および仕様

[141 ページの「アクセサリ」](#)、[199 ページの「HP カスタマー・ケア」](#)、および[203 ページの「プリンタの仕様」](#)の各章では、カスタマー・ケア、プリンタの仕様、および各種用紙、インク サプライ品、アクセサリの製品番号などに関するリファレンス情報を参照できます。

## 用語集

[207 ページの用語集](#)には、このマニュアルで使用する印刷および HP 用語の定義が記載されています。

## インデックス

目次のほかに、インデックスを使用してトピックをすぐに見つけることができます。

## 警告および注意

このマニュアルでは、プリンタを適切に使用して破損を防ぐために、次の記号が使用されています。これらの記号の付いた手順に従ってください。

- △ **警告！** この記号の付いたガイドラインに従わない場合、重大な人身事故または死亡につながる恐れがあります。
- △ **注意：** この記号の付いたガイドラインに従わない場合、人身事故または製品の破損につながる恐れがあります。

## プリンタの主な機能

このプリンタは、最大幅 1.12m (44 インチ) の用紙に高品質のイメージを印刷するために設計されたカラーインクジェットプリンタです。主な機能を以下に示します。

- 入力時 600 × 600dpi のイメージを最大 2400 × 1200dpi の最適化された解像度で印刷 ([**高品質**] 印刷品質オプション、[**高精細**] オプション、およびフォト用紙を使用した場合)
- HP Printer Utility (19 ページの「[HP Printer Utility にアクセスする](#)」を参照) には、使いやすい以下のインターフェースがあります。
  - シングルポイント カラー コントロール
  - 用紙プリセットのインポート、作成、および管理
  - ジョブ管理 (111 ページの「[ジョブキューの管理](#)」を参照)
  - プリンタおよびディスプレイのキャリブレーション
  - オンラインの HP Knowledge Center へのアクセス
- 自動カラー キャリブレーションおよびプロファイリングによる、正確で一貫したカラー再現
- 12 色インク システム。写真印刷およびグラフィック アート印刷においてマット ファインアート紙と光沢フォト用紙で広い色の範囲を実現し、プリプレス アプリケーションでのカラー精度において ISO および SWOP 色域を完全に網羅します。
- カラー エミュレーション (78 ページの「[カラー エミュレーション](#)」を参照)
- 内蔵の分光測光器。用紙および環境の変化においても一貫した正確なカラーを提供し、用紙プリセットを簡単に作成します (69 ページの「[HP 内蔵分光測光器](#)」を参照)。
- HP Printer Utility またはプリンタの内蔵 Web サーバを使用して、マルチファイル ジョブの送信、ジョブのプレビュー、キュー処理、ネスティングなどの生産性を高めるための機能を実行できます (19 ページの「[HP Printer Utility にアクセスする](#)」または19 ページの「[内蔵 Web サーバにアクセスする](#)」を参照)。
- インクと用紙の使用状況は、フロントパネルおよび内蔵 Web サーバによる Web 上で確認可能です (19 ページの「[内蔵 Web サーバにアクセスする](#)」を参照)。
- 用紙の柔軟性と簡単な自動取り付け機能 (25 ページの「[用紙の取り扱い](#)」を参照)。情報および用紙プリセットは、フロントパネルと HP Printer Utility から利用できます。

## プリンタの主なコンポーネント

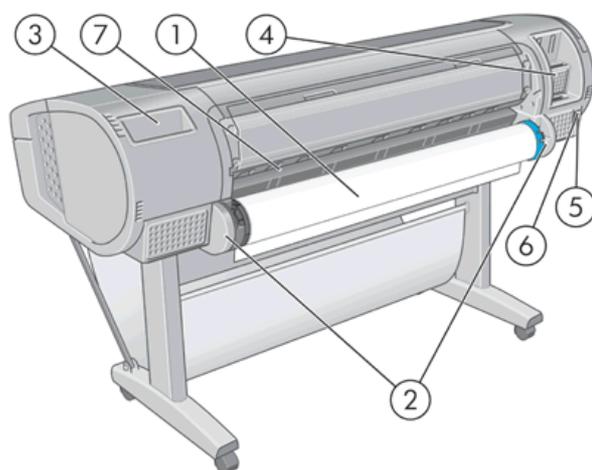
以下のプリンタ前面図および背面図で、主なコンポーネントについて説明します。

## 前面図



1. インクカートリッジ
2. インク カートリッジ スロット
3. 青いレバー
4. 透明のウィンドウ
5. フロントパネル
6. プリントヘッド キャリッジ
7. プリントヘッド
8. 排紙トレイ
9. 用紙の位置調整線
10. バスケット

## 背面図



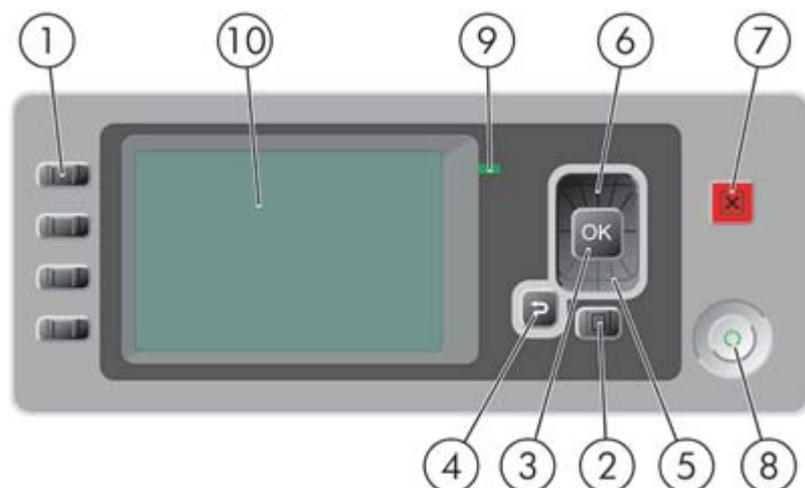
1. スピンドル
2. スピンドル ホルダー
3. 『クイック リファレンス ガイド』ホルダー
4. 接続ケーブルおよびオプション アクセサリ用ソケット
5. 電源

6. 電源コード差し込み口
7. 用紙フィーダ

## フロントパネル

プリンタのフロントパネルは、プリンタ前面の向かって中央にあります。フロントパネルには、以下の重要な機能があります。

- トラブルシューティングのための情報アシスト。
- 用紙のカット、取り外しなど、特定の手順を実行する際に使用。
- 手順に沿った役立つアニメーションを表示。
- インクカートリッジ、プリントヘッド、用紙、印刷ジョブなどのプリンタのステータスに関する最新情報を表示。
- 場合に応じて、警告やエラーメッセージが表示され、警告やエラーメッセージに対する注意を促すために警告音が鳴ります。
- プリンタの設定値を変更して、プリンタの動作を変更する際に使用。ただし、プリンタの設定は、ドライバの設定が優先されます(9 ページの「ソフトウェアのインストール」を参照)。



フロントパネルには、以下のコンポーネントがあります。

1. **ダイレクトアクセス キー** :
  - 1 番目のボタン : インク容量の表示 (122 ページの「インクカートリッジのステータスの確認」を参照)
  - 2 番目のボタン : 用紙情報の表示 (38 ページの「用紙に関する情報を表示する」を参照)
  - 3 番目のボタン : 用紙の取り外し (33 ページの「ロール紙を取り外す」および37 ページの「カット紙を取り外す」を参照)
  - 4 番目のボタン : 排紙/カット (45 ページの「用紙を給紙してカットする」を参照)
2. **メニュー ボタン** - このボタンを押すと、フロントパネルの表示がメインメニューに戻ります。すでにメインメニューが表示されている場合は、ステータス画面が表示されます。
3. **OK ボタン** - 手順の実行中または操作中に操作を確定します。メニューでサブメニューを表示します。オプションがある場合に値を選択します。

4. **戻る** ボタン - 手順実行中または操作中に前の手順に戻ります。上位レベルに移動する、メニューのオプションから外れる、またはオプションがある場合に使用します。
5. **下矢印** ボタン - メニューまたはオプション内を下に移動したり、数値を減らします (たとえば、フロントパネルの表示コントラストや IP アドレスを設定する場合)。
6. **上矢印** ボタン - メニューまたはオプション内を上移動したり、数値を増やします (たとえば、フロントパネルの表示コントラストや IP アドレスを設定する場合)。
7. **キャンセル** ボタン - 手順または操作を中止します。
8. **電源** ボタン - プリンタの電源のオンとオフを切り替えます。また、電源ボタンのランプでプリンタのステータスを示します。電源ボタンのランプが消灯している場合、プリンタの電源はオフになっています。電源ボタンのランプが緑色に点滅している場合、プリンタは起動中です。電源ボタンのランプが緑色に点灯している場合、プリンタの電源はオンになっています。電源ボタンのランプが黄色に点灯している場合、プリンタは待機中です。電源ボタンのランプが黄色に点滅している場合、プリンタに対して注意が必要です。
9. **LED ランプ** - プリンタのステータスを示します。LED ランプが緑色に点灯している場合、プリンタは印刷可能です。LED ランプが緑色に点滅している場合、プリンタが使用中です。LED ランプが黄色に点灯している場合、プリンタはシステム エラーです。LED ランプが黄色に点滅している場合、プリンタに対して注意が必要です。
10. **フロントパネルの表示** - プリンタの使用に関するエラー、警告、および情報が表示されます。

フロントパネルの表示上の項目をハイライトさせるには、その項目がハイライトされるまで **上矢印** または **下矢印** ボタンを繰り返し押します。

フロントパネルの表示上の項目を**選択**するには、まずその項目をハイライトして、**OK** ボタンを押します。

このガイドで、フロントパネル表示の一連の項目が、**[項目 1] - [項目 2] - [項目 3]** のように記述されている場合は、**[項目 1]**、**[項目 2]**、**[項目 3]** の順に選択してください。

フロントパネルの特定の使用方法についての詳細は、このガイドで順を追って説明します。

## プリンタ ソフトウェア

このプリンタには、以下のソフトウェアが付属しています。

- PCL3 ラスタ プリンタ ドライバ
- PostScript プリンタ ドライバ
- HP Printer Utility ([19 ページの「HP Printer Utility にアクセスする」](#)を参照) を使用すると、以下を実行できます。
  - HP Color Center を使用してカラーに関するプリンタ管理
  - ジョブ キューの管理 ([111 ページの「ジョブ キューの管理」](#)を参照)
  - インクカートリッジ、プリントヘッド、および用紙のステータスの表示
  - ジョブ アカウンティング情報の表示 ([117 ページの「プリンタの使用状況に関する情報を取得する」](#)を参照)
  - プリンタのファームウェアのアップデート ([138 ページの「ファームウェアをアップデートする」](#)を参照)
  - HP Knowledge Center へのアクセス

- 様々なプリンタ設定の変更 ([設定] タブ内)
- キャリブレーションおよびトラブルシューティングの実行
- 内蔵 Web サーバ。プリンタ内で動作し、これを使用すると、どのコンピュータでも Web ブラウザを使用してインク残量やプリンタのステータスの確認を行うことができます ([19 ページの「内蔵 Web サーバにアクセスする」](#)を参照)
- Advanced Profiling Solution。別の CD に収録されています。他の HP ソフトウェア (ドライバや HP Printer Utility など) の後にインストールします。

## プリンタの印刷メニュー

印刷メニューには、プリンタに関するさまざまな情報が表示されます。印刷メニューは、コンピュータを使用しなくても、フロントパネルから呼び出すことができます。

印刷メニューを呼び出す前に、用紙 (ロール紙またはカット紙) が取り付けられており、フロントパネルに「印刷可能です」というメッセージが表示されていることを確認します。幅が A3 横置き (42cm、16.53 インチ) 以上の用紙を使用してください。それより小さい用紙では、イメージの一部が印刷されないことがあります。

印刷メニューを印刷するには、[印刷メニュー] アイコン  を選択します。必要な印刷メニューを選択します。次の印刷メニューを使用できます。

- [デモ印刷]: プリンタの機能の一部を表示します。
  - モノクロ写真印刷
  - カラー写真印刷
  - カラーデザイン デモ印刷
  - GIS マップ印刷

**注記:** デモ印刷は、取り付けられている用紙と同じサイズで行われます。

**注記:** 安全なディスク消去を実行する場合は、[139 ページの「安全なディスク消去」](#)を参照してください。デモ印刷は消去され、使用できなくなります。

- [メニュー マップの印刷]: すべてのフロントパネルの表示メニューの詳細を表示します。
- [現在の設定の印刷]: 現在のフロントパネル表示の設定をすべて表示します。
- [使用状況レポートの印刷]: 印刷の合計数、用紙の種類別の印刷部数、印刷品質オプション別の印刷部数、および色ごとに使用されるインクの合計量を表示します (これらの推定値の正確性につきましては保証されていません)。
- [サービス情報の印刷]: サービス エンジニアが必要とする情報を表示します。
- [PS フォント一覧の印刷]: 使用可能な PostScript フォントを表示します。

---

## 2 ソフトウェアのインストール

- [使用する接続方法を選択する](#)
- [ネットワークに接続する \(Windows\)](#)
- [直接コンピュータに接続する \(Windows\)](#)
- [プリンタ ソフトウェアをアンインストールする \(Windows\)](#)
- [ネットワークに接続する \(Mac OS\)](#)
- [直接コンピュータに接続する \(Mac OS\)](#)
- [プリンタ ソフトウェアをアンインストールする \(Mac OS\)](#)

## 使用する接続方法を選択する

プリンタを接続するには、以下の方法を使用できます。

接続の種類	速度	ケーブルの長さ	その他の要素
ギガビットイーサネット	きわめて高速。速度はネットワークトラフィックによって異なります。	長い(100m=328 フィート)	追加機器(スイッチ)が必要
Jetdirect プリントサーバ(別売オプション)	普通。速度はネットワークトラフィックによって異なります。	長い(100m=328 フィート)	追加機器(スイッチ)が必要 追加機能を提供 詳細については、 <a href="http://www.hp.com/go/jetdirect/">http://www.hp.com/go/jetdirect/</a> を参照してください
USB 2.0	きわめて高速	短い(5m=16 フィート)	

☞ **注記：** ネットワーク接続速度は、ネットワーク上のすべてのコンポーネントに左右されます。これには、ネットワーク インタフェース カード、ハブ、ルータ、スイッチ、ケーブルなどがあります。コンポーネントのいずれかが高速で処理を行えない場合、接続速度は遅くなります。また、ネットワーク上の他のデバイスから送信される総トラフィック量も、接続速度に影響を与えます。

## ネットワークに接続する (Windows)

手順を実行する前に、以下の点を確認してください。

- プリンタがセットアップされ、電源が入っている。
- イーサネット ハブまたはルータの電源が入っていて、正常に機能している。
- ネットワーク上のすべてのコンピュータの電源が入っていて、ネットワークに接続されている。
- プリンタがネットワークに接続されている。

上記を確認したら、プリンタ ソフトウェアをインストールしてプリンタを接続できます。

1. プリンタのフロントパネルのステータス画面に表示される IP アドレスを書き留めます (この例では 192.168.1.1)。

用紙をセットできます

http://XXXX11  
http://192.168.1.1

目を押してメニューを表示します



2. コンピュータに『HP スタートアップ キット』CD を挿入します。CD が自動的に起動しない場合は、CD のルート フォルダ内の [autorun.exe] を実行します。
3. [ネットワークの高速インストール] をクリックします。PostScript プリンタ ドライバと HP Printer Utility がインストールされます。

☞ **ヒント：** PCL3 と PostScript プリンタ ドライバをインストールする場合は、[カスタム インストール] をクリックし、検出されたプリンタのリストからプリンタを選択してから [カスタム インストール] を選択します。

#### 4. 画面に表示される指示に従ってプリンタをセットアップします。

設定プログラムによりネットワークに接続されたプリンタの検出が行われます。検出が完了すると、プリンタのリストが表示されます。IP アドレスを参照してプリンタを識別し、リストでそのプリンタを選択します。

コンピュータがネットワーク上のプリンタを検出できない場合は、[プリンタが検出されませんでした] ウィンドウが表示されます。このウィンドウでは、プリンタの検出を再試行できます。操作内にファイアウォールが存在する場合、プリンタを検出するためにファイアウォールを一時的に無効にする必要があります。プリンタの URL、IP アドレス、または MAC アドレスによってプリンタを検出するオプションもあります。

☞ **注記：** IPv6 もサポートされていますが、プリンタ ドライバの自動インストールが正しく動作する保証はありません。場合によっては、標準の Windows のプリンタの追加ウィザードを使用してドライバをインストールする必要があります。

## 直接コンピュータに接続する (Windows)

ネットワークを介さずにプリンタを直接コンピュータに接続するには、プリンタの内蔵 USB 2.0 ソケットを使用します。

☞ **ヒント：** USB 接続はネットワーク接続より高速ですが、ケーブルの長さに制限があり、プリンタの共有もより困難になります。

1. この時点ではまだコンピュータをプリンタに接続しないでください。まず、以下の手順に従いプリンタ ドライバソフトウェアをインストールする必要があります。
2. CD ドライブに『HP スタートアップ キット』CD を挿入します。CD が自動的に起動しない場合は、CD のルート フォルダ内の [autorun.exe] を実行します。
3. [カスタム インストール] をクリックします。PostScript プリンタ ドライバと HP Printer Utility がインストールされます。
4. インストーラがネットワーク上のプリンタを検索するのに、Windows ファイアウォールと通信する必要があることを警告するメッセージが表示される場合があります。USB 接続を設定する場合は、[インストーラを続行し、ネットワークを検索せずにインストールします] を選択し、[次へ] をクリックします。
5. 画面に表示される指示に従ってプリンタをセットアップします。各画面で適切な設定を行うために、以下の点に注意してください。

- プリンタの接続方法を確認する画面が表示されたら、[USB ケーブル] を選択します。
- ネットワークに接続している他のユーザとプリンタを共有する場合は、[インストール準備完了] ウィンドウにある [プリンタのプロパティ] ボタンをクリックし、共有するプリンタの [プリンタ名] を設定し、[共有] を [はい] に設定します。
- コンピュータをプリンタに接続するように指示するメッセージが表示されたら、認定された USB ケーブルを接続します。プリンタの電源が入っていることを確認してください。

☞ **注記：** ただし、プリンタを接続せずにインストールを完了することもできます。その場合、[セットアップ ウィザードの完了後にプリンタを接続します] チェック ボックスをオンにしてください。

**注記：** 認定されていない USB ケーブルを使用すると、接続の問題が発生する原因になります。このプリンタには、USB 開発者のためのフォーラム (<http://www.usb.org/>) によって認定されたケーブル以外は使用しないでください。

## プリンタの共有に関する注意事項

- HP Printer Utility は、いずれかのコンピュータにまずインストールする必要があります。インストールした後にそのコンピュータから使用できるようになります。
- 別のコンピュータに接続されたプリンタを共有する他のすべてのユーザは、プリント ジョブを送信することはできますが、プリンタ アラート、プリンタ ステータス レポート、用紙の管理、プリンタの管理、およびトラブルシューティングに影響するプリンタからの情報を受信することはできません。
- 別のコンピュータに接続されたプリンタを共有する他のすべてのユーザは、プリンタ固有の印刷プレビュー機能を使用することはできません。ただし、アプリケーションの印刷プレビュー機能を利用することはできます。[54 ページの「印刷をプレビューする」](#)を参照してください。

☝ **ヒント：** ネットワークを介してプリンタを共有する場合、プリンタをコンピュータではなくネットワークに接続することが最適な方法です。[10 ページの「ネットワークに接続する \(Windows\)」](#)を参照してください。

## プリンタ ソフトウェアをアンインストールする (Windows)

1. CD ドライブに『HP スタートアップ キット』CD を挿入します。CD が自動的に起動しない場合は、CD のルート フォルダ内の **[autorun.exe]** を実行します。
2. **[インストールの変更]** を選択し、画面の指示に従ってプリンタ ソフトウェアをアンインストールします。

## ネットワークに接続する (Mac OS)

Mac OS 環境でプリンタをネットワークに接続する場合、以下の方法を使用できます。

- Bonjour/Rendezvous
- TCP/IP

☞ **注記：** このプリンタは AppleTalk をサポートしていません。

手順を実行する前に、以下を確認してください。

- プリンタがセットアップされ、電源が入っている。
- イーサネット ハブまたはルータの電源が入っていて、正常に機能している。
- ネットワーク上のすべてのコンピュータの電源が入っていて、ネットワークに接続されている。
- プリンタがネットワークに接続されている。

上記を確認したら、プリンタ ソフトウェアをインストールしてプリンタを接続できます。

## Bonjour/Rendezvous 接続

1. プリンタのフロントパネルで [接続] アイコン  を選択し、**[ギガビット イーサネット] - [設定の表示]** を選択します。プリンタの mDNS サービス名をメモします。
2. CD ドライブに『HP スタートアップ キット』CD を挿入します。

3. デスクトップの CD アイコンを開きます。



4. [Mac OS X HP Designjet インストーラ] アイコンを開きます。
5. 画面の指示に従います。ここでは、[簡易インストール] オプションを使用することをお勧めします。このオプションでは、PostScript プリンタ ドライバがインストールされます。PCL3 (ラスト) ドライバをインストールする場合は [カスタム インストール] を選択します。
6. プリンタ ドライバや HP Printer Utility などのプリンタ ソフトウェアがインストールされます。
7. プリンタ ソフトウェアがインストールされた後、HP プリンタ セットアップ アシスタントが自動的に起動し、プリンタとの接続をセットアップします。画面の指示に従います。
8. [プリンタの選択] 画面が表示されたら、[プリンタ名] 列にあるプリンタの mDNS サービス名 (手順 1 でメモした名前) を検索します。



- 正しいプリンタ名を検出した場合、横方向にスクロールして [接続方法] 列を表示し、それが **Bonjour/Rendezvous** を示していることを確認します。次に、そのラインをハイライトします。それ以外の場合は、リストの下方方向への検索を続けます。
- 接続方法として **Bonjour/Rendezvous** を持つプリンタ名を検出できない場合は、[リストにないプリンタを使用] ボックスをオンにします。

[次へ] ボタンをクリックします。

9. 画面の指示に従って続行します。[プリンタ キューが作成されました] 画面が表示されたら、[閉じる] をクリックして終了するか、ネットワークに別のプリンタを接続する場合は、[新しいキューの作成] をクリックします。
10. HP プリンタ セットアップ アシスタントが終了したら、CD ドライブから CD を取り出します。プリンタ ドライバがすでにインストールされている場合、HP プリンタ セットアップ アシスタントを CD からいつでも起動することができます。

## TCP/IP 接続

1. プリンタのフロントパネルで、ステータス画面が表示されるまで **メニュー** ボタンを押します。  
用紙をセットできます

http://XXXX11  
http://192.168.1.1

目  
を押してメニューを  
表示します



プリンタの URL (この例では http://XXXX11) をメモします。

2. CD ドライブに『HP スタートアップ キット』CD を挿入します。
3. デスクトップの CD アイコンを開きます。



4. **[Mac OS X HP Designjet インストーラ]** アイコンを開きます。
5. 画面の指示に従います。ここでは、**[簡易インストール]** オプションを使用することをお勧めします。このオプションでは、PostScript プリンタ ドライバがインストールされます。PCL3 (ラスト) ドライバをインストールする場合は **[カスタム インストール]** を選択します。
6. プリンタ ドライバや HP Printer Utility などのプリンタ ソフトウェアがインストールされます。
7. プリンタ ソフトウェアがインストールされた後、HP プリンタ セットアップ アシスタントが自動的に起動し、プリンタとの接続をセットアップします。画面の指示に従います。
8. **[プリンタの選択]** 画面が表示されたら、**[プリンタ名]** 列にあるプリンタの URL (手順 1 でメモした) を検索します。
  - 正しいプリンタ名を検出した場合、横方向にスクロールして **[接続方法]** 列を表示し、それが **[IP Printing]** を示していることを確認します。次に、そのラインをハイライトします。それ以外の場合は、リストの下方方向への検索を続けます。
  - 接続方法として **[IP Printing]** を持つプリンタ名を検出できない場合は、**[リストにないプリンタを使用]** ボックスをオンにします。**[次へ]** ボタンをクリックします。
9. 画面の指示に従って続行します。**[プリンタ キューが作成されました]** 画面が表示されたら、**[閉じる]** をクリックして終了するか、ネットワークに別のプリンタを接続する場合は、**[新しいキューの作成]** をクリックします。
10. HP プリンタ セットアップ アシスタントが終了したら、CD ドライブから CD を取り出します。

プリンタ ドライバがすでにインストールされている場合、HP プリンタ セットアップ アシスタントを CD からいつでも起動することができます。

## 直接コンピュータに接続する (Mac OS)

ネットワークを介さずにプリンタを直接コンピュータに接続するには、プリンタの内蔵 USB 2.0 ソケットを使用します。

1. プリンタの電源がオフになっているか、コンピュータに接続されていないことを確認します。
2. CD ドライブに『HP スタートアップ キット』CD を挿入します。
3. デスクトップの CD アイコンを開きます。



4. [Mac OS X HP Designjet インストーラ] アイコンを開きます。
5. 画面の指示に従います。ここでは、[簡易インストール] オプションを使用することをお勧めします。このオプションでは、PostScript プリンタ ドライバがインストールされます。PCL3 (ラスター) ドライバをインストールする場合は [カスタム インストール] を選択します。
6. プリンタ ドライバや HP Printer Utility などのプリンタ ソフトウェアがインストールされます。
7. プリンタ ソフトウェアがインストールされた後、HP プリンタ セットアップ アシスタントが自動的に起動し、プリンタとの接続をセットアップします。
8. プリンタの電源がオンになっており、認定された USB ケーブルを使用してコンピュータに接続されていることを確認します。

 **注記：** 認定されていない USB ケーブルを使用すると、接続の問題が発生する原因になります。このプリンタには、USB 開発者のためのフォーラム (<http://www.usb.org/>) によって認定されたケーブル以外は使用しないでください。

9. HP プリンタ セットアップ アシスタントの画面で [次へ] をクリックします。
10. 表示されるプリンタの一覧で、接続方法が [USB] のプリンタを選択して、[次へ] をクリックします。
11. 次の画面には、プリンタのインストール情報が表示されます。この画面で、プリンタ名を変更できます。必要に応じてプリンタ名を変更し、[次へ] ボタンをクリックします。
12. これで、プリンタが接続されました。[プリンタ キューが作成されました] 画面で、[閉じる] をクリックして終了するか、別のプリンタを接続する場合は、[新しいキューの作成] をクリックします。
13. HP プリンタ セットアップ アシスタントが終了したら、CD ドライブから CD を取り出します。

プリンタ ドライバがすでにインストールされている場合、HP プリンタ セットアップ アシスタントを CD からいつでも起動することができます。

## プリンタの共有

コンピュータがネットワークに接続されている場合に、コンピュータに直接接続されたプリンタを同じネットワーク上にある別のコンピュータで使用できます。

1. デスクトップ上の Dock メニューバーの [システム環境設定] アイコンをダブルクリックします。
2. プリンタの共有を有効にするには、**[共有] - [サービス] - [プリンタ共有]** を選択します。
3. Mac OS を実行しているその他のコンピュータによって表示され、ローカル ネットワークに接続された共有プリンタのリストに、お使いのプリンタが自動的に表示されます。

プリンタの共有を必要とする他のすべてのユーザは、各自のコンピュータにプリンタ ソフトウェアをインストールする必要があります。PCL3 (ラスタ) ドライバでは、異なる Mac OS バージョン間のプリンタを共有することができますが、PostScript ドライバでは、Mac OS X 10.4 と Mac OS X 10.5 間のプリンタ共有はサポートされません。

プリンタを共有する他のすべてのユーザは、プリント ジョブを送信することはできますが、プリンタ アラート、プリンタ ステータス レポート、用紙の管理、プリンタの管理、およびトラブルシューティングに影響するプリンタからの情報を受信することはできません。

直接接続するプリンタを別のユーザと共有すると、コンピュータの速度が許容できない速度まで遅くなる場合があります。

☛ **ヒント：** ネットワークを介してプリンタを共有する場合、プリンタをコンピュータではなくネットワークに接続することが最適な方法です。[12 ページの「ネットワークに接続する \(Mac OS\)」](#)を参照してください。

## プリンタ ソフトウェアをアンインストールする (Mac OS)

1. CD ドライブに『HP スタートアップ キット』CD を挿入します。
2. デスクトップの CD アイコンを開きます。
3. **[Mac OS X HP Designjet インストーラ]** アイコンを開きます。
4. **[アンインストール]** を選択し、画面の指示に従ってプリンタ ソフトウェアをアンインストールします。

プリントキューを削除するには、以下の手順に従います。

- Mac OS X 10.5 の場合：[システム環境設定] から、**[プリントとファクス]** ダイアログを選択します。プリンタ名を選択し **[-]** ボタンをクリックします。
- Mac OS X 10.4 でプリントキューを削除するには、次の 2 つの方法があります。
  - [システム環境設定] から、**[プリントとファクス]** ダイアログの **[プリント]** パネルを選択します。プリンタ名を選択し **[-]** ボタンをクリックします。
  - **[プリンタ設定ユーティリティ]** からプリンタ名を選択し、**[削除]** アイコンをクリックします。

## 3 プリンタのカスタマイズ

- [プリンタをオン/オフにする](#)
- [フロントパネルの表示の言語を変更する](#)
- [HP Printer Utility にアクセスする](#)
- [内蔵 Web サーバにアクセスする](#)
- [HP Printer Utility の言語の変更](#)
- [内蔵 Web サーバの言語を変更する](#)
- [内蔵 Web サーバをパスワードで保護する](#)
- [日付と時刻を設定する](#)
- [スリープモード設定を変更する](#)
- [ブザーをオン/オフにする](#)
- [フロントパネルの表示のコントラストを変更する](#)
- [測定単位を変更する](#)
- [ネットワーク設定を構成する](#)
- [グラフィック言語の設定を変更する](#)

## プリンタをオン/オフにする

💡 **ヒント：** 電源を入れたままでも消費電力を抑えることができます。電源をオンのままにすることにより、応答時間とシステム全体の信頼性が向上します。一定時間(デフォルトの時間は Energy Star によって指定される) 使用しない場合、プリンタはスリープモードに移行して電力を節約します。ただし、プリンタのフロントパネルの表示で何らかの操作を行うと直ちにアクティブモードに戻り、印刷を再開することができます。スリープモード時間を変更するには、[21 ページの「スリープモード設定を変更する」](#)を参照してください。

📖 **注記：** スリープモードでは、プリンタは随時プリントヘッドの保守サービスを実行します。これにより、長時間のアイドル後に印刷の準備を長時間実行する必要がなくなります。このため、インクと時間を節約するために、プリンタの電源をオンにするかスリープモードにしておくことを強くお勧めします。

このプリンタには、3つの消費電力レベルがあります。

- プラグ接続：電源コードがプリンタ背面に接続されている状態。
- スイッチオン：プリンタ背面のスイッチがオンになっている状態。
- 電源オン：フロントパネルの電源ボタンのランプが緑色に点灯している状態。

プリンタの電源をオン/オフにしたり、プリンタをリセットする場合は、通常はフロントパネルの電源ボタンを使用することをお勧めします。



ただし、プリンタを無期限で保管する場合、または電源ボタンが動作しない場合は、電源ボタンで電源をオフにした後、背面の電源スイッチも切ることをお勧めします。



電源を入れ直すには、背面の電源スイッチを使用します。

プリンタの電源を入れ直すと、初期化、およびプリントヘッドのチェックと準備に約3分間かかります。プリントヘッドの準備には、約1分15秒かかります。ただし、プリンタを6週間以上使用していない場合は、プリントヘッドの準備に最大55分かかることがあります。

## フロントパネルの表示の言語を変更する

フロントパネルのメニューおよびメッセージの言語を変更する方法は2つあります。

- 現在表示されているフロントパネルの言語を理解できる場合は、[セットアップ] アイコン  を選択し、[フロントパネルオプション] - [言語の選択] を選択します。
- 現在表示されているフロントパネルの言語が分からない場合は、まずプリンタの電源を切ります。フロントパネルで、OK ボタンを押します。OK ボタンを押したままの状態、電源ボタンを押します。フロントパネルの表示の右側にある緑色のランプが点滅し始めるまで両方のボタンを押し続け、両方のボタンを放します。これには約1秒かかります。緑色のランプがすぐに点滅し始めた場合は、やり直す必要があります。

どちらの方法でも、フロントパネルの表示に言語選択メニューが表示されます。上矢印 ボタンおよび下矢印 ボタンで希望する言語をハイライトして、OK ボタンを押します。

目的の言語を選択したら、電源 ボタンを押してプリンタの電源を切ってから、電源を入れ直します。選択した言語でフロントパネルが表示されます。

## HP Printer Utility にアクセスする

HP Printer Utility を使用すると、USB 接続または TCP/IP を使用してコンピュータからプリンタを管理できます。

- Windows では、デスクトップのショートカットから、または [スタート] - [すべてのプログラム] - [Hewlett-Packard] - [HP Printer Utility] - [HP Printer Utility] から、HP Printer Utility を起動できます。HP Printer Utility が起動すると、[プリンタと FAX] ウィンドウにインストールされているプリンタが表示されます。
- Mac OS では、Dock のショートカットから、または [起動ディスク] - [ライブラリ] - [Printers] - [hp] - [Utilities] - [HP Printer Utility] の順で選択して HP Printer Utility を起動します。HP Printer Utility プリンタ セレクタが起動し、インストールされているプリンタがプリンタ設定ユーティリティ (Mac OS X 10.4) または [プリントとファクス] (Mac OS X 10.5 以降) に表示されます。

お使いのプリンタを選択し、**選択** をクリックします。これにより、HP Printer Utility が起動します。

この手順に従っても HP Printer Utility にアクセスできない場合は、[189 ページの「HP Printer Utility にアクセスできない」](#)を参照してください。

## 内蔵 Web サーバにアクセスする

内蔵 Web サーバを使用すると、コンピュータで一般的に使用される Web ブラウザから、プリンタをリモート管理することができます。

 **注記：** 内蔵 Web サーバを使用するためには、プリンタの接続方法が TCP/IP である必要があります。

内蔵 Web サーバは、以下のブラウザでアクセスできます。

- Internet Explorer 6 以降 (Windows)
- Netscape Navigator 6.01 以降
- Mozilla 1.5 以降
- Mozilla Firefox 1.0 以降
- Safari 2 以降 (Mac OS)

コンピュータ上で内蔵 Web サーバにアクセスするには、Web ブラウザを開き、プリンタのアドレスを入力します。プリンタのアドレス (**http:** から始まる) は、フロントパネルのステータス画面で確認できます。

用紙をセットできます

http://XXXXX11  
http://192.168.1.1

目を押してメニューを表示します



この手順に従っても内蔵 Web サーバにアクセスできない場合は、[190 ページの「内蔵 Web サーバにアクセスできない」](#)を参照してください。

## HP Printer Utility の言語の変更

HP Printer Utility は、日本語、英語、ポルトガル語、スペイン語、カタロニア語、フランス語、イタリア語、ドイツ語、ロシア語、簡体中国語、繁体中国語、韓国語に対応しています。

- Windows では、**[ツール] - [言語設定]** を選択し、リストから言語を選択します。
- Mac OS では、別のアプリケーションに関しては、言語が変更されます。**[システム環境設定]** で **[言語環境]** を選択し、アプリケーションを再起動します。

## 内蔵 Web サーバの言語を変更する

内蔵 Web サーバは、日本語、英語、ポルトガル語、スペイン語、カタロニア語、フランス語、イタリア語、ドイツ語、ロシア語、簡体中国語、繁体中国語、韓国語に対応しています。Web ブラウザのオプションで指定された言語がここでは選択されます。内蔵 Web サーバが対応していない言語が指定されている場合は、英語が使用されます。

言語を変更するには、Web ブラウザの **[言語の優先順位]** 設定を変更してください。たとえば、Internet Explorer のバージョン 6 を使用している場合は、**[ツール]** メニューに移動し、**[インターネットオプション]** を選択して、次に **[言語]** を選択します。**[言語の優先順位]** ダイアログ ボックスで、使用する言語がリストの最上部に表示されていることを確認します。

変更を完了させるには、Web ブラウザを閉じてから再び開きます。

## 内蔵 Web サーバをパスワードで保護する

1. 内蔵 Web サーバで、**[セットアップ]** タブに移動し、**[セキュリティ]** を選択します。
2. 設定するパスワードを **[新しいパスワード]** フィールドに入力します。
3. 誤ったパスワードで設定されないようにするために、**[パスワードの確認]** フィールドにパスワードを再度入力します。
4. **[パスワードの設定]** をクリックします。

これで、パスワードを入力しないと、内蔵 Web サーバで以下の操作が実行できなくなります。

- キューにあるプリント ジョブの制御 (キャンセル、削除)
- プリント ジョブのプレビューの表示
- 保存ジョブの削除
- アカウンティング情報のクリア

- プリンタ設定の変更
- プリンタのファームウェアのアップデート
- 用紙プリセットのアップデート

パスワードを忘れた場合は、[190 ページの「内蔵 Web サーバにアクセスできない」](#)を参照してください。

## 日付と時刻を設定する

プリンタの日付と時刻の設定は、主にジョブ アカウンティングで役に立ちます ([119 ページの「アカウントデータのエレクトロニックメールによる要求」](#)を参照)。これらの設定は、内蔵 Web サーバまたはフロントパネルから変更できます。

- 内蔵 Web サーバで、[セットアップ] タブに移動し、[日付と時刻] を選択します。
- フロントパネルで [セットアップ] アイコン  を選択し、次に [フロントパネル オプション] - [日付と時刻オプション] - [日付の設定] または [時刻の設定] または [タイム ゾーンの設定] を選択します。

## スリープモード設定を変更する

プリンタの電源をオンにしたまま一定時間使用しない場合、プリンタは電力節約のため自動的にスリープモードへ移行します。プリンタがスリープモードに移行するまでの待機時間を変更するには、

フロントパネルで [セットアップ] アイコン  を選択し、次に [フロントパネル オプション] - [スリープモード待ち時間] を選択します。必要な待ち時間をハイライトして OK ボタンを押します。30 分、60 分、120 分、150 分、180 分、210 分、240 分に設定できます。

## ブザーをオン/オフにする

プリンタのブザーのオン/オフを切り替えるには、フロントパネルで [セットアップ] アイコン  を選択し、[フロントパネル オプション] - [ブザーの有効化] を選択します。オンまたはオフをハイライトし、OK ボタンを押します。デフォルトのブザーはオンに設定されています。

## フロントパネルの表示のコントラストを変更する

フロントパネルの画面コントラストを変更するには、フロントパネルで [セットアップ] アイコン  を選択し、次に [フロントパネル オプション] - [画面コントラストの選択] を選択します。上矢印 または 下矢印 ボタンを使用して値を入力します。OK ボタンを押して、その値を設定します。デフォルトのコントラストは 50 に設定されています。

## 測定単位を変更する

フロントパネルの表示の測定単位を変更するには、フロントパネルで [セットアップ] アイコン  を選択し、次に [フロントパネル オプション] - [単位の選択] を選択して、[インチ] または [メートル] を選択します。デフォルトでは、単位はメートルに設定されています。

## ネットワーク設定を構成する

HP Printer Utility (Windows) からネットワーク設定を指定するには、**[設定] タブ - [ネットワーク設定]** を選択します。HP Printer Utility (Mac OS) の **[設定]** で、**[ネットワーク設定]** を選択します。次のネットワーク設定を表示および構成できます。

- **[IP 設定方法]**: BOOTP、DHCP、自動 IP、および手動で IP アドレスを設定する方法を指定します。
- **[ホスト名]**: ネットワーク デバイスの IP 名を指定します。この名前には、最大で 32 文字 (ASCII 文字) を使用できます。
- **[IP アドレス]**: プリンタ サーバ上の IP アドレスを指定します。TCP/IP ネットワーク上では、重複 IP アドレスは許可されません。

 **注記:** 現在の IP アドレスを変更して **[適用]** をクリックする場合、ブラウザでは古いアドレスを示しているため、ブラウザのプリント サーバへの現在の接続が失われます。接続するには、新しい IP アドレスを参照します。

- **[サブネット マスク]**: サブネット マスクを指定します。サブネット マスクは、IP アドレスに適用される 32 ビットの番号で、ネットワークとサブネットを指定するビットと、ノードを一意に指定するビットを決定します。
- **[デフォルトのゲートウェイ]**: 別のネットワークまたはサブネットワークに接続するために使用されるルータまたはコンピュータの IP アドレスを指定します。存在しない場合は、コンピュータの IP アドレスまたはプリント サーバの IP アドレスを使用します。
- **[ドメイン名]**: プリント サーバが存在する DNS ドメイン名を指定します (たとえば、support.hp.com)。この名前にはホスト名は含まれず、printer1.support.hp.com などの FQDN ではありません。
- **[アイドル タイムアウト]**: アイドル状態の接続が継続される秒数を指定します。270 がデフォルト値です。ゼロに設定された場合、タイムアウトは無効になり、ネットワーク上の別のノード (ワークステーションなど) によって切断されるまで、TCP/IP 接続が継続されます。
- **[デフォルト IP]**: 電源がオンになったとき、または BOOTP または DHCP を使用するように再構成されたときに、プリント サーバがネットワークから IP アドレスを取得できない場合に使用する IP アドレスを指定します。
- **[DHCP 要求の送信]**: 既存のデフォルト IP アドレスまたはデフォルト自動 IP が割り当てられた場合に、DHCP 要求が転送されるかどうかを指定します。

フロントパネルから同じネットワーク設定を指定するには、**[接続] アイコン**  を選択し、**[ギガビットイーサネット] - [設定の変更]** を選択します。

## グラフィック言語の設定を変更する

デフォルトの設定 (**[自動]**) を変更する必要はありません。ただし、HP Printer Utility からグラフィック言語の設定を変更するには、次の手順に従ってください。

1. Windows では、**[設定]** タブを選択し、次に **[プリンタ設定]** - **[印刷設定]** を選択します。

Mac OS では、**[設定]** で、**[プリンタ設定]** を選択し、次に **[プリンタ設定の構成]** - **[印刷設定]** を選択します。

2. 以下のオプションの 1 つを選択します。

- **[自動]** を選択すると、プリンタにより受信ファイルの種類が特定されます。この設定は、大半のソフトウェア アプリケーションに適用されます。
- プリンタ ドライバを経由せずに、PostScript ファイルをプリンタに直接送信する場合に限り、**[PS]** を選択します。
- プリンタ ドライバを経由せずに、PDF ファイルをプリンタに直接送信する場合に限り、**[PDF]** を選択します。
- プリンタ ドライバを経由せずに、該当する種類のファイルをプリンタに直接送信する場合に限り、**[CALS/G4]** を選択します。
- プリンタ ドライバを経由せずに、Tagged Image File Format (TIFF) ファイルをプリンタに直接送信する場合に限り、**[TIFF]** を選択します。
- プリンタ ドライバを経由せずに、Joint Photographic Experts Group (JPEG) ファイルをプリンタに直接送信する場合に限り、**[JPEG]** を選択します。

フロントパネルからグラフィック言語の設定を変更することもできます。**[セットアップ]** アイコン



を選択し、次に **[印刷設定]** - **[グラフィック言語の選択]** を選択します。希望するオプションを選択して **OK** ボタンを押し、値を設定します。



USB 接続を使用している場合は、**[印刷設定]** - **[PostScript の設定]** - **[エンコードの選択]** - **[ASCII]** の順に選択します。

**注記：** HP Printer Utility から選択した設定は、フロントパネルで選択した設定より優先されます。

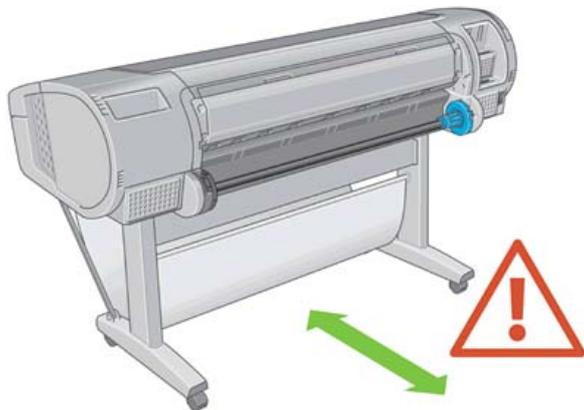


## 4 用紙の取り扱い

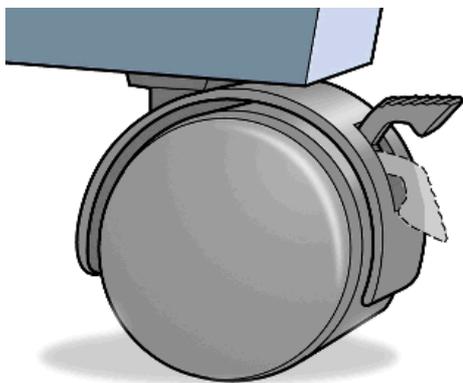
- [一般的なヒント](#)
- [ロール紙をスピンドルに取り付ける](#)
- [ロール紙をプリンタに取り付ける](#)
- [ロール紙を取り外す](#)
- [カット紙を取り付ける](#)
- [カット紙を取り外す](#)
- [用紙に関する情報を表示する](#)
- [用紙プリセット](#)
- [取り付けられている用紙への印刷](#)
- [用紙を移動する](#)
- [用紙を保守する](#)
- [乾燥時間を変更する](#)
- [自動カッターのオン/オフを切り替える](#)
- [用紙を給紙してカットする](#)

## 一般的なヒント

- ☀ **ヒント：** 用紙の取り付けを開始する前に、プリンタの周辺 (プリンタの前後) に十分な空間があることを確認してください。

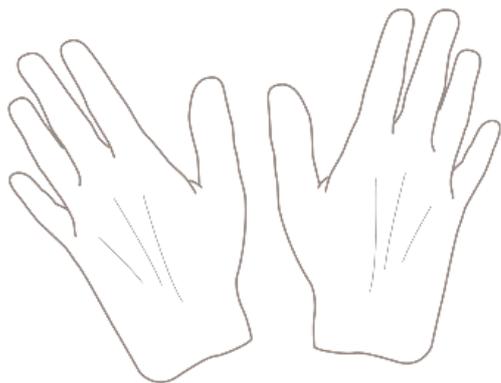


- △ **注意：** プリンタのキャスターがロックされ (ブレーキレバーが押し下げられている状態)、プリンタが動かないようになっていることを確認してください。



すべての用紙は、28cm (11 インチ) 以上である必要があります。A4 および US レター用紙は、横置きに取り付けられません。

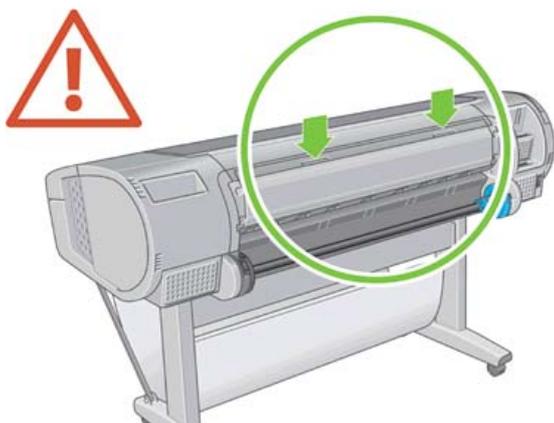
- ☀ **ヒント：** フォト用紙では、用紙に油が付着しないように、綿製の手袋を着用します。



- △ **注意：** 用紙取り付け作業中は、バスケットを閉めてください。

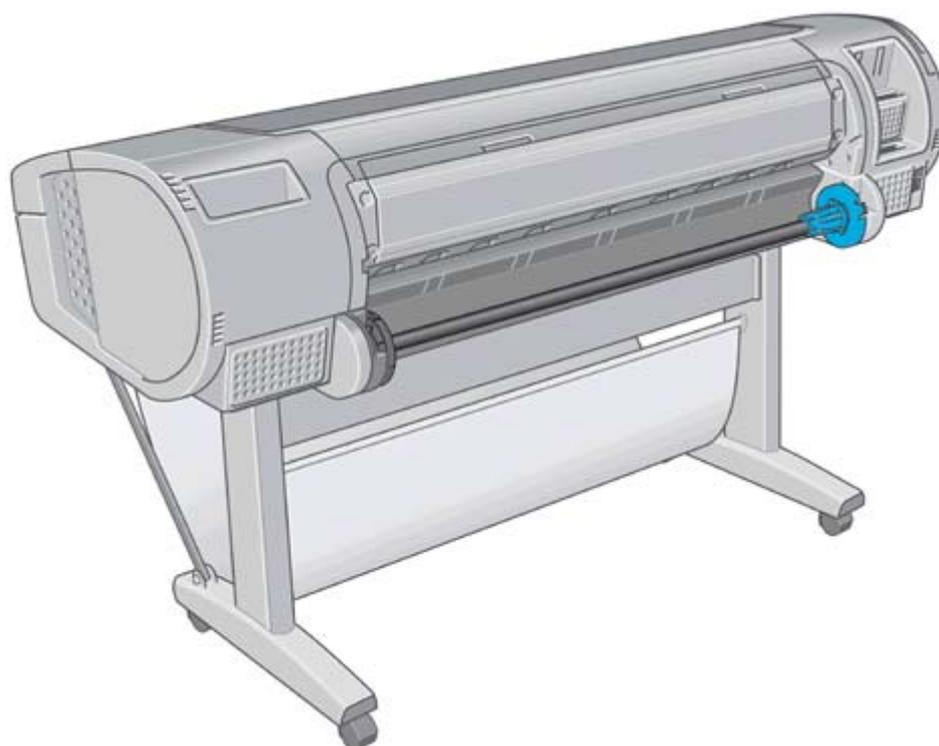
## ロール紙をスピンドルに取り付ける

- △ **注意：** 用紙トレイが閉まっていることを確認してください。



1. スピンドルの右端をプリンタから取り外し、次に左端を取り外します。

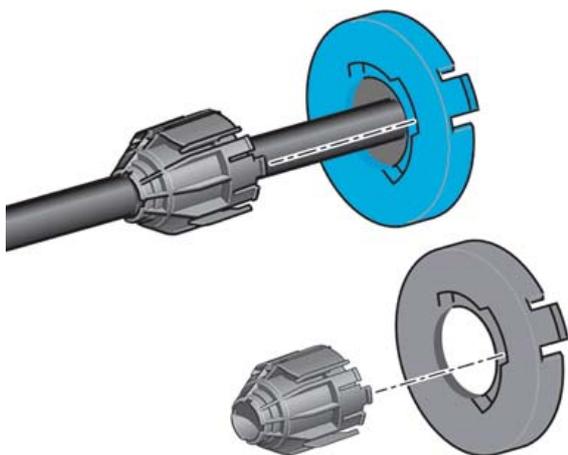
⚠ **警告!** 取り外し作業の最中に、スピンドル サポートに指を入れないでください。



2. スピンドルの両端には、ロール紙を正しい位置に固定するストッパが付いています。青いストッパは、新しいロール紙を取り付けるために取り外すことができます。また、どのような幅のロール紙でも固定できるように、スピンドルに沿ってスライドさせることができます。スピンドルの端から青い用紙ストッパを取り外します。



3. 厚紙製 3 インチ芯のロール紙を使用する場合、プリンタに同梱されている芯アダプタを取り付けます。



4. ロール紙が長い場合は、スピンドルを台の上に水平に置いて、取り付けるようにしてください。

※ **ヒント：** 大きなロール紙の作業には、2 人必要な場合があります。

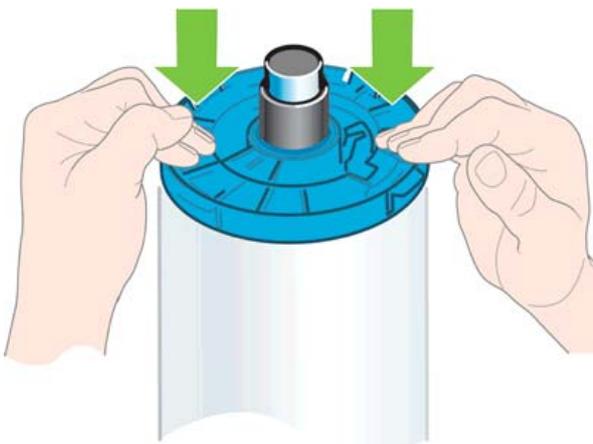
5. 新しいロール紙をスピンドルに取り付けます。用紙の向きは、図のようになるように注意してください。向きを間違えた場合は、ロール紙を外して 180 度回転し、取り付け直します。スピンドルには、正しい向きを示すラベルが付貼されています。

☞ **注記：** プリンタの背面から、青いストッパをスピンドルの右端に差し込みます。



ロール紙の両端とスピンドルのストッパの間には、できるだけ隙間がないようにしてください。

6. スピンドルの開口部に青いストッパを取り付け、ロール紙の端に向けて押し込みます。



7. ロール紙の端に押し込めるところまで適度な力で押し込みます。無理やり押し込まないようにしてください。

さまざまな種類の用紙を日常的に使用する場合は、異なる種類の用紙をあらかじめ取り付けしたスピンドルを複数準備しておく、ロール紙の交換をすばやく行うことができます。追加のスピンドルは別途購入できます ([141 ページの「アクセサリ」](#)を参照)。

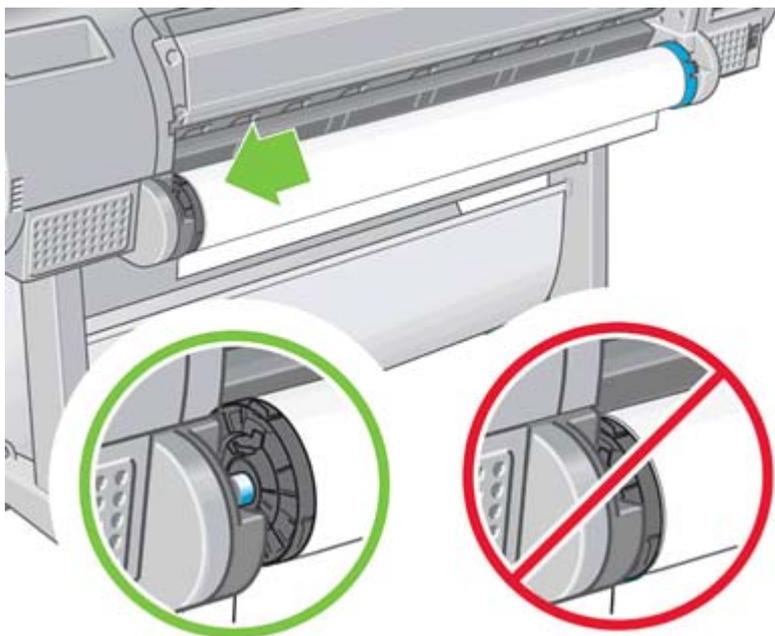
## ロール紙をプリンタに取り付ける

ロール紙を取り付けるには、2つの方法があります。簡単な取り付け手順をお勧めします。

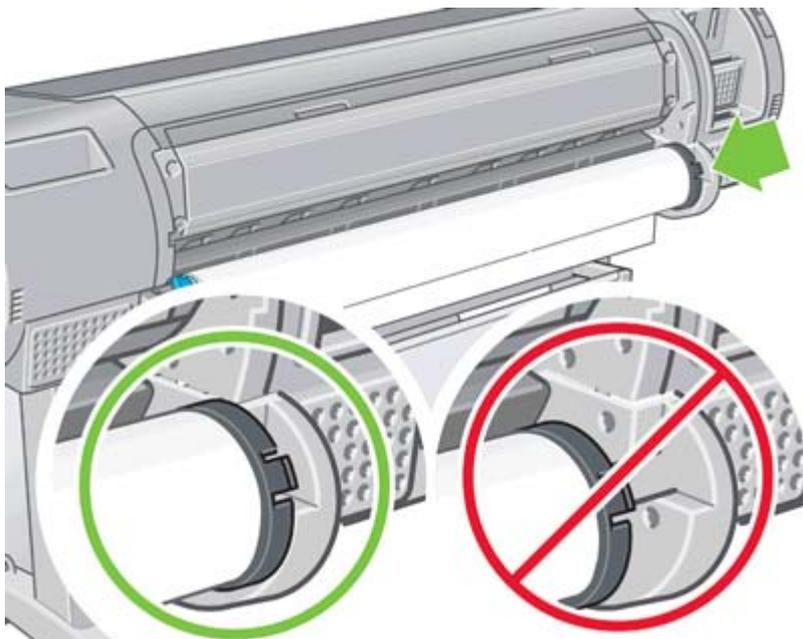
この手順を始める前に、ロール紙をスピンドルに取り付けておく必要があります。[26 ページの「ロール紙をスピンドルに取り付ける」](#)を参照してください。

### 簡単な取り付け手順

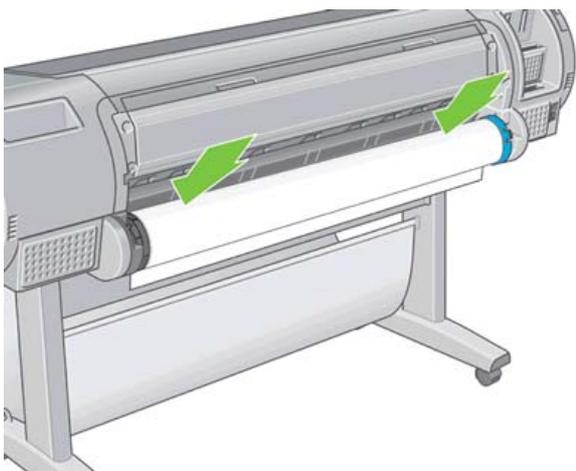
1. プリンタの後ろに立ち、左側のロール紙ホルダーにスピンドルの黒い端を載せます。ロール紙ホルダーに、スピンドルの端を完全に入れしないでください。



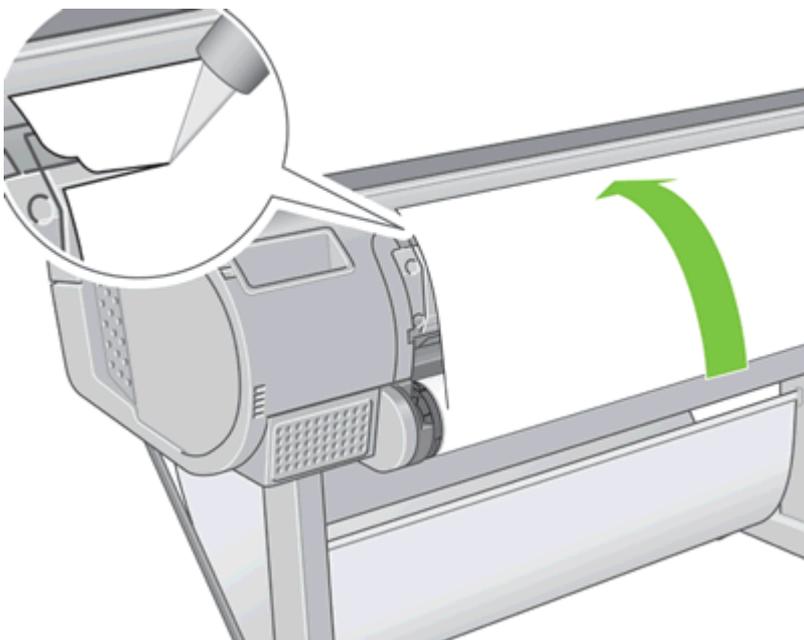
2. 右側のロール紙ホルダーにスピンドルの青い端を載せます。



3. 両手を使って、両端のロール紙ホルダーに同時に押し込みます。スピンドルは所定の位置にぴったりはまります。



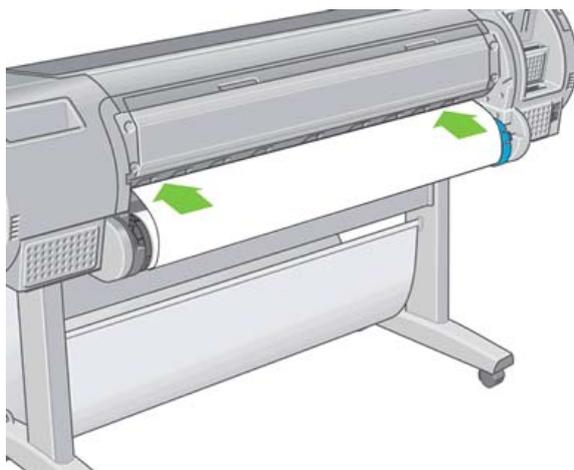
4. ロール紙の端が切れている場合 (ロール紙の端を固定するためのテープが原因で起こる場合があります)、用紙カット用の溝からカットする分だけ送り、カッターを使用して端をまっすぐにカットします。



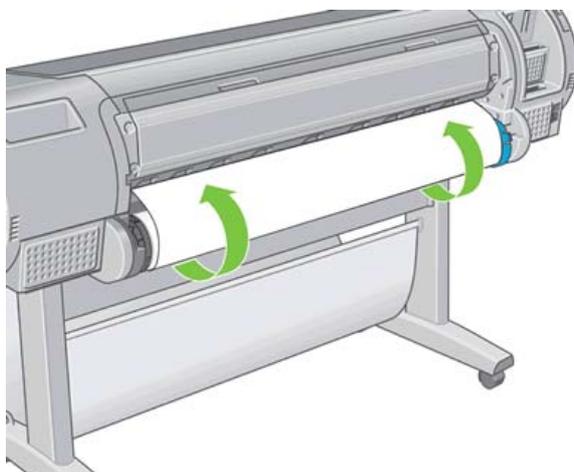
※ **ヒント:** まっすぐでないとう紙を正しく取り付けることができないため、用紙をできるだけ直線にカットします。

5. 用紙の端をフィーダに差し込みます。

△ **注意：** プリンタの用紙経路に指を入れしないでください。



6. スピンドルをフィーダの方向に回します。プリンタが用紙を検出して、用紙をプリンタに自動的に給紙します。



7. 用紙がプリンタに給紙されると、ロール紙またはカット紙のどちらを取り付けるかを尋ねるメッセージがフロントパネルに表示されます。上矢印 および 下矢印 ボタンを使用して **ロール紙** を選択し、OK ボタンを押します。
8. 用紙のカテゴリおよび種類を選択します。

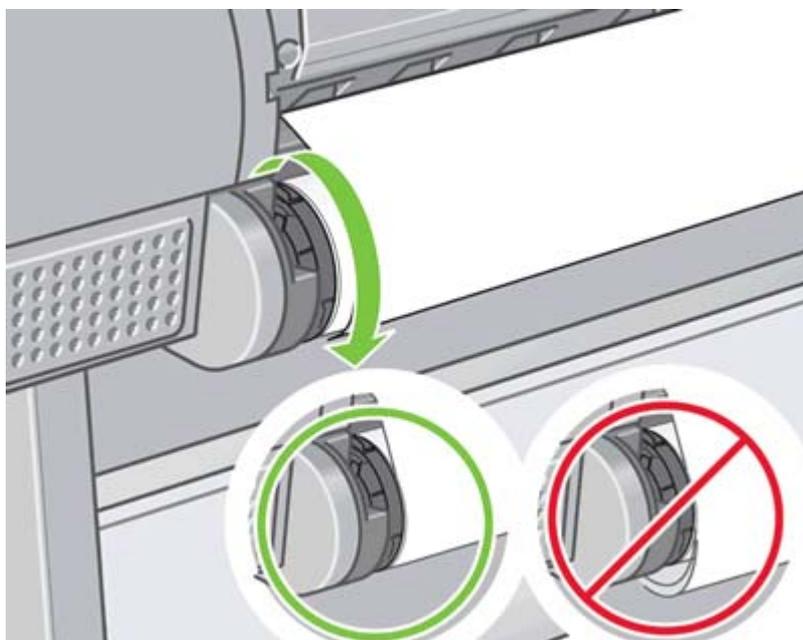
#### 用紙カテゴリの選択

- ▶ 普通紙とコート紙
- ▶ **フォト用紙**
- ▶ A<sup>0</sup>・A<sup>1</sup>・A<sup>2</sup>用半光沢紙
- ▶ 美術用紙
- ▶ フィルム
- ▶ テクニカル用紙

※ **ヒント：** 用紙リストに表示されない用紙の種類を取り付けた場合は、[154 ページの「用紙の種類がドライバに含まれていない」](#)を参照してください。

9. プリンタは位置調整を行い、幅を測定します。光沢用紙または半光沢用紙では、最大限の品質が得られるように先端が帯状にカットされます。その他の種類の用紙はカットされません。

10. フロントパネルをご覧ください。指示が表示される場合があります。
11. ロール紙が正しく取り付けられると、フロントパネルに「印刷可能です」というメッセージが表示され、プリンタが印刷できる状態になります。ロール紙が正しく取り付けられていない場合は、フロントパネルに表示される指示に従います。
12. ロール上で用紙がたるんでいる場合は、ピンと張るまでスピンドルの端で軽く巻き直します。



☞ **注記：** 用紙の取り付けのいずれかの段階で予想外の問題が発生した場合は、[152 ページの「用紙が正しく取り付けられない」](#)を参照してください。

💡 **ヒント：** 印刷した用紙がバスケットに落ちると、破れたり、別の印刷された用紙のインクが付着することがあります。これを防止するには、印刷された用紙がカットされたらすぐに取り出し、バスケットに入らないようにしてください。別な方法として、自動カッターをオフにして ([45 ページの「自動カッターのオン/オフを切り替える」](#)を参照)、**排紙/カット** ボタンで印刷した用紙を取り出すこともできます。

## 用紙のメニューの手順

用紙の取り付け方法には、用紙のメニューから行う方法もあります。

1. [29 ページの「簡単な取り付け手順」](#)の手順 1 から手順 5 の指示に従います。
2. フロントパネルで [用紙] アイコン  を選択します。
3. [用紙の取り付け] を選択します。

用紙

▣ **用紙の取り付け**

- ▶ 用紙の取り外し
- ▶ 用紙情報の表示

- ▣ 取り付けた用紙の種類を変更
- ▣ 用紙の種類のリスト

4. [ロール紙の取り付け] を選択します。

用紙の取り付け

- ロール紙の取り付け
- カット紙の取り付け

5. 簡単な取り付け手順の 9 以降を実行します (31 ページの [用紙のカテゴリおよび種類を選択します。](#)を参照)。

## ロール紙を取り外す

ロール紙を取り外す前に、ロールに用紙があるかどうか、または用紙の最後がロールからすでに外れているかどうかを確認し、以下に説明する適切な手順に従ってください。

※ **ヒント：** 印刷中は用紙に触れないでください。印刷品質に問題が発生する原因となります。

### ロールに用紙がある場合の用紙の取り外し ボタンの手順

ロールに用紙がある場合は、以下の手順に従ってください。

1. フロントパネルの **用紙の取り外し** ボタンを押します。
2. フロントパネルにメッセージが表示されたら、左の青いレバーを上げます。
3. フロントパネルにメッセージが表示されたら、プリンタから取り除かれるまで、スピンドルの端で用紙を軽く巻き取ります。
4. フロントパネルにメッセージが表示されたら、青いレバーを下げます。

### ロールに用紙がある場合の用紙のメニューの手順

ロールに用紙がある場合、フロントパネルからもこの処理を開始できます。

1.  アイコンを選択します。
2. [用紙の取り外し] を選択します。

用紙

- ▣ 用紙の取り付け
- ▶ **用紙の取り外し**
- ▶ 用紙情報の表示
- ▣ 取り付けられた用紙の種類を変更
- ▣ 用紙の種類のリスト

3. **用紙の取り外し** ボタンの手順 2 から実行します。

## ロールに用紙がない場合の手順

用紙の最後がロールからすでに外れている場合は、以下の手順に従ってください。

1. すでに用紙の取り外しを開始している場合は、フロントパネルの **キャンセル** ボタンを押して、その手順をキャンセルします。
2. 左側の青いレバーを上げます。フロントパネルにレバーに関する警告が表示された場合は、無視してください。
3. プリンタから用紙を引き出します。用紙に触れることができる場所から引き出します。プリンタの背面から引き出すことをお勧めします。
4. 青いレバーを下げます。
5. フロントパネルに警告メッセージが表示された場合は、**OK** ボタンを押してメッセージを消します。

## カット紙を取り付ける

カット紙を取り付けるには、2つの方法があります。簡単な取り付け手順をお勧めします。

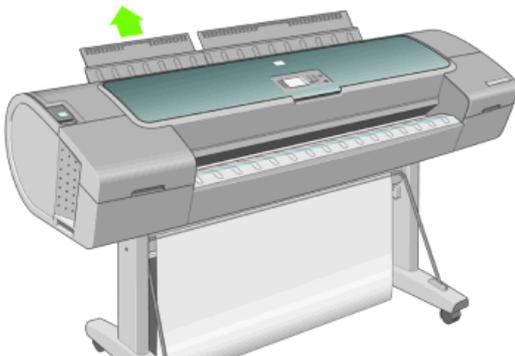
カット紙を取り付けるには、その前にロール紙を取り外す必要があります (33 ページの「[ロール紙を取り外す](#)」および 37 ページの「[カット紙を取り外す](#)」を参照)。

 **注記：** 0.5mm より厚手のカット紙では、カット紙の長さと同じスペースをプリンタの背面に取る必要があります。

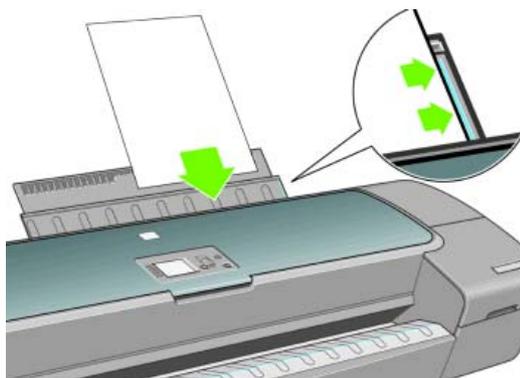
### 簡単な取り付け手順

1. プリンタの前面に立って、用紙トレイを開きます。

 **ヒント：** トレイを開くことが困難な場合は、プリンタの背面から作業を行ってください。



2. フィーダにカット紙を挿入します。カット紙を取り付け線に合わせて取り付け、厚手のカット紙では、それ以上入らなくなるまで用紙を挿入します。プリンタは、カット紙を3秒で検出します。秒読みは、フロントパネルディスプレイに表示されます。



△ **注意：** プリンタの用紙経路に指を入れないでください。

3. 秒読み後、用紙がプリンタに給紙されます。カット紙がまっすぐ挿入されるように手を添えます。これは、特に厚手用紙で重要です。
4. ロール紙、カット紙 (スキューチェックあり)、カット紙 (スキューチェックなし) のいずれを取り付けるかを尋ねるメッセージがフロントパネルに表示されます。上矢印 および 下矢印 ボタンを使用して、[カット紙、スキューチェックあり] または [カット紙、スキューチェックなし] を選択します。

☞ **注記：** [カット紙、スキューチェックあり] オプションを選択することをお勧めします。

**注記：** スキューチェックなしで取り付ける場合、印刷プレビューが正しく機能しない可能性があります。54 ページの「印刷をプレビューする」を参照してください。

5. 用紙のカテゴリおよび種類を選択します。

#### 用紙カテゴリの選択

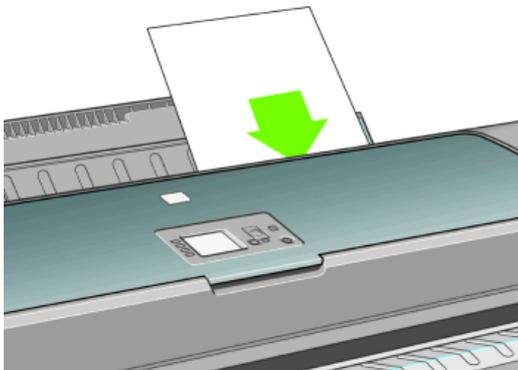
- ▶ 普通紙とコート紙
- ▶ **フォト用紙**
- ▶ A<sup>4</sup> ルーフ用半光沢紙
- ▶ 美術用紙
- ▶ フィルム
- ▶ テクニカル用紙

☼ **ヒント：** 用紙リストに表示されない用紙の種類を取り付けた場合は、154 ページの「用紙の種類がドライバに含まれていない」を参照してください。

6. [用紙の取り付け]メニューで[カット紙、スキューチェックあり]を選択すると、プリンタによって位置調整の確認とカット紙の測定が行われます。

📖 **注記：** カット紙の長さによっては、プリンタ前面に排紙されます。

[カット紙、スキューチェックなし]を選択した場合は、手動でカット紙の位置調整を行う必要があります。



7. 用紙が正しく取り付けられると、フロントパネルに「印刷可能です」というメッセージが表示され、プリンタが印刷できる状態になります。用紙がまっすぐ取り付けられていない場合は、フロントパネルに表示される指示に従います。

📖 **注記：** 正しく取り付けられると、カット紙はプリンタ背面に給紙されます。

**注記：** 用紙の取り付けのいずれかの段階で予想外の問題が発生した場合は、[152 ページの「用紙が正しく取り付けられない」](#)を参照してください。

## 用紙のメニューの手順

用紙の取り付け方法には、フロントパネルから行う方法もあります。

1. 簡単な取り付け手順の 1 を実行します。

2. フロントパネルで [用紙] アイコン  を選択します。

メイン メニュー



📄 用紙

3. [用紙の取り付け] を選択します。

用紙

- 用紙の取り付け
- ▶ 用紙の取り外し
- ▶ 用紙情報の表示
- 取り付けた用紙の種類を変更
- 用紙の種類のリスト

4. [カット紙、スキュー チェックあり] または [カット紙、スキュー チェックなし] を選択します。

用紙の取り付け

- ロール紙の取り付け
- カット紙の取り付け

 **注記：** [カット紙、スキュー チェックあり] オプションを選択することをお勧めします。

**注記：** スキュー チェックなしで取り付ける場合、印刷プレビューが正しく機能しない可能性があります。54 ページの「印刷をプレビューする」を参照してください。

5. 簡単な取り付け手順の 5 以降を実行します (35 ページの [用紙のカテゴリおよび種類を選択します。](#) を参照)。

## カット紙を取り外す

印刷せずに用紙を取り外すには、[用紙の取り外し](#) ボタンまたは用紙のメニューの手順を使用します。

印刷後にカット紙を取り外すには、プリンタの前面から用紙を引き出します。

 **ヒント：** 印刷中は用紙に触れないでください。印刷品質に問題が発生する原因となります。

### 用紙の取り外し ボタンの手順

1. フロントパネルの [用紙の取り外し](#) ボタンを押します。
2. カット紙がプリンタの前面に排紙されます。手動で取り出すか、バスケットに落としておくことができます。

## 用紙のメニューの手順

フロントパネルの [用紙] メニューからカット紙を取り外すこともできます。

1. フロントパネルで [用紙] アイコン  を選択します。

メイン メニュー



用紙

2. [用紙の取り外し] を選択します。カット紙がプリンタの前面に排紙されます。手動で取り出すか、バスケットに落としておくことができます。

用紙

- 用紙の取り付け
- ▶ 用紙の取り外し
- ▶ 用紙情報の表示
- 用紙の種類を変更
- 用紙の種類のリスト

## 用紙に関する情報を表示する

取り付けた用紙の情報を表示するには、フロントパネルにある **用紙情報の表示** ボタンを押します。

また、[用紙] アイコン  を選択し、次に [用紙情報の表示] を選択することもできます。

フロントパネルに、以下の情報が表示されます。

- ロール紙またはカット紙のステータス
- 選択した用紙の種類
- 用紙の幅 (推定値)
- 用紙の長さ (推定値)
- カラーキャリブレーション ステータス
- 拡張精度キャリブレーション ステータス

**注記：** スキューチェックなしでカット紙を取り付けると、プリンタで正確に長さを推定できないため、推定の長さは無視されます。

用紙が取り付けられていない場合は、「ステータス：用紙がありません」というメッセージが表示されます。

HP Printer Utility の [サプライ品] ページにも、カラーキャリブレーション ステータス、拡張精度キャリブレーション ステータスを除いて同じ情報が表示されます。

 **注記：** フォト用紙とコート紙の取り扱いには注意が必要です ([165 ページの「印刷が擦り切れる、または傷がつく」](#)を参照)。

## 用紙プリセット

サポートされている用紙の種類にはそれぞれ独自の特徴があるため、最適な印刷品質を実現するために、用紙の種類によってプリンタの印刷方法が変更されます。用紙には、多量のインクを必要とする用紙もあれば、乾燥に長い時間を要する用紙もありますが、用紙の種類ごとに必要な設定の詳細をプリンタに伝える必要があります。この詳細のことを「用紙プリセット」といいます。用紙プリセットには、用紙の色の特徴を記述する ICC プロファイルや、色とは直接関連がない用紙の特徴および要件も含まれています。このプリンタの既存の用紙プリセットは、プリンタのソフトウェアにすでにインストールされています。

ただし、プリンタで使用可能なすべての用紙を表示するとスクロールに不便なため、このプリンタでは、一般的に最もよく使用される用紙の種類のみが用意されています。プリンタにプリセットがない用紙の種類を使用する場合は、フロントパネルの表示からその用紙の種類を選択できません。

新しい用紙の種類にプリセットを割り当てるには 3 つの方法があります。

- Web からダウンロードした用紙プリセットをインポートします。[39 ページの「ダウンロードした用紙プリセットをインストールする方法」](#)を参照してください。
- HP Color Center を使用して、独自の用紙プリセットを作成できます。[40 ページの「独自の用紙プリセットを作成する方法」](#)を参照してください。
- 熟練したユーザは、HP Color Center を使用して用紙プリセットを作成し調整できます。[41 ページの「高度な用紙プリセットの作成」](#)を参照してください。

 **注記：** 最大 30 種類のカスタム用紙と追加用紙を使用できます。カスタム用紙または追加用紙のプリセットを削除するには、Color Center に移動し、[用紙プリセット管理] - [用紙プリセットの削除] を選択します。プリンタに用意されている用紙プリセットは、削除できません。

## ダウンロードした用紙プリセットをインストールする方法

1. <http://www.hp.com/go/z3200ps/paperpresets/>または用紙製造元の Web サイトに該当する用紙のプリセットが見つかったら、[今すぐダウンロード] ボタンをクリックして用紙プリセット (.oms ファイル) をコンピュータに保存します。

 **注記：** 必要な用紙プリセットが Web 上にない場合、プリンタの最新のファームウェアに追加されている場合があります。ファームウェアのリリース ノートを参照して、情報を確認してください ([138 ページの「ファームウェアをアップデートする」](#)を参照)。

2. 新しいプリセットのインストールを開始する前に、プリンタがアイドル状態であり、プリンタキューが停止していることを確認してください。新しい用紙プリセットをインストールすると、印刷の実行が中断します。
3. HP Printer Utility または内蔵 Web サーバを開始します。
  - HP Printer Utility で、[Color Center] - [用紙プリセットのインポート] を選択します。
  - 内蔵 Web サーバで [セットアップ] タブ - [用紙プリセット管理] - [インポート] タブを選択します。
4. [インポート] ページで、手順 1 でダウンロードした用紙プリセット ファイルを選択します。

5. **[アップデート]** ボタンをクリックし、アップデート処理が終了するのを待ちます。時間がかかることがあります。アップデート処理が終了すると、プリンタは自動的に再起動します。再起動して、フロントパネルに準備ができたことが表示されるまでお待ちください。
6. プリンタのフロントパネルで、**[追加の用紙]** または **[カスタム用紙]** のカテゴリに新しい用紙の種類が表示されていることを確認します。
7. HP Printer Utility を開き、新しい用紙の種類をドライバと同期します。プリンタを選択し、**[Color Center]** タブ - **[用紙プリセット管理]** - **[用紙プリセットの同期]** (Mac OS の  ボタン) を選択します。

用紙プリセットをインポートしたので、フロントパネルおよびドライバから用紙の種類を選択できます。新しい用紙の種類は ICC プロファイルは、アプリケーションで使用できます。

## 独自の用紙プリセットを作成する方法

カスタム用紙の種類をプリンタで使用するには、新しい用紙のプリセットをプリンタに追加する必要があります。HP Printer Utility の HP Color Center を使用すると、新しい用紙プリセットを作成できます。

用紙プリセット名がプリンタ ドライバとフロントパネルに表示されます。

用紙プリセットを作成するには、以下の簡単な手順に従ってください。

1. HP Printer Utility (Windows) の **[Color Center]** タブまたは HP Printer Utility (Mac OS) の HP Color Center グループに移動します。
2. **[新しい用紙プリセットの作成]** を選択します。
3. 用紙名を入力します。

 **ヒント：** 用紙の商品名を使用すると、プリンタの他のユーザにもわかりやすくなります。

4. プルダウンメニューから用紙のカテゴリを選択します。用紙のカテゴリは、使用するインク量とその他の基本的な印刷パラメータを決定します。詳細については、Color Center のオンラインヘルプ  および <http://www.hp.com/go/Z3200ps/paperpresets/> を参照してください。以下のカテゴリを使用できます。

- **[普通紙とコート紙]**：ファイバーベースでつや消しの薄手の用紙です。これらの用紙には、マットブラックインクを使用し、グロスエンハンサは使用しません。比較的インク量を低くし、キャリッジ位置を高くします。
- **[フォト用紙]**：比較的厚手のフォトベース用紙で、つや消しや半光沢から光沢までさまざまな仕上げがあります。これらの用紙にはフォトブラックインクを使用し、つや消しフォト用紙以外にはグロスエンハンサを使用します。パライタとつや消しフォト用紙以外では比較的インク量を高くし、キャリッジ位置を低くします。通常はスターホイールを上げて印刷します。
- **[ブルーフ用紙]**：つや消しや半光沢から光沢までさまざまな種類があり、高いカラー精度が要求される商業印刷のシミュレーションに使用されます。
- **[ファインアート紙]**：キャンバス、つや消し、ペーパーベースのフォト用紙で、高品質のファインアートの印刷に使用されます。これらの用紙にはマットブラックインクを使用し、半光沢キャンバスとパール以外にはグロスエンハンサは使用しません。半光沢キャンバスとパールには、フォトブラックとグロスエンハンサを使用します。いずれの場合も、キャリッジ位置とインク量を高くします。
- **[フィルム]**：合成のフィルムベース用紙で、通常はフォトブラックを使用し、グロスエンハンサは使用しません。インク量は比較的低くし、キャリッジ位置を高くします。
- **[バックライト]**：合成の透明紙で、フォトブラックを使用し、グロスエンハンサは使用しません。インク量とキャリッジ位置を高くし、スターホイールを上げます。

5. [次へ] をクリックします。
6. カスタム用紙を取り付けます (29 ページの「[ロール紙をプリンタに取り付ける](#)」または 34 ページの「[カット紙を取り付ける](#)」を参照)。フロントパネルの [カスタム用紙] カテゴリに用紙名が表示されます。
7. Color Center で ICC プロファイル名を選択します。この名前は、アプリケーションでプロファイルの選択に使用します。
8. [次へ] をクリックします。
9. 用紙の種類によっては、プリンタでカラーキャリブレーションを実行するか (約 10 分間)、ICC プロファイルを作成することができます (約 20 分間)。

用紙プリセットを作成したので、フロントパネル、およびドライバの [カスタム用紙] カテゴリから用紙の種類を選択できます。新しい用紙の種類の ICC プロファイルは、アプリケーションで使用できます。

新しい用紙プリセットは、コンピュータにエクスポートし、他の HP Designjet Z3200 シリーズ プリンタで使用できます。Color Center で、[用紙プリセット管理] - [用紙プリセットのエクスポート] を選択し、画面の指示に従います。別のプリンタにプリセットをインストールするには、[39 ページの「ダウンロードした用紙プリセットをインストールする方法」](#)を参照してください。

## 高度な用紙プリセットの作成

高度な用紙プリセットの作成には、試行やエラーのプロセスが含まれています。このプロセスを通じて、最適な印刷品質を得られるように新しいプリセットの印刷プロパティを変更します。

1. HP Printer Utility (Windows) の [Color Center] または HP Printer Utility (Mac OS) の HP Color Center グループに移動します。
2. **用紙プリセット管理** を選択します。
3. Windows の場合は [用紙プリセットの作成] を選択します。Mac OS の場合は [+] をクリックします。
4. 用紙名を入力します。

 **ヒント：** 用紙の商品名を使用すると、プリンタの他のユーザにもわかりやすくなります。

5. プルダウンメニューから用紙のカテゴリを選択します。用紙のカテゴリは、使用するインク量とその他の基本的な印刷パラメータを決定します。詳細については、Color Center のオンラインヘルプ  および <http://www.hp.com/go/Z3200ps/paperpresets/> を参照してください。以下のカテゴリを使用できます。
  - **[普通紙とコート紙]：** ファイバーベースでつや消しの薄手の用紙です。これらの用紙には、マットブラックインクを使用し、グロスエンハンサは使用しません。比較的インク量を低くし、キャリッジ位置を高くします。
  - **[フォト用紙]：** 比較的厚手のフォトベース用紙で、つや消しや半光沢から光沢までさまざまな仕上げがあります。これらの用紙にはフォトブラックインクを使用し、つや消しフォト用紙以外にはグロスエンハンサを使用します。バライタとつや消しフォト用紙以外では比較的インク量を高くし、キャリッジ位置を低くします。通常はスターホイールを上げて印刷します。
  - **[プルーフ用紙]：** つや消しや半光沢から光沢までさまざまな種類があり、高いカラー精度が要求される商業印刷のシミュレーションに使用されます。
  - **[ファインアート紙]：** キャンバス、つや消し、ペーパーベースのフォト用紙で、高品質のファインアートの印刷に使用されます。これらの用紙にはマットブラックインクを使用し、半光沢キャンバスとパール以外にはグロスエンハンサは使用しません。半光沢キャンバス

とパールには、フォトブラックとグロス エンハンサを使用します。いずれの場合も、キャリッジ位置とインク量を高くします。

- **[フィルム]**：合成のフィルムベース用紙で、通常はフォトブラックを使用し、グロス エンハンサは使用しません。インク量は比較的低くし、キャリッジ位置を高くします。
- **[バックライト]**：合成の透明紙で、フォトブラックを使用し、グロス エンハンサは使用しません。インク量とキャリッジ位置を高くし、スターホイールを上げます。

6. 必要に応じて、**[印刷プロパティの変更]** ボタンを使用して次のプロパティを変更します。

- **[用紙の厚さ]**：キャリッジの高さまたはプラテンの間隔に関係します。用紙の重さが 250 g/m<sup>2</sup> を超える場合またはプラスチックコートされていない場合は、**[厚い]** を選択する必要があります。
- **[乾燥時間]**：デフォルトの **[自動]** を使用することをお勧めしますが、必要に応じて **[長い]** に変更できます。
- **[スターホイール]**：スターホイールを上げてまたは下げて印刷します。
- **[カッター]**：カッターを有効にすることも無効にすることもできます。
- **[グローバル インク量]**：最初はそのままにして、印刷結果に応じて変更します。
- **[グロス エンハンサ量]**：最初はそのままにして、印刷結果に応じて変更します。

 **注記**： オプションがグレーアウトされている場合は、そのオプションは選択した用紙の種類で使用できないことを示します。

用紙の種類によっては、異なるインク量 (少ない/標準/多い) で使用できるものもあります。インク量は一般的に色域の量に比例しますが、インク量が高いと印刷時にアーチファクト (にじみ、コアレスセンスなど) が生成されることがあります。HP 用紙には微調整されたインク量が使用されますが、他の用紙では一般的なインク量が使用されます。

7. **[次へ]** をクリックします。

8. カスタム用紙を取り付けます (29 ページの **「ロール紙をプリンタに取り付ける」** または 34 ページの **「カット紙を取り付ける」** を参照)。フロントパネルの **[カスタム用紙]** カテゴリに用紙名が表示されます。

9. Windows で用紙のキャリブレーションを求められた場合は、**[はい]** を選択します。Mac OS では、**[用紙プリセット管理] - [用紙のキャリブレーション]** を選択します。カラーキャリブレーションの詳細については、71 ページの **「カラーキャリブレーション」** を参照してください。

10. 選択した画像を印刷して、色域、コアレスセンス、斑点、変色や光沢の均一性を確認できます。印刷結果に満足できない場合は、印刷プロパティを変更して別のキャリブレーションを開始できます。たとえば、以下が可能になります。

- より高い品質の色域を実現するには、インク量を増やす、または 同じ用紙の種類の **[ハイインク]** を選択します (使用できる場合)。
- コアレスセンスを減らすには、インク量やグロス エンハンサの量を減らす、または 同じ用紙の種類の **[ローインク]** を選択します (使用できる場合)。
- 変色を減らしたり光沢の均一性を高めるには、グロス エンハンサの量を調節します。

詳細については、Color Center のオンライン ヘルプ  を参照してください。

11. 最終的な印刷プロパティから、以下の 3 つのオプションのうち 1 つを使用して用紙の ICC プロファイルを作成することができます。
- Color Center を使用した標準的なプロセスです (73 ページの「[カラー プロファイリング](#)」を参照)。
  - HP Advanced Profiling Solution です (プリンタに同梱されています)。HP Advanced Profiling Solution の詳細については、独自のマニュアルおよび <http://www.hp.com/go/z3200ps/solutions/> も参照してください。
  - サードパーティ製のプロファイリング プログラムです (75 ページの「[カラー計測](#)」を参照)。
12. 用紙の ICC プロファイルを作成して調整が終わったら、Color Center でこのプロファイルを用紙プリセットにリンクすることができます。[用紙プリセット管理] - [プロファイルのインストール] を選択します。標準的な Color Center のプロファイル作成プロセスを使用している場合は、プロファイルが用紙プリセットに自動的にリンクされるため、この手順は必要ではありません。

Color Center で利用できる処理の詳細については、70 ページの「[カラーマネジメント プロセスの概要](#)」を参照してください。

用紙プリセットを作成したので、フロントパネル、およびドライバの [カスタム用紙] カテゴリから用紙の種類を選択できます。新しい用紙の種類の ICC プロファイルは、アプリケーションで使用できます。

新しい用紙プリセットは、コンピュータにエクスポートし、他の HP Designjet Z3200 シリーズ プリンタで使用できます。Color Center で、[用紙プリセット管理] - [用紙プリセットのエクスポート] を選択し、画面の指示に従います。別のプリンタにプリセットをインストールするには、39 ページの「[ダウンロードした用紙プリセットをインストールする方法](#)」を参照してください。

## 取り付けられている用紙への印刷

プリンタに取り付けられている任意の用紙にジョブを印刷するには、プリンタ ドライバの [用紙の種類] オプションで [任意] を選択します。

- Windows ドライバのダイアログの場合：[用紙/品質] タブを選択し、[用紙の種類] プルダウンメニューから [任意] を選択します。
- Mac OS の PCL3 の [プリント] ダイアログの場合：[用紙の種類/品質] パネルを選択し、[用紙の種類] プルダウンメニューから [任意] を選択します。
- Mac OS の PostScript の [プリント] ダイアログの場合：[イメージ品質] パネルを選択し、[用紙の種類] プルダウンメニューから [任意] を選択します。

 **注記：** [任意] は、用紙の種類のデフォルト値です。

## 用紙を移動する

プリンタがアイドル状態 (印刷可能) な場合、フロントパネルから用紙を前後に移動できます。この操作は、前回の印刷と次の印刷の間の余白を増減する場合に行います。

用紙を移動するには、[用紙] アイコン  - [用紙を移動] を選択します。

## 用紙を移動

- ▲ を押して用紙を巻き取ります
- ▼ を押して用紙を送ります

OK を押して続行してください

用紙を前に移動するには、フロントパネルの **上矢印** ボタンを押し、後ろに移動するには、**下矢印** ボタンを押します。用紙を希望の場所に配置したら、**OK** ボタンを押します。

## 用紙を保守する

用紙の品質を保守するには、以下の推奨事項に従ってください。

- ロール紙を別の紙または布で覆って保管する。
- カット紙をカバーで覆って保管し、プリンタに取り付ける前にクリーニングまたはブラッシングする。
- 入出力プラテンとカット紙トレイをクリーニングする。
- プリンタの透明のウィンドウを常に閉じておく。

 **注記：** フォト用紙とコート紙の取り扱いには注意が必要です (165 ページの「印刷が擦り切れる、または傷がつく」を参照)。

## 乾燥時間を変更する

複数印刷で時間がより重要な場合、取り扱う前にインクが乾燥している必要がある場合など、印刷状況によっては、乾燥時間を変更する必要があります。

 **注記：** ほとんどの種類の用紙では、乾燥時間が必要ありません。

[セットアップ] アイコン  - [用紙の取り扱い] - [乾燥時間の選択] を選択します。次のオプションを選択できます。

- 長い：インクが完全に乾燥するように、推奨時間より長く設定します。
- 最適：選択した用紙のデフォルト時間 (推奨) に設定します。
- 短い：品質の重要性が低い場合は、推奨時間より短く設定します。
- なし：乾燥時間を無効にして、印刷が終了するとすぐに印刷された用紙を取り出します。

 **ヒント：** 印刷された用紙が取り出される際にインクが乾燥していない場合は、出力トレイにインクを付けたたり、印刷された用紙にインクを残したりすることがあります。

 **注記：** 印刷中に乾燥時間をキャンセルすると、同時に実行されているプリントヘッド保守が原因で、プリンタが用紙を正しく給紙してカットできなくなります。乾燥時間がゼロの場合は、プリンタは用紙をカットして、次にプリントヘッド保守を実行します。ただし、乾燥時間がゼロより大きい場合、プリントヘッド保守が終了するまでは、**排紙/カット** ボタンが押されたとしても、プリンタは用紙をカットしません。

## 自動カッターのオン/オフを切り替える

プリンタの用紙カッターのオン/オフを切り替えるには、以下の手順に従ってください。

- HP Printer Utility (Windows) で、**[設定]** タブを選択し、**[プリンタ設定] - [詳細設定]** を選択して **[カッター]** オプションを変更します。
- HP Printer Utility (Mac OS) の **[設定]** グループで、**[プリンタ設定] - [プリンタ設定の構成]** を選択し、**[プリンタ設定] - [詳細設定]** を選択して **[カッター]** オプションを変更します。
- 内蔵 Web サーバで、**[セットアップ]** タブ - **[プリンタ設定]** を選択し、**[プリンタ設定] - [詳細設定]** を選択して **[カッター]** オプションを変更します。
- フロントパネルで、**[セットアップ]** アイコン  - **[用紙の取り扱い] - [カッターの有効化]** を選択します

 **注記：** 自動カッターが無効になっているときにロール紙をカットするには、**45 ページの「用紙を給紙してカットする」**を参照してください。

## 用紙を給紙してカットする

自動カッターが無効になっているとき、または用紙の前面の端がまっすぐでない場合に用紙を給紙してカットするには、フロントパネルで **排紙/カット** ボタンを押します。用紙が前に送られ、フロントパネルにメッセージが表示されます。

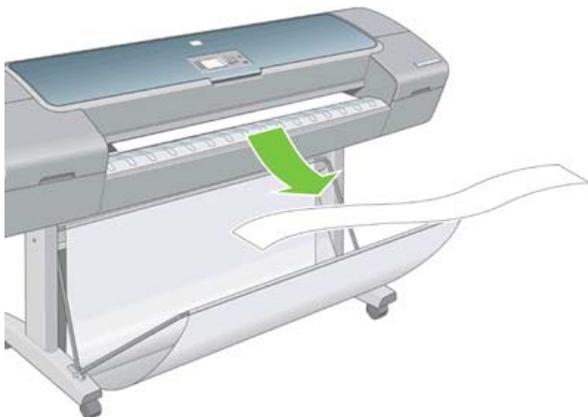
**上矢印ボタンまたは下矢印ボタンを押してカット位置を選択してください**

**OK** ボタンを押すと、用紙の前の端から 4 インチの幅で用紙が帯状にまっすぐ切り取られます。

別な方法として、**上矢印** ボタンと **下矢印** ボタンを押して切り取る用紙の幅を増減させることができます (最小 2 インチ)。ウィンドウを開け、カット位置を確認します。この位置は、キャリッジの端にあるはさみのラベルが示しています。ウィンドウを開けたまま、用紙を移動することができます。用紙の移動が終了したら、ウィンドウを閉じ、**OK** ボタンを押します。

 **注記：** 用紙が印刷されるたびにプリントヘッドで保守サービスが行われ、この処理が終了するまで用紙がカットできなくなるので、プリンタで用紙がすぐにカットされないことがあります。

用紙がカットされたら、出力トレイからカットされた用紙を取り除きます。



 **注記：** 出力トレイに用紙の切れ端や短い印刷用紙が残っている場合は、プリンタで紙詰まりが発生することがあります。

**注記：** フォト用紙とコート紙の取り扱いには注意が必要です (165 ページの「印刷が擦り切れる、または傷がつく」を参照)。

## 5 印刷

- [印刷ジョブを作成する](#)
- [印刷品質を選択する](#)
- [用紙サイズを選択する](#)
- [マージン オプションを選択する](#)
- [ショートカットを使用して印刷する](#)
- [印刷を拡大縮小する](#)
- [印刷をプレビューする](#)
- [試し印刷をする](#)
- [高品質で印刷する](#)
- [16 ビット カラー イメージの印刷](#)
- [グレイ階調で印刷する](#)
- [マージンなしで印刷する](#)
- [イメージの回転](#)
- [切り取り線付きで印刷する](#)
- [カット紙への印刷](#)
- [用紙を節約する](#)
- [ジョブをネスティングしてロール紙を節約する](#)
- [インクを節約する](#)

## 印刷ジョブを作成する

印刷するにはデータをプリンタに送信する必要があります。データは印刷ジョブを構成し、プリンタのプリントキューに入れられます。印刷ジョブをプリンタに送信するには、主に次の2つの方法があります。

- プログラムから直接印刷するには、通常どおりプログラムの印刷コマンドを使用します。HP Designjet プリンタを選択すると、ジョブをプリンタに送信するプリンタ ドライバが呼び出されます。
- サポートされているグラフィック形式にすでになっているファイルがある場合は、内蔵 Web サーバを使用して、プリンタ ドライバを経由せずに直接プリンタに送信できます (以下を参照)。

## 内蔵 Web サーバを使用したファイルの印刷

HP Printer Utility または内蔵 Web サーバで、[ジョブ センター] グループから [ジョブの送信] を選択します。次のウィンドウが表示されます。



**[ファイルの追加]** ボタンを押すと、印刷するファイルをコンピュータから選択できます。ファイルは、次のいずれかの形式である必要があります。

- PDF
- PostScript
- TIFF
- JPEG
- CALS/G4

**注記：** ファイルに出力するとき、ファイルは上記のいずれかの形式である必要がありますが、その名前には **.plt**、**.prn** などの拡張子が付く場合があります。

ファイルが上記の形式に該当しない場合は、正常に印刷されません。

ジョブが適切な設定 (用紙サイズ、向き、サイズ変更、印刷数など) で生成された場合、**[印刷]** ボタンを押すだけでジョブがプリンタに送信されます。

印刷設定を指定する場合は、**[ジョブの設定]** セクションで必要なオプションを選択します。各オプションの右側には説明が表示されるため、各設定の動作を知ることができます。設定を **[デフォルト]** のままにすると、ジョブに保存されている設定が使用されることに注意してください。何も設定されていないジョブでは、プリンタの設定が使用されます。

## 保存ジョブの印刷

内蔵 Web サーバでファイルを印刷する場合は、プリンタに保存するジョブをマークします。

内蔵 Web サーバの **[メイン]** タブで **[プリンタに保存されたジョブ]** を選択すると、保存ジョブのリストが表示されます。各ジョブについて、次の情報が表示されます。

- ジョブの名前
- ジョブのサイズ
- ジョブがプリンタに到着した日時
- ジョブを送信したユーザが入力した名前

列のタイトルをクリックすると、その列の情報でリストがソートされます。

リストの 1 つまたは複数のジョブを選択し、リスト上部にあるボタンを使用して、次の操作を行うことができます。

- **[印刷]** : 選択されたジョブが元の設定で印刷されます。**[ジョブ キュー]** ページで、ジョブの進捗状況を見ることができます。
- **[印刷の詳細設定]** : 選択されたジョブの設定が表示されます。この設定は変更することができます。新しい設定を保存するには **[保存]** ボタンをクリックします。ジョブを印刷するには **[印刷]** ボタンをクリックします。

設定の値は、選択されたすべてのジョブについてその値が同じ場合にのみ表示されます。それ以外の場合は、ハイフンが表示されます。

- **[削除]** : 選択されたジョブがプリンタから削除されます。

## 印刷品質を選択する

高品質の印刷では印刷速度が遅くなりますが、高速の印刷では印刷品質が低下するので、プリンタにはさまざまな印刷品質オプションが用意されています。

したがって、標準の印刷品質セレクタはスライダになっており、これを使用して品質および速度間の選択が可能です。

その他の方法としては、カスタム オプションの **[高品質]**、**[標準]**、および **[高速]** の中から選択します。印刷品質に影響する 3 つの追加のカスタム オプションである **[高精細]**、**[パスの拡張]**、および **[グロス エンハンサ]** も用意されています。[56 ページの「高品質で印刷する」](#) を参照してください。

 **注記** : Windows ドライバのダイアログでは、ジョブに対するレンダリングと印刷の解像度が **[用紙/品質]** タブに表示されます。Mac OS の **[プリント]** ダイアログでは、**[一覧]** パネルに表示されます。

印刷品質オプションは、以下の方法で指定することができます。

- **Windows ドライバのダイアログの場合** : **[用紙/品質]** タブに移動して **[印刷品質]** セクションを確認します。**[標準オプション]** を選択している場合は、簡単なスライダが表示されます。このスライダで品質または速度を選択できます。**[ユーザー定義オプション]** を選択している場合は、前述のより詳細なオプションが表示されます。
- **Mac OS の [プリント] ダイアログの場合 (PostScript ドライバ)** : **[イメージ品質]** パネルを開きます。品質オプションで **[標準]** を選択している場合は、簡単なスライダが表示されます。このスライダで品質または速度を選択できます。品質オプションで **[カスタム設定]** を選択している場合は、ここで説明した特定のオプションが表示されます。
- **Mac OS の [プリント] ダイアログの場合 (PCL3 ドライバ)** : **[用紙の種類/品質]** パネルに移動して **[用紙]** を選択します。品質オプションで **[標準]** を選択している場合は、簡単なスライダが表示されます。このスライダで品質または速度を選択できます。品質オプションで **[カスタム設定]** を選択している場合は、ここで説明した特定のオプションが表示されます。

- 内蔵 Web サーバの [ジョブの送信] ページの場合 : [基本設定] - [印刷品質] を選択します。次に [標準オプション] を選択すると、[速度] および [品質] 間の選択が可能です。[カスタムオプション] を選択している場合は、ここで説明した特定のオプションが表示されます。

- フロントパネルを使用する場合 : [セットアップ] アイコン  を選択し、次に [印刷設定] - [印刷品質] を選択します。

 **注記 :** コンピュータで印刷品質が設定されている場合、フロントパネルで設定した印刷品質よりもこちらが優先されます。

 **注記 :** プリンタに送信中または送信済みのページの印刷品質は、印刷がまだ開始されていない場合でも変更できません。

## 用紙サイズを選択する

用紙サイズは、以下の方法で指定することができます。

 **注記 :** ここでは、文書が作成された用紙サイズを指定する必要があります。印刷するために文書を拡大縮小できます。53 ページの「印刷を拡大縮小する」を参照してください。

- Windows ドライバのダイアログの場合 : [用紙/品質] タブを選択し、[文書サイズ] リストから用紙サイズを選択します。
- Mac OS の [ページ設定] ダイアログの場合 : [対象プリンタ] プルダウン メニューで使用するプリンタを選択し、次に [用紙サイズ] を選択します。
- 内蔵 Web サーバの [ジョブの送信] ページの場合 : [詳細設定] - [用紙] - [ページサイズ] - [標準] を選択します。

- フロントパネルを使用する場合 : [セットアップ] アイコン  を選択し、次に [印刷設定] - [用紙オプション] - [用紙サイズの選択] を選択します

 **注記 :** コンピュータで用紙サイズが設定されている場合、フロントパネルで設定した用紙サイズよりもこちらが優先されます。

**注記 :** 用紙の取り付け時に [カット紙、スキュー チェックなし] を選択した場合、用紙の長さは幅の 4 倍と推定されます。

 **ヒント :** 文書のサイズが 13 × 19 インチ (33 × 48cm) であり、同じサイズのカット紙に収まるようにデザインされている場合、文書サイズ [Super B/A3] を選択します。

## カスタム用紙サイズ

用紙サイズのリストに表示されない標準以外の用紙サイズを選択するには、以下の手順を実行します。

- **Windows** では、3つの方法があります。
    - ドライバダイアログで、**[用紙/品質]** タブの **[カスタム]** ボタンを押し、新しい用紙サイズの名前と寸法を指定し、**[保存]** をクリックして新しい用紙サイズを保存します。PostScript ドライバのユーザ設定サイズのリストで新しいユーザ設定を表示するには、プリンタのプロパティを終了し、次に再度プリンタのプロパティを表示します (必要に応じて次に **[詳細]** を使用します)。
- 
-  **注記：** ドライバでは、幅が長さを超える用紙サイズを作成することはできません。
- **[スタート]** メニューで **[プリンタと FAX]** を選択し、**[ファイル]** メニューで **[サーバーのプロパティ]** を選択します。**[用紙]** タブで **[新しい用紙を作成する]** ボックスをオンにして、新しい用紙の名前と寸法を指定し、**[用紙の保存]** をクリックします。
  - PostScript ドライバでは、現在のセッションのみに適用されるカスタム用紙サイズを定義することができます。それには、**[詳細設定]** タブを選択し、**[用紙/出力] - [用紙サイズ]** を選択します。用紙サイズのリストから **[PostScript カスタム ページ サイズ]** を選択し、用紙の寸法を指定して **[OK]** をクリックし、PostScript カスタム ページ サイズの新しい寸法を保存します。この寸法は、**[用紙/品質]** タブの使用可能なカスタム サイズのリストに表示されます。新しいページ サイズは、現在のアプリケーションを終了するまで保存されます。その後も PostScript カスタム ページ サイズはリストに表示されますが、その寸法はデフォルトに戻ります。
- **Mac OS** の **[ページ設定]** ダイアログの場合：**[用紙サイズ] - [カスタムサイズを管理]** を選択します。
  - 内蔵 Web サーバの **[ジョブの送信]** ページの場合：**[詳細設定] - [用紙] - [ページ サイズ] - [カスタム]** を選択します。

## マージン オプションを選択する

デフォルトでは、イメージの端と用紙の端の間には5mm マージンがあります(カット紙の下端では17mm)。ただし、いくつかの方法でこの動作を変更できます。

- **Windows** ドライバのダイアログの場合：**[用紙/品質]** タブを選択し、**[マージン/レイアウト]** ボタンをクリックします。
- 
-  **ヒント：** Windows PostScript ドライバでは、**[文書サイズ]** リストから正しいサイズを選択していることを確認します。**[オーバーサイズ]**、**[内容をマージンでクリップ]**、または **[フチ無し]** のいずれかのオプションを意図的に使用する場合は、「マージンなし」を選択する必要があります。
- **Mac OS** の **[プリント]** ダイアログの場合 (PostScript ドライバ):**[仕上げ]** パネルを選択して、次に **[レイアウト]** を選択します。
  - **Mac OS** の **[プリント]** ダイアログの場合 (PCL3 ドライバ):**[用紙の種類/品質]** パネルを選択し、**[レイアウト]** を選択します。
  - 内蔵 Web サーバの **[ジョブの送信]** ページの場合：**[詳細設定] - [用紙] - [マージン/レイアウト]** を選択します。

以下のオプションのいくつかが表示されます。

 **注記：** Mac OS では、使用できるマージン オプションは ページ設定 ダイアログで選択した用紙サイズによって異なります。たとえば、フチ無し印刷では、「マージンなし」が含まれている用紙サイズ名を選択する必要があります。

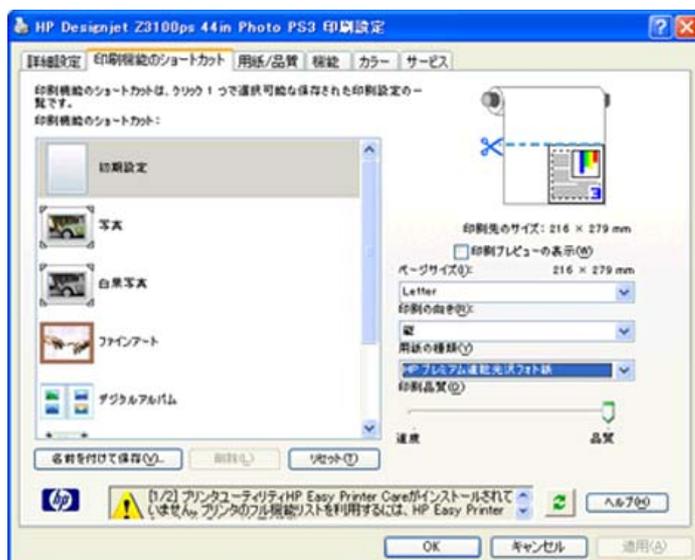
- **[標準]** イメージは選択したサイズのページに印刷され、イメージの端と用紙の端の間に狭いマージンが取られます。イメージは、マージンとマージンの間におさまるサイズにする必要があります。
- **[オーバーサイズ]** イメージは、選択したサイズより若干大きいページに印刷されます。マージンを切り落とす場合は、イメージの端と用紙の端の間にマージンを入れずに、選択したサイズのページを保持します。
- **[内容をマージンでクリップ]** イメージに白いフチがあり、サイズが選択した用紙サイズと同じ場合は、このオプションを使用します。白いフチはプリンタによってマージンとして使用され、ドライバで選択したページサイズと同じサイズのページが得られます。
- **[フチ無し]** イメージは、選択したサイズのページにマージンなしで印刷されます。イメージは、イメージの端と用紙の端の間にマージンが残らないように、若干拡大されます。**[プリンタで自動]** を選択した場合、この拡大は自動的に行われます。**[アプリケーションで手動]** を選択した場合、アプリケーションでのイメージ サイズを用紙サイズより少し大きくする必要があります。58 ページの「マージンなしで印刷する」も参照してください。

## ショートカットを使用して印刷する

プリンタ ドライバには、特定のジョブを印刷する場合にさまざまな値を設定できるオプションが多数用意されています。印刷機能のショートカットには、特定のジョブの種類に適用するこれらすべてのオプションの値が格納されており、シングルクリックでこれらの値をすべて設定できます。設定の一部(用紙サイズ、給紙方法、印刷の向きなど)は、アプリケーションで設定された値が優先されることがあります。

ショートカットを使用するには、Windows ドライバのダイアログで **[印刷機能のショートカット]** タブを選択します。

 **注記：** ショートカットを使用できるのは、Windows のみです。



使用できるショートカットのリストが表示されます。印刷するジョブの種類に適合するショートカットを選択します。

これにより、ドライバのオプションが調整され、ジョブに適用します。すぐに印刷することも可能ですが、その設定で問題ないか確認することもできます。必要に応じてショートカットを選択し、その設定を手動で変更できます。

※ **ヒント:** 少なくとも、[印刷機能のショートカット] タブに表示される設定を確認します (文書サイズ、印刷の向きなど)。

[初期設定] ショートカットには、プリンタのデフォルト設定が保存されています。これをクリックすると、すべてのオプションがデフォルト値に設定されます。

印刷機能のショートカットは、特定のニーズに合わせてカスタマイズできます。ユーザ設定のショートカットを作成するには、以下の手順に従います。

1. 要件に最も近いショートカットを選択します。
2. [印刷機能のショートカット] タブまたはその他のタブで、値を変更します。
3. 新しい印刷ショートカットを保存します。

後でそのショートカットが必要ないと判断した場合は、それを削除できます。

## 印刷を拡大縮小する

イメージを特定のサイズでプリンタに送信し、プリンタの側でサイズを拡大縮小 (大体は拡大) するように指定することができます。これは、次のような場合に便利です。

- 使用しているソフトウェアで大判印刷がサポートされていない場合。
- ファイルサイズが大きすぎてプリンタのメモリでは対応できない場合。この場合は、ソフトウェアで用紙サイズを小さくし、印刷時にフロントパネルのメニューを使用して拡大することができます。

プリンタでの拡大縮小は、以下の方法で行うことができます。

- **Windows ドライバのダイアログの場合:** [機能] タブに移動して [サイズ変更オプション] セクションを確認します。
  - [文書を印刷する用紙] オプションを使用すると、選択した用紙サイズで印刷できるように、イメージサイズを調整できます。たとえば、用紙サイズで ISO A2 を選択し、A3 サイズのイメージを印刷する場合、A2 サイズに合うようにイメージが拡大されます。用紙サイズで ISO A4 を選択し、イメージのサイズがこれより大きい場合は、A4 サイズに合うようにイメージが縮小されます。
  - [% (元のサイズに対する比率)] オプションを使用すると、元の用紙の印刷可能範囲 (ページからマージンをマイナスした範囲) を指定した比率で拡大/縮小し、マージンを追加して出力用紙サイズを調整できます。
- **Mac OS の [プリント] ダイアログの場合 (PostScript ドライバ):** [仕上げ] パネルで [文書を印刷する用紙] を選択すると、選択した用紙サイズで印刷できるように、イメージサイズを調整できます。たとえば、用紙サイズで ISO A2 を選択し、A3 サイズのイメージを印刷する場合、A2 サイズに合うようにイメージが拡大されます。用紙サイズで ISO A4 を選択し、イメージのサイズがこれより大きい場合は、A4 サイズに合うようにイメージが縮小されます。
- **Mac OS の [プリント] ダイアログの場合 (PCL3 ドライバ):** [用紙処理] パネル - [用紙サイズに合わせる] を選択し、次にイメージを拡大縮小する用紙サイズを選択します。イメージのサイズを大きくする場合には、[縮小のみ] ボックスのチェックがオフになっていることを確認します。

- 内蔵 Web サーバの [ジョブの送信] ページの場合：[詳細設定] - [サイズ変更] を選択します。
  - [標準] および [カスタム] オプションを使用すると、選択した標準またはカスタムの用紙サイズに合わせて、イメージサイズを調整できます。たとえば、用紙サイズで ISO A2 を選択し、A3 サイズのイメージを印刷する場合、A2 サイズに合うようにイメージが拡大されます。用紙サイズで ISO A4 を選択し、イメージのサイズがこれより大きい場合は、A4 サイズに合うようにイメージが縮小されます。
  - [% (元のサイズに対する比率)] オプションを使用すると、元の用紙の印刷可能範囲 (ページからマージンをマイナスした範囲) を指定した比率で拡大/縮小し、マージンを追加して出力用紙サイズを調整できます。
- フロントパネルを使用する場合：[セットアップ] アイコン  を選択し、次に [印刷設定] - [用紙オプション] - [サイズ変更] を選択します。

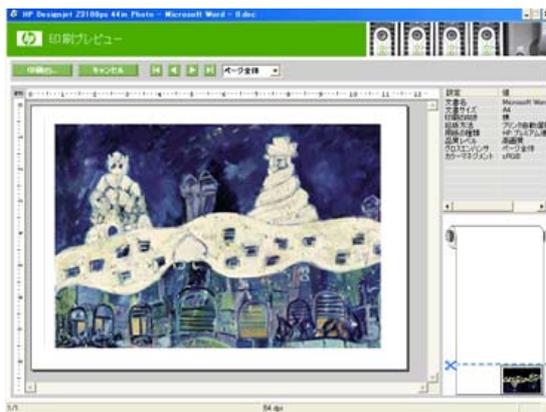
1 枚の用紙に印刷する場合は、イメージをページ内に収めることができるかどうかを確認してください。イメージが途切れる可能性があります。

## 印刷をプレビューする

画面上で印刷をプレビューすると、印刷前に印刷のレイアウトを確認できます。これにより、誤った印刷による用紙やインクの無駄を防ぐことができます。

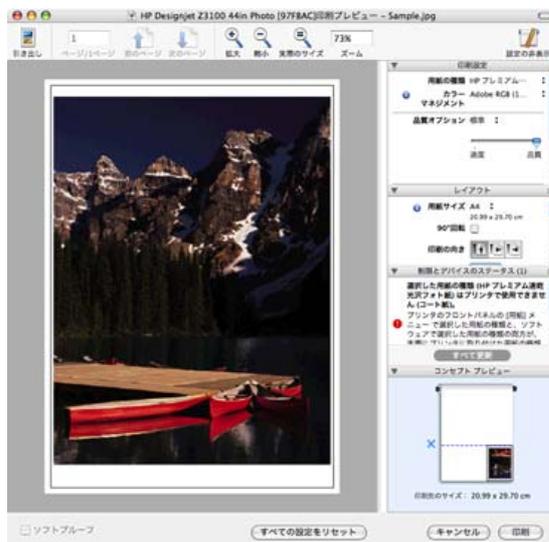
**注記：** カット紙をスキューチェックなしで取り付けた場合、カット紙の長さは測定されないため、印刷プレビューは最終的な出力結果に対しての信頼できる目安にはなりません。

- Windows では、次のオプションで印刷をプレビューできます。
  - アプリケーションの印刷プレビュー オプションを使用します。
  - [印刷プレビューの表示] オプションをクリックします。このオプションは、ドライバの [印刷機能のショートカット] タブ、[用紙/品質] タブ、および [機能] タブにあります。印刷前にプレビューが表示されます。印刷設定およびイメージのレイアウトを確認し、印刷を継続するには [印刷] をクリックします。ジョブをキャンセルするには [キャンセル] をクリックします。



- Mac OS では、次のオプションで印刷をプレビューできます。
  - アプリケーションの印刷プレビュー オプションを使用します。
  - [プリント] ダイアログ ボックスの下部にある [プレビュー] ボタンをクリックします。これは、Mac OS で提供される基本的な印刷プレビューです。
  - PostScript ドライバを使用している場合は、[印刷プレビューの表示] オプションをクリックします。このオプションは、ドライバの [印刷] ダイアログの [仕上げ] パネルにあります。

- PCL3 ドライバを使用している場合は、[プリント] ダイアログ ボックスの下部にある [PDF] ボタンをクリックし、次に [HP 印刷プレビュー] をクリックします。ここでは、さらに機能が付加されたプレビューが提供されます。用紙サイズ、用紙の種類、印刷品質を変更したり、イメージを回転したりできます。以下を参照してください。



 **注記：** HP 印刷プレビューは、Adobe InDesign、Adobe Illustrator、Adobe Reader または Apple Aperture を使用する場合には利用できません。

- 内蔵 Web サーバを使用して印刷をプレビューするには、[ジョブの送信] - [基本設定] - [プレビュー待ち] を選択します。

## 試し印刷をする

高速の試し印刷品質の印刷は、以下の方法で指定できます。

- **Windows ドライバのダイアログの場合：**[用紙/品質] タブに移動して [印刷品質] セクションを確認します。印刷品質のスライダを左端 ([速度]) まで移動させます。
- **Mac OS の [プリント] ダイアログの場合 (PostScript ドライバ)：**[イメージ品質] パネルに移動し、印刷品質のスライダを左端 ([速度]) まで移動させます。
- **Mac OS の [プリント] ダイアログの場合 (PCL3 ドライバ)：**[用紙の種類/品質] パネルに移動し、[用紙] を選択して印刷品質のスライダを左端 ([速度]) まで移動させます。
- **内蔵 Web サーバの [ジョブの送信] ページの場合：**[基本設定] - [印刷品質] - [標準オプション] - [速度] を選択します。
- **フロントパネルを使用する場合：**[セットアップ] アイコン  を選択し、[印刷設定] - [印刷品質] - [品質レベルの選択] - [高速] を選択します。

 **注記：** コンピュータで印刷品質が設定されている場合、フロントパネルで設定した印刷品質よりもこちらが優先されます。

## 高品質で印刷する

高品質の印刷は、以下の方法で指定できます。

- **Windows ドライバのダイアログの場合**：[用紙/品質] タブに移動して [印刷品質] セクションを確認します。印刷品質のスライダを右端 ([品質]) まで移動させます。
- **Mac OS の [プリント] ダイアログの場合 (PostScript ドライバ)**：[イメージ品質] パネルに移動し、印刷品質のスライダを右端 ([品質]) まで移動させます。
- **Mac OS の [プリント] ダイアログの場合 (PCL3 ドライバ)**：[用紙の種類/品質] パネルに移動し、[用紙] を選択して印刷品質のスライダを右端 ([品質]) まで移動させます。
- **内蔵 Web サーバの [ジョブの送信] ページの場合**：[基本設定] - [印刷品質] - [標準オプション] - [品質] を選択します。
- **フロントパネルを使用する場合**：[セットアップ] アイコン  を選択し、[印刷設定] - [印刷品質] - [品質レベルの選択] - [高品質] を選択します。

 **注記**： コンピュータで印刷品質が設定されている場合、フロントパネルで設定した印刷品質よりもこちらが優先されます。

## 高解像度のイメージがある場合

イメージがレンダリング解像度より大きい解像度である場合 (Windows ではドライバの [用紙/品質] タブで確認可能)、[高精細] オプションを選択すると、印刷の鮮明度を増すことができます。このオプションは、光沢紙に [高品質] 印刷品質で印刷する場合にのみ使用できます。

- **ドライバのダイアログ (Mac OS の [プリント] ダイアログ) の場合**：[標準] 印刷品質ではなく [カスタム] を選択し、[高精細] ボックスをオンにします。
- **内蔵 Web サーバの [ジョブの送信] ページの場合**：[基本設定] - [印刷品質] - [カスタム] を選択します。[品質レベル] を [高品質] に、[高精細] を [オン] に設定します。
- **フロントパネルを使用する場合**：[セットアップ] アイコン  を選択し、次に [印刷設定] - [印刷品質] - [高精細の有効化] を選択します。

 **注記**： [高精細] オプションを選択すると、フォト用紙の場合に印刷速度が遅くなりますが、使用するインク量が増えるわけではありません。

## プリントヘッドに問題がある場合

プリントヘッドに詰まってしまったノズルが多数存在すると印刷上のバンディングや白い縞の原因になることがあります。この場合は、[パスの拡張] オプションを選択すると、印刷品質を改善できます。

- **ドライバのダイアログ (Mac OS の [プリント] ダイアログ) の場合**：[標準] 印刷品質ではなく [カスタム] を選択し、[パスの拡張] ボックスをオンにします。
- **内蔵 Web サーバの [ジョブの送信] ページの場合**：[基本設定] - [印刷品質] - [カスタム] を選択します。[品質レベル] を [高品質] に、[パスの拡張] を [オン] に設定します。
- **フロントパネルを使用する場合**：[セットアップ] アイコン  を選択し、次に [印刷設定] - [印刷品質] - [パスの拡張の有効化] を選択します。

 **注記**： [パスの拡張] オプションを選択すると、印刷速度が遅くなりますが、使用するインク量が増えるわけではありません。

※ **ヒント**： このオプションを使用する代わりに、[イメージ診断の印刷] を使用することを検討してください。問題の原因となるプリントヘッドを特定して、それらをクリーニングするか交換します。[175 ページの「\[イメージ診断の印刷\] を印刷します。」](#)を参照してください。

## フォト用紙に印刷する場合

フォト用紙に印刷する場合は、グロス エンハンサを使用するかどうかを選択できます。グロス エンハンサを使用すると、全体的な光沢品質が向上し、褐色化を防止できます。次の 3 種類の設定があります。

- **[オフ]** :グロス エンハンサは使用されません。
- **[エコノモード]** :グロス エンハンサはイメージのインク領域には使用されますが、インクなし(白)の領域には使用されません。
- **[ページ全体]** :グロス エンハンサは定義されているページの全領域(インクなしの領域も含む)に使用されます。

印刷品質のスライダを [品質] に設定している場合、**[グロス エンハンサ]** オプションは自動的に **[ページ全体]** に設定されます。この設定を変更するには、以下の手順に従います。

- **ドライバのダイアログ (Mac OS の [プリント] ダイアログ) の場合** : [標準] 印刷品質ではなく [カスタム] を選択し、**[グロス エンハンサ]** オプションを選択します。
- **内蔵 Web サーバの [ジョブの送信] ページの場合** : [基本設定] - [印刷品質] - [カスタム] - [グロス エンハンサ] を選択します。
- **フロントパネルを使用する場合** : [セットアップ] アイコン  を選択し、次に **[印刷設定]** - **[印刷品質]** - **[グロス エンハンサ]** を選択します。

**[グロス エンハンサ]** を **[ページ全体]** に設定する場合は、使用するグロス エンハンサの量を増やすことにより必要に応じて褐色化をさらに緩和できます。これは、HP Printer Utility から以下のように実行できます。**[Color Center]** - **[用紙プリセット管理]** - **[印刷プロパティの変更]** を選択します。**[グロス エンハンサ量]** では、グロス エンハンサの量を調整できます。グロス エンハンサ量を増やすと褐色化が緩和され、ページ全体の光沢がより均一になりますが、ぼやけや粒状感の原因となることがあります。

## 半光沢フォト用紙に印刷する場合

半光沢フォト用紙に印刷する場合は、HP プロフェッショナル半光沢フォト用紙を使用することをご検討ください。この用紙には以下の特長があります。

- より広い色域
- 黒の光学濃度の向上
- より多くの PANTONE に対応
- より滑らかな表面
- より丈夫

## 16 ビット カラー イメージの印刷

16 ビットの RGB イメージでは、3 つの原色がそれぞれ 16 ビット値でエンコードされます。このため、各ピクセルは 48 ビットで表示されます。

プリンタ ドライバを経由して 16 ビット カラー イメージを印刷する場合、イメージがプリンタに到達する前に 8 ビット カラーに変更されます。

16 ビット カラー イメージをプリンタに送信するには、そのファイルを 16 ビット カラー TIFF ファイルまたは JPEG ファイルとして保存し、プリンタ ドライバを使用しないで直接プリンタに送信する必要があります (48 ページの「[内蔵 Web サーバを使用したファイルの印刷](#)」を参照)。この場合、カラーマネジメントは 16 ビット カラー イメージに基づいて行われるため、より正確に管理できます。イメージは、最終的に印刷される際に、8 ビット カラーに変更されます。

☞ **ヒント：** 一部のアプリケーションでは、16 ビット カラー イメージを JPEG 形式で保存することはできません。また、イメージのカラーが自動的に 8 ビットに変更されるものもあります。通常、TIFF ファイルを使用すると高品質な印刷を行うことができます (推奨)。

## グレー階調で印刷する

イメージのすべてのカラーを、以下の方法でグレー階調に変換できます。

- **アプリケーション プログラムでの場合：**多くのプログラムにこのオプションが用意されています。
- **Windows ドライバのダイアログの場合：**[カラー] タブに移動して [カラー オプション] セクションを確認します。[**グレースケールで印刷**] を選択します。
- **Mac OS の [プリント] ダイアログの場合 (PostScript ドライバ)：**[カラー オプション] パネルに移動して、[**グレースケールで印刷**] を選択します。
- **Mac OS の [プリント] ダイアログの場合 (PCL3 ドライバ)：**[用紙の種類/品質] パネルに移動して [カラー] - [**グレースケールで印刷**] を選択します。
- **内蔵 Web サーバの [ジョブの送信] ページの場合：**[カラー] - [カラー/グレースケール] - [**グレースケールで印刷**] を選択します。

90 ページの「[モノクロ写真を展覧会用に印刷する \(Photoshop、PS ドライバ\)](#)」も参照してください。

## マージンなしで印刷する

マージンなしで (用紙の端まで) 印刷します。フチ無し印刷とも呼ばれます。光沢ロール紙や半光沢ロール紙を使用する場合のみ実行できます。

マージンを残さずに印刷するために、用紙の端より少し外側まで印刷されます。用紙の外に付着したインクは、プラテンに取り付けられたスポンジに吸収されます。

☞ **注記：** マージンなしで印刷する場合は、イメージがページよりも小さくないかどうかを確認してください。ページよりイメージが小さい場合でも、イメージは自動的に引き延ばされません。

マージンなしで印刷する設定は、以下の方法で行います。

- **Windows ドライバのダイアログの場合：**[用紙/品質] タブを選択し、[**マージン/レイアウト**] ボタンを押します。[**フチ無し**] を選択します。

☞ **ヒント：** Windows PostScript ドライバでは、[**文書サイズ**] リストから正しいサイズを選択していることを確認します。[**フチ無し**] オプションを使用する場合は、「マージンなし」の文書サイズを選択する必要があります。

- **Mac OS の [ページ設定] ダイアログの場合 (PostScript ドライバ)：**「マージンなし」という文字列が含まれた用紙サイズ名を選択します。次に、[プリント] ダイアログで [**仕上げ**] - [**レイアウト**] - [**フチ無し**] を選択します。

- **Mac OS の [ページ設定] ダイアログの場合 (PCL3 ドライバ):** 「マージンなし」という文字列が含まれた用紙サイズ名を選択します。次に、[プリント] ダイアログで [用紙の種類/品質] - [レイアウト] - [フチ無し] を選択します。
- **内蔵 Web サーバの [ジョブの送信] ページの場合 :** [詳細設定] - [用紙] - [マージン設定] - [フチ無し] を選択します。

[フチ無し] を選択した場合は、[イメージの拡大] で以下のオプションのうち 1 つを選択する必要があります。

- **[プリンタで自動]** を選択すると、イメージが自動的に少し拡大され (通常、各方向に数ミリメートル)、用紙の端より外側まで印刷されるようになります。
- **[アプリケーションで手動]** を選択すると、アプリケーションで自分でイメージのサイズを実際の用紙サイズより少し大きく拡大する必要があります。

 **注記 :** 用紙をプリンタに取り付けた後、最初のプリント ジョブがフチ無し印刷ジョブの場合、印刷前に用紙の先端がカットされます。

フチ無し印刷の最後に、通常、印刷がフチ無しになるように、印刷された用紙が画像エリアの少し内側までカットされます。イメージの残りが次の印刷に含まれないようにするために、用紙が再度カットされます。ただし、ジョブがキャンセルされた場合、またはイメージの下部に余白がある場合、用紙は 1 度だけカットされます。

## イメージの回転

デフォルトでは、イメージは、次のように短辺が用紙の先端と平行になるように印刷されます。



次のように、用紙を節約するためにイメージを 90° 回転させることができます。



このために以下の方法を使用できます。

- **Windows ドライバのダイアログの場合 :** [機能] タブ - [90° 回転] を選択します。
- **Mac OS の [プリント] ダイアログの場合 (PCL3 ドライバ):**[HP 印刷プレビュー] - [90° 回転] を選択します。
- **Mac OS の [プリント] ダイアログの場合 (PostScript ドライバ):**[仕上げ] パネルに移動し、[90° 回転] を選択します。
- **内蔵 Web サーバの [ジョブの送信] ページの場合 :** [詳細設定] - [ロール紙オプション] - [回転] を選択します。
- **フロントパネルでの場合 :** [セットアップ] アイコン  を選択し、次に [印刷設定] - [用紙オプション] - [回転] を選択します。

 **注記：** コンピュータで回転が設定されている場合、その設定がフロントパネルの設定よりも優先されます。

**注記：** ジョブを回転させると、クリップを避けるためにページの長さが増える場合があります。これは、上下のマージンは、通常、左右のマージンより大きいからです。

**注記：** ロール紙の場合もカット紙の場合も、元の向きが縦のイメージを横に回転させると、用紙の幅にイメージが収まらなくなることがあります。たとえば、D/A1 サイズの縦のイメージを D/A1 サイズの用紙で 90° 回転させると、用紙の幅が不足することが予想されます。内蔵 Web サーバを使用している場合は、プレビュー画面でこの点が確認されます (警告を表す三角形が表示されます)。

## 自動回転

一部のプリンタ ドライバでは、**[自動回転]** オプションも選択できます。このオプションでは、サイズの大きすぎる縦のイメージを自動的に 90° 回転させ、用紙を節約します。

## 切り取り線付きで印刷する

切り取り線は、選択した用紙サイズまで縮めるにはどの位置で用紙をカットするべきかを示します。個々のジョブで自動的に切り取り線を印刷するには、以下の手順に従います。

- **Windows ドライバのダイアログの場合：** **[機能]** タブを選択し、**[切り取り線]**を選択します。
- **Mac OS の [プリント] ダイアログの場合 (PostScript ドライバ)：** **[仕上げ]** パネルに移動して、**[切り取り線]** を選択します。
- **Mac OS の [プリント] ダイアログの場合 (PCL3 ドライバ)：** **[用紙の種類/品質]** パネルに移動して **[用紙] - [切り取り線]** を選択します。
- **内蔵 Web サーバの [ジョブの送信] ページの場合：** **[詳細設定] - [ロール紙オプション] - [切り取り線の有効化]** を選択します。
- **フロントパネルを使用する場合：** **[セットアップ]** アイコン  を選択し、次に **[印刷設定] - [用紙オプション] - [切り取り線の有効化] - [オン]** を選択します。

ネスティングしたジョブ ([61 ページの「ジョブをネスティングしてロール紙を節約する」](#)を参照) で切り取り線を印刷するには、他のオプションを選択してください。

- **内蔵 Web サーバの場合：** **[ジョブ管理] - [ネスティング有効時に切り取り線を使用する] - [オン]** を選択します。
- **フロントパネルを使用する場合：** **[セットアップ]** アイコン  を選択し、次に **[ジョブ管理] - [ネスティングの設定] - [切り取り線の有効化] - [オン]** を選択します。

## カット紙への印刷

カット紙に印刷するには、まずプリンタのカット紙を取り付けます ([34 ページの「カット紙を取り付ける」](#)を参照)。次に、以下の操作を実行します。

- **Mac OS プリンタ ドライバまたは Windows PostScript ドライバを使用する場合：** 「カット紙」と記載された用紙サイズを選択し、**[給紙方法]** に **[手差し]** を選択します。
- **Windows 用 PCL3 ドライバを使用する場合：** **[給紙方法]** に **[手差し]** を選択します。

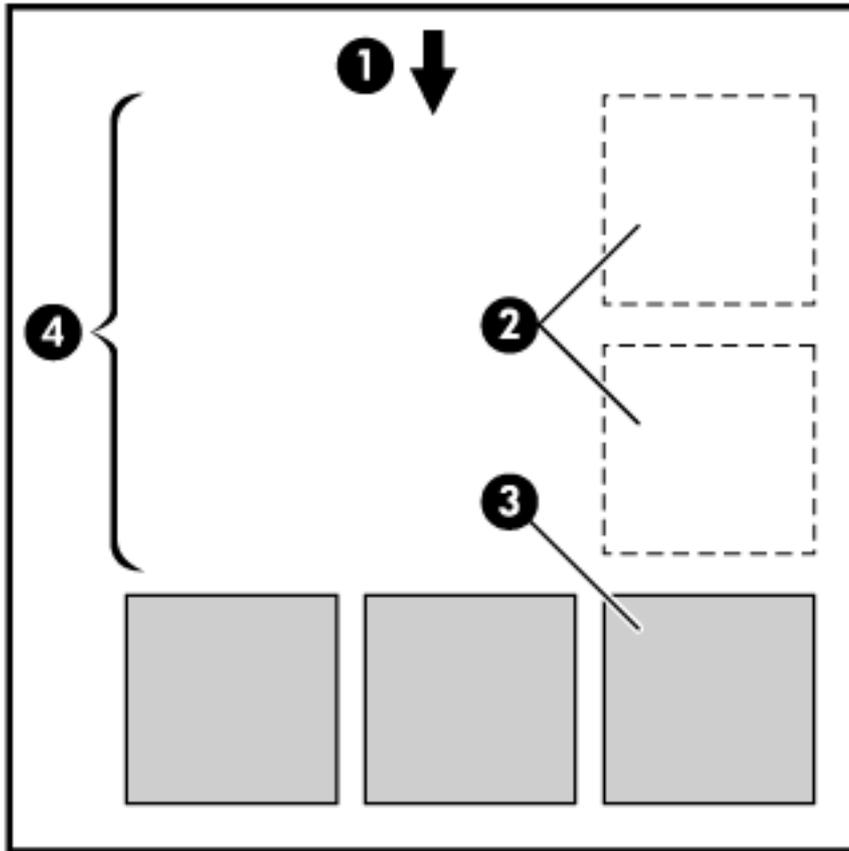
## 用紙を節約する

用紙を節約するための推奨方法は、次のとおりです。

- 比較的小さいイメージや文書ページを印刷する場合は、ネスティングを使用すると、1つずつ連続してではなく、並べて印刷できます。[61 ページの「ジョブをネスティングしてロール紙を節約する」](#)を参照してください。
- 比較的小さいページによる複数ページの文書を印刷する場合、1枚の用紙に最大で16ページ分を印刷できます。**[機能]** タブ (Windows 用ドライバ) または **[レイアウト]** パネル (Mac OS 用ドライバ) の **[用紙節約オプション]** (Windows) または **[ページ数/枚]** (Mac OS) オプションを使用します。
- 以下のオプションを選択すると、ロール紙を節約できます。
  - **Windows ドライバのダイアログの場合**：**[機能]** タブを選択し、**[上下の余白を削除]** または **[90° 回転]** あるいはその両方、あるいは **[自動回転]** を選択します。
  - **Mac OS の [プリント] ダイアログの場合 (PostScript ドライバ)**：**[仕上げ]** パネルを選択し、**[上下の余白を削除]** または **[90° 回転]** あるいはその両方を選択します。
  - **Mac OS の [プリント] ダイアログの場合 (PCL3 ドライバ)**：**[用紙の種類/品質]** パネル - **[用紙]** を選択し、次に **[上下の余白を削除]** または **[HP 印刷プレビュー]** あるいはその両方を選択し、**[90° 回転]** を選択します。
  - **内蔵 Web サーバの [ジョブの送信] ページの場合**：**[詳細設定]** - **[ロール紙オプション]** - **[上下の余白を削除]** または **[回転]** あるいはその両方を選択します。
- 印刷前にコンピュータ上で印刷プレビューを確認することで、明らかな間違いのある印刷を避けることができ、用紙を節約できます。[54 ページの「印刷をプレビューする」](#)を参照してください。

## ジョブをネスティングしてロール紙を節約する

ネスティングとは、イメージやドキュメントのページを、1つずつ連続してではなく、自動的に1枚の用紙に並べて印刷することです。これは、用紙の無駄使いを防ぐために使用します。



1. 用紙送りの方向
2. ネスティング オフ
3. ネスティング オン
4. ネスティングにより節約された用紙

## プリンタがページをネスティングしようとするタイミングは？

次の両方に当てはまる場合：

- プリンタに、カット紙ではなくロール紙が取り付けられている。
- フロントパネルの [ジョブ管理] メニューまたは内蔵 Web サーバの [プリンタ設定] ページ - [ジョブ管理]、[ネスティング] がオンになっている。

## ネスティングできるページは？

ページが大きすぎて 2 枚のページをロール紙に並べられない場合や、ページ数が多すぎて残りのロール紙に収まりきらない場合を除き、すべてのページをネスティングできます。ネスティングされたページの単一のグループを、2 枚のロール紙の間で分割することはできません。

## ネスティングに適したページとは？

同じネスティングに収めるには、各ページは以下の点すべてに当てはまる必要があります。

- すべてのページの印刷品質設定が同じであること ([高速]、[標準]、または[高品質])。
- すべてのページで [高精細] および [パスの拡張] の設定が同じであること。

- すべてのページで [マージン] 設定が同じであること。
- すべてのページで [左右反転] 設定が同じであること。
- すべてのページで [レンダリング用途] 設定が同じであること。
- すべてのページで [カッター] 設定が同じであること。
- すべてのページでカラー調整設定が同じであること。[82 ページの「カラー調整オプション」](#)を参照してください。
- ページはすべてカラーか、すべてグレースケールであること。つまり、一部がカラーで一部がグレースケールではないこと。
- すべてのページが次の 2 つのグループの一方であること (同じネスティングで 2 つのグループを混在させることはできない)。
  - CALS/G4
  - PostScript、PDF、TIFF、JPEG
- 解像度が 300dpi を超える JPEG、TIFF、および CALS/G4 ページは、他のページとネスティングできない場合があります。

## プリンタが別のファイルを待機する時間は？

プリンタは可能な限り最良のネスティングを実現できるように、ファイルが受信された後、待機します。これは、後続のページがそのファイルとネスティング可能かどうか、またはキューにすでにあるページとネスティング可能かどうかを確認するためです。この待機時間はネスティング待ち時間と呼ばれ、工場出荷時のデフォルト設定は 2 分です。これは、プリンタが最後のファイルを受け取ってから最後のネスティングを印刷するまで待機する最大時間が 2 分であることを意味します。プリンタの

フロントパネルからこの待ち時間を変更できます。[セットアップ] アイコン  を選択し、次に [ジョブ管理オプション] - [ネスティングの設定] - [待ち時間の選択] を選択します。設定可能な範囲は 1 ~ 99 分です。

プリンタがネスティングのタイムアウトを待機する間、フロントパネルには残りの時間が表示されます。ネスティングを印刷する (ネスティングの待機をキャンセルする) には、**排紙/カット** ボタンを押します。

## インクを節約する

インクを節約するための推奨方法は、次のとおりです。

- プリントヘッドのクリーニングは、必要なときだけ、クリーニングが必要なプリントヘッドのみ行います。プリントヘッドのクリーニングは便利ですが、インクを消費します。
- プリンタの電源を入れたままにしておくと、プリンタが自動的にプリントヘッドを良好な状態に維持します。このプリントヘッドの定期保守では少量のインクが使用されますが、この定期保守を行わない場合、プリントヘッドの状態を回復するために、より多くのインクが使用されます。
- 縦向きで印刷するより、横向きで印刷したほうがインクを節約できます。これは、プリントヘッドの保守の際にもインクが使用され、保守が行われる頻度がプリントヘッドの移動回数に連動しているためです。このため、ジョブをネスティングさせると、用紙だけでなくインクも節約できます ([61 ページの「ジョブをネスティングしてロール紙を節約する」](#)を参照)。



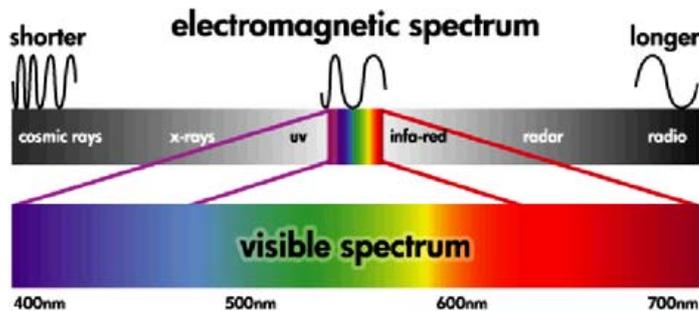
## 6 カラーマネジメント

- [色について](#)
- [問題：コンピュータの世界での色](#)
- [解決法：カラーマネジメント](#)
- [色と使用するプリンタ](#)
- [カラーマネジメント プロセスの概要](#)
- [カラーキャリブレーション](#)
- [カラー プロファイリング](#)
- [カラーマネジメント オプション](#)
- [黒点補正の実行](#)
- [レンダリング用途の設定](#)
- [カラー エミュレーション](#)
- [HP プロフェッショナル PANTONE エミュレーション](#)
- [カラー調整オプション](#)
- [カラーマネジメント シナリオ](#)

## 色について

私たちを取り巻く世界には様々な色が溢れていますが、色は私たちにとって、世界をどのように捉えるかを示す最初の姿です。したがって、色とは主観的なものであると言えるでしょう。詳細な調査の結果、色の認識には、目から脳に送られるいくつかの信号によって引き起こされる脳の活動に密接に関係していることがわかっています。これらの信号は、複雑で高度に結び付いた一連の処理段階を経て、目から送られてくる内容と、その他のあらゆる間接的な経験との関係を作ります。目から送られる信号は、目の後部に並ぶ光感受性細胞によって異なり、3つの種類があります。それぞれの種類は異なる物理的特性(波長)の電磁波を受感します。このような電磁波は光と呼ばれ、物体と光が相互作用する方法(発光、反射、吸収、透過、散乱など)により、物体にはそれぞれ色があるように見えます。

各個人が色に対して持つ認識は、それまでの経験や記憶、そしてその経験を言語化する方法によって影響されます。また、色に対する知覚は、明暗の変化、対象の内容、他の色との近似性など、環境要因から影響を受けるため、これらの要因はディスプレイや印刷物の色を認識する上で必ず存在する要素となります。これらのすべての側面(個人の生理的な違いから、過去の経験や記憶、言語的傾向における違いまで)で違いがあるため、1つの対象から反射される同じ光を見ても、色について話す内容は人によって異なります。ただし一方では、個人が色をどのように経験するかには多くの類似点があるため、そのプロセスで注意を払うことにより、非常に具体的な色の分別を他者と共有することも可能です。結論として、色とは、光、対象、および見る側の相互作用の結果によるものであるため、非常に複雑で、極めて主観的な事象であると言えます。



## 問題：コンピュータの世界での色

プリンタ、ディスプレイ、プロジェクタ、テレビなどのカラーイメージングデバイスは、さまざまな方法、およびさまざまな材料(色材)を使用して色を生み出します。たとえば、ディスプレイでは、赤(長い波長)、緑(中間の波長)、青(短い波長)の光を放出する色材を使用します。また、白を出力するためには3つの色材すべてを最大限に使用し、黒を出力するためにはいずれの色材も使用しない(どの光も放出されない)ようにします。光を放出する色材を使用するデバイスは、デバイスから届く光が見る側の目に入る前に組み合わされるため、加法的なデバイスと呼ばれます。一方、プリンタは、素材で光の一部を吸収する素材を使用します。このためプリンタは減法的なデバイスと呼ばれます。通常の印刷では、シアン(赤を吸収)、マゼンタ(緑を吸収)、イエロー(青を吸収)のインクに加えて、すべての波長の光を吸収する黒のインクを使用します。プリンタを使用して白を得るには、1枚の用紙から光を一切吸収しないことが必要になり、黒を得るには、すべてのインクを使用して、存在する光のすべてを吸収する必要があります。

カラーイメージングデバイスの出力を制御するには、通常、以下のカラースペースが使用されます。

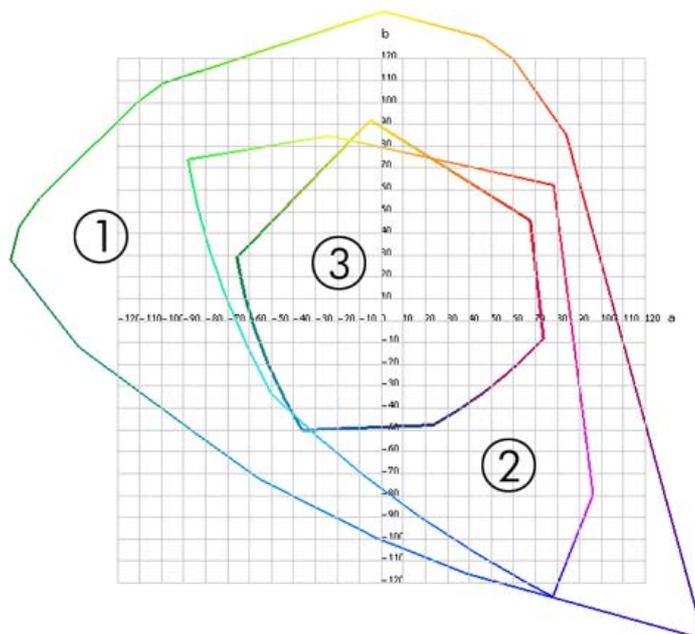
- **RGB (赤、緑、青)** は加法的なデバイスでよく使用されています。色は特定の数量の赤、緑、青の色材を組み合わせで表現され、その組み合わせで選択したデバイスの対応する色の範囲(色域)全体を表します。
- 📖 **注記：** 減法的なデバイスも RGB データを使用して制御できます。特に、プリンタの黒インクを使用する方法を制御する必要がない場合、これは効率的なオプションです。
- **CMYK (シアン、マゼンタ、イエロー、黒)** はプリンタや印刷機などの減法的なデバイスに使用されるカラースペースです。色はシアン、マゼンタ、イエロー、黒(K)のインクを組み合わせで表現され、その組み合わせで選択したデバイスの対応する色の範囲(色域)全体を表します。

これらのカラー スペースはどちらも、それぞれのカラー イメージング デバイスを制御するためだけの方法であり、値が普遍的な色を示すわけではありません。たとえば、同じ CMYK 値を、異なるインクと用紙の種類を使用する異なるプリンタに送信すると、印刷される色は異なります。たとえば、屋内用インクと屋外用インクを使い分けることができるプリンタの場合、プリンタ (ハードウェア) は同じですが、インクの化学組成が異なれば (染料と顔料)、異なる色域が 2 つ存在することになります。また、この化学組成によってインクと用紙の相互作用が変わるため、このようなプリンタではさまざまな用紙を使用する必要があります。このため、指定された CMYK 値の実際の印刷色は、プリンタで使用するインクと用紙の種類によって決まります。同じプリンタでもこのような現象が起こることから、印刷方式と使用するインクの化学組成が異なる別のプリンタの場合、当然同様の現象が起こります。

また、RGB で制御されるデバイスでも同じ現象が起こります。たとえば、製造元が同じ 2 台のモニタがあり、それぞれの白点が 9600K と 6500K であるとします。これらのモニタは異なる白点の基準に関係しているため、再現されるカラーが異なります。異なる製造元のモニタを比較すると、色の違いは明らかです。この現象に対しては、モニタの白点を 5000K (D50 と呼ばれます) に設定することをお勧めします。これは、グラフィック アート業界での標準の色温度です。D50 の表示が好ましくない場合 (黄色がかって見えるなど) は、6500K (D65) に設定することをお勧めします。

**注記：** 白点とは、デバイスが再現できる最も明るい中性色、またはイメージに存在する最も明るい中性色のことです。人間の視覚器官は、自動的にその白点を認識してイメージの内容に適応します。

また、特定のプリンタで RGB イメージ (デジタル カメラで撮影し、モニタで編集したイメージなど) を印刷する際には、まずイメージを CMYK に変換する必要があります。しかしながら、異なるデバイス間では同じ色域を使用できません。色によっては、ディスプレイ上では表示可能でも印刷物では再現できない場合や、その逆の場合があります。次の図は、人間の目に見える色は一般的なディスプレイや特定の用紙の種類を使用したプリンタで再現できる色よりも多いこと、およびこれら 2 つのカラー イメージング デバイスで使用できる色域がそれぞれ一致しないことを示しています。



1. すべての色
2. コンピュータのモニタの色域
3. CMYK 印刷の色域

カラー スペースのなかには、CIE (Commission Internationale de l' Eclairage) によって定義された CIE Lab や CIECAM02 など、デバイスに依存することなく、見る側が認識する色を表すものがあります。これらのカラー スペースの利点は、CMYK や RGB とは異なり、同じ CIE Lab 値を持つ 2 つのオブジェクトを同一条件下で見た場合に視覚的に同じになる点です。これらのカラー スペースの値は、オブジェクトによって放出反射される光を計測して得ることができます。

## 解決法：カラーマネジメント

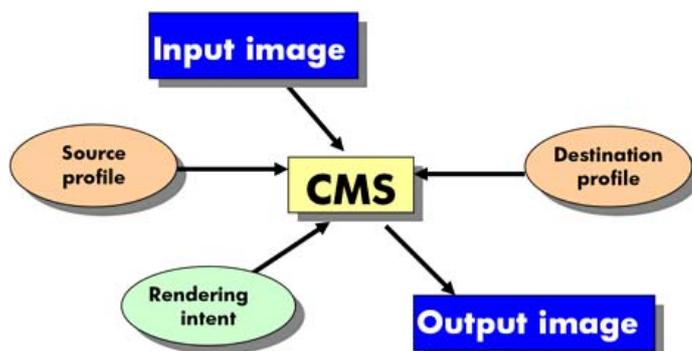
CMYK デバイスでは再現できない RGB デバイスの色や、その逆の色は多数あります。これらの色  
を、「色域外」の色と呼びます。業界では、色の差異をできる限りなくすために、以下の2つの手順  
を使用しています。

- 各デバイスの色の作用をできるだけ正確に記述する
- 1つの色域を別の色域へできるだけ効率的に変換する

解決法：

1. **ICC プロファイルを使用して、デバイスの色の作用をできるだけ正確に記述します。** デバイスの色の作用を記述するには、RGB または CMYK のさまざまな組み合わせを選択してデバイスへ送信し、出力結果を計測して、非デバイス依存のカラー空間 (CIE Lab など) で結果の出力を表します。結果の関係は ICC プロファイルに格納されます。このプロファイルは、デバイスのカラー空間 (CMYK または RGB) を非デバイス依存のカラー空間 (たとえば、CIE Lab) に変換するための辞書として機能する基準ファイルです。ICC プロファイルを生成する処理をプロファイリングと呼びます。
2. **カラーマネジメント システム (CMS) を使用して、カラーをできるだけ効果的に変換します。** CMS は、ICC プロファイルの情報を使用して、デバイスのカラー空間 (ソースプロファイルで定義) を別のデバイスのカラー空間 (ターゲット プロファイルで定義) に変換するソフトウェアです。この作業での難しい点は、あるデバイスの色域には存在するが別のデバイスの色域には存在しないカラーを扱うことです。この詳細については、後ほど説明します。

大別して、あらゆる CMS を次の4種類の設定で表すことができます。



- **CMS** :CMS (Color Management System : カラー マネージメント システム) は、入力画像内に格納された、ソース プロファイルで定義されたカラー空間を持つカラー情報を、ターゲット プロファイルで指定されたカラー空間を持つ出力画像に変換するアプリケーションです。アプリケーションの CMS、オペレーティング システムの CMS、プリンタの製造元が提供する印刷ソフトウェア (当社では HP Designjet Z3200ps 内蔵 RIP) の CMS など、さまざまな CMS が市販されています。
- **ソースプロファイル** : 入力デバイスの色の作用の記述です。
- **ターゲットプロファイル** : 出力デバイスの色の作用の記述です。
- **レンダリング用途** : カラーマネジメントの最も難しい課題は、ソース内の色域とターゲット内の色域が直接対応していない場合です。完全に一致させることは不可能であるため、色域の違いを処理する方法について指定できるオプションにはさまざまな種類があります。これらの種類をレンダリング用途と呼びます。最終的に実現する出力によって、4つのオプションがあります。
  - 元のイメージが RGB の場合、**[知覚的]** を使用すると、最も良好な出力結果が得られます。写真などに適しています。
  - 鮮やかな最終出力を得るには、**[彩度]** を使用します。これはビジネス グラフィック (チャート、プレゼンテーションなど) に適していますが、色を一致させる場合は推奨しません。

- **[相対カラーメトリック]** は、印刷のプルーフに適用しています。このレンダリング用途は、ソースとターゲットの色域の両方にある色は一致させ、一致させられない場合は差を最小限に抑えます。
- **[絶対カラーメトリック]** は、印刷のプルーフ (相対カラーメトリックなど) で、ソースの用紙の色もシミュレートする場合に適用しています。

※ **ヒント** : Photoshop、InDesign などのアプリケーションでソフトプルーフ オプションを使用して、各レンダリング用途の結果を表示できます。103 ページの「[モニタで出力を確認する \(InDesign、PS ドライバ\)](#)」を参照してください。

よく使用されるデバイス カラー スペースとプロファイルを以下に示します。

- **RGB モード** :
  - **sRGB (sRGB IEC61966-2.1)** : 個人消費者向けのデジタル カメラやスキャナで作成されたイメージ、および Web サイトなどのイメージに適用しています。
  - **Adobe RGB (1998)** : プロフェッショナル向けのデジタル カメラなどで作成された多くのイメージに適用しています。
  - **特定の RGB デバイス スペース** : プロファイリングされた特定の RGB デバイスとの間でやり取りされるイメージに適用しています。HP Designjet Z3200ps には計測機能があり、RGB ICC プロファイルを生成します。このときプロファイルには、計測時に取り付けられていた用紙の色の作用が記述されます。
- **CMYK モード** :
  - **SWOP** : 米国の一般的な印刷業者に合わせて定義された印刷規格である「Specifications for Web Offset Publications」の略語です。さまざまな種類の用紙に適用しています。
  - **ISO 12647-2** : 国際標準化機構によって定義された印刷規格で、さまざまな種類 (コート紙、非コート紙など) の用紙に適用しています。
  - **他の地域の規格** : Euroscale、JMPA、Japan Color。
  - **特定の CMYK デバイス スペース** : プロファイリングされた特定の CMYK デバイスとの間でやり取りされるイメージに適用しています。

## 色と使用するプリンタ

プロのクリエイターにとって、使用するプリンタで期待通りの信頼できる結果が得られることは不可欠です。効率的なカラー ワークフローにとって、期待通りであることは重要な要素です。選択した用紙に適した中間色のグレーや正しい色で印刷される必要があります。大量の出力でも、またプリンタを変えても、安定した印刷結果が得られなければなりません。高い信頼性により、品質に欠陥のない印刷物を常に作成し、顧客に渡すことができます。時間と労力を省き、インクと用紙を節約しながら、厳しい制作スケジュールに合わせて、朝までに確実に印刷を行うことが可能です。

HP Designjet Z3200ps プリンタは、先進のハードウェアとドライバによって期待通りの信頼できる結果を約束し、効率性とカラー ワークフロー管理を劇的に向上させます。

### HP 内蔵分光測光器

HP Designjet Z3200ps プリンタは、内蔵の分光測光器によるカラーキャリブレーションおよびプロファイリングにより、プロフェッショナルのカラー ワークフローに革命をもたらします。

分光測光器は、カラー パッチから反射する光の正確な構成を計測できる精密機器です。ニュートンのプリズムが白色光を虹の 7 色に分解するように、反射光を異なる波長要素に分解し、各要素の強さを計測します。HP 内蔵分光測光器はプリントヘッド キャリッジに搭載されています。

この分光測光器により、HP Designjet Z3200ps プリンタでは、使用する用紙の種類に適したカスタム ICC プロファイルが自動的に生成され、またプリンタのキャリブレーションが行われます。そのため、大量の出力でも、またプリンタを変えても、再現性が得られ、あらゆる環境条件で、また未知の(工場でプロファイルされていない)種類の用紙に印刷する場合でも、色の誤差は以前の HP Designjet 製品の半分以下に抑えられています。内蔵の白色キャリブレーションタイルは自動シャッターで保護されており、国際標準に準拠した信頼性の高い計測が実現します。

GretagMacbeth の i1 カラー テクノロジによるプリンタ、カラー イメージング パイプライン、および プロフェッショナル仕様の分光測光器が Z3200ps 用の HP Color Center ソフトウェアに統合されています。キャリブレーションとプロファイリング処理を出力システムに直接アクセスさせることにより、印刷される各カラー パッチにおけるインク量や色分解を正確にコントロールすることができます。また、測定プロセスの自動化によって、テスト印刷の操作が不要になると共に、繰り返し乾燥時間の設定や、電気機械的な位置制御により、分光測光器のカラーパッチ上の正確な位置合わせを行いながらの高速な測定を行います。これによって、より高価なおフラインのハンドヘルドタイプのプロファイリング システムに勝るとも劣らない、これまでにない使いやすさを実現しています。

## カラーマネジメント プロセスの概要

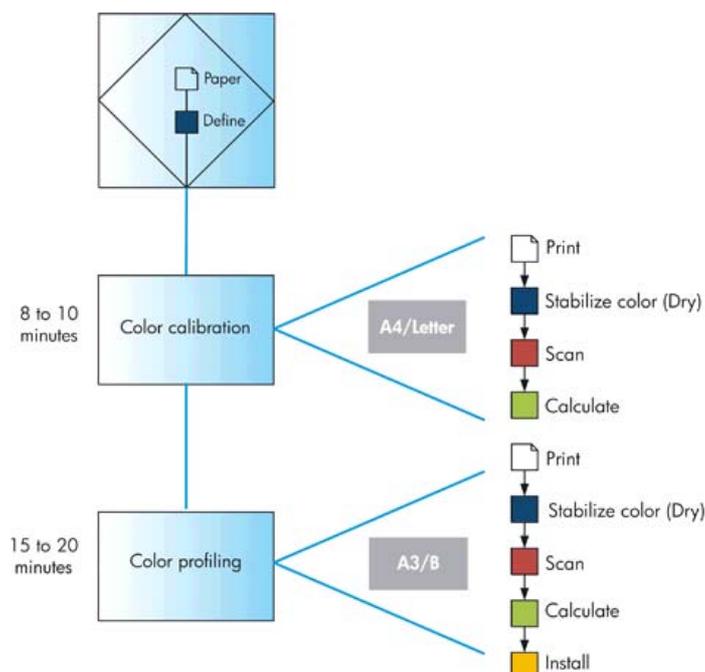
正確で一貫した期待どおりの色を得るために、使用する用紙の種類に応じて以下の手順に従ってください。

1. プリンタが認識していない用紙の種類を使用する場合、プリンタの既存の用紙リストにそれを追加します。[40 ページの「独自の用紙プリセットを作成する方法」](#)を参照してください。ユーザは通常、毎年 2 ~ 3 種類のカスタム用紙を追加しています。
2. 一貫した色を再現するために、用紙の種類に対してカラーキャリブレーションを行います。キャリブレーションは、プリンタ アラートによる実行の推奨の通知があった際（通常は使用する用紙の種類ごとに数週間間隔で）、実行すべきです。また、特に色再現が重要なプリント ジョブの前には、キャリブレーションを実行します。
3. 高いカラー精度を得るために、用紙の種類に対応したカラー プロファイルを作成します。通常は、プロファイリングを繰り返し行う必要はありません。特定の用紙の種類に一度作成したプロファイルをそのまま使用できます。ただし、プロファイリングを繰り返し実行しても問題はないため、毎月プロファイリング処理を実行してプロファイルを更新してもかまいません。
4. 印刷時に、使用する用紙の種類に合った適切なカラー プロファイルを選択します。

プリンタですでに定義された用紙の種類を使用する場合、カラー プロファイルがすでに作成されていますが、そのプロファイルを使用する前にキャリブレーションを行うことをお勧めします。

新しい用紙の種類を定義した場合は、キャリブレーションとプロファイリングの手順が自動的に開始されます。

以下の図には、HP Color Center で処理される操作が正しい順序で示されています。



**注記：** 図に示すように、3つの操作すべてを順番に実行することもできますが、3つの操作はどこから開始してどこで終了してもかまいません。ただし例外があり、新しい用紙の種類が追加されると、カラーキャリブレーションが自動的に実行されます。

## カラーキャリブレーション

カラーキャリブレーションを行うことによって、プリンタの特定のプリントヘッド、インク、および使用する用紙の種類に合わせて、また特定の環境条件に応じて、色調を統一することができます。カラーキャリブレーションを行うと、異なる場所にある2つのプリンタから同じ内容の印刷物を出力することができます。

キャリブレーションは、以下の状況の場合に実行してください。

- プリントヘッドを交換した場合
- 現在のプリントヘッドでキャリブレーションを実行したことがない新しい用紙の種類を使用する場合
- 最後にキャリブレーションを実行した後、一定量の印刷が行われた場合
- 長期間プリンタの電源をオフのままにしておいた場合
- 環境条件 (温度や湿度など) が大きく変化した場合

アラートを無効に設定しない限り、プリンタドライバは通常、カラーキャリブレーションが必要なときにアラートを表示します。ただし、環境条件が変化してしまった場合には、アラートは表示されません。

カラープロファイルを作成せずに後でカラーキャリブレーションを行うこともできますが、カラープロファイルを作成する前に、用紙の種類に対応するキャリブレーションを行ってください。

フロントパネルからカラーキャリブレーションを無効にすることができます。[イメージ品質の保守]

アイコン  を選択し、[カラーキャリブレーションの有効化] を選択します。[オフ] に設定します。この場合、すべての用紙の種類について、工場出荷時に設定されたデフォルトのキャリブレーションが使用されます。後でカラーキャリブレーションを再び有効にする場合、以前に実行したすべてのキャリブレーションはプリンタに保存されています。

## キャリブレーションステータスの確認

現在取り付けられている用紙のカラーキャリブレーションステータスは、フロントパネルの **用紙情報の表示** ボタンを押すことで、いつでも確認できます。ステータスは以下のいずれかになります。

- **ペンディング**：この用紙でキャリブレーションが実行されていません。  
 **注記**：プリンタのファームウェアを更新した場合、すべての用紙のカラーキャリブレーションステータスはペンディングにリセットされます。[138 ページの「ファームウェアをアップデートする」](#)を参照してください。
- **失効**：この用紙でキャリブレーションが実行されましたが、上記の理由のいずれかによって現在失効しているため、キャリブレーションをもう一度実行する必要があります。
- **OK**：この用紙でキャリブレーションが実行され、そのキャリブレーションが有効です。
- **未定義**：この用紙でキャリブレーションを実行することはできません。キャリブレーションを実行できない用紙の種類は、普通紙、透明な素材、および光沢紙 (HP コレクター半光沢キャンバスなど) です。ただし、これらの用紙のプロファイリングは実行できます。

## キャリブレーション

カラーキャリブレーションは、以下の方法で開始できます。

- キャリブレーションの実行を推奨する、プリンタ ドライバのアラートが表示された場合
- HP Color Center で**[用紙プリセット管理]** - **[用紙のキャリブレーション]** を選択した場合
- フロントパネルで **[イメージ品質の保守]** アイコン  を選択し、**[カラーキャリブレーション]** を選択した場合

キャリブレーション処理は完全に自動化されています。A4、レター サイズ、その他のより大きなサイズなど、キャリブレーションを行う種類の用紙を取り付けた後、無人で実行されます。

この処理には 8 ～ 10 分ほどかかります。以下の手順で実行されます。

1. キャリブレーション テスト チャートが印刷されます。これには、プリンタで使用する各インクのパッチが印刷されています。



2. チャートは、インクが乾いてカラーが安定するまでプリンタに保持されます。この時間は用紙の種類によって異なります。
3. チャートがスキャンされ、HP 内蔵分光測光器で計測されます。
4. 分光測光器による計測結果を基に、必要な修正要素が算出され、その用紙の種類で再現性のあるカラー印刷を行うために適用されます。また、その用紙に使用される各インクの最大量も計算されます。

※ **ヒント：** カラーキャリブレーションが失敗した場合は、足りない色がないかどうかをチャートで確認してください。プリントヘッドに問題があると色が足りなくなることがあります(179 ページの「[インクカートリッジとプリントヘッドに関するトラブルシューティング](#)」を参照)。

☞ **注記：** マット ブラックは光沢紙や半光沢紙には使用されないため、これらの用紙のキャリブレーションを行う場合にチャートにはマット ブラックの列が印刷されません。

## Photoshop からのキャリブレーション

Windows 向け Adobe Photoshop CS3 以降を使用しているときに用紙のカラーキャリブレーションが必要なことを通知する警告が [印刷] ウィンドウに表示された場合は、アイコン  をクリックすると HP Printer Utility を起動してキャリブレーションを実行できます。

この機能を Windows XP で有効にするには、Microsoft の Web サイトから以下の無償のソフトウェアをダウンロードし、インストールする必要があります。

- Microsoft Core XML Services (MSXML) 6.0
- Microsoft XML Paper Specification Essentials Pack 1.0

## カラー プロファイリング

カラーキャリブレーションによって色調を統一することができますが、統一されているからといってカラー精度が高いとは限りません。たとえば、お使いのプリンタがどの色も黒で印刷してしまう場合、色調は統一されていても正確な色ではありません。

正確な色で印刷するためには、ファイル内でカラー値を変換し、使用するプリンタ、インクおよび用紙で適切な色が印刷できるように調整する必要があります。ICC カラー プロファイルには、これらのカラー変換に必要なプリンタ、インク、および用紙の組み合わせについてのすべての情報が記述されています。

新しい用紙の種類を定義してキャリブレーションを行うと、プリンタが使用する用紙に適した ICC プロファイルを作成できる状態になり、これによって、最高のカラー精度が得られます。また、プリンタが認識済みの用紙の種類を使用する場合、その用紙に適した ICC プロファイルがすでに作成されています。

## 独自のプロファイルを作成する

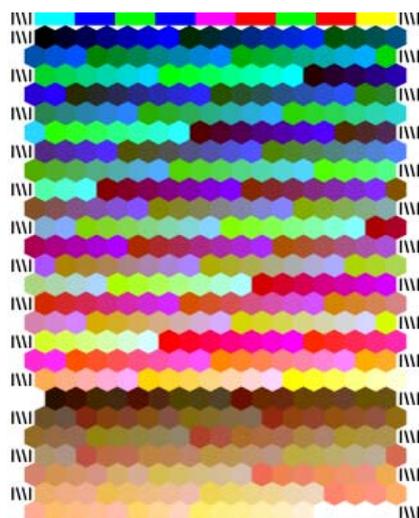
HP Color Center を使用するとカラー プロファイルを簡単に作成できます。**[用紙プリセット管理]** - **[用紙のプロファイル]** を選択します。用紙に関する情報を入力するよう求められます。続いて、新しいプロファイルが自動的に作成され、インストールされます。

この処理には 15 ～ 20 分ほどかかります。以下の手順で実行されます。

1. プロファイリング チャートが印刷されます。これには、プリンタで使用される各インクのパッチが印刷されています。キャリブレーション チャートとは異なり、大部分のパッチに 2 種類以上のインクが使用されています。

プリンタによって、次のいずれかのプロファイル チャートが自動的に選択されます。

- A3 カット紙または B カット紙用フォーマット



- 用紙の消費を最小にするために用紙幅一杯に印刷するロール紙用フォーマット



2. チャートは、インクが乾いてカラーが安定するまでプリンタに保持されます。この時間は用紙の種類によって異なります。

**注記：** 乾燥時間を長く取る場合は、HP Color Center で、プロファイルを作成せずにチャートを作成することができます (Windows :**[ターゲットのみを印刷し、ICC プロファイルを後で作成する]**/Mac OS :**[ICC プロファイリング チャートを印刷する]**)。チャートが完全に乾燥してから HP Color Center を再起動し、作成済みのチャートを使用してプロファイルを作成することができます (Windows :**[既に印刷されているターゲットから ICC プロファイルを作成する]**/Mac OS :**[ICC プロファイリング チャートをスキャンして、ICC プロファイルを作成する]**)。この場合、分光測光器でスキャンの準備ができるまで、ウォーム アップに多少時間がかかります。

3. チャートがスキャンされ、HP 内蔵分光測光器で計測されます。

 **注記：** スキューチェックなしのカット紙としてチャートの用紙を取り付けた場合、チャートが正常に計測されない可能性があります。

4. 分光測光器による計測結果を基に、使用するプリンタ、インク、用紙に適した ICC プロファイルが算出されます。
5. 新しい ICC プロファイルは、アプリケーション プログラムが参照できるように、コンピュータの適切なシステム フォルダに格納されます。

プロファイルはプリンタにも格納されるので、同じプリンタに接続されている他のコンピュータにコピーできます。HP Printer Utility では、コンピュータにまだ格納されていないプロファイルがプリンタにある場合、そのことが表示されます。

 **注記：** 作成されたばかりのプロファイルを使用するには、アプリケーションを閉じて再起動することが必要な場合があります。

フォト用紙は、グロスエンハンサをオンまたはオフにした状態でプロファイリングできます。これらの 2 つのプロファイルは異なるため、異なる名前を付けて保存することをお勧めします。

## カラー計測

サードパーティ製のプロファイリング プログラムとカラー計測機能を使用して、カラー プロファイルも簡単に作成できます。カラー計測を開始するには、以下の手順を実行します。

- HP Printer Utility (Windows) で、**[Color Center] - [用紙プリセット管理] - [カラーメジャーメント]** を選択します。
- HP Printer Utility (Mac OS) で、**[HP Color Center] - [用紙プリセット管理]** を選択します。用紙の種類を選択して、 ボタンを押し、プルダウンメニューで、**[カラーメジャーメント]** を選択します。

以下の手順を続行します。

1. 以下のオプションから使用するワークフローを選択します。
  - **[カラーチャートを印刷して計測する]** では、一度の処理で印刷と計測が実行されます。グロスエンハンサを使用するかどうか、および許容する乾燥時間を選択できます。
  - **[カラーチャートを印刷して、後で計測する]** では、印刷したチャートを後で計測して処理を完了することが前提となっています。グロスエンハンサを使用するかどうかを選択できます。
  - **[すでに印刷してあるカラーチャートを計測する]** では、計測用のカラー チャートを準備している場合の処理が実行されます。矢印が示す正しい方向にチャートを取り付け、複数のページを正しい順序で取り付けます。用紙はカットしないでください。
  - **[カラーチャートを TIFF ファイルでエクスポートする]** では、RIP などの異なるプログラムを使用してカラー チャートを印刷できます。TIFF ファイルは、どのような方法でも印刷前に変更しないでください。印刷したチャートは、正しいサイズである必要があります。このための簡単な方法は、チャートよりも大きい用紙サイズにチャートを印刷し、印刷後に切り取り線で用紙をカットすることです。
2. チャートを印刷する場合は、使用可能なチャートのいずれかを選択します。
3. チャートを計測する場合、計測ファイルの特性、計測ファイル内の情報の種類 (CGATS フォーマットと Monaco Profiler フォーマットをサポート)、およびファイルの保存先を選択します。

 **注記：** スキューチェックなしのカット紙としてチャートの用紙を取り付けた場合、チャートが正常に計測されない可能性があります。

4. プロファイリング プログラムを使用して計測ファイルを開きます。

 **注記:** プリンタの分光測光器の計測範囲は、400 ~ 700nm です (20nm 刻み幅)。その他の種類の計測はすべて補間されます。

## モニタのプロファイリングを行う

モニタ (ディスプレイ装置) もキャリブレーションとプロファイリングを行うことをお勧めします。これによって、画面に表示される色が、印刷される色により近くなります。これを行うには、以下の2つの方法があります。

- オペレーティング システムに付属する機能を使用する方法。詳細については、HP Color Center で **[ディスプレイのキャリブレーション方法]** を選択してください。
- HP Advanced Profiling Solution を使用する方法。より正確な結果を得ることができます。

## カラーマネジメント オプション

カラーマネジメントの目的は、あらゆるデバイスで色をできるだけ正確に再現することにあります。これによって、イメージを印刷するとき、モニタ上でそのイメージを見たときと限りなく近い色で印刷することができます。

プリンタのカラーマネジメントには2つの基本的な方法があります。

- **[アプリケーションで管理]**:この場合、アプリケーション プログラムで、イメージに埋め込まれた ICC プロファイルやプリンタおよび用紙の種類の ICC プロファイルを使用して、プリンタおよび用紙の種類のカラー スペースに合わせてイメージの色が変換されます。
- **[プリンタで管理]**:この場合、アプリケーション プログラムではカラー変換が行われずにイメージがプリンタに送信され、プリンタでカラー スペースに合わせて色に変換されます。このプロセスの詳細は、使用しているグラフィック言語によって異なります。
  - **PostScript**:プリンタ内部の PostScript インタプリター モジュールでは、プリンタに保存されたプロファイル (HP Color Center によって生成されたプロファイルを含む) および PostScript ジョブと共に送信された追加のプロファイルを使用してカラー変換を実行します。この種のカラーマネジメントは、PostScript ドライバを使用していてプリンタのカラーマネジメントを指定した場合や、内蔵 Web サーバを介してプリンタに PostScript、PDF、TIFF、または JPEG ファイルを直接送信した場合に実行されます。どちらの場合も、デフォルトとして使用するプロファイル (ジョブで指定されない場合に備えて) および適用するレンダリング用途を選択する必要があります。
  - **PostScript 以外 (PCL3)**:カラーマネジメントは、保存された ICC プロファイルのセットを使用して実行されます。この方法は前述の方法よりも用途が限られていますが、使いやすさや速さに優れ、標準的な HP の用紙の種類で良好な結果が得られます。この種のカラーマネジメントは、PostScript 以外のドライバを使用していてプリンタのカラーマネジメントを指定した場合や、内蔵 Web サーバを介してプリンタに PCL3 ファイルを直接送信した場合に実行されます。

プリンタに格納されているプロファイルでプリンタのカラー スペースに変換できるカラー スペースは、2つだけです (Windows の場合は Adobe RGB と sRGB、Mac OS の場合は Adobe RGB)。また、ColorSync を使用できます。

ColorSync は Mac OS に組み込まれたカラーマネジメント システムです。このため、ColorSync を選択すると、カラーマネジメントは Mac OS によって、指定した用紙の種類の ICC プロファイルに基づいて実行されます。ColorSync は、PCL3 ドライバでのみ使用できます。

Mac OS X 10.4 では、**[用紙の種類/品質]** パネルから ColorSync を選択します。**[カラー]** タブを選択し、次に、**[ソースプロファイル]** プルダウン メニューから **[埋め込みプロファイル (ICC/ColorSync) を使用]** を選択します。Mac OS X 10.5 では、**[カラー マッチング]** パネルから ColorSync を選択できます。

使用するアプリケーションのカラーマネジメントオプションの使用方法については、<http://www.hp.com/go/z3200ps/knowledgecenter/> の Knowledge Center を参照することをお勧めします。

以下の手順で、[アプリケーションで管理] または [プリンタで管理] を選択します。

- **Windows ドライバのダイアログの場合** : [カラー] タブを選択します。
- **Mac OS の [プリント] ダイアログの場合 (PCL3 ドライバ)**: [用紙の種類/品質] パネルに移動して [カラー オプション] を選択します。
- **Mac OS の [プリント] ダイアログの場合 (PostScript ドライバ)**: [カラー オプション] パネルを選択します。
- **一部のアプリケーションの場合** : アプリケーションで選択できます。

## Photoshop によるカラーマネジメントの例

この例では、Photoshop から印刷した Adobe RGB イメージを使用します。これを行うには、以下の3つの方法があります。

- Photoshop で **[Photoshop によるカラー処理]** を選択します。プリンタ ドライバで、**[アプリケーションで管理]** を選択します。カラーマネジメントは Photoshop で行われます。この方法をお勧めします。
- Photoshop で **[プリンタによるカラー処理]** を選択します。プリンタ ドライバで、**[プリンタで管理]** および sRGB プロファイルを選択します。Photoshop によって、イメージが Adobe RGB から sRGB に変換され、プリンタに送信されます。カラーマネジメントはプリンタで行われます。残念ながら sRGB に変換すると色域が失われますが、Photoshop では **[プリンタによるカラー処理]** を選択した場合に sRGB への変換を防止できません。
- Photoshop で **[カラーマネジメントなし]** を選択します。プリンタ ドライバで、**[プリンタで管理]** および AdobeRGB プロファイルを選択します。Photoshop で変換が実行されず、色域が失われず、カラーマネジメントがプリンタで実行されます。ただし、この方法は Photoshop で同期されたカラーマネジメントを使用している場合には機能しません (以下を参照)。

## Photoshop により同期されたカラーマネジメント

Adobe Photoshop CS3 (Windows) または Adobe Photoshop CS2 (Mac OS) 以降を使用している場合、カラーマネジメント オプションは Photoshop とドライバ間で自動的に同期できます。

- Photoshop で **[Photoshop によるカラー処理]** または **[カラーマネジメントなし]** を選択すると、ドライバで **[アプリケーションで管理]** が自動的に選択されます。
- Photoshop で **[プリンタによるカラー処理]** を選択すると、ドライバで **[プリンタで管理]** が自動的に選択されます。PostScript ドライバでは、Photoshop によってジョブに指定されたカラー プロファイルが使用されます。

このような Photoshop の同期を Windows XP で有効にするには、Microsoft の Web サイトから以下の無償のソフトウェアをダウンロードし、インストールする必要があります。

- Microsoft Core XML Services (MSXML) 6.0
- Microsoft XML Paper Specification Essentials Pack 1.0

## 黒点補正の実行

 **注記** : このオプションは、PostScript ジョブまたは PDF ジョブを印刷する場合にのみ使用できません。

黒点補正オプションでは、カラー スペース間でカラーを変換するときに、黒点の差異を調整するかどうかを設定します。このオプションを選択すると、完全なダイナミック レンジのソース スペース

が、完全なダイナミック レンジのデスティネーション スペースにマップされます。この機能は、ソース スペースの黒点がデスティネーション スペースの黒点より濃い場合に、シャドウ部分を残すために非常に便利です。このオプションは、レンダリング用途として相対カラーメトリックが選択されている場合のみ使用できます (78 ページの「[レンダリング用途の設定](#)」を参照)。

黒点補正は、以下の方法で指定できます。

- 内蔵 Web サーバの [ジョブの送信] ページの場合 : [カラー] - [黒点補正] を選択します。
- フロントパネルを使用する場合 : [セットアップ] アイコン  を選択し、次に [印刷設定] - [カラーオプション] - [黒点補正] を選択します。

## レンダリング用途の設定

 **注記 :** このオプションは、PostScript ジョブ、PDF ジョブ、TIFF ジョブ、または JPEG ジョブを印刷する場合にのみ使用できます。

レンダリング用途は、カラー変換を実行するとき使用される設定の 1 つです。印刷するカラーの一部がプリンタで再現できない場合があります。レンダリング用途を使用すると、これらのいわゆる色域外の色を処理する 4 つの方法のいずれかを選択できます。

- **[彩度 (グラフィック)] :** 明るい、鮮やかな色を使用するプレゼンテーション用のグラフィック、表、またはイメージに最適です。
- **[知覚的 (イメージ)] :** 中間色が多数含まれた写真またはイメージに最適です。色の全体的な見栄えは、可能な限り維持されます。
- **[相対カラーメトリック (プルーフィング)] :** 特定の色と調和させる場合に最適です。この方法は、主にプルーフィングに使用されます。正確に色を印刷できる状態では、確実に正確な色で印刷されます。これ以外のオプションでは、より望ましい色の範囲が再現される場合もありますが、特定の色が正確に印刷されるとは限りません。また、このオプションでは、入力カラー スペースの白が、印刷する用紙の白にマッピングされます。
- **[絶対カラーメトリック (プルーフィング)] :** [相対カラーメトリック] と同様ですが、白のマッピングは行われません。このレンダリングも主にプルーフに使用されますが、この場合のプルーフは、1 台のプリンタの出力のシミュレーション (白点を含む) を目的に行います。

レンダリング用途は、以下の方法で指定することができます。

- 内蔵 Web サーバの [ジョブの送信] ページの場合 : [カラー] - [レンダリング用途] を選択します。
- フロントパネルを使用する場合 : [セットアップ] アイコン  を選択し、次に [印刷設定] - [カラーオプション] - [レンダリング用途の選択] を選択します。

## カラー エミュレーション

お使いのプリンタでは、他のデバイス (モニタなどの RGB デバイス、印刷機やプリンタなどの CMYK デバイス) の色の作用をエミュレートできます。

 **注記 :** ジョブに ICC プロファイルが指定されていない場合にのみ、これらのカラー エミュレーションが実行されます。ジョブにプロファイルが指定されている場合は、カラー エミュレーションを実行する代わりに、そのプロファイルが使用されます。

カラー エミュレーションは、以下の方法で設定できます。

- **Windows ドライバのダイアログの場合** : [カラー] タブの [プリンタで管理] を選択します。
- **[Mac OS の [プリント] ダイアログの場合** : [カラー オプション] パネルの [プリンタで管理] を選択します。
- **フロントパネルを使用する場合** : [セットアップ] アイコン  を選択し、[印刷設定] - [カラー オプション] - [RGB ソース プロファイルの選択] または [CMYK 入力プロファイルの選択] を選択します。

適切なエミュレーションを実行するために、プリンタでは、これらのデバイスで再現できるカラーの仕様が重要です。これらの情報をカプセル化するための標準的な方法は、ICC プロファイルです。この解決策の一部として、弊社では、さまざまなデバイスで最も共通性の高い標準規格を用意しました。適切な ICC プロファイルを選択する以外に、印刷の種類に応じて適切なレンダリング用途(ビジネス プレゼンテーション、写真、プルーフなど)を選択する必要があります。[78 ページの「レンダリング用途の設定」](#)を参照してください。

オプションは以下のとおりです。

## CMYK カラー エミュレーション

従来の処理では、CMYK スペースでカラーが定義されます。最高の印刷結果を得るには、カラーをプリンタに合わせて調整する必要があります。これは、プリンタが変わると同じ CMYK データから異なるカラーが生成されるためです。印刷中のイメージ ファイルが HP Designjet プリンタに合わせて作成されていない場合は、プリンタから再調整を要求するメッセージが表示されます。再調整を行うには、プリンタの以下のオプションからいずれかを選択します。

CMYK エミュレーションのすべてのオプションは、PDF、PostScript、TIFF、および JPEG ファイルにのみ適用されます。

- **[なし (ネイティブ)]** :エミュレーションを行いません。プリンタは、CMYK から RGB へのデフォルトの内部変換を使用します。このとき、どのカラー標準規格にも従いませんが、これにより、結果の質が悪くなることを意味するわけではありません。
- **[U.S. Sheefed Coated 2]** は、インクの総使用量 350%、ネガ版、インクジェットオフセット用紙の印刷条件下で、米国製インクを使用して高品質の色分解を行うように設計された仕様に準拠しています。
- **[U.S. Sheefed Coated 2]** は、インクの総使用量 260%、ネガ版、普通オフセット用紙の印刷条件下で、米国製インクを使用して高品質の色分解を行うように設計された仕様に準拠しています。
- **[U.S. Web Coated (SWOP) 2]** は、インクの総使用量 300%、ネガ版、出版用コート紙の印刷条件下で、米国製インクを使用して高品質の色分解を行うように設計された仕様に準拠しています。
- **[U.S. Web Uncoated (SWOP) 2]** は、インクの総使用量 260%、ネガ版、普通オフセット用紙の印刷条件下で、米国製インクを使用して高品質の色分解を行うように設計された仕様に準拠しています。
- **[Europe ISO Coated FOGRA27]** は、インクの総使用量 350%、ポジ版、コート紙の印刷条件下で、ISO 12647 に準拠した印刷の高品質の色分解を行うように設計されています。
- **[Euroscale Uncoated 2]** は、インクの総使用量 260%、ポジ版、普通オフセット用紙の印刷条件下で、Euroscale インクを使用して高品質の色分解を行うように設計された仕様に準拠しています。
- **[JMPA]** :オフセット印刷機の日本標準。

- **[Japan Color 2001 Coated]** は、Japan Color 2001 のタイプ 3 (コート紙) の仕様に準拠しています。これは、インクの総使用量 350%、ポジ版、コート紙の印刷条件下で、高品質の色分解を行うように設計されています。
- **[Japan Color 2001 Uncoated]** は、Japan Color 2001 のタイプ 4 (非コート紙) の仕様に準拠しています。これは、インクの総使用量 310%、ポジ版、普通紙の印刷条件下で、高品質の色分解を行うように設計されています。
- **[Japan Color 2002 Newspaper]** は、Japan Color 2002 新聞用に準拠しています。これは、インクの総使用量 240%、ポジ版、標準新聞紙の印刷条件下で、高品質の色分解を行うように設計されています。
- **[Japan Web Coated (Ad)]** は、日本国内の雑誌/広告業界向けにイメージのデジタル プルーフ用として日本雑誌協会が作成した仕様に準拠しています。
- **[Toyo]** は、高品質の色分解を行うための東洋インキ製造独自の仕様です。
- **[DIC]** は、高品質の色分解を行うための大日本インキ化学工業独自の仕様です。

☞ **注記：** これらのオプションは、アプリケーションが独自の CMYK スペースを定義している場合には影響しません。この独自の CMYK スペースは、「キャリブレーションされた CMYK」または PostScript の用語で「CIEBasedDEFB」と呼ばれます。

## RGB カラー エミュレーション

これらのオプションは、PDF、PostScript、TIFF、および JPEG ファイルに適用されます。

お使いのプリンタには、以下のカラー プロファイルが用意されています。

- **[なし (ネイティブ)]** :エミュレーションを行いません。カラー変換がアプリケーションまたはオペレーティング システムによって行われ、データがすでにカラーマネジメントされた状態でプリンタに送られる場合に使用します。
- **[sRGB IEC61966-2.1]** は、一般的な PC モニタの特性をエミュレートします。このカラー スペースは、多数のハードウェア メーカーとソフトウェア メーカーでサポートされており、さまざまなスキャナ、プリンタ、ソフトウェア アプリケーションに標準装備されるカラー スペースになっています。
- **[ColorMatch RGB]** は、Radius Pressview モニタ固有のカラー スペースをエミュレートします。このカラー スペースは、[Adobe RGB (1998)] よりも色域が狭く、印刷製作作業に使用することができます。
- **[Apple RGB]** は、一般的な Apple モニタの特性をエミュレートしており、さまざまな DTP アプリケーションで使用されています。このカラー スペースは、Apple モニタでファイルを表示する場合、または古い DTP ファイルを処理する場合に使用します。
- **[Adobe RGB (1998)]** は、RGB カラーのかなり大きな色域を再現することができます。このカラー スペースは、印刷物に幅広い範囲の色が必要な場合に使用します。

## HP プロフェッショナル PANTONE エミュレーション

イメージで名前付きの PANTONE カラーを使用すると、通常、アプリケーションによってそのカラーに近い CMYK または RGB カラーがプリンタに送信されます。ところが、アプリケーションではプリンタや用紙の種類が考慮されないため、PANTONE カラーに一般的に近いカラーが再現されるだけで、異なるプリンタや用紙では違う色に見えます。

[HP プロフェッショナル PANTONE エミュレーション] では、プリンタや用紙の種類を考慮に入れることによって、最も近いカラーを再現することができます。特定のプリンタで特定の用紙を使用して再現されるカラーは、元の PANTONE カラーと可能な限り同じように見えるようになります。この技術は、プリプレスのプロフェッショナルの方々が手作業で行ったエミュレーションと同様のエミュレーションを実現することを目的としています。

[HP プロフェッショナル PANTONE エミュレーション] を使用するには、この機能をオンにするだけです。実際には、この機能はデフォルトでオンになっています。

- **Windows PostScript ドライバのダイアログの場合**：[カラー] タブに移動し、[HP プロフェッショナル PANTONE エミュレーション] を選択します。
- **Mac OS の [プリント] ダイアログの場合**：[カラー オプション] パネルに移動し、[HP プロフェッショナル PANTONE エミュレーション] を選択します。
- **内蔵 Web サーバの [ジョブの送信] ページの場合**：[カラー]-[HP プロフェッショナル PANTONE エミュレーション] を選択します。

 **注記**： [HP プロフェッショナル PANTONE エミュレーション] は、PostScript ジョブまたは PDF ジョブを印刷する場合にのみ使用できます。

また、内蔵 Web サーバを使用して、プリンタが再現する PANTONE カラーのエミュレーションを示す見本帳を印刷することもできます。この見本帳には、各エミュレーションと元の PANTONE スポットカラーの間の色の差 ( $\Delta E$ ) の値も示されます。つまり、[HP プロフェッショナル PANTONE エミュレーション] を使用すると、お使いのプリンタで実現できる最も一致するカラーを再現できるだけでなく、そのエミュレーションが元のスポットカラーにどの程度近いかに関する明確な情報も得ることができます。

見本帳を印刷するには、内蔵 Web サーバの [メイン] タブを選択し、[HP プロフェッショナル PANTONE エミュレーション] を選択します。別の PANTONE フォーミュラ ガイド タブから、印刷するストリップを選択し、[次へ] ボタンをクリックします。選択したストリップを確認し、使用する場合はクロス エンハンサを選択します。次に、[印刷] ボタンをクリックして、見本帳を印刷します。



## カラー調整オプション

カラー調整の目的は、正確な色を出力することにあります。カラーマネジメントを適切に実行すると、手動でカラー調整を行うことなく、正確な色を出力できます。

ただし、以下の状況では手動での調整が便利です。

- 何らかの原因で、カラーマネジメントが正しく機能しない場合
- 正確さより主観的に好ましい色が求められる場合

プリンタ ドライバには、カラーで印刷するか、グレースケールで印刷するかによって、異なる調整機能が用意されています。

## カラーでの印刷

印刷の色は、Windows と Mac OS でほとんど同じ方法で調整できます。

- **Windows ドライバのダイアログの場合** : [カラー] タブを選択し、[カラー詳細調整] チェックボックスがオンになっていることを確認し、その近くにある [設定] ボタンをクリックします。
- **[Mac OS の [プリント] ダイアログの場合 (PostScript ドライバ)]**:[カラー オプション] パネルで [明度と色相] を選択します。
- **[Mac OS の [プリント] ダイアログの場合 (PCL3 ドライバ)]**:[用紙の種類/品質] パネルを選択し、[明度と色相] を選択します。

どちらのオペレーティング システムでも、明度スライダと 3 つのカラー調整スライダを使用して調整できます。



- 明度スライダは、印刷全体を明るくしたり、暗くしたりします。
- カラー調整スライダは、印刷で各原色を弱めたり、強調したりするために使用できます。原色は、イメージで使用されているカラー モデルに応じて、レッド、グリーン、ブルー、またはシアン、マゼンタ、イエローのどちらかになります。

[リセット] ボタンをクリックすると、各スライダはデフォルトの中央位置に戻ります。

## グレースケールでの印刷

印刷のグレースケールは、Windows と Mac OS でほとんど同じ方法で調整できます。

- **Windows ドライバのダイアログの場合** : [カラー] タブを選択し、[カラー詳細調整] チェックボックスがオンになっていることを確認し、その近くにある [設定] ボタンをクリックします。
- **[Mac OS の [プリント] ダイアログの場合 (PostScript ドライバ)]**:[カラー オプション] パネルで [グレースケール] を選択します。
- **[Mac OS の [プリント] ダイアログの場合 (PCL3 ドライバ)]**:[用紙の種類/品質] パネルを選択し、[グレースケール] を選択します。

どちらのオペレーティング システムでも、ハイライト、中間トーン、シャドウについてそれぞれ独立したコントロールを使用して調整できます。



- 明度スライダは、印刷全体を明るくしたり、暗くしたりします。Windows の場合、このスライダはグレースバランスの詳細調整と同じウィンドウにあります。Mac OS の場合、このスライダは [明度と色相] を選択して表示されるウィンドウにあります。
- ゾーンの定義スライダは、ハイライト、中間トーン、シャドウの調整を定義するために使用できます。
- ハイライト、中間トーン、シャドウの他のコントロールは、それぞれハイライト、中間トーン、シャドウのグレースバランスを調整するために使用できます。

[リセット] ボタンをクリックすると、各コントロールはデフォルトの設定に戻ります。

## カラーマネジメント シナリオ

ここでは、特定のソフトウェアを使用した特定のプリント ジョブを手順を追って説明します。これは、Web 上にある HP の Knowledge Center に掲載されているものとほとんど同じです。その他の例および最新の情報については、Knowledge Center ([http://www.hp.com/go/z3200ps/knowledge\\_center/](http://www.hp.com/go/z3200ps/knowledge_center/)) を参照することをお勧めします。

### カラー写真を展覧会用に印刷する (Photoshop、PS ドライバ)

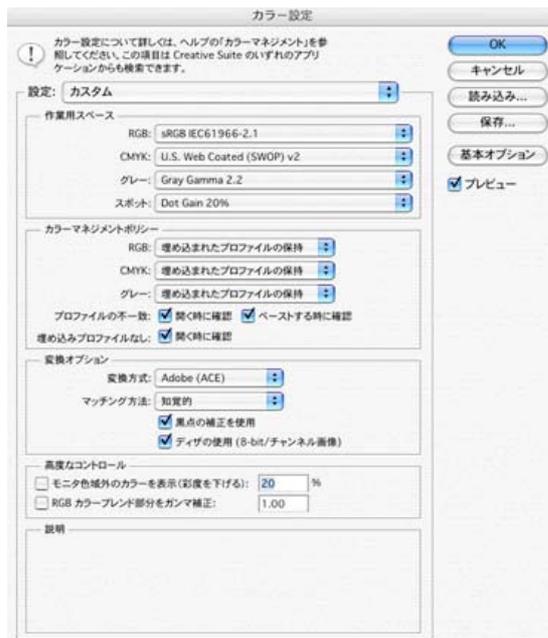
この例では、Mac OS 環境 (PostScript ドライバを使用) で Adobe Photoshop CS2 を使用します。カラーマネジメントは Photoshop によって行います。

#### 1. 推奨される初期設定

- 用途に応じて適切な用紙の種類を選択します。
- 用紙の種類は、プリンタおよび使用する印刷品質のレベルに合わせてキャリブレーションとプロファイリングが行われている必要があります。[71 ページの「カラーキャリブレーション」](#)および[73 ページの「カラープロファイリング」](#)を参照してください。
- 印刷されたイメージの正確なプレビューを表示するには、モニターもプロファイリングが行われている必要があります。

#### 2. Adobe Photoshop CS2 を開きます。

3. [編集] メニューから [カラー設定] を選択します。
  - [詳細オプション] が表示されていることを確認します。
  - [作業用スペース] - [RGB] :[Adobe RGB (1998)] または [sRGB] を選択します。
  - [カラーマネジメントポリシー] :[埋め込まれたプロファイルの保持] を選択します。
  - [プロファイルの不一致] :[開く時に確認] と [ペーストする時に確認] チェックボックスをオンにします。
  - [埋め込みプロファイルなし] :[開く時に確認] チェックボックスをオンにします。
  - [変換オプション] - [マッチング方法] :[知覚的] を選択します。



- [OK] をクリックします。

#### 4. [ファイル] メニューから [開く] を選択し、イメージを開きます。

- ドキュメントに、現在の作業スペースと一致しない埋め込みカラー プロファイルがある場合は、**[作業用スペースの代わりに埋め込みプロファイルを使用]** を選択します。そうでない場合は、**[作業用 RGB を指定]** を選択します。このとき、表示されるイメージが適切であるように見えない場合は、**[編集] - [プロファイルの指定]** を選択して、**[sRGB]**、**[Adobe RGB]**、**[ColorMatch RGB]** など、他のカラー スペースを試します。



- [OK] をクリックします。

#### 5. [ファイル] メニューから [プリントプレビュー] を選択します。

- [用紙設定] を選択します。
  - [対象プリンタ]: プリンタを選択します (たとえば、**[HP Designjet Z3200ps Photo 24in]**)。
  - [用紙サイズ]: プリンタに現在取り付けられている用紙のサイズを選択します。
  - [方向]: ページのイメージの向きを選択します。
  - [OK] をクリックします。
- 必要な [位置] と [拡大・縮小したプリントサイズ] を設定します。
- [詳細オプション] が表示されていることを確認します。
- [カラーマネジメント] タブを選択します。
  - [プリント]: [ドキュメント] を選択します。
  - [オプション] - [カラー処理]: [Photoshop によるカラー処理] を選択します。
  - [オプション] - [プリンタプロファイル]: 使用するプリンタに適したプロファイルと用紙の種類を選択します。

- **[オプション]-[マッチング方法]:[知覚的]** を選択します。



- **[プリント]** をクリックします。
6. ドライバ設定を選択します。
- **[プリンタ]:**プリンタを選択します (たとえば、**[HP Designjet Z3200ps Photo 24in]**)。
  - プルダウンメニューから**[イメージ品質]**を選択し、現在プリンタに取り付けられている**[用紙の種類]**(または、**[任意]**)を選択します。また、**[標準]**品質オプションを選択し、スライダを**[品質]**にドラッグします。



- **[プリント]** をクリックします。

## カラー写真を展覧会用に印刷する (Photoshop、PCL3 ドライバ)

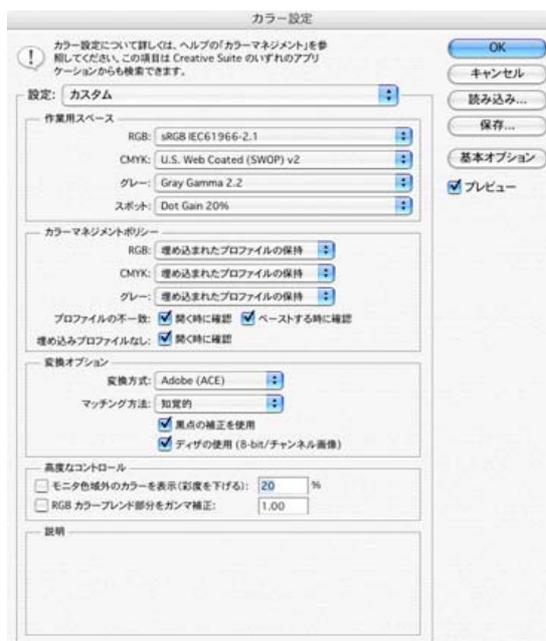
この例では、Mac OS 環境 (PCL3 ドライバを使用) で Adobe Photoshop CS2 を使用します。カラーマネジメントは Photoshop によって行います。

### 1. 推奨される初期設定

- 用途に応じて適切な用紙の種類を選択します。
- 用紙の種類は、プリンタおよび使用する印刷品質のレベルに合わせてキャリブレーションとプロファイリングが行われている必要があります。[71 ページの「カラーキャリブレーション」](#)および[73 ページの「カラープロファイリング」](#)を参照してください。
- 印刷されたイメージの正確なプレビューを表示するには、モニターもプロファイリングが行われている必要があります。

### 2. Adobe Photoshop CS2 を開きます。

3. **[編集]** メニューから **[カラー設定]** を選択します。
  - **[詳細オプション]** が表示されていることを確認します。
  - **[カラーマネジメントポリシー]** : **[埋め込まれたプロファイルの保持]** を選択します。
  - **[プロファイルの不一致]** : **[開く時に確認]** と **[ペーストする時に確認]** チェックボックスをオンにします。
  - **[埋め込みプロファイルなし]** : **[開く時に確認]** チェックボックスをオンにします。
  - **[変換オプション]** - **[マッチング方法]** : **[知覚的]** を選択します。



- **[OK]** をクリックします。

4. [ファイル] メニューから [開く] を選択し、イメージを開きます。

- ドキュメントに、現在の作業用スペースと一致しない埋め込みカラー プロファイルがある場合は、[作業用スペースの代わりに埋め込みプロファイルを使用] を選択します。そうでない場合は、[作業用 RGB を指定] を選択します。このとき、表示されるイメージが適切であるように見えない場合は、[編集] - [プロファイルの指定] を選択して、[sRGB]、[Adobe RGB]、[ColorMatch RGB] など、他のカラー スペースを試します。



- [OK] をクリックします。

5. [ファイル] メニューから [プリントプレビュー] を選択します。

- [用紙設定] を選択します。
  - [対象プリンタ]: プリンタを選択します (たとえば、[HP Designjet Z3200ps Photo 24in])。
  - [用紙サイズ]: プリンタに現在取り付けられている用紙のサイズを選択します。
  - [方向]: ページのイメージの向きを選択します。
  - [OK] をクリックします。
- 必要な [位置] と [拡大・縮小したプリントサイズ] を設定します。
- [詳細オプション] が表示されていることを確認します。
- [カラーマネジメント] タブを選択します。
  - [プリント]: [ドキュメント] を選択します。
  - [オプション] - [カラー処理]: [Photoshop によるカラー処理] を選択します。
  - [オプション] - [プリンタプロファイル]: 使用するプリンタに適したプロファイルと用紙の種類を選択します。

- **[オプション] - [マッチング方法] : [知覚的]** を選択します。



- **[プリント]** をクリックします。
6. ドライバ設定を選択します。
- **[プリンタ]** : プリンタを選択します (たとえば、**[HP Designjet Z3200ps Photo 24in]**)。
  - プルダウンメニューから **[用紙の種類/品質]** を選択し、**[用紙]** タブを選択します。
    - **[用紙の種類]** : プリンタに現在取り付けられている用紙の種類を選択します。
    - **[品質オプション] : [標準]** を選択し、スライダを **[品質]** にドラッグします。
  - **[プリント]** をクリックします。

## モノクロ写真を展覧会用に印刷する (Photoshop、PS ドライバ)

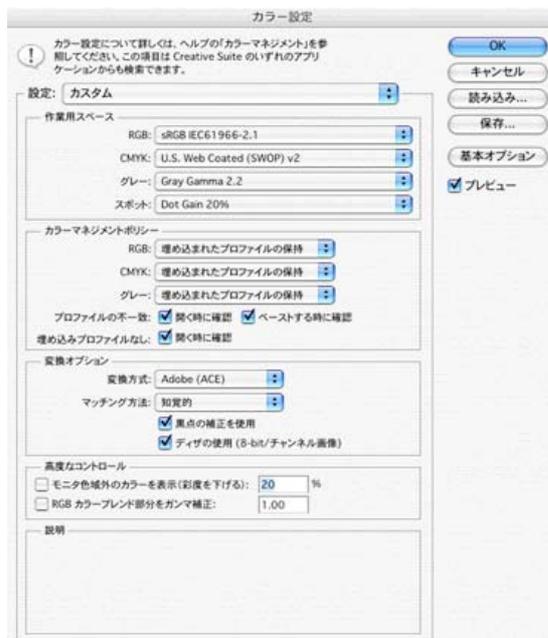
この例では、Mac OS 環境 (PostScript ドライバを使用) で Adobe Photoshop CS2 を使用します。カラー マネジメントは、プリンタの内蔵 PostScript RIP によって行います。

- 📖 **注記：** この例でも、前の例の場合と同じように、アプリケーション管理カラーを使用することができますが、2つのカラーマネジメント方法を説明するために、ここではプリンタ管理カラーを使用します。

白黒イメージを作成するお勧めの方法は、Photoshop などの画像編集プログラムで、カラー イメージをグレースケールに変換することです。ただし、このシナリオでは、この変換はプリンタで実行されます。Photoshop CS2 でカラー イメージを白黒に変換する場合は、手順 5 (オプション) を実行してください。

1. 推奨される初期設定
  - 用途に応じて適切な用紙の種類を選択します。
  - 用紙の種類は、プリンタおよび使用する印刷品質のレベルに合わせてキャリブレーションが実行されている必要があります。[71 ページの「カラーキャリブレーション」](#)を参照してください。
  - 印刷されたイメージの正確なプレビューを表示するには、モニタもプロファイリングが行われている必要があります。
2. Adobe Photoshop CS2 を開きます。

3. **[編集]** メニューから **[カラー設定]** を選択します。
  - **[詳細オプション]** が表示されていることを確認します。
  - **[作業用スペース]** - **[RGB]** :**[Adobe RGB (1998)]** または **[sRGB]** を選択します。
  - **[カラーマネジメントポリシー]** :**[埋め込まれたプロファイルの保持]** を選択します。
  - **[プロファイルの不一致]** :**[開く時に確認]** と **[ペーストする時に確認]** チェックボックスをオンにします。
  - **[埋め込みプロファイルなし]** :**[開く時に確認]** チェックボックスをオンにします。
  - **[変換オプション]** - **[マッチング方法]** :**[知覚的]** を選択します。



- **[OK]** をクリックします。

4. [ファイル] メニューから [開く] を選択し、イメージを開きます。

- ドキュメントに、現在の作業スペースと一致しない埋め込みカラー プロファイルがある場合は、[作業用スペースの代わりに埋め込みプロファイルを使用] を選択します。そうでない場合は、[作業用 RGB を指定] を選択します。このとき、表示されるイメージが適切であるように見えない場合は、[編集] - [プロファイルの指定] を選択して、[sRGB]、[Adobe RGB]、[ColorMatch RGB] など、他のカラー スペースを試します。



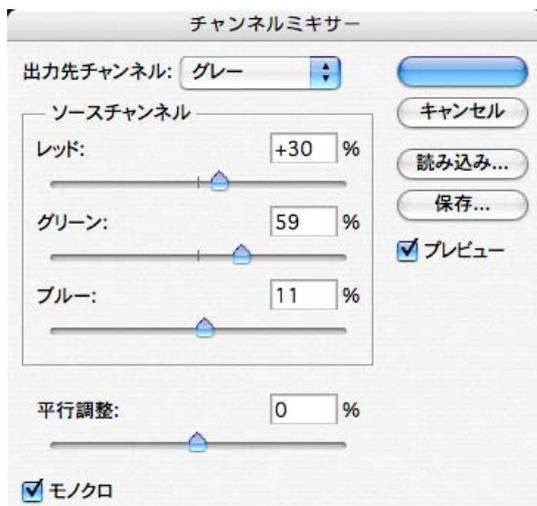
- [OK] をクリックします。

5. (オプション) Photoshop を使用してイメージをグレースケールに変換します。[イメージ] メニューから [モード] - [グレースケール] を選択する方法が簡単です。

または、[イメージ] メニューから [色調補正] - [チャンネルミキサー] を選択し、以下の方法で各カラー チャンネルの寄与比率を選択して、イメージをグレースケールにします。

- [モノクロ] チェックボックスをオンにします。
- 任意のソース チャンネルのスライダを左へドラッグすると、そのチャンネルの出力チャンネルに対する寄与比率が低くなり、右へドラッグすると高くなります。または、テキストボックスに -200% ~ +200% の値を入力します (例: レッド 30%、グリーン 59%、ブルー 11%)。負の値を使用すると、出力チャンネルに追加される前にソース チャンネルが反転されます。

- c. **[平行調整]** オプションのスライダをドラッグするか、値を入力します。このオプションでは、不透明度を調節できる黒または白のチャンネルが追加されます。負の値の場合は黒のチャンネル、正の値の場合は白のチャンネルになります。



- d. **[OK]** をクリックします。
6. **[ファイル]** メニューから **[プリントプレビュー]** を選択します。
- **[用紙設定]** を選択します。
    - **[対象プリンタ]** :プリンタを選択します (たとえば、**[HP Designjet Z3200ps Photo 24in]**)。
    - **[用紙サイズ]** :プリンタに現在取り付けられている用紙のサイズを選択します。
    - **[方向]** :ページのイメージの向きを選択します。
    - **[OK]** をクリックします。
  - 必要な **[位置]** と **[拡大・縮小したプリントサイズ]** を設定します。
  - **[詳細オプション]** が表示されていることを確認します。
  - **[カラーマネジメント]** タブを選択します。
    - **[プリント]** :**[ドキュメント]** を選択します。
    - **[オプション]** - **[カラー処理]** :**[プリンタによるカラー処理]** を選択します。

- **[オプション] - [マッチング方法] : [知覚的]** を選択します。



- **[プリント]** をクリックします。
7. ドライバ設定を選択します。
- **[プリンタ]** : プリンタを選択します (たとえば、**[HP Designjet Z3200ps Photo 24in]**)。
  - プルダウンメニューから **[イメージ品質]** を選択し、現在プリンタに取り付けられている **[用紙の種類]** (または、**[任意]**) を選択します。また、**[標準]** 品質オプションを選択し、スライダを **[品質]** にドラッグします。



- プルダウンメニューから **[カラー品質]** を選択します。
  - **[グレースケールで印刷]** を選択します。

💡 **ヒント** : 光沢紙で黒色部分が褐色化する場合は、[168 ページの「褐色化する」](#)を参照してください。

- [カラーマネジメント] で [プリンタで管理] を選択し、[ソースプロファイル] リストから [Adobe RGB (1998)] を選択します。



- [プリント] をクリックします。

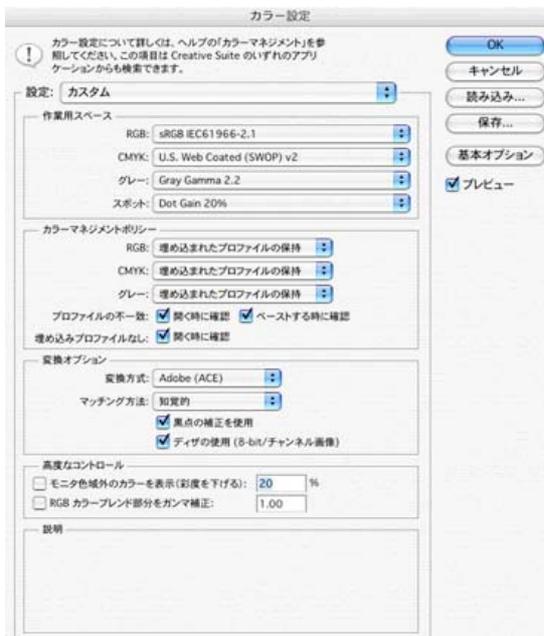
## モノクロ写真を展覧会用に印刷する (Photoshop、PCL3 ドライバ)

この例では、Mac OS 環境 (PCL3 ドライバを使用) で Adobe Photoshop CS2 を使用します。カラーマネジメントはプリンタによって行います。

白黒イメージを作成するお勧めの方法は、Photoshop などの画像編集プログラムで、カラーイメージをグレースケールに変換することです。ただし、このシナリオでは、この変換はプリンタで実行されます。Photoshop CS2 でカラーイメージを白黒に変換する場合は、手順 5 (オプション) を実行してください。

1. 推奨される初期設定
  - 用途に応じて適切な用紙の種類を選択します。
  - 用紙の種類は、プリンタおよび使用する印刷品質のレベルに合わせてキャリブレーションが実行されている必要があります。[71 ページの「カラーキャリブレーション」](#)を参照してください。
  - 印刷されたイメージの正確なプレビューを表示するには、モニタもプロファイリングが行われている必要があります。
2. Adobe Photoshop CS2 を開きます。
3. [編集] メニューから [カラー設定] を選択します。
  - [詳細オプション] が表示されていることを確認します。
  - [カラーマネジメントポリシー] : [埋め込まれたプロファイルの保持] を選択します。
  - [プロファイルの不一致] : [開く時に確認] と [ペーストする時に確認] チェックボックスをオンにします。
  - [埋め込みプロファイルなし] : [開く時に確認] チェックボックスをオンにします。

- [変換オプション] - [マッチング方法] : [知覚的] を選択します。



- [OK] をクリックします。

#### 4. [ファイル] メニューから [開く] を選択し、イメージを開きます。

- ドキュメントに、現在の作業用スペースと一致しない埋め込みカラー プロファイルがある場合は、[作業用スペースの代わりに埋め込みプロファイルを使用] を選択します。そうでない場合は、[作業用 RGB を指定] を選択します。このとき、表示されるイメージが適切であるように見えない場合は、[編集] - [プロファイルの指定] を選択して、[sRGB]、[Adobe RGB]、[ColorMatch RGB] など、他のカラー スペースを試します。



- [OK] をクリックします。

#### 5. (オプション) Photoshop を使用してイメージをグレースケールに変換します。[イメージ] メニューから [モード] - [グレースケール] を選択する方法が簡単です。

または、[イメージ] メニューから [色調補正] - [チャンネルミキサー] を選択し、以下の方法で各カラー チャンネルの寄与比率を選択して、イメージをグレースケールにします。

- a. [モノクロ] チェックボックスをオンにします。
- b. 任意のソース チャンネルのスライダを左へドラッグすると、そのチャンネルの出力チャンネルに対する寄与比率が低くなり、右へドラッグすると高くなります。または、テキストボックスに -200% ~ +200% の値を入力します (例：レッド 30%、グリーン 59%、ブルー 11%)。負の値を使用すると、出力チャンネルに追加される前にソース チャンネルが反転されます。
- c. [平行調整] オプションのスライダをドラッグするか、値を入力します。このオプションでは、不透明度を調節できる黒または白のチャンネルが追加されます。負の値の場合は黒のチャンネル、正の値の場合は白のチャンネルになります。



- d. [OK] をクリックします。
6. [ファイル] メニューから [プリントプレビュー] を選択します。
    - [用紙設定] を選択します。
      - [対象プリンタ] :プリンタを選択します (たとえば、[HP Designjet Z3200ps Photo 24in])。
      - [用紙サイズ] :プリンタに現在取り付けられている用紙のサイズを選択します。
      - [方向] :ページのイメージの向きを選択します。
      - [OK] をクリックします。
    - 必要な [位置] と [拡大・縮小したプリントサイズ] を設定します。
    - [詳細オプション] が表示されていることを確認します。
    - [カラーマネジメント] タブを選択します。
      - [プリント] : [ドキュメント] を選択します。
      - [オプション] - [カラー処理] : [プリンタによるカラー処理] を選択します。

- **[オプション]** - **[マッチング方法]** : **[知覚的]** を選択します。



- **[プリント]** をクリックします。
7. ドライバ設定を選択します。
- **[プリンタ]** : プリンタを選択します (たとえば、**[HP Designjet Z3200ps Photo 24in]**)。
  - プルダウンメニューから **[用紙の種類/品質]** を選択し、**[用紙]** タブを選択します。
    - **[用紙の種類]** : プリンタに現在取り付けられている用紙の種類を選択します。
    - **[品質オプション]** : **[標準]** を選択し、スライダを **[品質]** にドラッグします。
  - **[カラー]** タブを選択します。
    - **[グレースケールで印刷]** を選択します。
- ☀ **ヒント** : 光沢紙で黒色部分が褐色化する場合は、[168 ページの「褐色化する」](#)を参照してください。
- **[カラーマネジメント]** で **[プリンタで管理]** を選択し、[ソースプロファイル] リストから **[Adobe RGB (1998)]** を選択します。
  - **[プリント]** をクリックします。

## デジタルアルバムを印刷する (Aperture、PS ドライバ)

この例では、Mac OS 環境 (PostScript ドライバを使用) で Apple Aperture を使用します。カラーマネジメントは Aperture によって行います。

1. 推奨される初期設定
  - 用途に応じて適切な用紙の種類を選択します。
  - 用紙の種類は、プリンタおよび使用する印刷品質のレベルに合わせてキャリブレーションとプロファイリングが行われている必要があります。[71 ページの「カラーキャリブレーション」](#)および[73 ページの「カラープロファイリング」](#)を参照してください。
  - 印刷されたイメージの正確なプレビューを表示するには、モニターもプロファイリングが行われている必要があります。
2. Apple Aperture を開きます。
3. このアルバムにプロジェクトをまだ作成していない場合は、**[ファイル]** メニューから **[新規プロジェクト]** を選択し、プロジェクトに名前を付けます。プロジェクトメニューで新しいプロジェ

クトを選択し (左側)、[ファイル] メニューに移動して [読み込む] - [フォルダをプロジェクトに] を選択します。

4. 使用するイメージを選択し、[ファイル] メニューに移動して [選択項目から新規作成] - [Book (ブック)] を選択します。

- [テーマ] リスト：リスト内のテーマを選択すると、そのデザインのプレビューが右側に表示されます。
- [ブックのタイプ] ポップアップメニュー：ブックの物理的なサイズを選択します。



- [テーマを選択] をクリックし、ブック アルバムの名前を変更します。
5. 必要に応じて、ページ レイアウトを変更し、カスタマイズします。写真とテキスト ボックスを追加し、ボックスの位置およびテキスト スタイルを修正できます。
6. Aperture で自動的にイメージをブックに配置することができます ([ブックアクション] メニューから [Autoflow Unplaced Images (未配置イメージの自動配置)] を選択します)。または、ドラッグアンドドロップして手動で配置することもできます。また、次の操作もできます。

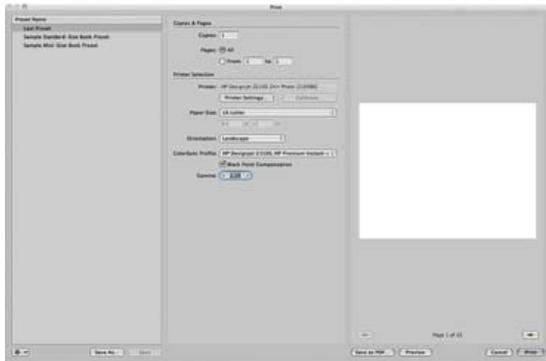
- イメージの倍率の調整、一部切り出し、パン操作が可能です。
- イメージをページの背景として設定し、ウォッシュ加工を適用できます。



7. ブック レイアウト エディタの [プリント] ボタンを使用して、ブックを印刷します。

- [プリセット名] リスト：ブックのプリセットを選択します。
- 印刷する [部数] および [ページ] を選択します。
- [用紙サイズ] :ジョブを印刷する用紙のサイズを選択します。
- [方向] :ページのイメージの向きを選択します。
- [ColorSync プロファイル] :プリンタに合った適切なカラー プロファイルと、使用する用紙を選択します。
- [黒点補正] を選択します。

- **[ガンマ]**:コンピュータのディスプレイは光で照らされているため、コンピュータに表示されるイメージは印刷したときよりも明るく見える傾向があります。ガンマをデフォルトの1.0から増やすことにより、この問題を補正できます。通常、1.1～1.2に設定すると適切な表示になります。



8. **[プリンタ設定]** ボタンをクリックします。

- **[プリンタ]**:プリンタを選択します (たとえば、**[HP Designjet Z3200ps Photo 24in]**)。
- プルダウンメニューから**[イメージ品質]**を選択し、現在プリンタに取り付けられている**[用紙の種類]**(または、**[任意]**)を選択します。また、**[標準]**品質オプションを選択し、スライダを**[品質]**にドラッグします。



- プルダウンメニューから**[カラー品質]**を選択します。
  - **[カラーで印刷]**を選択します。

- [カラーマネジメント] で、[アプリケーションで管理] を選択します。



- [プリント] をクリックします。

## デジタルアルバムを印刷する (Aperture、PCL3 ドライバ)

この例では、Mac OS 環境 (PCL3 ドライバを使用) で Apple Aperture を使用します。カラーマネジメントは Aperture によって行います。

### 1. 推奨される初期設定

- 用途に応じて適切な用紙の種類を選択します。
- 用紙の種類は、プリンタおよび使用する印刷品質のレベルに合わせてキャリブレーションとプロファイリングが行われている必要があります。[71 ページの「カラーキャリブレーション」](#)および[73 ページの「カラープロファイリング」](#)を参照してください。
- 印刷されたイメージの正確なプレビューを表示するには、モニタもプロファイリングが行われている必要があります。

### 2. Apple Aperture を開きます。

- このアルバムにプロジェクトをまだ作成していない場合は、[ファイル] メニューから [新規プロジェクト] を選択し、プロジェクトに名前を付けます。プロジェクトメニューで新しいプロジェクトを選択し (左側)、[ファイル] メニューに移動して [読み込む] - [フォルダをプロジェクトに] を選択します。

### 4. 使用するイメージを選択し、[ファイル] メニューに移動して [選択項目から新規作成] - [ブック] を選択します。

- [テーマ] リスト：リスト内のテーマを選択すると、そのデザインのプレビューが右側に表示されます。

- **[ブックのタイプ]** ポップアップメニュー：ブックの物理的なサイズを選択します。

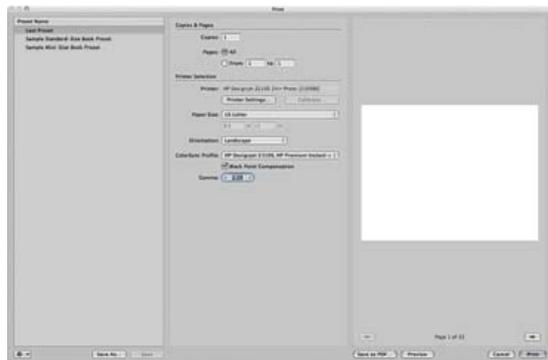


- **[テーマを選択]** をクリックし、ブックアルバムの名前を変更します。
5. 必要に応じて、ページレイアウトを変更し、カスタマイズします。写真とテキストボックスを追加し、ボックスの位置およびテキストスタイルを修正できます。
  6. Aperture で自動的にイメージをブックに配置することができます (**[ブックアクション]** メニュー **\*** から **[配置していないイメージをオートフロー]** を選択します)。または、ドラッグアンドドロップして手動で配置することもできます。また、次の操作もできます。
    - イメージの倍率の調整、一部切り出し、パン操作が可能です。
    - イメージをページの背景として設定し、ウォッシュ加工を適用できます。



7. ブックレイアウトエディタの **[Print (印刷)]** ボタンを使用して、ブックを印刷します。
  - **[プリセット名]** リスト：ブックのプリセットを選択します。
  - 印刷する **[部数]** および **[ページ]** を選択します。
  - **[用紙サイズ]** :ジョブを印刷する用紙のサイズを選択します。
  - **[方向]** :ページのイメージの向きを選択します。
  - **[ColorSync プロファイル]** :プリンタに合った適切なカラープロファイルと、使用する用紙を選択します。
  - **[黒点補正]** を選択します。

- **[ガンマ]**:コンピュータのディスプレイは光で照らされているため、コンピュータに表示されるイメージは印刷したときよりも明るく見える傾向があります。ガンマをデフォルトの1.0から増やすことにより、この問題を補正できます。通常、1.1～1.2に設定すると適切な表示になります。



8. **[プリンタ設定]** ボタンをクリックします。
  - **[プリンタ]**:プリンタを選択します(たとえば、**[HP Designjet Z3200ps Photo 24in]**)。
  - プルダウンメニューから **[用紙の種類/品質]** を選択し、**[用紙]** タブを選択します。
    - **[用紙の種類]**:プリンタに現在取り付けられている用紙の種類を選択します。
    - **[品質オプション]**:**[標準]** を選択し、スライダを **[品質]** にドラッグします。
  - **[カラー]** タブを選択します。
    - **[カラーで印刷]** を選択します。
    - **[カラーマネジメント]** で、**[アプリケーションで管理]** を選択します。
  - **[プリント]** をクリックします。

## モニタで出力を確認する (InDesign、PS ドライバ)

この例では、Mac OS 環境 (PostScript ドライバを使用) で Adobe InDesign CS2 を使用します。カラーマネジメントはプリンタによって行います。

1. 推奨される初期設定
  - 用途に応じて適切な用紙の種類を選択します。
  - 用紙の種類は、プリンタおよび使用する印刷品質のレベルに合わせてキャリブレーションとプロファイリングが行われている必要があります。[71 ページの「カラーキャリブレーション」](#) および [73 ページの「カラープロファイリング」](#) を参照してください。
  - 印刷されたイメージの正確なプレビューを表示するには、モニタもプロファイリングが行われている必要があります。
2. Adobe InDesign CS2 を開きます。
3. **[編集]** メニューから **[カラー設定]** を選択します。
  - **[詳細設定モード]** チェックボックスがオンになっていることを確認します。
  - **[作業用スペース] - [RGB]**:**[Adobe RGB (1998)]** または **[sRGB]** を選択します。
  - **[作業用スペース] - [CMYK]**:ヨーロッパでは **[Europe ISO Coated FOGRA27]**、米国では **[U.S. Web Coated (SWOP) v2]**、日本では **[Japan Standard v2]** を選択します。
  - **[カラーマネジメントポリシー]**:**[埋め込まれたプロファイルの保持]** を選択します。

- [プロファイルの不一致]:[開く時に確認] と [ペーストする時に確認] チェックボックスをオンにします。
- [埋め込みプロファイルなし]:[開く時に確認] チェックボックスをオンにします。
- [変換オプション]-[マッチング方法]:[知覚的] (RGB イメージの場合) または [相対カラーメトリック] (CMYK イメージの場合) を選択します。



- [OK] をクリックします。
4. [ファイル] メニューから [開く] を選択し、ドキュメントを開きます。
  5. 必要に応じてイメージを配置します。[ファイル] メニューから [配置] を選択し、使用可能なイメージを参照して [開く] をクリックします。
  6. [ファイル] メニューから [ドキュメント設定] を選択し、ドキュメントのすべての設定が正しいことを確認します。
  7. [表示] メニューから、[画質の設定] - [高品質表示] を選択します。
  8. [表示] メニューから、[校正設定] - [カスタム] を選択します。
    - プロファイル：校正する出力デバイスのプロファイルを選択します。プリンタのプロファイルは一般に、プリンタのモデルや用紙の種類に依存しています。正しいプロファイルがリストに見つからない場合は、/ライブラリ/ColorSync/Profiles フォルダにプロファイルをコピーしてください。
    - [表示オプション (スクリーン)] - [紙色をシミュレート]:これは、モニタの表示のみに影響します。用紙のカラーを画面に再現する場合は、このボックスをオンにします。オンにしなかった場合、用紙のカラーは完全な白であるとみなされます。



- [OK] をクリックします。
  - これで、イメージをレタッチしたり、印刷時にどのように見えるかを画面で確認することができます。
9. [ファイル] メニューから [プリント] を選択します。
- [プリンタ]: プリンタを選択します (たとえば、[HP Designjet Z3200ps Photo 24in])。
  - [用紙設定] ボタンを押します。
    - [対象プリンタ]: プリンタを選択します。
    - [用紙サイズ]: ジョブを印刷する用紙のサイズを選択します。
    - [方向]: ページのドキュメントの向きを選択します。
    - [OK] をクリックします。
10. プリンタ ドライバの設定を変更するには、[プリンタ] ボタンを押します。
- プルダウン メニューから [イメージ品質] を選択し、現在プリンタに取り付けられている [用紙の種類] (または、[任意]) を選択します。また、[標準] 品質オプションを選択し、スライダを [品質] にドラッグします。



- プルダウン メニューから [カラー品質] を選択します。
  - [カラーで印刷] を選択します。

- [カラーマネジメント] で、[プリンタで管理] を選択します。



- [プリント] をクリックします。
11. Adobe InDesign の [プリント] 設定を確認します。
- [セットアップ] (左側のメニュー) :
    - [用紙サイズ] : [プリンタドライバで定義] を選択します。
    - [オプション] : 必要に応じてサイズ調整のオプションを選択します。
  - [色分解] (左側のメニュー) :
    - [カラーオプション] : [コンボジット RGB] を選択します。
  - [カラーマネジメント] (左側のメニュー) :
    - [プリント] : [ドキュメント] を選択します。
    - [オプション] - [カラー処理] : [PostScript® Printer Determines Color (PostScript® プリンタによるカラー処理)] を選択します。
  - [プリント] をクリックします。

## プリンタで出力を確認する (QuarkXPress、PS ドライバ)

この例では、PostScript ドライバがインストールされた Mac OS で QuarkXPress 7 を使用しています。カラーマネジメントは、プリンタの内蔵 PostScript RIP により行われます。

この例の目的は、プレス (この場合は Europe ISO Coated FOGRA27 プレス) の概念的な校正を作成することです。QuarkXPress では、ドキュメントとそのイメージを ISO Coated スペースに変換してプ

プリンタに送信します。プリンタで、ISO Coated スペースはプレスなどをエミュレートする最終的なカラーに変換されます。したがって、関係するカラー変換は2つの段階があります。

#### 1. 推奨される初期設定

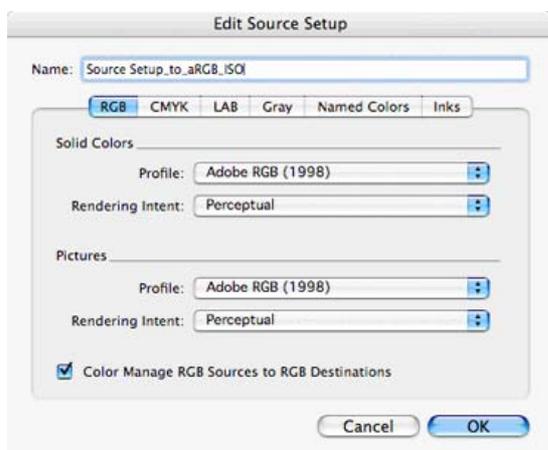
- 用途に応じて適切な用紙の種類を選択します。
- 用紙の種類は、プリンタおよび使用する印刷品質のレベルに合わせてキャリブレーションとプロファイリングが行われている必要があります。[71 ページの「カラーキャリブレーション」](#)および[73 ページの「カラープロファイリング」](#)を参照してください。
- 印刷されたイメージの正確なプレビューを表示するには、モニタもプロファイリングが行われている必要があります。

#### 2. QuarkXPress 7 を起動します。

#### 3. [編集] メニューから [カラー設定] - [Source (ソース)] - [New (新規)] を選択し、[名前] を選択してカスタムのソース設定を指定します。

#### 4. [RGB] タブを選択します。

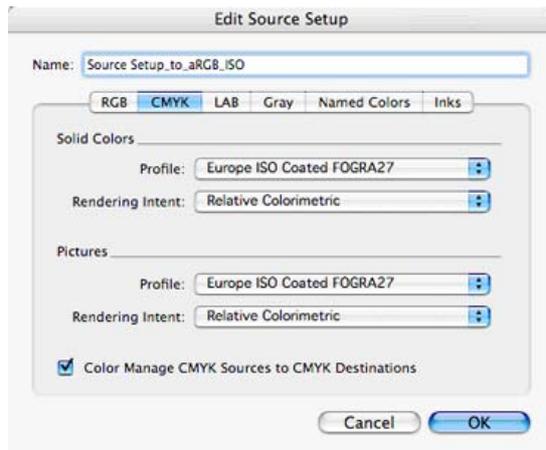
- [ソリッドカラー] - [プロファイル] : [Adobe RGB (1998)] を選択します。
- [ソリッドカラー] - [レンダリング用途] : [相対カラーメトリック] または [知覚的] を選択します。
- [Pictures (イメージ)] - [プロファイル] : [Adobe RGB (1998)] を選択します。
- [Pictures (イメージ)] - [マッチング方法] : [知覚的] を選択します。
- [Color Manage RGB Sources to RGB Destinations (カラー管理 RGB ソースを RGB 保管先へ)] チェックボックスをオンにします。



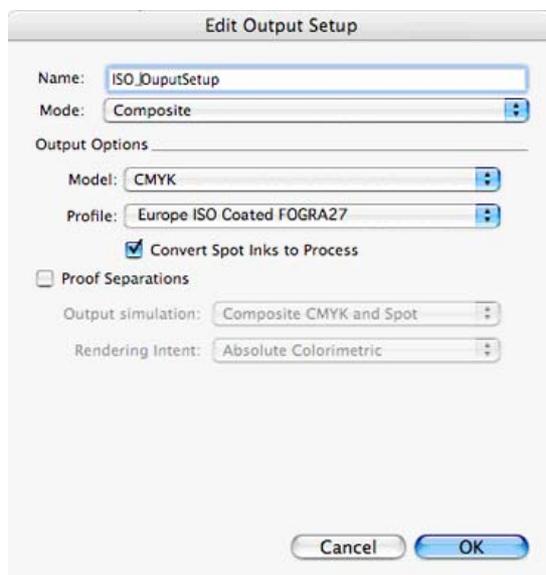
#### 5. [CMYK] タブを選択します。

- [ソリッドカラー] - [プロファイル] : ヨーロッパでは [Europe ISO Coated FOGRA27]、米国では [U.S. Web Coated (SWOP) v2]、日本では [Japan Standard v2] を選択します。
- [ソリッドカラー] - [レンダリング用途] : [相対カラーメトリック] を選択します。
- [Pictures (イメージ)] - [プロファイル] : ヨーロッパでは [Europe ISO Coated FOGRA27]、米国では [U.S. Web Coated (SWOP) v2]、日本では [Japan Standard v2] を選択します。
- [Pictures (イメージ)] - [マッチング方法] : [相対カラーメトリック] を選択します。

- **[Color Manage CMYK Sources to CMYK Destinations (カラー管理 CMYK ソースを CMYK 保管先へ)]** チェック ボックスをオンにします。

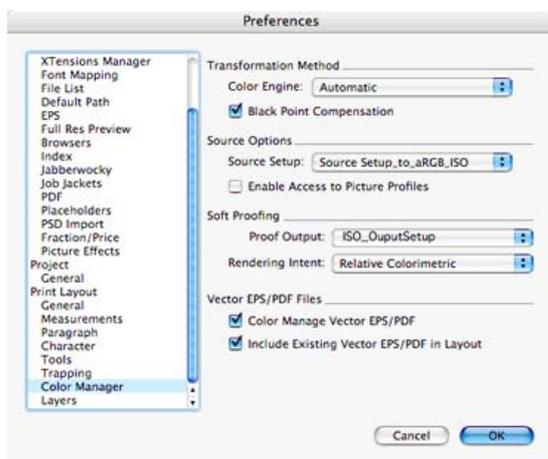


- **[OK]** をクリックします。
6. **[編集]** メニューから **[カラー設定]** - **[Output (出力)]** - **[New (新規)]** を選択し、**[名前]** を選択してカスタムの出力設定を指定します。
- **[名前]** :カスタムの出力設定を識別するための名前を選択します。
  - **[Mode (モード)]** :**[コンポジット]** を選択します。
  - **[Output Options (出力オプション)]** - **[モデル]** :**[CMYK]** を選択します。
  - **[Output Options (出力オプション)]** - **[プロファイル]** :**[Europe ISO Coated FOGRA27]** を選択します。

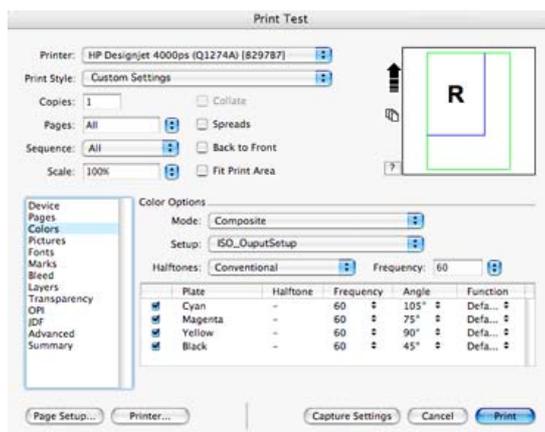


- **[OK]** をクリックします。
7. **[編集]** メニューから **[環境設定]** - **[Color Manager (カラーマネジメントを使用)]** (**[Print Layout (印刷レイアウト)]** の左側のメニュー) を選択します。
- **[黒点補正]** チェック ボックスをオンにします。
  - **[Source Options (ソース オプション)]** - **[Source Setup (ソース設定)]** :カスタムのソース設定を指定します。

- **[Soft Proofing (ソフト プルーフィング)] - [Proof Output (プルーフ出力)]** :カスタムの出力設定を指定します。
- **[Soft Proofing (ソフト プルーフィング)] - [Rendering Intent (レンダリング用途)]** :**[相対カラーメトリック]** を選択します。



- **[OK]** をクリックします。
8. **[ファイル]** メニューから **[開く]** を選択し、プロジェクトを参照します。イメージを挿入するには、**[Rectangle Picture Box (長方形描画ボックス)]** を使用してボックスを描き、**[ファイル] - [Import Picture (画像のインポート)]** を使用してイメージを挿入します。
  9. 画像を選択し、**[Item (項目)]** メニューで **[Preview Resolution (解像度のプレビュー)]** を **[Full Resolution (フル解像度)]** に設定します。
  10. **[ファイル]** メニューから **[プリント]** を選択します。
    - **[プリンタ]** :プリンタを選択します (たとえば、**[HP Designjet Z3200ps Photo 24in]**)。
    - 左側のメニューから **[カラー オプション]** パネルを選択します。
      - **[カラー オプション] - [Mode (モード)]** :**[コンポジット]** を選択します。
      - **[カラー オプション] - [セットアップ]** :カスタムの出力設定を指定します。



- **[方向]** :ページのドキュメントの向きを選択します。
- **[OK]** をクリックします。

11. プリンタ ドライバの設定を変更するには、[プリンタ] ボタンを押します。

- プルダウン メニューから [イメージ品質] を選択し、現在プリンタに取り付けられている [用紙の種類] (または、[任意]) を選択します。また、[標準] 品質オプションを選択し、スライダーを [品質] にドラッグします。



- プルダウン メニューから [カラー品質] を選択します。
  - [カラーで印刷] を選択します。
  - [カラーマネジメント] で、[プリンタで管理] を選択します。



- ドライバのウィンドウで [プリント] をクリックします。
- QuarkXPress の [Print (印刷)] ウィンドウで [Print (印刷)] をクリックします。

---

## 7 ジョブキューの管理

- [内蔵 Web サーバのジョブキューページ](#)
- [ジョブのプレビュー](#)
- [ジョブキューをオフにする](#)
- [キュー内のジョブを印刷するタイミングを選択する](#)
- [キュー内のジョブの識別](#)
- [キュー内の特定ジョブを優先させる](#)
- [キューからジョブを削除する](#)
- [キュー内のジョブを再印刷またはコピーする](#)
- [ジョブのステータスメッセージ](#)

## 内蔵 Web サーバのジョブ キュー ページ

プリンタのジョブ キューは、HP Printer Utility (19 ページの「[HP Printer Utility にアクセスする](#)」を参照) プリンタの内蔵 Web サーバ (19 ページの「[内蔵 Web サーバにアクセスする](#)」を参照) から管理できます。

ジョブ キューのページには、プリンタのジョブ キューにあるすべてのジョブが表示されます。ここでは、受信中、解析中、レンダリング中、印刷中、およびすでに印刷されたジョブが含まれます。

ジョブごとに以下の情報が表示されます。

- **[プレビュー]**: ジョブのプレビューを表示するには、このアイコンをクリックします。ジョブのプレビューは、ジョブが処理されると表示可能になります。
- **[ファイル名]**: ジョブのプロパティを表示するには、ファイル名をクリックします。
- **[ステータス]**: 現在のジョブのステータスを表示します。
- **[ページ数]**: ジョブのページ数。
- **[部数]**: 印刷する部数。
- **[日付]**: プリンタがジョブを受信した日付と時刻。
- **[ユーザ]**: ユーザの名前。

キュー内のジョブは、任意の情報項目 (プレビューを除く) に対応する列のタイトルをクリックすることによって並べ替えることができます。次の操作は、キュー内のジョブのうちの 1 つでも全部でも実行できます。

- **[キャンセル]**: 選択したジョブをキャンセルします。ジョブをキャンセルする前に確認メッセージが表示されます。ジョブはプリンタに保存されたままですが、**[再印刷]** をクリックしない限り印刷は行われません。
- **[一時停止]**: **[続行]** をクリックして印刷を続行するまで、選択したジョブを保留します。
- **[続行]**: 選択した保留中のジョブすべての印刷を続行します。
- **[再印刷]**: ジョブをさらに特定の部数、印刷します。部数 (デフォルトは 1 で最大は 99) を入力し、**[印刷]** をクリックします。
- **[キューの先頭に移動する]**: 選択したすべてのジョブをジョブ キューの先頭へ送ります。
- **[削除]**: 選択したジョブをジョブ キューから削除します。ジョブを削除する前に確認メッセージが表示されます。
- **[更新]**: ページを更新して、情報を最新の状態にします。

 **注記**: ジョブ キューのページは、自動的に更新されません。

## ジョブのプレビュー

プリンタでは送信されてくるすべてのジョブをサンプリングし、ジョブのプレビューとして表示可能な JPEG ファイルを生成します。このプレビューは、プリンタが対応するすべての言語 (PDF、PS、CALS/G4、TIFF、および JPEG) で使用可能です。

 **ヒント**: プレビューするページ数が 64 を超えるジョブを送信しないでください。

ジョブのプレビューは、ジョブが処理されると表示可能になります。プレビュー ページにアクセスするには、虫めがねのアイコンをクリックします。虫めがねのアイコンはジョブ キュー ページの [プレ

ビュー] 列に表示されます。プレビュー ページには、次のようなジョブの詳細と、ジョブのプレビューがサムネールで表示されます。

- **[ファイル名]**：ジョブのファイル名。
- **[取り付けられている用紙]**：プリンタに取り付けられている用紙の種類。
- **[ジョブの寸法]**：ジョブの寸法。

より大きなジョブのプレビューを見るには、ジョブのサムネールまたは虫めがねのアイコンをクリックします。虫めがねのアイコンはプリンタのイメージの右側に表示されます。

 **注記**： Macromedia プラグインが入っていないブラウザでは、ジョブのイメージが黄みがかって表示されます。Macromedia Flash プラグインのバージョン 7 以上が入っているブラウザでは、プリンタに取り付けられている用紙にジョブのイメージが印刷された状態の高機能プレビューが表示されます。

## ジョブ キューをオフにする

内蔵 Web サーバからキューをオフにするには、**[セットアップ]** タブ - **[プリンタ設定]** - **[ジョブ管理]** - **[キューイング]** を選択し、**[オフ]** を選択します。フロントパネルからオフにするには、**[セットアップ]**

アイコン  を選択し、**[ジョブ管理オプション]** - **[キューの有効化]** - **[オン/オフ]** を選択します。

## キュー内のジョブを印刷するタイミングを選択する

 **注記**： **[印刷の開始]** オプションは、PostScript ジョブでは使用できません。

キュー内にあるジョブをどの段階で印刷するかを選択することは可能です。内蔵 Web サーバから **[セットアップ]** タブ - **[プリンタ設定]** - **[印刷の開始]** を選択するか、フロントパネルから **[セットアップ]**

アイコン  を選択し、**[ジョブ管理オプション]** - **[印刷の開始]** を選択します。

選択可能なオプションは次の 3 つです。

- **[処理後]** を選択すると、ページ全体が処理されるまで待ってから印刷を開始します。最も時間のかかる設定ですが、大きな印刷や複雑な印刷において最高の印刷品質が保証されます。
- **[すぐに]** を選択すると、ページを処理しながら印刷します。最も高速な設定ですが、印刷の途中にデータの処理を行うためプリンタが停止する場合があります。濃い色で複雑なイメージを印刷する場合には、この設定はお勧めしません。
- **[最適化]** を選択すると (デフォルト設定)、ページの印刷を開始する最適なタイミングをプリンタが計算します。これは通常、**[処理後]** と **[すぐに]** の設定の間になる最も適した設定です。

## キュー内のジョブの識別

キューを見る最善の方法は、内蔵 Web サーバ (**[メイン]** タブ - **[ジョブ管理メニュー]**) から見る方法です。ここでは、キューを管理したり、(ファイルの名前をクリックすることで) すべてのジョブに関する完全な情報を見ることが可能です。

ただし、キューの管理はフロントパネルからでも実行できます。これを行うには、**[ジョブ キュー]** ア

アイコン  を選択し、**[ジョブ キュー]** を選択します。これにより、キュー内のジョブのリストが表示されます。

それぞれのジョブには、次のような構成の識別子が付いています。

<キュー内での位置>: <イメージ名>

現在、印刷中のジョブには手の指示アイコン、印刷されたジョブにはチェックマーク、キャンセルされたジョブには×、処理中のジョブには時計、保留中のジョブには警告が表示されます。

## キュー内の特定ジョブを優先させる

キュー内の任意のジョブを次の印刷対象にするには、そのジョブを選択して **[再印刷]** (内蔵 Web サーバの場合) または **[キューの先頭に移動する]** (フロントパネルの場合) を選択します。

ネスティングがオンになっている場合、優先されるジョブも他のジョブとネストされることがあります。このジョブをどうしても次に印刷する必要があり、そのジョブ自体がキューの途中にある場合は、まずネスティングをオフにして、前述の方法でキューの先頭にジョブを移動します。

## キューからジョブを削除する

通常的环境下では、印刷後にキューからジョブを削除する必要はありません。これは、さらにファイルが送信されるとキューからジョブが削除されるためです。しかし、誤ってファイルを送信し、そのファイルが再印刷されるのを避ける場合は、(内蔵 Web サーバまたはフロントパネルで) そのファイルを選択して **[削除]** を選択することでファイルを削除できます。

同じ方法で、まだ印刷されていないジョブを削除することもできます。

ジョブが現在印刷中 (内蔵 Web サーバでのステータスが「印刷しています」、またはフロントパネルでのキュー位置が最初のジョブ) で、ジョブをキャンセルして削除する場合は、まず内蔵 Web サーバの **[キャンセル]** アイコンをクリックするか、フロントパネルの **キャンセル** キーを押して、キューからジョブを削除します。

## キュー内のジョブを再印刷またはコピーする

キュー内のジョブを再印刷したり部数を追加したりする場合は、内蔵 Web サーバでそのジョブを選択して **[再印刷]** アイコンをクリックし、必要な部数を指定します。ジョブはキューの先頭に移動されます。フロントパネルからキュー内でまだ印刷されていないジョブの印刷物を複数部作成するには、ジョブを選択し、**[部数]** を選択して、必要な部数を指定し、**選択** キーを押します。この値は、ソフトウェアで設定されたどの値よりも優先されます。

 **注記：** ファイルの送信時に **[回転]** が **[オン]** になっていると、指定した部数すべてが回転して印刷されます。

すでに印刷したジョブをフロントパネルから再印刷できます。**[ジョブ管理メニュー]** アイコン  を選択し、キューからジョブを選択して、**[再印刷]** を選択します。

 **注記：** この方法は、PCL3 ジョブでは使用できません。以前のジョブが PCL3 である場合、使用するオペレーティングシステムのプリンタ スプーラで再印刷できます。ただし、以前のジョブを保存するようスプーラを設定しておく必要があります。この機能は、使用するオペレーティングシステムによって異なります。

## ジョブのステータス メッセージ

以下は、表示されるジョブのステータス メッセージです。メッセージはおおよそ、この順序で表示されます。

- **データを受信しています：** プリンタがコンピュータからジョブを受信しています
- **処理待機中：** ジョブがプリンタで受信され、レンダリングを待っています (内蔵 Web サーバ経由で送信されたジョブのみ)
- **データを処理しています：** プリンタがジョブを解析およびレンダリングしています

- **印刷の準備を行っています**：プリンタがジョブの印刷前に出力システムのチェックを行っています
- **印刷待ち**：印刷エンジンが印刷に移行できるようになるのを待っています
- **ネスティング待ち**：プリンタでネスティングがオンに設定されているため、ネスティングが完了して印刷に移行するために他のジョブを待っています
- **保留中**：ジョブが **[プレビュー待ち中]** オプション付きで送信され、保留中になっています

💡 **ヒント**： プレビューするページ数が 64 を超えるジョブを送信しないでください。

📄 **注記**： キュー機能がオンになっている状態で、ジョブの印刷中にプリンタがハングアップした場合、次にプリンタの電源をオンにしたときに、部分的に印刷されたジョブはキュー内で **保留中** と表示されます。ジョブを再開すると、中断されたページから印刷が開始されます。

- **用紙の保留**：プリンタに用紙が取り付けられていないため、ジョブを印刷できません。必要な用紙を取り付け ([25 ページの「用紙の取り扱い」](#)を参照)、**[続行]** をクリックしてジョブを再開します
- **アカウント待ち中**：すべてのジョブにアカウント ID が付いている必要があるため、ジョブを印刷できません。アカウント ID を入力し、**[続行]** をクリックしてジョブを再開してください
- **印刷中**
- **乾燥中**
- **用紙カット中**
- **用紙を排出しています**
- **キャンセルしています**：ジョブはキャンセルされますが、プリンタのジョブ キューには残ります
- **削除中**：ジョブをプリンタから削除しています
- **印刷しました**
- **キャンセル**：ジョブがプリンタによってキャンセルされました
- **ユーザの指示によりキャンセルしました**
- **空のジョブ**：ジョブに印刷対象が入っていません

## 保留を解除する

プリンタでジョブが保留されて警告が出た場合は、[192 ページの「プリンタ アラート」](#)を見ると、ジョブが保留された理由がわかります。保留を解除して印刷を続行するには、画面の指示に従います。



---

## 8 プリンタの使用状況に関する情報を取得する

- プリンタのアカウントリング情報
- プリンタの使用状況に関する情報を確認する
- ジョブのインクと用紙の使用状況を確認する
- コスト アカウントリング
- アカウントリング データの電子メールによる要求

## プリンタのアカウントティング情報

プリンタからアカウントティング情報を取得するには、いくつかの方法があります。

- プリンタの使用期間全体のプリンタの使用状況に関する情報を表示する ([118 ページの「プリンタの使用状況に関する情報を確認する」](#)を参照)。
- HP Printer Utility、またはフロントパネルを使用して、最近実行した各ジョブのインクと用紙の使用状況を表示する ([118 ページの「ジョブのインクと用紙の使用状況を確認する」](#)を参照)。HP Printer Utility が使用できない場合は、[19 ページの「HP Printer Utility にアクセスする」](#)を参照してください。
- アカウントティング データを電子メールで要求します。プリンタは、定期的な間隔で指定された電子メール アドレスに XML でデータを送信します。このデータはサードパーティ製アプリケーションで解釈および要約したり、Excel のスプレッドシートとして表示することができます。[119 ページの「アカウントティング データの電子メールによる要求」](#)を参照してください。
- サードパーティ製アプリケーションを使用して、インターネット経由でプリンタのステータス、プリンタの使用状況、またはプリンタのジョブ アカウントティング データを取得します。プリンタは、要求されるとアプリケーションに XML 形式でデータを提供します。HP では、そのようなアプリケーションの開発を促進するために Software Development Kit を提供しています。

## プリンタの使用状況に関する情報を確認する

プリンタの使用状況に関する情報を確認するには、2つの方法があります。

 **注記：** 使用状況に関する情報の正確性は保証されていません。

### HP Printer Utility でのプリンタ情報

1. HP Printer Utility を開始します ([19 ページの「HP Printer Utility にアクセスする」](#)を参照)。
2. プリンタの使用に関する全状況を表示するには、**[使用状況]** ウィンドウに移動します。
  - Windows では、**[概要]** タブに移動し、**プリンタ使用状況** リンクをクリックします。
  - Mac OS では、**情報 - プリンタ使用状況** を選択し、**検索** ボタンをクリックします。

### 内蔵 Web サーバでのプリンタ情報

1. 内蔵 Web サーバにアクセスします ([19 ページの「内蔵 Web サーバにアクセスする」](#)を参照)。
2. **[メイン]** タブに移動して、**使用状況** を選択します。

## ジョブのインクと用紙の使用状況を確認する

ジョブのインクと用紙の使用状況を確認するには、2つの方法があります。

 **注記：** 使用状況に関する情報の正確性は保証されていません。

## HP Printer Utility でのインクと用紙の情報

1. HP Printer Utility を開始します ([19 ページの「HP Printer Utility にアクセスする」](#)を参照)。
2. 最新のジョブに関する情報を表示するには、**[アカウント]** ウィンドウに移動します。
  - Windows では、**[ジョブセンター]** タブに移動します。
  - Mac OS では、**ジョブセンター - ジョブ アカ운ティング** を選択し、**検索** ボタンをクリックします。

## 内蔵 Web サーバでのプリンタ情報

1. 内蔵 Web サーバにアクセスします ([19 ページの「内蔵 Web サーバにアクセスする」](#)を参照)。
2. **[メイン]** タブに移動して、**アカウント** を選択します。

## コスト アカ운ティング

使用状況に関する情報を使用すると、使用したサプライ品の数量がわかります。各項目に 1 単位当たりのコストを割り当てる場合、情報のレポートにコストと数量を含めることができます。

1. 内蔵 Web サーバにアクセスします ([19 ページの「内蔵 Web サーバにアクセスする」](#)を参照)。
2. **[メイン]** タブに移動します。
3. **アカウント** - **コストの割り当て** を選択します。

## アカウント データの電子メールによる要求

1. プリンタの日付と時刻が正しく設定されていることを確認します。 [21 ページの「日付と時刻を設定する」](#)を参照してください。
2. 内蔵 Web サーバの **[セットアップ]** タブで、**[電子メール サーバ]** を選択します。電子メール メッセージの送信に使用する SMTP サーバのアドレスとプリンタの電子メール アドレスを入力します。プリンタの電子メール アドレスは、受信者にメッセージの発信元を認識させるためだけの架空のアドレスです。
3. さらに、**[セットアップ]** タブで、**[プリンタ設定]** を選択して、**[アカウント]** セクションを開きます。アカウント ファイルが送信される電子メール アドレスと送信される頻度 (日数または印刷部数で指定) を入力する必要があります。
4. 上記の手順を完了すると、アカウント データが電子メールにより指定した頻度でプリンタから送信されます。データは XML で提供され、サードパーティ製プログラムで簡単に解釈できます。各ジョブについて提供されるデータには、ジョブ名、存在する場合はアカウント ID、ユーザ名、ジョブがいつ送信されたか、ジョブがいつ印刷されたか、印刷時間、イメージの種類、ページ数、部数、用紙の種類とサイズ、使用されたインクの各カラーの量、その他さまざまなジョブの属性が含まれます。

HP Designjet Online (<http://www.hp.com/go/graphic-arts/>) から Excel のテンプレートをダウンロードして、XML データを見やすいスプレッドシートで表示することができます。

アカウント データを分析することで、顧客へのより正確な請求とプリンタのより柔軟な利用が可能になります。たとえば、以下が可能になります。

- 特定の期間中に使用したインクと用紙の合計金額を各顧客に請求する。
- ジョブごとに各顧客に別々に請求する。
- 各プロジェクトについて、ジョブごとの明細に基づいて各顧客に請求する。



---

## 9 インクカートリッジとプリントヘッドの取り扱い

- [インクカートリッジについて](#)
- [インクカートリッジのステータスの確認](#)
- [インクカートリッジを取り外す](#)
- [インクカートリッジを取り付ける](#)
- [プリントヘッドについて](#)
- [プリントヘッドのステータスを確認する](#)
- [プリントヘッドを取り外す](#)
- [プリントヘッドを取り付ける](#)

## インクカートリッジについて

インクカートリッジにはインクが収められており、用紙にインクを噴射するプリントヘッドに接続されています。どちらのプリンタ用にも、130 ml のインクカートリッジを購入できます (141 ページの「アクセサリ」を参照)。

- △ **注意：** インクカートリッジは静電気放電敏感性デバイスであるため、取り扱いには注意が必要です (207 ページの用語集を参照)。ピン、リード、および内部回路に触れないようにしてください。

## インクカートリッジのステータスの確認

インクカートリッジのインク量を表示するには、フロントパネルの **インク容量の表示** ボタンを押します。

インクカートリッジの詳細を表示するには、HP Printer Utility を使用できます。

インクカートリッジのステータス メッセージの詳細は、180 ページの「インクカートリッジのステータスメッセージ」を参照してください。

## インクのメニューの使用手順

1. フロントパネルで [インク] アイコン  を選択して、[インクカートリッジ情報] を選択します。
2. 情報を確認するカートリッジを選択します。
3. フロントパネルに、そのカートリッジに関する情報が表示されます。

## HP Printer Utility の手順

- HP Printer Utility (Windows) では、[概要] タブに移動すると、[サプライ品ステータス] - [カートリッジ] の下に、各カートリッジのステータスが表示されます。
- HP プリンタ ユーティリティ (Mac OS) では、[情報] グループで、[プリンタステータス] を選択します。

## インクカートリッジを取り外す

インクカートリッジの取り外しが必要になる場合は、次の 3 点があげられます。

- カートリッジのインク残量が僅かで、無人印刷を実行するために満杯のカートリッジに交換する必要がある場合 (元のカートリッジは都合のよいときに使い切ることができます)
- インクカートリッジが空になったか問題があり、印刷を続行するために交換する場合
- インクカートリッジの使用期限が切れた場合

- ☞ **ヒント：** インクカートリッジを取り外す場合は、新しいインクカートリッジを用意してから行ってください。

- △ **注意：** 印刷中はインクカートリッジを取り外さないでください。

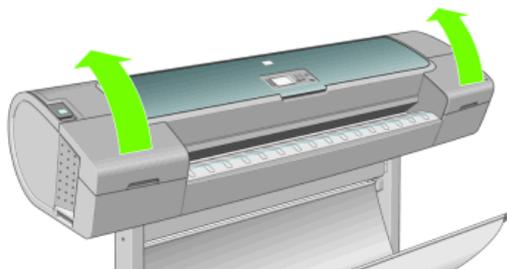
**注意：** プリンタのキャスターがロックされ (ブレーキ レバーが押し下げられている状態)、プリンタが動かないようになっていることを確認してください。

1. フロントパネルで [インク] アイコン  を選択して、[インクカートリッジの交換] を選択します。

#### インク

- ▶ インク容量の表示
- ▶ **インクカートリッジの交換**
- ▶ プリントヘッドの交換
- 田 インクカートリッジ情報
- 田 プリントヘッド情報

2. インクカートリッジのカバーを完全に開きます。グロスエンハンサ、グレー、ブルー、グリーン、マゼンタ、イエローは左側に、ライトマゼンタ、ライトシアン、フォトブラック、ライトグレー、マットブラック、レッドは右側にあります。

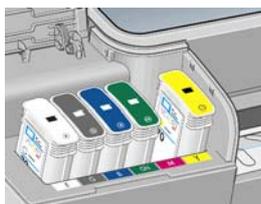


3. 取り外すカートリッジをつかみます。
4. カートリッジを真上に引き上げます。



 **注記：** プリンタとの接続部分には触らないでください。接続部分にインクが付着している場合があります。

**注記：** 一部使用済みのインクカートリッジは保管しないようにしてください。



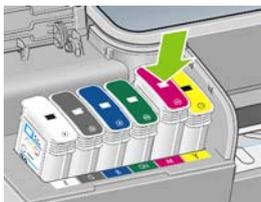
5. フロントパネルに、取り付けられていないインクカートリッジが表示されます。

## インクカートリッジを取り付ける

1. インクカートリッジは、袋から取り出す前によく振ります。
2. 新しいインクカートリッジを取り出し、ラベルを参照してインクの色を確認します。空いたスロットに印された文字 (このイラストの場合、マゼンタを意味する M) と、カートリッジのラベルの文字が同じであることを確認します。
3. インクカートリッジをスロットに取り付けます。

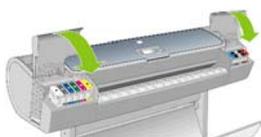


4. 音がして固定されるまでカートリッジをスロットに押し込みます。カートリッジが取り付けられると、ブザーが鳴り、確認メッセージが表示されます。



取り付けにくい場合は、[180 ページの「インクカートリッジを取り付けられない」](#)を参照してください。

5. すべてのカートリッジを取り付けたら、ドアを閉めます。



6. フロントパネルに、すべてのカートリッジが正しく取り付けられたことが表示されたら、フロントパネルの OK ボタンを押します。

## プリントヘッドについて

プリントヘッドはインクカートリッジに接続されており、用紙にインクを噴射します。

- △ **注意：** プリントヘッドは静電気放電敏感性デバイスであるため、取り扱いには注意が必要です ([207 ページの用語集](#)を参照)。ピン、リード、および内部回路に触れないようにしてください。

## プリントヘッドのステータスを確認する

印刷が終わるごとに、プリンタは自動的にプリントヘッドの確認と保守を行います。使用しているプリントヘッドの詳細を確認するには、以下の手順を実行します。

1. フロントパネルで [インク] アイコン  を選択して、[プリントヘッド情報] を選択します。
2. 情報を確認するプリントヘッドを選択します。
3. フロントパネルに、そのプリントヘッドに関する情報が表示されます。

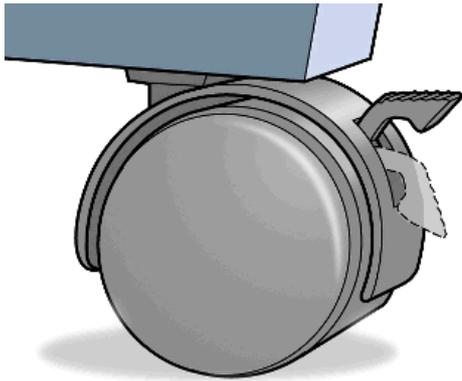
HP Printer Utility を使用すると、コンピュータ上で上記の情報について確認できます。

プリントヘッドのステータス メッセージの詳細は、[186 ページの「プリントヘッドのステータス メッセージ」](#)を参照してください。

**注記：** 保証期限に**保証の注記を参照してください。**と表示されている場合は、HP 製以外のインクが使用されていることを示します。HP 製以外のインクカートリッジを使用した場合、サービスおよび修理は無償保証の対象になりません。保証の詳細は、法律情報を参照してください。

## プリントヘッドを取り外す

**注意：** プリンタのキャスターがロックされ (ブレーキレバーが押し下げられている状態)、プリンタが動かないようになっていることを確認してください。



**注意：** プrintヘッドの交換は、プリンタの電源を入れた状態で行ってください。

1. フロントパネルで [インク] アイコン  を選択して、[プリントヘッドの交換] を選択します。

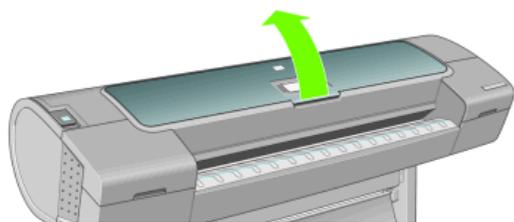
インク

- ▶ インク容量の表示
- ▶ インクカートリッジの交換
- ▶ **プリントヘッドの交換**
- ▢ インクカートリッジ情報
- ▢ プrintヘッド情報

2. キャリッジが適切な位置に移動します。

**注意：** キャリッジは、取り外し位置に移動してからプリントヘッドの取り付けや取り外しが行われずに 3 分以上放置されると、右端の通常の位置に戻ります。

3. キャリッジが停止すると、ウィンドウを開くようフロントパネルにメッセージが表示されます。



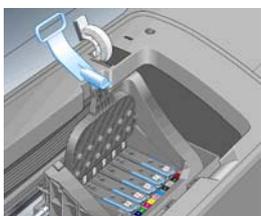
4. プリンタの右側にあるキャリッジを確認します。
5. ハンドルを手前に引き上げ、ワイヤーループを解除します。



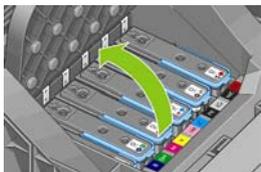
6. ハンドルを押し戻して、キャリッジのカバーを起こします。



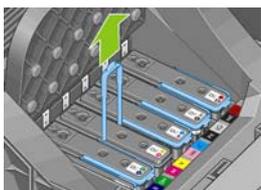
7. プリントヘッドにアクセスできるようになります。



8. 取り外すプリントヘッドの青いハンドルを持ち上げます。

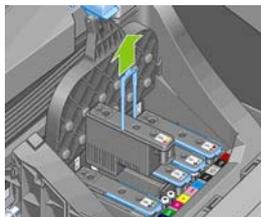


9. 青いハンドルを使って、一定の力でプリントヘッドを静かに取り外します。



10. プリントヘッドがキャリッジから外れるまで、青いハンドルを引き上げます。

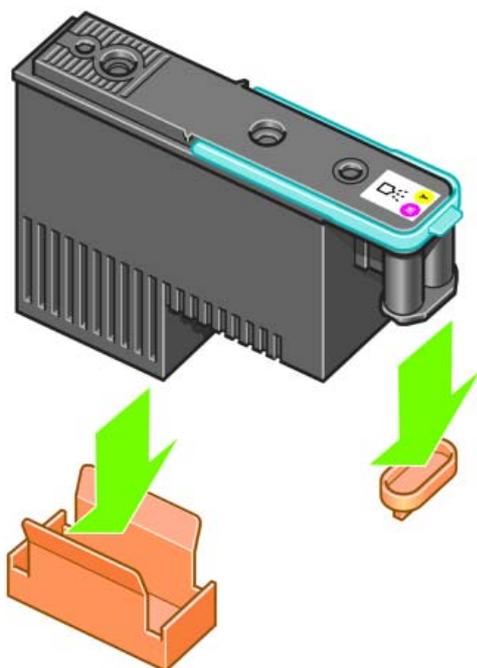
△ **注意：** 急いで引き上げるとプリントヘッドが破損することがありますので、ゆっくりと引き上げてください。



11. フロントパネルに、取り付けられていないプリントヘッドが表示されます。

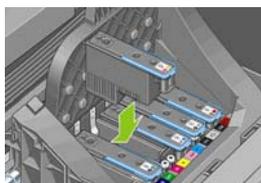
## プリントヘッドを取り付ける

1. 新しいプリントヘッドの場合、保護キャップを取り外す前にプリントヘッドをよく振ります。
2. オレンジの保護キャップを引き下げて取り外します。

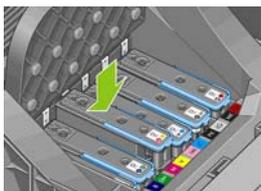


3. プリントヘッドは、間違ったスロットに取り付けられないよう設計されています。プリントヘッドのラベルの色と、プリントヘッドを取り付ける先のキャリッジ スロットのラベルの色が合っていることを確認してください。
4. 新しいプリントヘッドを、キャリッジの該当するスロットに取り付けます。

△ **注意：** プリントヘッドは、ゆっくりと垂直に下ろして取り付けてください。急に下ろしたり、斜めに取り付けたり、取り付けの際に回したりすると、破損することがあります。

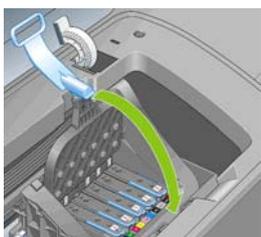


5. 図の矢印のとおり、プリントヘッドを下に押し込みます。

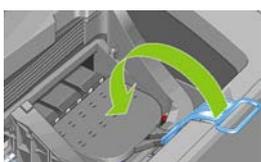


△ **注意：** 新しいプリントヘッドを取り付ける場合は、しっかりと、またゆっくりと押し込んでください。ブザーが鳴り、フロントパネルにプリントヘッドが取り付けられたことを示す確認画面が表示されます。取り付けにくい場合は、[180 ページの「プリントヘッドを取り付けられない」](#)を参照してください。

6. 必要なプリントヘッドを同じ手順ですべて取り付けたら、キャリッジのカバーを閉じます。



7. 青いハンドルの先端が、キャリッジの手前側のワイヤーループに掛かっていることを確認します。



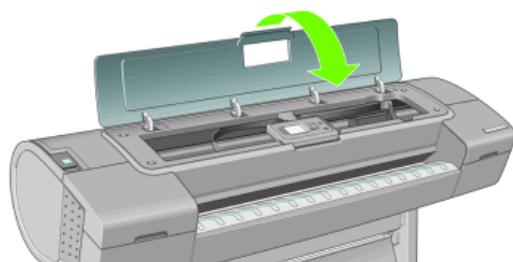
8. ハンドルをキャリッジのカバーの上まで押し下げます。



すべてのプリントヘッドが正しく取り付けられ、プリンタがそれを認識すると、プリンタのブザーが鳴ります。

☞ **注記：** プリントヘッドを取り付けてもブザーが鳴らず、フロントパネルに「交換して下さい」というメッセージが表示された場合は、プリントヘッドを取り付け直してください。

9. ウィンドウを閉じます。



10. フロントパネルに、すべてのプリントヘッドが正しく取り付けられたことが表示されます。プリントヘッドの確認と準備が開始されます。すべてのプリントヘッドを交換した場合、通常の処理

はデフォルトで 25 分ほどかかります。プリントヘッドの準備中に問題が発見された場合、この処理に最大で 65 分ほどかかることがあります。プリントヘッドを 1 つだけ取り付けた場合は、20 ～ 40 分ほどかかります。すべてのプリントヘッドの確認と準備が終了した後、用紙が取り付けられている場合は、プリントヘッドの軸合わせが自動的に実行されます。[184 ページの「プリントヘッドの軸合わせ」](#)を参照してください。



---

## 10 プリンタを保守する

- プリンタ ステータスを確認する
- プリンタの外部をクリーニングする
- カッターを交換する
- インクカートリッジを保守する
- プリンタを移動または保管する
- ファームウェアをアップデートする
- ソフトウェアをアップデートする
- 電池を交換する
- プリンタ保守キット
- 安全なディスク消去

## プリンタ ステータスを確認する

プリンタのステータスは、以下のさまざまな方法で確認できます。

- HP Printer Utility を起動して、使用するプリンタを選択すると、プリンタ、用紙、インク サプライ品のステータスが記述されたページが表示されます。
- 内蔵 Web サーバにアクセスすると、プリンタの全般的なステータスに関する情報が表示されます。[メイン] タブの [サプライ品] ページに、用紙およびインク サプライ品のステータスが表示されます。
- プリンタのフロントパネルのステータス画面に、プリンタに影響を与える現在の問題がまとめて表示されます。また、以下の情報も確認できます。
  - 現在取り付けられている用紙 (用紙情報の表示 ボタン)
  - インク量 (インク容量の表示 ボタン)
  - インクカートリッジ ([インク] アイコン  を選択し、[インクカートリッジ情報] を選択)
  - プrintヘッド ([インク] アイコン  を選択し、[Printヘッド情報] を選択)

## プリンタの外部をクリーニングする

プリンタの外部や、通常の操作で触れるその他の部分のクリーニングには、湿らせたスポンジや柔らかい布と、研磨剤の入っていない液状の石鹼など、刺激の少ない家庭用洗剤を使用します。

- △ **警告！** 感電を防ぐために、クリーニングの前に、プリンタの電源がオフになっていて、電源コードが抜いてあることを確認してください。プリンタ内部に水が入らないようにしてください。
- △ **注意：** プリンタに研磨剤入り洗剤を使用しないでください。

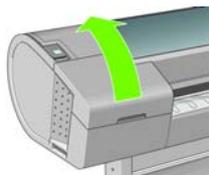
## カッターを交換する

カッターは、使用する用紙の総量や厚さに応じて、プリンタの使用期間内に 1～2 度交換する必要があります。交換が必要な場合は、フロントパネルに表示されます。カッターをすぐに交換しなくてもプリンタは正常に動作しますが、フロントパネルにはカッターの情報が表示されたままになります。

カッターの交換は以下の手順で行います。

1. プリンタに用紙がセットされている場合は、用紙を取り外します。
  2. フロントパネルで [セットアップ] アイコン  を選択し、[リセット]-[カッターの寿命カウンタをリセット] を選択します。
  3. 少し間をおいて、プリンタの電源が切れます。Printヘッド キャリッジはプリンタの右側、カッターは左側にあります。
- △ **警告！** プリンタの電源を入れたままカッターの交換を行おうとすると感電する恐れがあります。

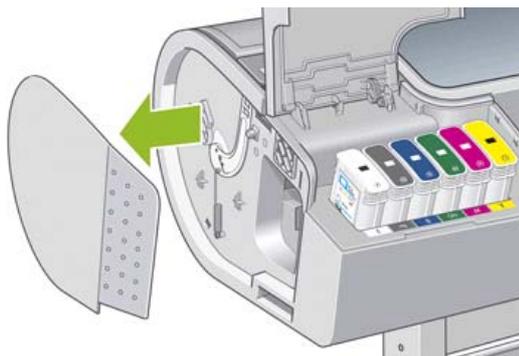
4. プリンタの左側にあるインクカートリッジカバーを上げます。



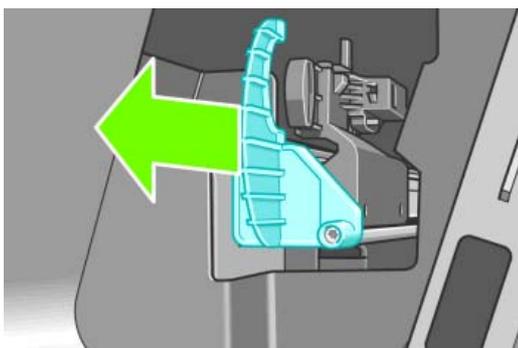
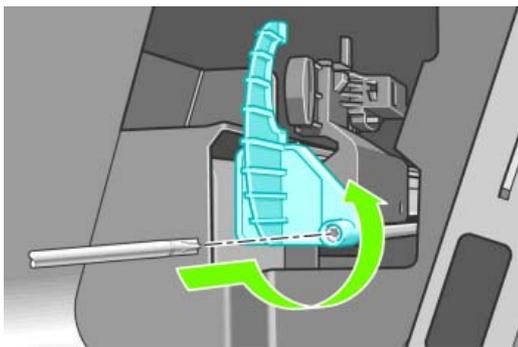
5. プリンタの左端のカバーを外すために、インクカートリッジの後方にあるボタンを押します。



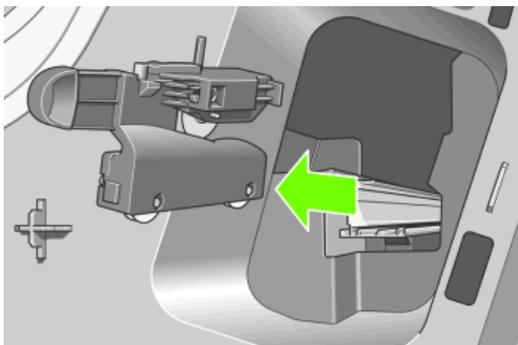
6. 左端のカバーを外します。



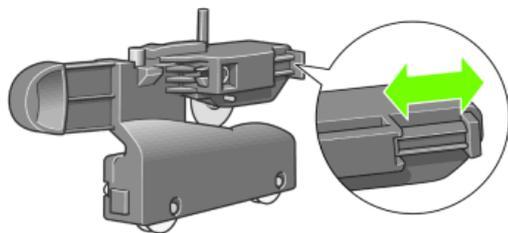
7. 新しいカッターに同梱されているトルクスプラス ドライバを使用して、カッター止めのネジを緩めて外します。ネジは、外れても落ちないようにになっています。



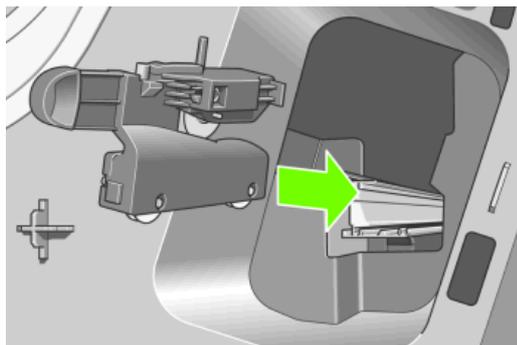
8. 古いカッターを外します。



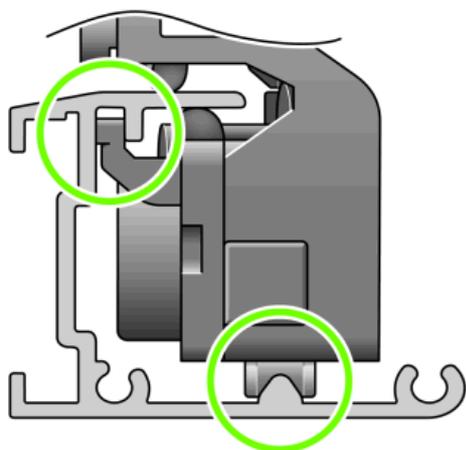
9. 保守キットから新しいカッターを取り出し、上部にあるプランジャーを枠の中でゆっくり前後に動かして、自由に動くことを確認します。



10. 新しいカッターをカッター レールの所定の位置に差し込みます。

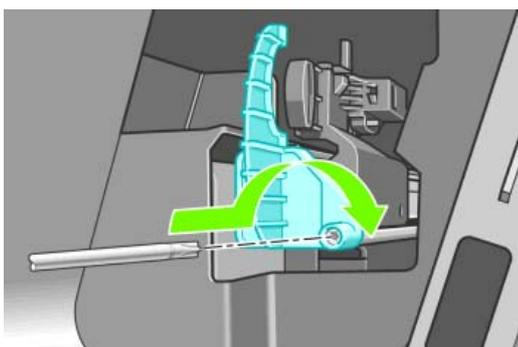
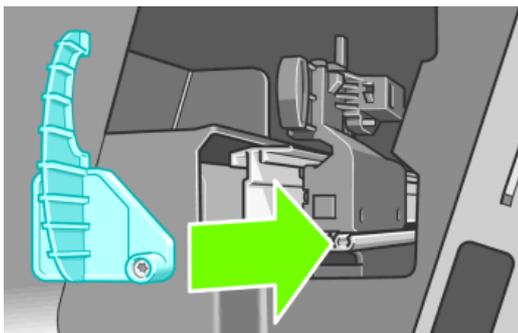


カッターの下部にあるキャスターが2つともカッター レール中央の隆起部にかみ合い、軸受けガイドが2つともカッター レール上部の溝にはまるようにします。

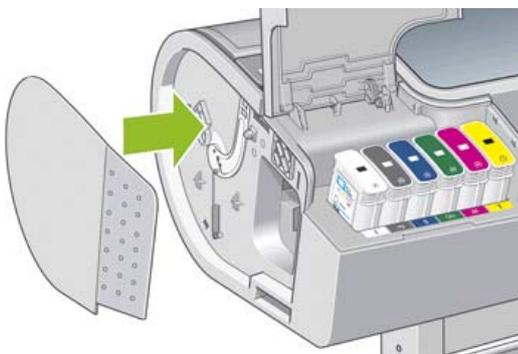


カッターがレール上を滑らかに動くことを確認します。カッターは、レール上のどこにあっても構いません。後で適切な位置に修正されます。

11. カッター止めをカッター レールの端にはめ込み、片方の手で押さえながら、もう一方の手でドライバを使用しながらネジを締めます。



12. 左端のカバーをプリンタに取り付けます。カバー側の突起をプリンタ側の穴に合わせるようにします。



13. インクカートリッジカバーを閉じます。



14. フロントパネルでプリンタの電源を入れ直します。カッターが正しく取り付けられているかどうかの確認が行われます。フロントパネルを見て、何らかの問題が発生している場合はその指示に従います。

## インクカートリッジを保守する

インクカートリッジは、通常の使用期間内であれば特別な保守は必要ありません。ただし、最高の印刷品質を維持するため、使用期限に達したカートリッジは交換してください。カートリッジが使用期限に達すると、プリンタのフロントパネルに表示されます。

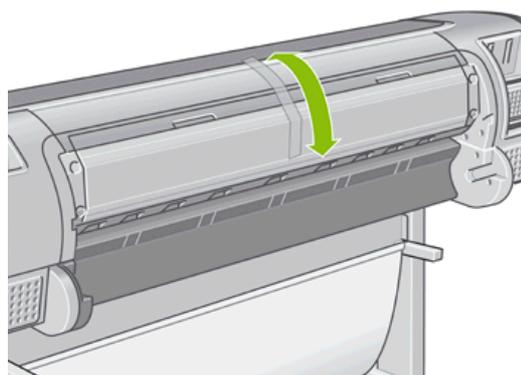
カートリッジの使用期限はいつでも確認できます ([132 ページの「プリンタ ステータスを確認する」](#)を参照)。

[121 ページの「インクカートリッジとプリントヘッドの取り扱い」](#)も参照してください。

## プリンタを移動または保管する

プリンタを移動したり、保管したりする必要がある場合は、損傷を防ぐために適切な準備作業を行ってください。プリンタの準備作業を行うには、以下の手順に従います。

1. インクカートリッジ、プリントヘッドは取り外さないでください。
2. 用紙が取り付けられていないことを確認します。
3. プリンタがアイドル状態であることを確認します。
4. ネットワークやコンピュータにプリンタを接続しているすべてのケーブルを取り外します。
5. プリンタを移動する前に、背面トレイをテープで閉じます。これを行わない場合、トレイが開き、壊れてプリンタから外れることがあります。



長期間プリンタの電源をオフのままにする必要がある場合は、以下の追加手順を実行します。

1. フロントパネルの **電源** ボタンを押して、電源をオフにします。
2. プリンタの背面にある電源スイッチもオフにします。
3. プリンタの電源ケーブルを取り外します。

△ **注意：** プリンタを逆さにすると、プリンタ内部にインクが漏れてプリンタに重大な故障が発生することがあります。

プリンタの電源を入れ直すと、プリンタの初期化、およびプリントヘッドの確認と準備に約3分かかります。プリントヘッドの準備は、通常、1分強かかります。ただし、プリンタを6週間以上使用していない場合は、プリントヘッドの準備に最大1時間かかることがあります。

プリンタの電源を6週間以上オフのままにしておいた場合、プリントヘッドが使用できなくなる可能性があります。この場合、プリントヘッドを新品に交換する必要があります。

## ファームウェアをアップデートする

プリンタのさまざまな機能は、プリンタ内のソフトウェアによって制御されています。このソフトウェアは、ファームウェアとも呼ばれます。

ファームウェアのアップデートは、随時、Hewlett-Packard から入手することができます。このアップデートにより、プリンタの性能が向上し、プリンタの機能が拡張されます。

ファームウェアのアップデートは、インターネットからダウンロードしてプリンタにインストールできます。以下の中から最も便利な方法をお選びください。

- HP Printer Utility (Windows) で使用するプリンタを選択し、**[サポート]** タブ、**[ファームウェアのアップデート]** を選択します。
- HP Printer Utility (Mac OS) で **[サポート]** グループの **[ファームウェアのアップデート]** を選択します。
- 使用するプリンタの内蔵 Web サーバで **[セットアップ]** タブを選択し、**[ファームウェアのアップデート]** を選択します。

いずれの場合でも、画面の指示に従ってファームウェア ファイルをハードディスクに保存します。次に、ダウンロードしたファイルを選択し、**[アップデート]** をクリックします。

ファームウェア ファイルをプリンタにアップロードする処理に非常に時間がかかる場合は、プロキシサーバの使用がその原因であることがあります。その場合は、プロキシサーバを経由せずに内蔵 Web サーバに直接アクセスします。

- Windows 版の Internet Explorer 6 を使用している場合は、**[ツール]** - **[インターネット オプション]** - **[接続]** - **[LAN の設定]** をクリックし、**[ローカル アドレスにはプロキシサーバを使用しない]** ボックスをオンにします。さらに高度な設定を行うには、**[詳細設定]** ボタンをクリックし、プロキシサーバを使用しないように、プリンタの IP アドレスを **[次で始まるアドレスにはプロキシを使用しない]** の一覧に追加します。
- Mac OS の Safari を使用している場合は、**[Safari]** - **[環境設定]** - **[詳細]** をクリックし、**[プロキシ：設定を変更]** ボタンをクリックします。プロキシサーバを使用しないように、プリンタの IP アドレスまたはドメイン名を **[プロキシ設定を使用しないホストとドメイン]** の一覧に追加します。

ファームウェアには、最も一般的に使用される用紙プリセットが含まれています。追加の用紙プリセットは、別途ダウンロードできます ([39 ページの「用紙プリセット」](#)を参照)。

## ソフトウェアをアップデートする

プリンタ ドライバおよびその他のソフトウェアを最新状態に保つため、HP Proactive Support (201 ページの「[HP Proactive Support](#)」を参照) を使用することをお勧めします。または、<http://www.hp.com/go/z3200ps/drivers/> を参照してください。

## 電池を交換する

フロントパネルにリアルタイム クロックが機能していないことが表示された場合、電池の交換が必要です。リチウム電池 CR2032 を使用します。電池を交換するには、以下の手順を実行してください。

1. プリンタをオフにして、ケーブルを抜きます。ネットワーク ケーブルまたは USB ケーブルを抜きます。
2. フォーマッタをプリンタに取り付けているネジを指またはマイナス ドライバで緩めます。
3. フォーマッタ内の丸くて平たい電池を探します。
4. 電池を片側に少し押しして持ち上げます。少し力をかける必要があるかもしれません。
5. 新しい電池を押し込んで挿入します。
6. フォーマッタを押し込んでプリンタに挿入し、ネジを締めます。
7. ケーブルを再接続して、プリンタをオンにします。

## プリンタ保守キット

プリンタには 3 種類の保守キットが用意されており、長期間使用したコンポーネントを交換できます。コンポーネントの交換が必要な場合、フロントパネルと HP Printer Utility によってメッセージが表示されます。

メッセージが表示されたときは、HP サポート (201 ページの「[HP サポートへのお問い合わせ](#)」を参照) までお問い合わせの上、保守キットを入手してください。キットのうち 2 種類は、サービス エンジニアがインストールします。もう 1 種類のキットに入っている交換用カッターは、ユーザ自身で取り付けることができます (132 ページの「[カッターを交換する](#)」を参照)。

## 安全なディスク消去

プリンタのハード ディスクは、印刷ジョブの一時的な格納領域として使用されます。安全なディスク消去機能を使用すれば、ハード ディスクから情報を完全に消去して、許可のないアクセスから情報を保護できます。特定のファイルを消去することも、ハード ディスク全体を消去することも可能です。

安全なディスク消去機能では、次の 3 つのセキュリティ レベルを設定できます。

- **非セキュア高速消去**：情報の参照元がすべて消去されます。情報そのものは、その情報が入っているディスク領域が他の目的で必要になるまでハード ディスクに残りますが、その後は上書きされます。情報はディスクに残りますが、ほとんどのユーザにとってアクセスすることは困難です。ただし、特定の目的で設計されたソフトウェアを使用すればアクセス可能です。これは、ほとんどのコンピュータ システムでファイルを消去するときに使用される通常の方法です。最も短時間で消去できますが、最も安全性の低い方法です。

- **セキュア高速消去**：情報の参照元がすべて削除され、情報そのものも固定された文字パターンで上書きされます。非セキュア高速消去よりは時間がかかりますが、より安全な方法です。それでも、磁気的痕迹を検出する特殊なツールを使用すれば、消去した情報の断片にアクセスすることが可能な場合があります。



i n v e n t

DoD

20%

Secure Fast Erase  
DoD 5220.22-M

- **セキュアサニタイジング消去**：情報の参照元がすべて削除され、情報そのものもすべての痕跡を除去するために作られたアルゴリズムを使用して繰り返し上書きされます。最も時間はかかりますが、最も安全な方法です。セキュアサニタイジング消去は、米国国防総省の、ディスクメディアの消去およびサニタイジングの要件 (5220-22.m) に適合しています。安全なディスク消去を使用する際は、これがデフォルトのセキュリティレベルです。



i n v e n t

DoD

20%

Secure Sanitizing Erase  
DoD 5220.22-M

安全なディスク消去は、HP から無料で提供されている Web ベースの印刷管理ソフトウェア Web JetAdmin の機能の 1 つです。詳細は、<http://www.hp.com/go/webjetadmin/>を参照してください。

Web JetAdmin から安全なディスク消去するときに問題が発生した場合は、HP サポート (201 ページの「[HP サポートへのお問い合わせ](#)」を参照) にお問い合わせください。

ハードディスク全体の消去を選択する前に、次の点に注意してください。

- 処理中に何度かプリンタの再起動を要求される場合があります。この処理は、安全なディスク消去では約 6 時間、セキュアサニタイジング消去では約 24 時間かかります。
- フロントパネルから入手できるデモ印刷は削除されます。元に戻すことはできません。

# 11 アクセサリ

- サプライ品およびアクセサリ
- アクセサリ

## サプライ品およびアクセサリ

プリンタ用のサプライ品およびアクセサリについては、次の2つの方法でご確認ください。

- Web で、<http://www.hp.com/go/z3200ps/supplies/> または <http://www.hp.com/go/z3200ps/accessories/> にアクセスする
- お近くの販売代理店に問い合わせる。

以下は、ご使用いただけるサプライ品およびアクセサリと製品番号のリストです。

### インク サプライ品について

このプリンタ対応のインク サプライ品は以下のとおりです。

表 11-1 インクカートリッジ

カートリッジ	製品番号
HP70 インクカートリッジ マットブラック	C9448A
HP70 インクカートリッジ フォトブラック	C9449A
HP70 インクカートリッジ グレー	C9450A
HP70 インクカートリッジ ライトグレー	C9451A
HP70 インクカートリッジ マゼンタ	C9453A
HP70 インクカートリッジ イエロー	C9454A
HP70 インクカートリッジ ライトマゼンタ	C9455A
HP73 インクカートリッジ クロムレッド	CD951A
HP70 インクカートリッジ グリーン	C9457A
HP70 インクカートリッジ ブルー	C9458A
HP70 インクカートリッジ グロスエンハンサ	C9459A
HP70 インクカートリッジ ライトシアン	C9390A
HP70 インクカートリッジ マットブラック (2 個パック)	CB339A
HP70 インクカートリッジ フォトブラック (2 個パック)	CB340A
HP70 インクカートリッジ グレー (2 個パック)	CB341A
HP70 インクカートリッジ ライトグレー (2 個パック)	CB342A
HP70 インクカートリッジ マゼンタ (2 個パック)	CB344A
HP70 インクカートリッジ イエロー (2 個パック)	CB345A
HP70 インクカートリッジ ライトマゼンタ (2 個パック)	CB346A
HP73 インクカートリッジ クロムレッド (2 個パック)	CD952A
HP70 インクカートリッジ グリーン (2 個パック)	CB348A
HP70 インクカートリッジ ブルー (2 個パック)	CB349A
HP70 インクカートリッジ グロスエンハンサ (2 個パック)	CB350A
HP70 インクカートリッジ ライトシアン (2 個パック)	CB351A

表 11-2 プリントヘッド

プリントヘッド	製品番号
HP 70 プリントヘッド ライトマゼンタ/ライトシアン	C9405A
HP 70 プリントヘッド マゼンタ/イエロー	C9406A
HP 70 プリントヘッド フォトブラック/ライトグレー	C9407A
HP 70 プリントヘッド ブルー/グリーン	C9408A
HP 73 プリントヘッド マットブラック/クロムレッド	CD949A
HP 70 プリントヘッド グロスエンハンサ/グレー	C9410A

## 用紙について

このプリンタに現在対応している用紙は以下のとおりです。

注記： 以下の表の内容は、将来変更される場合があります。最新情報については、<http://www.hp.com/go/z3200ps/supplies/> を参照してください。背景情報については、<http://www.hp.com/go/z3200ps/paperpresets/> を参照してください。

販売地域を示すコード:

- (A) アジア (日本を除く) で販売されている用紙を示します。
- (E) ヨーロッパ、中東、およびアフリカで販売されている用紙を示します。
- (J) 日本で販売されている用紙を示します。
- (L) 南米で販売されている用紙を示します。
- (N) 北米で販売されている用紙を示します。

製品番号に括弧が付いていない場合、その用紙はすべての地域で販売されています。

表 11-3 ロール紙

用紙の種類	g/m2	長さ	幅	製品番号
<b>普通紙とコート紙</b>				
プラス スーパー厚手マット紙	210	100 フィート = 30.4 m	24 インチ = 610 mm	Q6626A (AEJLN)
			36 インチ = 914 mm	Q6627A (AEJLN)
			42 インチ = 1067 mm	Q6628A (AEJLN)
厚手コート紙	131	100 フィート = 30.5 m	24 インチ = 610 mm	C6029C (AEJN)
			36 インチ = 914 mm	C6030C
			42 インチ = 1067 mm	C6569C
			225 フィート = 67.5 m	42 インチ = 1067 mm
スタンダード厚手コート紙	120	100 フィート = 30.5 m	24 インチ = 610 mm	Q1412A (AEJN)
			36 インチ = 914 mm	Q1413A
			42 インチ = 1067 mm	Q1414A (AEJN)

表 11-3 ロール紙 (続き)

用紙の種類	g/m <sup>2</sup>	長さ	幅	製品番号
コート紙	90	150 フィート = 45.7 m	16.54 インチ = 420 mm	Q1443A (J)
			23.39 インチ = 594 mm	Q1442A (EJ)
			24 インチ = 610 mm	C6019B
			33.11 インチ = 841 mm	Q1441A (EJ)
			36 インチ = 914 mm	C6020B
			42 インチ = 1067 mm	C6567B
		300 フィート = 91.4 m	36 インチ = 914 mm	C6980A
コート紙	90	150 フィート = 45.7 m	18 インチ = 458 mm	Q7897A (ELN)
スタンダードコート紙	95	150 フィート = 45.7 m	24 インチ = 610 mm	Q1404A (AEJN)
			36 インチ = 914 mm	Q1405A (AEJN)
			42 インチ = 1067 mm	Q1406A
インクジェット普通紙	90	150 フィート = 45.7 m	16.54 インチ = 420 mm	Q1446A (J)
			23.39 インチ = 594 mm	Q1445A (EJ)
			24 インチ = 610 mm	C1860A (LN)、 C6035A (AEJ)
			33.11 インチ = 841 mm	Q1444A (EJ)
			36 インチ = 914 mm	C1861A (LN)、 C6036A (AEJ)
		300 フィート = 91.4 m	36 インチ = 914 mm	C6810A
スタンダード普通紙	80	150 フィート = 45.7 m	23.39 インチ = 594 mm	Q8003A (AJ)
			24 インチ = 610 mm	Q1396A
			36 インチ = 914 mm	Q1397A
			42 インチ = 1067 mm	Q1398A
蛍光イエロー紙	100	150 フィート = 45.7 m	36 インチ = 914 mm	Q1757A (E)
カラー用紙 (イエロー)	92	150 フィート = 45.7 m	23.39 インチ = 594 mm	Q6596A (E)
			36 インチ = 914 mm	Q1760A (EN)
<b>テクニカル用紙</b>				
モノクロ&カラートレーシングペーパー	90	150 フィート = 45.7 m	16.54 インチ = 420 mm	Q1440A (J)
			23.39 インチ = 594 mm	Q1439A (J)
			24 インチ = 610 mm	C3869A
			33.11 インチ = 841 mm	Q1438A (J)
			36 インチ = 914 mm	C3868A
半透明ボンド紙	67	150 フィート = 45.7 m	24 インチ = 610 mm	C3860A (AJN)
			36 インチ = 914 mm	C3859A (LN)
ベラム紙	75	150 フィート = 45.7 m	24 インチ = 610 mm	C3862A (N)
			36 インチ = 914 mm	C3861A (LN)
<b>フィルム (テクニカル&amp;グラフィクス)</b>				

表 11-3 ロール紙 (続き)

用紙の種類	g/m2	長さ	幅	製品番号
クリアフィルム	174	75 フィート = 22 m	24 インチ = 610 mm	C3876A (AEJN)
			36 インチ = 914 mm	C3875A
マットフィルム	160	125 フィート = 38.1 m	24 インチ = 610 mm	51642A (AEJN)
			36 インチ = 914 mm	51642B
ポリエステルハイグロスフィルム				
ホワイトポリエステルマットフィルム	167	50 フィート = 15 m	36 インチ = 914 mm	Q1736A (AEN)
<b>フォト用紙</b>				
プロフェッショナル半光沢フォト用紙	300	50 フィート = 15 m	24 インチ = 610 mm	Q8759A
			44 インチ = 1118 mm	Q8840A
スタンダード速乾性光沢フォト用紙	260	50 フィート = 15 m	18 インチ = 458 mm	Q7990A
			24 インチ = 610 mm	Q7991A
		100 フィート = 30.5 m	36 インチ = 914 mm	Q7993A
			42 インチ = 1067 mm	Q7995A
プレミアム速乾半光沢フォト紙	260	50 フィート = 15 m	18 インチ = 458 mm	Q8001A (ELN)
			24 インチ = 610 mm	Q7992A
		100 フィート = 30.5 m	36 インチ = 914 mm	Q7994A
			42 インチ = 1067 mm	Q7996A
スタンダード速乾性光沢フォト用紙	190	100 フィート = 30.5 m	24 インチ = 610 mm	Q6574A
			36 インチ = 914 mm	Q6575A
			42 インチ = 1067 mm	Q6576A
			200 フィート = 61m	42 インチ = 1067 mm
スタンダード速乾性半光沢フォト用紙	190	100 フィート = 30.5 m	24 インチ = 610 mm	Q6579A
			36 インチ = 914 mm	Q6580A
			42 インチ = 1067 mm	Q6581A
			200 フィート = 61m	42 インチ = 1067mm
エブリデイ光沢フォト用紙 (顔料用)	235	100 フィート = 30.5 m	24 インチ = 610 mm	Q8916A
			36 インチ = 914 mm	Q8917A
			42 インチ = 1067 mm	Q8918A
エブリデイ半光沢フォト用紙 (顔料用)	235	100 フィート = 30.5 m	24 インチ = 610 mm	Q8920A
			36 インチ = 914 mm	Q8921A
			42 インチ = 1067 mm	Q8922A
プレミアムマットフォト用紙	210	100 フィート = 30.5 m	24 インチ = 610 mm	CG459A
			36 インチ = 914 mm	CG460A
<b>ブルーフ用紙</b>				
プロフェッショナルブルーフ用光沢用紙	200	100 フィート = 30.5 m	18 インチ = 458 mm	Q8664A (EN)
			24 インチ = 610 mm	Q8663A (EN)

表 11-3 ロール紙 (続き)

用紙の種類	g/m <sup>2</sup>	長さ	幅	製品番号
プロフェッショナルブルーフ用半光沢用紙	235	100 フィート = 30.5 m	18 インチ = 458 mm	Q8049A (EN)
			24 インチ = 610 mm	Q7971A (EN)
			36 インチ = 914 mm	Q8909A (EN)
			42 インチ = 1067 mm	Q8910A (EN)
プレミアム半光沢ブルーフ用紙	240	100 フィート = 30.5 m	18 インチ = 458 mm	CG462A (E)
			24 インチ = 610 mm	CG463A (E)
			42 インチ = 1067 mm	CG490A (E)
ブルーフ用マット紙	146	100 フィート = 30.5 m	18 インチ = 458 mm	Q7896A (EJN)
			24 インチ = 610 mm	Q1968A (AEJN)
<b>バックライト用紙</b>				
プレミアムビビッドカラーバックライトフィルム	285	100 フィート = 30.5 m	36 インチ = 914 mm	Q8747A
			42 インチ = 1067 mm	Q8748A
<b>粘着紙</b>				
屋内用粘着紙	170	75 フィート = 22 m	36 インチ = 914 mm	Q1733A (EJN)
スタンダード粘着ビニール	290	66 フィート = 20.1 m	36 インチ = 914 mm	Q8676A (EN)
			42 インチ = 1067 mm	Q8677A (EN)
ポリプロピレン粘着マット紙	225	70 フィート = 21.3 m	36 インチ = 914 mm	Q1908A (AEN)
ビニール (粘着タイプ)	328	40 フィート = 12.2 m	36 インチ = 914 mm	C6775A
<b>サイン&amp;バナー用紙</b>				
耐久性ディスプレイフィルム	205	50 フィート = 15 m	36 インチ = 914 mm	Q6620A (EN)
速乾性屋内バナー 光沢	195	50 フィート = 15 m	36 インチ = 914 mm	Q5482A (N)
			42 インチ = 1067 mm	Q5483A (N)
オパークスクリム	460	50 フィート = 15 m	24 インチ = 610 mm	Q8675A (N)
			36 インチ = 914 mm	Q1898B (AEJN)
			42 インチ = 1067mm	Q1899B (AEN)
ポリプロピレンマット紙	130	75 フィート = 22 m	36 インチ = 914 mm	Q1903A (AEN)
			42 インチ = 1067 mm	Q1904A (AEN)
バナーマテリアル (Tyvek®)	140	50 フィート = 15 m	36 インチ = 914 mm	C6787A (AJN)
屋外用紙	145	100 フィート = 30.5 m	36 インチ = 914 mm	Q1730A (EN)
屋外ビルボード紙 (ブルーバック)	140	100 フィート = 30.5 m	36 インチ = 914 mm	C7949A (EN)
塩ビフリーバナー	410	100 フィート = 30.5 m	36 インチ = 914 mm	CG815A (EN)
			42 インチ = 1067 mm	CG816A (EN)
<b>ファブリック/テキスタイル</b>				
耐久性フラッグファブリック	110	33 フィート = 10.1 m	36 インチ = 914 mm	Q6624A (EN)
ポリエステルファブリック	110	33 フィート = 10.1 m	36 インチ = 914 mm	Q1745A (E)
シルクサテンファブリック	63.5	100 フィート = 30.5 m	36 インチ = 914 mm	Q1748A (EN)
(裏紙付き)	160			

表 11-3 ロール紙 (続き)

用紙の種類	g/m2	長さ	幅	製品番号	
<b>ファインアート紙</b>					
スムーズファインアート紙 (Hahnemühle®)	265	35 フィート = 10.6 m	24 インチ = 610 mm	Q8732A (EN)	
			36 インチ = 914 mm	Q8745A (EN)	
			42 インチ = 1067 mm	Q8733A (EN)	
310	35 フィート = 10.6 m	24 インチ = 610 mm	Q8734A (EN)		
		42 インチ = 1067 mm	Q8735A (EN)		
ファインアート紙 (Hahnemühle®)	265	35 フィート = 10.6 m	24 インチ = 610 mm	Q8736A (EN)	
			36 インチ = 914 mm	Q8737A (EN)	
			42 インチ = 1067 mm	Q8738A (EN)	
310	35 フィート = 10.6 m	24 インチ = 610 mm	Q8739A (EN)		
		42 インチ = 1067 mm	Q8740A (EN)		
水彩用紙 (Hahnemühle®)	210	38 フィート = 11.6 m	36 インチ = 914 mm	Q1984A (EN)	
バライタ サテンアート紙	290	50 フィート = 15 m	24 インチ = 610 mm	CG803A (EN)	
			44 インチ = 1118 mm	CG804A (EN)	
水彩用アート紙	240	35 フィート = 10.6 m	24 インチ = 610 mm	Q8741A (EN)	
			36 インチ = 914 mm	Q8746A (EN)	
リトグラフ調マット紙	270	100 フィート = 30.5 m	24 インチ = 610 mm	Q7972A (ELN)	
			36 インチ = 914 mm	Q7973A (ELN)	
キャンバス用紙	180	35 フィート = 10.6 m	36 インチ = 914 mm	Q1724A (AEN)	
プロフェッショナルマットキャンバス	430	20 フィート = 6.1 m	24 インチ = 610 mm	Q8673A (ELN)	
			50 フィート = 15 m	36 インチ = 914 mm	Q8761A (ELN)
			42 インチ = 1067 mm	Q8674A (ELN)	
コレクター半光沢キャンバス	400	20 フィート = 6.1 m	24 インチ = 610 mm	Q8708A	
			50 フィート = 15 m	36 インチ = 914 mm	Q8709A
			42 インチ = 1067 mm	Q8710A	
アーティストマットキャンバス	380	20 フィート = 6.1 m	24 インチ = 610 mm	Q8704A	
			50 フィート = 15 m	36 インチ = 914 mm	Q8705A
			42 インチ = 1067 mm	Q8706A	
スタンダードマットキャンバス	350	20 フィート = 6.1 m	24 インチ = 610 mm	Q8712A	
			50 フィート = 15 m	36 インチ = 914 mm	Q8713A
			42 インチ = 1067 mm	Q8714A	

表 11-4 カット紙

用紙の種類	g/m2	長さ	幅	製品番号
<b>普通紙とコート紙</b>				

表 11-4 カット紙 (続き)

用紙の種類	g/m <sup>2</sup>	長さ	幅	製品番号
コート紙	90	24 インチ = 610 mm	18 インチ = 457 mm	Q1961A (AJEN)
		36 インチ = 914 mm	24 インチ = 610 mm	Q1962A (AJEN)
<b>フォト用紙</b>				
プロフェッショナル半光沢フォト用紙	300	19 インチ = 483 mm	13 インチ = 330.5 mm	Q8839A
フォト用紙 (つや消し)	196	19 インチ = 483 mm	13 インチ = 330.5 mm	Q5492A
<b>ブルーフ用紙</b>				
プロフェッショナルブルーフ用光沢用紙	200	19 インチ = 483 mm	13 インチ = 330.5 mm	Q8662A (EN)
プロフェッショナルブルーフ用半光沢用紙	235	19 インチ = 483 mm	13 インチ = 330.5 mm	Q7970A (EJN)
プレミアム半光沢ブルーフ用紙	240	19 インチ = 483 mm	13 インチ = 330.5 mm	CG461A (E)
ブルーフ用マット紙	146	19 インチ = 483 mm	13 インチ = 330.5 mm	Q1967A (AEN)
<b>ファインアート紙</b>				
スムーズファインアート紙 (Hahnemühle®)	265	19 インチ = 483 mm	13 インチ = 330.5 mm	Q8728A
水彩用紙 (Hahnemühle®)	210	19 インチ = 483 mm	13 インチ = 330.5 mm	Q8729A
水彩用アート紙	240	19 インチ = 483 mm	13 インチ = 330.5 mm	Q8730A
アーティストマットキャンバス	380	19 インチ = 483 mm	13 インチ = 330.5 mm	Q8731A

## 推奨しない用紙の種類

通常、HP でサポートしていない用紙の種類もプリンタで使用できます。ただし、以下の種類の用紙では、適切な結果を得られない可能性が高くなります。

- 膨張しやすいフォト用紙
- ブローシャ用紙

## アクセサリについて

お使いのプリンタ用にご使用いただけるアクセサリは以下のとおりです。

名前	製品番号
HP Designjet Z2100/Z3200 24 インチ スタンド	Q6663A
HP Designjet Z2100/Z3200 24 インチ スピンドル	Q6700A
HP Designjet Z2100/Z3200 44 インチ スピンドル	Q6699A
HP Jetdirect 630n (IPv6 Gigabit)	J7997G
HP Jetdirect 635n (IPv6/IPsec)	J7961A、J7961G

## アクセサリ

### スタンド

プリンタ スタンドは、プリンタおよびバスケットの補助として使用します。プリンタから出てくる印刷物は、バスケットにまとめられます。スタンドを使用しない場合は、プリンタをデスクに置きます。

スタンドの高さは 668 mm です。

スタンドの重量は 10.12kg (24 インチ) です。



## 12 用紙に関するトラブルシューティング

- 用紙が正しく取り付けられない
- 用紙の種類がドライバに含まれていない
- 用紙が詰まっている
- 印刷物がバスケットに正しく排出されない
- 印刷が完了してもカット紙がプリンタに留まる
- 印刷が完了すると用紙がカットされる
- カッターで正しくカットされない
- ロール紙がスピンドルでたるむ
- 帯が排紙トレイに残り、紙詰まりが発生する
- 用紙送りのキャリブレーションを行う

## 用紙が正しく取り付けられない

- 用紙が取り付けられていないことを確認します。
- 用紙がプリンタの奥まで取り付けられていることを確認します。プリンタに用紙が固定される感触があるはずです。
- フロントパネルに指示が表示されない限り、位置合わせの処理中に用紙をまっすぐにしないでください。用紙はプリンタによって自動的にまっすぐにされます。
- 用紙がしわになっている、歪んでいる、または曲がっている可能性があります。

## ロール紙の取り付けに失敗する

- 用紙が取り付けられない場合、用紙の先端が曲がっているかまたは汚れており、切り揃える必要があります。ロール紙の先端の 2cm (1 インチ) を切り取ってもう一度試してください。新しいロール紙の場合でもこの処理が必要な場合があります。
- 用紙の端がスピンドルの端にしっかりと固定されていることを確認します。
- スピンドルが正しく挿入されていることを確認します。
- 用紙がスピンドルに正しく取り付けられていて、ロール紙の向きが正しいことを確認します。
- ロール紙のストッパがすべて取り除かれていることを確認します。
- 用紙がロールにしっかりと巻き取られていることを確認します。
- 位置合わせの処理中は、ロール紙または用紙に触れないでください。

用紙がまっすぐに挿入されていない場合、フロントパネルに以下の指示が表示されます。

1. フロントパネルにメッセージが表示されたら、左の青いレバーを上げます。ロール紙はプリンタによってまっすぐにされます。
2. フロントパネルにメッセージが表示されたら、青いレバーを下げます。プリンタによって位置の確認が行われます。ロール紙の位置合わせが終了すると、プリンタによって幅が測定されます。これで、印刷の準備が整いました。

ロール紙の位置が合っていないと、フロントパネルにエラーおよび指示が表示されます。

3. フロントパネルにメッセージが表示されたら、左の青いレバーを上げます。
4. ロール紙の端が青い線の位置に合うまで、スピンドルの端からロール紙を巻き戻します。
5. フロントパネルの **OK** を押します。
6. フロントパネルに指示が表示されたら、レバーを下げます。プリンタによって位置の確認が行われます。ロール紙の位置合わせが終了すると、プリンタによって幅が測定されます。これで、印刷の準備が整いました。

ロール紙の位置がまだ合っていない場合、フロントパネルにエラーが表示され、手順 3 からやり直す必要があるという指示が表示されます。

用紙の取り付け処理をやり直す場合、フロントパネルで処理をキャンセルし、端がプリンタから外れるまで、スピンドルの端からロール紙を巻き戻します。

## カット紙の取り付けに失敗する

- 厚手の用紙の場合は特に、プリンタが最初にカット紙を給紙するときにカット紙の位置を揃えます。
- フロントパネルに指示が表示されない限り、用紙の取り付けの処理中にカット紙をまっすぐにしなしてください。カット紙はプリンタによって自動的にまっすぐにされます。
- できれば、はさみなどを使用して切ったカット紙は使用しないでください。使用する必要がある場合は、**[カット紙、スキュー チェックなし]** オプションを使用して取り付けてください。

カット紙がプリンタにセットされない場合、フロントパネルに、用紙をプリンタの奥まで差し込み再度給紙するように求める指示が表示されます。

プリンタにセットされたカット紙がまっすぐに挿入されていない場合、フロントパネルに以下の指示が表示されます。

1. フロントパネルにメッセージが表示されたら、左の青いレバーを上げます。
2. カット紙を調整して、前面と右側の青い線に合わせます。
3. カット紙の位置を合わせたら、フロントパネルの **OK** を押します。
4. フロントパネルにメッセージが表示されたら、青いレバーを下げます。プリンタによって位置の確認が行われます。カット紙の位置合わせが終了すると、プリンタによってカット紙が測定され、ロール フィードの裏に送られます。これで印刷の準備が整いました。

カット紙の位置が合っていない場合、フロントパネルにエラーが表示され、やり直す必要があるという指示が示されます。

用紙の取り付け処理をやり直す場合、フロントパネルで処理をキャンセルすると、プリンタによってカット紙が前面に排出されます。

## 用紙の取り付けのエラー メッセージ

用紙の取り付けに関連してフロントパネルに表示されるメッセージと、推奨する処理の一覧を以下に示します。

フロントパネルに表示されるメッセージ	推奨する処理
用紙取り付けエラー	用紙が正しく取り付けられておらず、端が取り付けガイドに合っていません。青いレバーを持ち上げ、用紙を取り除き、レバーを下げます。
ロール紙の端が見つかりません	用紙の取り付け中に、用紙が検出されませんでした。用紙が完全に取り付けられていることを確認します。
取り付けた用紙にスキューが多すぎます	用紙の取り付け中に、用紙にスキュー（歪み）が多すぎることが検出されました。フロントパネルに表示される指示に従います。
用紙が小さすぎます	用紙の取り付け中に、用紙の幅が狭すぎるか、長さが短すぎることが検出されたため、プリンタに取り付けることができません。キャンセル ボタンを押して、取り付けを中止します。 <a href="#">204 ページの「プリンタ機能の仕様」</a> を参照してください。
用紙が大きすぎます	用紙の取り付け中に、幅が広すぎるか、長さが長すぎる（カット紙のみ）が検出されたため、プリンタに正しく取り付けることができません。キャンセル ボタンを押して、取り付けを中止します。 <a href="#">204 ページの「プリンタ機能の仕様」</a> を参照してください。
レバーが上がっています	用紙の取り付け中に、青いレバーが上がっていました。このため、プリンタに用紙を取り付けることができません。フロントパネルに表示される指示に従います。

## 用紙の種類がドライバに含まれていない

☝ **ヒント:** まず、ドライバが最新であるかを確認します (139 ページの「ソフトウェアをアップデートする」を参照)。最新のドライバでは、用紙の種類のリストに含まれる用紙が増えている可能性があります。

ドライバに含まれない用紙を扱うには、このドライバに新しい用紙を追加します (40 ページの「独自の用紙プリセットを作成する方法」を参照)。ドライバに用紙の種類を追加することをお勧めします。これにより、プロファイルなど、この用紙に対するカスタム パラメータを保存できるようになります。

新しい用紙の種類は、既存の用紙のカテゴリに基づいたものにする必要があります。以下のカテゴリを使用できます。

- **[普通紙とコート紙]:**ファイバーベースでつや消しの薄手の用紙です。これらの用紙には、マットブラック インクを使用し、グロスエンハンサは使用しません。比較的インク量を低くし、キャリッジ位置を高くします。
- **[フォト用紙]:**比較的厚手のフォトベース用紙で、つや消しや半光沢から光沢までさまざまな仕上げがあります。これらの用紙にはフォトブラック インクを使用し、つや消しフォト用紙以外にはグロスエンハンサを使用します。パライタとつや消しフォト用紙以外では比較的インク量を高くし、キャリッジ位置を低くします。通常はスターホイールを上げて印刷します。
- **[ブルーフ用紙]:**つや消しや半光沢から光沢までさまざまな種類があり、高いカラー精度が要求される商業印刷のシミュレーションに使用されます。
- **[ファインアート紙]:**キャンバス、つや消し、ペーパーベースのフォト用紙で、高品質のファインアートの印刷に使用されます。これらの用紙にはマットブラック インクを使用し、半光沢キャンバスとパール以外にはグロスエンハンサは使用しません。半光沢キャンバスとパールには、フォトブラックとグロスエンハンサを使用します。いずれの場合も、キャリッジ位置とインク量を高くします。
- **[フィルム]:**合成のフィルムベース用紙で、通常はフォトブラックを使用し、グロスエンハンサは使用しません。インク量は比較的低くし、キャリッジ位置を高くします。
- **[バックライト]:**合成の透明紙で、フォトブラックを使用し、グロスエンハンサは使用しません。インク量とキャリッジ位置を高くし、スターホイールを上げます。

## 触ると、黒インクが簡単に落ちる

☝ **ヒント:** 特にプリンタから出てきたばかりの印刷物は、慎重に取り扱ってください。

使用している用紙にマットブラック インクとの互換性がない可能性があります。マット以外のブラック インクを使用する場合は、用紙の種類に、**[フォト用紙]** - **[光沢フォト用紙]** を選択します。

📖 **注記:** 別の用紙の種類を選択すると、印刷物のカラーが目に見えるほど変わる場合があります。

## 印刷後、用紙がしわになるか、インクが多すぎる

これはインクの使用量が多すぎるときに発生します。使用されるインクの量を減らすには、より薄いカテゴリを選択します。マット紙のカテゴリを薄いものから順に並べると次のようになります。

- 普通紙
- コート紙
- 厚手コート紙
- ファインアート紙

- スーパー厚手コート紙
- 厚手ファインアート紙 (>250 g/m<sup>2</sup>)

その他のイメージ品質の問題については、[161 ページの「印刷品質に関するトラブルシューティング」](#)を参照してください。

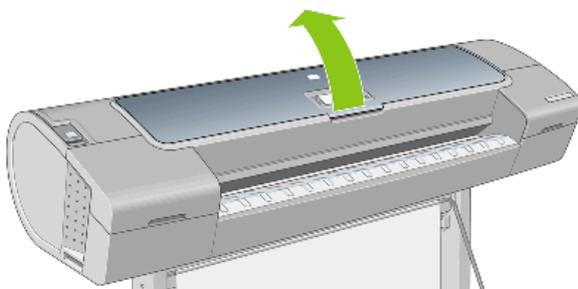
## 用紙が詰まっている

紙詰まりが起これると、通常、「紙詰まりの可能性が有ります」というメッセージがフロントパネルに表示されます。

1. フロントパネルでプリンタの電源をオフにし、背面にある電源スイッチもオフにします。



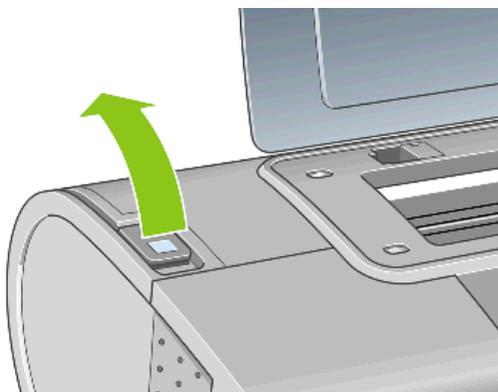
2. ウィンドウを開きます。



3. プリントヘッド キャリッジを邪魔にならない場所に移動します。



4. 青いレバーを上がるまで持ち上げます。



5. プリンタの上部から、詰まった用紙を慎重に取り除きます。

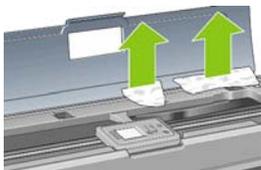


6. プリンタの後ろ側に立ち、ロール紙を巻き戻すか、プリンタからカット紙を引き出します。用紙が見えない場合は、プリンタの前に戻り、排紙トレイから用紙を取り除きます。

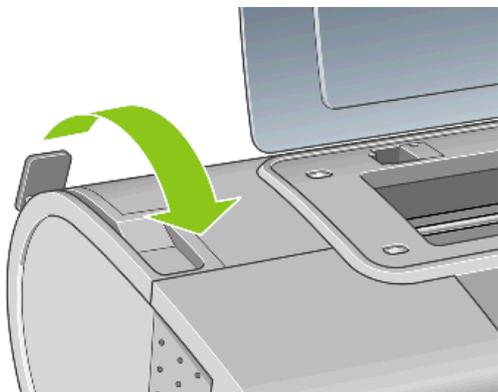
△ **注意：** 用紙を横に動かさないでください。横に動かすとプリンタが損傷するおそれがあります。



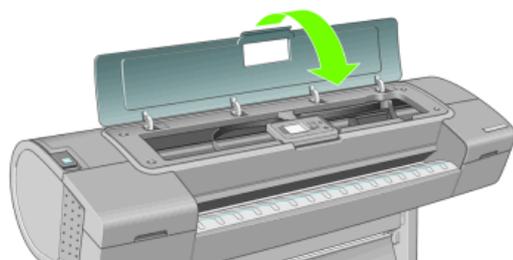
7. 用紙の切れ端を慎重に取り除きます。



8. 青いレバーを下げます。



9. 透明なウィンドウを閉じます。



10. プリンタの電源を入れます。

11. ロール紙を取り付け直すか、新しいカット紙を取り付けます。[29 ページの「ロール紙をプリンタに取り付ける」](#)または [34 ページの「カット紙を取り付ける」](#)を参照してください。

📖 **注記：** プリンタ内に障害の原因となる用紙がまだ残っている場合は、作業をやり直し、用紙の切れ端すべてを慎重に取り除きます。

## 印刷物がバスケットに正しく排出されない

- バスケットが正しく取り付けられていることを確認します。
- バスケットが開いていることを確認します。
- バスケットが満杯になっていないことを確認します。
- 用紙は端でカールすることが多いため、出力の問題が発生します。新しいロール紙を取り付けるか、印刷が完了したら手で取り出します。

## 印刷が完了してもカット紙がプリンタに留まる

印刷物を乾かすため、カット紙は印刷後プリンタに保持されます (44 ページの「[乾燥時間を変更する](#)」を参照)。乾燥時間が過ぎても用紙の一部分しか排出されない場合、用紙をゆっくりとプリンタから引き出します。自動カッターが無効になっている場合、フロントパネルの **排紙/カット** ボタンを押します (45 ページの「[用紙を給紙してカットする](#)」を参照)。

## 印刷が完了すると用紙がカットされる

デフォルトでは、乾燥時間が過ぎると用紙はプリンタにカットされます (44 ページの「[乾燥時間を変更する](#)」を参照)。カッターを無効にすることもできます (45 ページの「[自動カッターのオン/オフを切り替える](#)」を参照)。

## カッターで正しくカットされない

デフォルトでは、乾燥時間が過ぎると、プリンタは用紙を自動的にカットするよう設定されています。

カッターの使用がオンになっていても正しくカットされない場合は、カッター レールに汚れや障害物がないことを確認します。

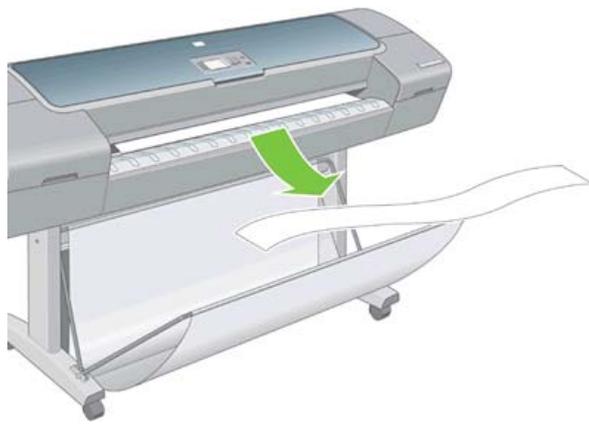
カッターの使用がオフになっていると、**排紙/カット** ボタンを押しても用紙はカットされずに排出されるだけです。このボタンを使用して、手動で水平に端をカットしたり、はさみを使用してカットできる位置まで、用紙をプリンタ前面から十分に引き出します。

## ロール紙がスピンドルでたるむ

ロール紙を交換するか、取り付け直す必要があります。厚紙製 3 インチ芯のロール紙を使用する場合、プリンタに同梱されている芯アダプタを取り付けます (26 ページの「[ロール紙をスピンドルに取り付ける](#)」を参照)。

## 帯が排紙トレイに残り、紙詰まりが発生する

小さな用紙 (200mm 以下) がカットされる時、フチ無し印刷の前 (新しいロール紙の場合) や後、または **排紙/カット** ボタンを押した後などに、カットされた帯が排紙トレイに残ります。プリンタが動作していないときのみ、トレイから帯を取り除いてください。



## 用紙送りのキャリブレーションを行う

正確な用紙送りは、用紙に対して適切にドットを配置するための制御要素の一つであるため、優れたイメージ品質を得るのに重要です。プリントヘッドが通過する間に用紙が適当な距離で送られない場合、明るいまたは暗い帯が印刷に現われ、イメージの粒状感が増える場合があります。

プリンタは、フロントパネルに表示されるすべての用紙で用紙が正しく送られるようにキャリブレーションされます。取り付けられている用紙の種類を選択すると、印刷中に用紙を送る間隔がプリンタにより調整されます。ただし、カスタム用紙を使用していたり、用紙のデフォルトのキャリブレーションに満足できない場合、用紙を送る間隔を再度キャリブレーションする必要があります。用紙送りのキャリブレーションによって問題が解決できるかどうかを決定する手順については、[161 ページの「印刷品質に関するトラブルシューティング」](#)を参照してください。

現在取り付けられている用紙の拡張精度キャリブレーションステータスは、フロントパネルの [用紙情報の表示](#) ボタンを押すことで、いつでも確認できます。ステータスは以下のいずれかになります。

- **デフォルト:**このステータスは、HP 用紙を取り付けると表示されます。フロントパネルに表示される HP 用紙はデフォルトで最適化されているため、印刷したイメージにバンディングや粒状感などイメージ品質の問題が発生していない限り、再度、用紙送りのキャリブレーションをすることは推奨しません。
- **推奨:**このステータスは、新しい用紙が作成されたときに表示されます。この用紙の用紙送り値は、ファミリの種類から継承されます。このような場合は、用紙送りのキャリブレーションを実行して値を最適化することをお勧めします。
- **OK:**このステータスは、取り付けられた用紙に対するキャリブレーションがこれまでに実行されたことがあることを示します。ただし、バンディングや粒状感などイメージ品質の問題が発生しているときは、キャリブレーションを再度実行する必要があります。

 **注記:** プリンタのファームウェアを更新した場合には必ず、用紙送りのキャリブレーション値は工場出荷時のデフォルト設定にリセットされます ([138 ページの「ファームウェアをアップデートする」](#)を参照)。

## 用紙送りのキャリブレーションを再度行う

透明な用紙の種類を使用している場合は、以下の最初の2つの手順は省略して、手順3から実行します。

1. フロントパネルで [イメージ品質の保守] アイコン  を選択してから、[拡張精度のキャリブレーション] を選択します。プリンタにより自動的に用紙送りのキャリブレーションが再度行われ、用紙送りのキャリブレーションイメージが印刷されます。

2. フロントパネルにステータス画面が表示されるのを待ち、再度印刷します。

 **注記：** 再キャリブレーションの処理には、約3分間かかります。用紙送りのキャリブレーションイメージの印刷結果は気にする必要はありません。フロントパネルには、処理中のあらゆるエラーが表示されます。

満足できる印刷結果が得られた場合、用紙の種類に合わせて引き続きこのキャリブレーションを使用します。印刷品質に改善が見られる場合、手順3に進みます。満足できる再キャリブレーションの結果が得られない場合は、デフォルトのキャリブレーションに戻します ([159 ページの「デフォルトのキャリブレーションに戻す」](#)を参照)。

3. キャリブレーションを微調整したり、透明紙を使用している場合は、[イメージ品質の保守] アイコン  を選択し、[拡張精度キャリブレーション] - [拡張精度の調整] を選択します。
4. -100%～100%の間で選択します。明るいバンディング (明るい色の横線) を修正する場合は、パーセントを小さくします。暗いバンディング (暗い色の横線) を修正する場合は、パーセントを大きくします。
5. フロントパネルの **OK** ボタンを押して値を保存します。
6. フロントパネルにステータス画面が表示されるのを待ち、再度印刷します。

## デフォルトのキャリブレーションに戻す

デフォルトのキャリブレーションに戻すと、用紙送りのキャリブレーションで行ったすべての補正が0に設定されます。デフォルトの用紙送りのキャリブレーション値に戻す場合は、キャリブレーションをリセットする必要があります。

1. フロントパネルで [イメージ品質の保守] アイコン  を選択してから、[拡張精度のキャリブレーション] - [拡張精度のリセット] を選択します。
2. フロントパネルに作業の正常終了が表示されるまで待つてから、**戻る** ボタンを押してメインメニューに戻ります。



# 13 印刷品質に関するトラブルシューティング

- 一般的なヒント
- 印刷品質のトラブルシューティング ウィザード
- イメージに横線 (バンディング) が見られる
- イメージ全体がぼやけているかざらついている
- 用紙が平らになっていない
- 印刷が擦り切れる、または傷がつく
- 用紙にインクが残る
- 印刷物に垂直方向の点線または破線が現れる
- 印刷物に縦に連続した線が現れる
- 印刷部に触れると黒インクが擦れる
- オブジェクトの端が段状になっているかまたは鮮明ではない
- オブジェクトの端が予期したよりも暗い
- 褐色化する
- カット紙の端に横線が印刷される
- 異なる色の縦線が印刷される
- 印刷物に白色の点がある
- 色が正確に再現されない
- イメージが不完全 (下部の一部が印刷されない)
- イメージの一部が印刷されない
- 一部のオブジェクトがイメージ内に印刷されない
- 描画/テキストが太すぎるか細すぎる、または印刷されない
- 線画が段状またはギザギザに表示される
- 線画が二重または間違っただけで印刷される
- 線画が不連続になる
- 線画がぼやけている
- [イメージ診断の印刷] を印刷します。
- 問題が解決されない場合

## 一般的なヒント

印刷の品質に問題がある場合は、以下の項目を確認してください。

- プリンタで最高のパフォーマンスを実現するために、HP 純正のサプライ品とアクセサリをお使いください。これは、純正品では信頼性とパフォーマンスが十分に検証されており、トラブルなく最高品質の印刷を実現できるためです。推奨する用紙についての詳細は、[143 ページの「用紙について」](#)を参照してください。
  - フロントパネルで選択されている用紙の種類が、プリンタに取り付けられている用紙の種類と同じであることを確認してください。これを確認するには、フロントパネルの **用紙情報の表示** ボタンを使用します。同時に、使用する用紙の種類に対応したキャリブレーションが済んでいることを確認してください。また、ソフトウェアで選択されている用紙の種類が、プリンタに取り付けられている用紙の種類と同じであることを確認してください。
- △ **注意：** 誤った用紙の種類を選択すると、印刷品質の低下やカラーの問題が発生し、プリントヘッドが破損する可能性があります。
- 目的に最も適した印刷品質設定を使用しているかどうかを確認します ([47 ページの「印刷」](#)を参照)。印刷品質の低下が起こりやすいのは、[印刷品質] のスライダを [速度] の端に移動させるか、またはカスタムの印刷品質レベルを **[高速]** に設定した場合です。
  - 環境状況 (温度、湿度) が推奨する範囲内にあることを確認します。[206 ページの「動作環境の仕様」](#)を参照してください。
  - インクカートリッジおよびプリントヘッドが使用期限を超過していないことを確認します [137 ページの「インクカートリッジを保守する」](#) を参照してください。
  - 印刷の実行中は、用紙に触れないようにします。

## 印刷品質のトラブルシューティング ウィザード

印刷品質のトラブルシューティング ウィザードは、以下の問題の解決に役立ちます。

- イメージに横線 (バンディング) が見られる
- イメージ全体がぼやけているかざらついている
- 描画/テキストが太すぎるか細すぎる、または印刷されない
- 色が正確に再現されない

ウィザードを起動するには、以下の手順に従います。

- **HP Printer Utility (Windows) の場合：** [サポート] タブに移動し、[印刷品質のトラブルシューティング] を選択します。
- **HP プリンタ ユーティリティ (Mac OS) の場合：** [サポート] グループの [印刷品質のトラブルシューティング] を選択します。
- **Mac OS の [プリント] ダイアログの場合：** [サービス] パネルに移動し、[プリンタのメンテナンス] を選択して、保守作業の一覧から [印刷品質のトラブルシューティング] を選択します。
- **内蔵 Web サーバの場合：** [サポート] タブに移動し、[トラブルシューティング] を選択して、[印刷品質のトラブルシューティング] を選択します。



ウィザードを使用しない場合や、印刷品質に関する他の問題が発生している場合は、引き続きこの章をお読みください。

## イメージに横線 (バンディング) が見られる

以下のように、印刷イメージに横線が現れる場合 (色は異なる場合があります) は、下の手順に従います。



1. フロントパネルおよび使用しているソフトウェアで選択されている用紙と同じ種類の用紙が取り付けられていることを確認します。フロントパネルで確認するには、[用紙情報の表示](#) ボタンを使用します。
2. 目的に適した印刷品質設定を使用しているかどうかを確認します ([47 ページの「印刷」](#)を参照)。場合によっては、より高い印刷品質のレベルを選択することにより印刷品質の問題を解決できる場合があります。たとえば、[印刷品質] のスライダを **[速度]** に設定している場合は、**[品質]** に設定します。すでに **[品質]** に設定している場合は、カスタム オプションで **[パスの拡張]** を選択します。印刷品質設定を変更した場合、この時点でジョブを再印刷することができます。
3. [イメージ診断の印刷] を印刷します。 [175 ページの「\[イメージ診断の印刷\] を印刷します。」](#) を参照してください。
4. プリントヘッドが正しく機能している場合は、フロントパネルで [用紙情報の表示](#) ボタンを押して、拡張精度のキャリブレーション ステータスを確認します。ステータスが推奨になっている場合は拡張精度のキャリブレーションを実行します。 [158 ページの「用紙送りのキャリブレーションを行う」](#) を参照してください。

上記のすべての処理を実行しても問題が解決されない場合は、HP カスタマー・ケア・センターにお問い合わせの上、詳細を確認してください。

## イメージ全体がぼやけているかざらついている



1. フロントパネルおよび使用しているソフトウェアで選択されている用紙と同じ種類の用紙が取り付けられていることを確認します。フロントパネルで確認するには、[用紙情報の表示](#) ボタンを使用します。
2. 正しい印刷面に印刷しているかどうかを確認してください。
3. 適切な印刷品質設定を使用しているかどうかを確認してください ([47 ページの「印刷」](#)を参照)。場合によっては、より高い印刷品質のレベルを選択することにより印刷品質の問題を解決できる場合があります。たとえば、[印刷品質]のスライダを[速度]に設定している場合は、[品質]に設定します。すでに[品質]に設定している場合は、カスタム オプションで[パスの拡張]を選択します。印刷品質設定を変更して問題が解決した場合、この時点でジョブを再印刷する必要があります。
4. グロスエンハンサを使用している場合は、オフにするか量を減らすことで粒状感を減らすことができます ([57 ページの「フォト用紙に印刷する場合」](#)を参照)。これにより、イメージの光沢品質が低下する場合があります。問題に気づいた場合は、[168 ページの「褐色化する」](#)を参照してください。
5. プリントヘッドの軸合わせを行います。[184 ページの「プリントヘッドの軸合わせ」](#)を参照してください。軸合わせを行って問題が解決した場合、この時点でジョブを再印刷する必要があります。
6. フロントパネルで、[用紙情報の表示](#) ボタンを押して拡張精度のキャリブレーションのステータスを確認します。ステータスが推奨になっている場合は拡張精度のキャリブレーションを実行します。[158 ページの「用紙送りのキャリブレーションを行う」](#)を参照してください。

上記のすべての処理を実行しても問題が解決されない場合は、HP カスタマー・ケア・センターにお問い合わせの上、詳細を確認してください。

## 用紙が平らになっていない

プリンタから排紙されるときに、用紙が浅く波打って平らになっていない場合に、印刷されたイメージに垂直のすじが現れるなどの問題が起こることがあります。これは、印刷されたインクを吸収しきれないほど薄い用紙を使用した場合に発生することがあります。



1. フロントパネルおよび使用しているソフトウェアで選択されている用紙と同じ種類の用紙が取り付けられていることを確認します。フロントパネルで確認するには、[用紙情報の表示](#) ボタンを使用します。
2. HP 厚手コート紙、HP プラス スーパー厚手マット紙、またはより厚手のデジタルファインアート紙などに変更してみてください。
3. 取り付けた用紙よりも若干薄い用紙の種類を選択してください。それによって使用されるインクの量が減ります。次に用紙の種類の例を挙げます。用紙は薄い方から厚い順に記載されています：普通紙、コート紙、厚手コート紙、ファインアート紙、プラス スーパー厚手マット紙、厚手ファインアート紙 (>250 g/m<sup>2</sup>)。

## 印刷が擦り切れる、または傷がつく

黒の顔料は、指やペンなどで触れると、擦り切れたり傷がついたりします。これは特に、コート紙、プルーフ用マット紙、およびファインアート紙の場合にみられます。

使用するインク量や印刷時の環境状況により、光沢紙はバスケットやその他の印刷直後に触れるものに対して非常に敏感な場合があります。

擦り切れや傷のリスクを減らすには、以下のことに従います。

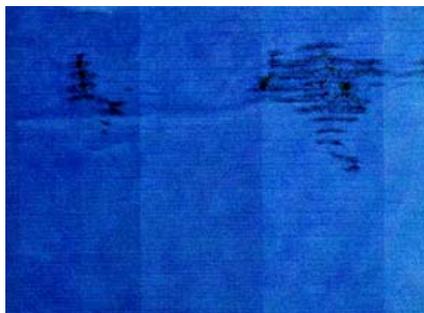
- 印刷物を慎重に取り扱う。
- 印刷物が互いに貼り付かないようにする。
- 印刷前に自動カッターを無効にし、印刷物がバスケットに落ちないようにする。[45 ページの「自動カッターのオン/オフを切り替える」](#)を参照してください。または、カット紙を 1 枚バスケットに入れて、印刷直後の用紙がバスケットに直接触れないようにします。

## 用紙にインクが残る

この問題は、いくつかの原因によって発生します。

## コート紙の表面に水平方向の汚れがある

普通紙およびコート紙に使用するインクが多すぎると、インクが用紙に吸収され広がります。プリントヘッドは、用紙の上を移動するとき用紙に触れるため、印刷イメージが汚れます。この問題は、通常、カットされた紙でのみ発生します(ロール紙では発生しません)。



この問題に気付いたら、直ちに印刷ジョブをキャンセルしてください。**キャンセル** ボタンを押して、コンピュータ アプリケーションのジョブをキャンセルします。インクが付着した用紙によってプリントヘッドが破損することがあります。

この問題を解決するには、以下の推奨方法を実行します。

1. フロントパネルおよび使用しているソフトウェアで選択されている用紙と同じ種類の用紙が取り付けられていることを確認します。フロントパネルで確認するには、**用紙情報の表示** ボタンを使用します。
2. 推奨する用紙の種類 ([143 ページの「用紙について」](#)を参照) および正しい印刷設定を使用します。
3. カット紙を使用している場合、用紙を 90 度回転させます。用紙の繊維方向が品質に影響します。
4. HP 厚手コート紙、HP プラス スーパー厚手マット紙、またはより厚手のデジタルファインアート紙などに変更してみてください。
5. 取り付けられた用紙よりも若干薄い用紙の種類を選択してください。それによって使用されるインクの量が減ります。次に用紙の種類の例を挙げます。用紙は薄い方から厚い順に記載されています：普通紙、コート紙、厚手コート紙、ファインアート紙、プラス スーパー厚手マット紙、厚手ファインアート紙 (>250 g/m<sup>2</sup>)。
6. ソフトウェア アプリケーションを使用してイメージをページの中央に移動させ、マージン設定を広くしてみてください。
7. 光沢用紙や半光沢用紙を使用している場合は、用紙の厚さの定義を変更してみてください。HP Printer Utility で、**[Color Center] - [用紙プリセット管理] - [印刷プロパティの変更]** を選択します。光沢用紙、または半光沢用紙をベースとして作成したカスタム用紙では、**[用紙の厚さ]** を **[厚い]** に変更することができます。

## 用紙の裏にインクが付着する

これは、特に標準ではない用紙サイズでフチ無し印刷を大量に行った後に発生する可能性があります。プラテンに残ったインクが用紙の裏に付着する場合があります。

柔らかい布でプラテンのクリーニングを行います。リブの間の発泡体に触れずにそれぞれのリブのクリーニングを行います。

## 印刷物に垂直方向の点線または破線が現れる

用紙の移動をサポートするスターホイールによって、印刷に規則正しい間隔で点が残る場合があります。

まず、フロントパネルおよび使用しているソフトウェアで選択されている用紙と同じ種類の用紙が取り付けられていることを確認します。フロントパネルで確認するには、[用紙情報の表示](#) ボタンを使用します。

- HP Printer Utility (Windows) で、**[Color Center] - [用紙プリセット管理] - [印刷プロパティの変更]** を選択します。
- HP プリンタ ユーティリティ (Mac OS) で、**[HP Color Center] - [用紙プリセット管理]** を選択します。用紙の種類を選択して、 ボタンを押し、プルダウンメニューで、**[印刷プロパティの変更]** を選択します。

スターホイールの位置を、**[下]** から **[上]** に変更します。すでにスターホイールの位置が光沢紙のデフォルトである **[上]** になっている場合は、別の用紙の種類を試してください。

 **注記：** 光沢紙以外のすべての用紙の種類では、より高い印刷品質と用紙のコントロールが得られるため、スターホイールの位置はデフォルトの **[下]** にしておくことをお勧めします。ここで説明した問題が発生した場合のみ、**[上]** に変更してください。

## 印刷物に縦に連続した線が現れる

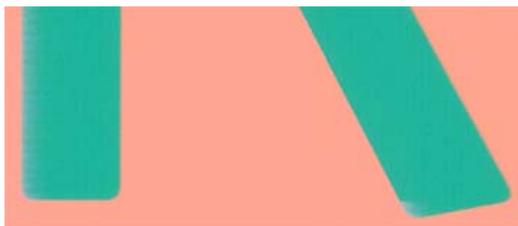
背面トレイを使用して厚手のカット紙を取り付けている場合、プラスチックのローラーによって、印刷物に規則正しい太いすじが残る場合があります。

これを防止するには、この種類のカット紙に背面トレイではなく、ロール紙の用紙経路を使用してみてください。スピンドルの黒いハブを使用して、カット紙の位置調整を行えます。ロール紙の用紙経路を使用する場合でも、カット紙の取付けを指定してください。

## 印刷部に触れると黒インクが擦れる

問題の原因として、光沢紙にマットブラック インクで印刷したことが考えられます。このプリンタでは、用紙にマットブラック インクが乗らないことがわかると、マットブラック インクは使用されません。マットブラック インクを使用しないようにするには、用紙の種類で ([フォト用紙] カテゴリにある) **[光沢フォト用紙]** を選択します。

## オブジェクトの端が段状になっているかまたは鮮明ではない



オブジェクトや線画の端がぼやけていたり、はっきり出ていない場合、およびドライバのダイアログ (Mac OS の [プリント] ダイアログ) で印刷品質のスライダをすでに **[品質]** に設定している場合は、カスタムの印刷品質オプションを選択し、**[パスの拡張]** オプションと **[高精細]** オプションがオフになっていることを確認します。[47 ページの「印刷」](#) を参照してください。

## オブジェクトの端が予期したよりも暗い



オブジェクトの端が予期したよりも暗い場合、およびドライバのダイアログ (Mac OS の [プリント] ダイアログ) で印刷品質のスライダをすでに **[品質]** に設定している場合は、カスタムの印刷品質オプションを選択し、**[パスの拡張]** オプションと **[高精細]** オプションがオフになっていることを確認します。[47 ページの「印刷」](#)を参照してください。

## 褐色化する

フォト用紙にグレースケールで印刷を行う際に、印刷物からの光が直接手前に反射し、インクの「ブロンズ色」の反射により光沢の差異が生じる場合は、以下のいずれかを実行してください。

- 標準の印刷品質オプションを使用している場合は、スライダが **[品質]** に設定されていることを確認します ([49 ページの「印刷品質を選択する」](#)を参照)。
- カスタムの印刷品質オプションを使用している場合は、**[グロスエンハンサ]** オプションが **[ページ全体]** に設定されていることを確認します ([57 ページの「フォト用紙に印刷する場合」](#)を参照)。
- 使用するグロスエンハンサの量を増やします ([57 ページの「フォト用紙に印刷する場合」](#)を参照)。
- 印刷物を垂直にして見るか、ガラスごしに見ます。

## カット紙の端に横線が印刷される

用紙の端から約 30 mm 以内の、印刷の最後の部分にのみ不具合が発生することがあります。極細の横線が印刷物に少し見られる場合があります。

この問題を解消するには、以下の手順に従います。

1. **[イメージ診断の印刷]** を印刷します。[175 ページの「\[イメージ診断の印刷\] を印刷します。」](#)を参照してください。
2. ロール紙で印刷します。
3. イメージの周囲のマージンを大きくします。

## 異なる色の縦線が印刷される

印刷の周囲に異なる色の縦線が現れる場合は、以下の手順に従います。

1. HP 厚手コート紙や HP スーパー厚手コート紙など、推奨する用紙の種類から厚手の用紙を選択して使用します。[143 ページの「用紙について」](#)を参照してください。
2. 印刷品質のレベルを上げて使用します ([47 ページの「印刷」](#)を参照)。たとえば、[印刷品質] のスライダを [速度] に設定している場合は、[品質] に設定します。すでに [品質] に設定している場合は、カスタムオプションで [バスの拡張] を選択します。

## 印刷物に白色の点がある

印刷に白色の点が見られる場合があります。これはおそらく、用紙の繊維やほこりによるものか、用紙のコーティングが落ちやすいことが原因です。この問題を解消するには、以下の手順に従います。

1. 印刷前にブラシを使用して用紙を手動でクリーニングし、繊維や紙粉を取り除きます。
2. プリンタのカバーは常に閉じておきます。
3. ロール紙やカット紙は、袋または箱に保存して保護します。

## 色が正確に再現されない



印刷物の色が予期したものと一致しない場合、以下の方法を試してください。

1. フロントパネルおよび使用しているソフトウェアで選択されている用紙と同じ種類の用紙が取り付けられていることを確認します。フロントパネルで確認するには、[用紙情報の表示](#) ボタンを使用します。同時に、カラーキャリブレーションのステータスを確認してください。ステータスが「ペンディング」または「失効」の場合、カラーキャリブレーションを実行する必要があります ([71 ページの「カラーキャリブレーション」](#)を参照)。変更を加えて問題が解決した場合、ジョブを再印刷する必要があります。
2. 正しい印刷面に印刷しているかどうかを確認してください。
3. 適切な印刷品質設定を使用しているかどうかを確認してください ([47 ページの「印刷」](#)を参照)。**[速度]** または **[高速]** オプションを選択すると、最も正確な色が得られない場合があります。印刷品質設定を変更して問題が解決した場合、この時点でジョブを再印刷する必要があります。
4. アプリケーションで管理されている色を使用している場合、選択した用紙の種類に合ったカラープロファイルを使用しているかどうか確認してください。使用するカラー設定が不明の場合、[65 ページの「カラーマネジメント」](#)を参照してください。カラープロファイルを作成する必要がある場合は、[73 ページの「カラープロファイリング」](#)を参照してください。

5. アプリケーションで [アプリケーションで管理] を選択し、プリンタ ドライバで [プリンタで管理] を選択すると、間違った結果になります。カラーはアプリケーションとプリンタのどちらかで管理してください。両方で管理することはできません。
6. 問題が印刷物とモニタ間でのカラーの差異による場合、HP Color Center の「ディスプレイのキャリブレーション方法」セクションの手順に従ってください。問題が解決した場合、この時点でジョブを再印刷する必要があります。
7. [イメージ診断の印刷] を印刷します。175 ページの「[\[イメージ診断の印刷\] を印刷します。](#)」を参照してください。

上記のすべての処理を実行しても問題が解決されない場合は、HP カスタマー・ケア・センターにお問い合わせの上、詳細を確認してください。

## ページ レイアウト アプリケーションで EPS または PDF イメージを使用した場合のカラー精度

Adobe InDesign や QuarkXPress などのページ レイアウト アプリケーションは EPS、PDF、またはグレースケール ファイルのカラーマネジメントをサポートしません。

このようなファイルを使用する必要がある場合は、Adobe InDesign または QuarkXPress で使用すると同じカラー スペースに、EPS、PDF、またはグレースケール イメージがすでにあることを確認します。たとえば、最終的な目的がジョブを SWOP 規格に準拠した印刷機で印刷することである場合、ジョブの作成時にイメージを SWOP に変換します。

## イメージが不完全 (下部の一部が印刷されない)

- プリンタがすべてのデータを受信する前に、**キャンセル** ボタンを押した可能性があります。その場合は、データの転送が終了しているため、ページを再度印刷する必要があります。
- **[I/O タイムアウト]** 設定が短すぎる可能性があります。この設定により、ジョブが終了したとプリンタが判断する前に、コンピュータがデータをさらに送信するまでのプリンタの待ち時間が決まります。この場合、フロントパネルで、**[I/O タイムアウト]** 設定を長くして、データを再度送信して印刷します。[接続] アイコン  から、**[詳細設定] - [I/O タイムアウトの選択]** の順に選択します。
- コンピュータとプリンタ間の通信に問題がある可能性があります。USB またはネットワーク ケーブルを確認してください。
- ソフトウェアの設定が、現在使用しているページ サイズ (長尺印刷など) に対して正しいかどうかを確認してください。
- ネットワーク ソフトウェアを使用している場合は、タイムアウトが発生していないかどうかを確認してください。

## イメージの一部が印刷されない

イメージの欠落は通常、取り付けられている用紙の実際の印刷可能な範囲と、ソフトウェアで認識されている印刷可能な範囲が一致していない場合に発生します。多くの場合、印刷をプレビューするこ

とにより、この問題を印刷前に確認することができます (54 ページの「印刷をプレビューする」を参照)。

- 取り付けられた用紙サイズの実際の印刷可能領域を確認します。  
印刷可能領域 = 用紙サイズ - マージン
- ソフトウェアが認識する印刷可能な領域 (「印刷領域」または「印刷可能領域」とも呼ばれます) を確認します。たとえば、ソフトウェア アプリケーションによっては、このプリンタで使用される印刷可能な範囲よりも広い範囲を標準と想定している場合があります。
- マージンがきわめて狭いカスタム ページを定義した場合、プリンタ自体により最小マージンが上書きされ、イメージが少し途切れる場合があります。より大きい用紙サイズを使用するか、フチ無し印刷を検討してください (51 ページの「マージンオプションを選択する」を参照)。
- 印刷するイメージ自体にマージンが含まれている場合は、**[内容をマージンでクリップ]** を使用することによって正常に印刷できることがあります (51 ページの「マージンオプションを選択する」を参照)。
- ロール紙を使用して長いイメージを印刷する場合、ソフトウェアがそのサイズのイメージに対応しているかどうかを確認してください。
- 用紙サイズの幅が足りない場合、用紙の向きを縦から横に変更するように要求されることがあります。
- 必要に応じて、ソフトウェア アプリケーションでイメージやドキュメントのサイズを小さくして、マージン間にぴったり収まるようにします。

イメージの一部が印刷されない場合、別の原因も考えられます。Adobe Photoshop、Adobe Illustrator、CorelDRAW などのアプリケーションは、16 ビットの内部座標系を使用するため、32,768 ピクセルを超えるイメージを処理できません。

 **注記：** 32,768 ピクセルのイメージは、ドライバで [高品質] または [品質] を選択すると、最低 1.39m (54.61 インチ) の長さになり、[高速]、[標準] または [速度] を選択すると、2.78m (109.23 インチ) になります。

これらのアプリケーションから、これより大きいイメージを印刷すると、イメージの下部がクリップされる可能性があります。イメージ全体を印刷するには、以下の推奨方法を実行します。

- PostScript プリンタ ドライバでジョブを印刷したことがない場合は、それを試してみます。
- Windows の PCL3 ドライバのダイアログには、**[アプリケーションの最大解像度]** というオプションがあり、このような状況で正しく印刷することができます。通常は、デフォルトの設定である **[自動]** を変更する必要はありません。このオプションは、**[詳細設定]** タブで **[ドキュメントのオプション]** - **[プリンタの機能]** の下に表示されます。
- ファイルを TIFF や EPS など別の形式で保存し、別のアプリケーションで開きます。
- RIP を使用してファイルを印刷します。

## 一部のオブジェクトがイメージ内に印刷されない

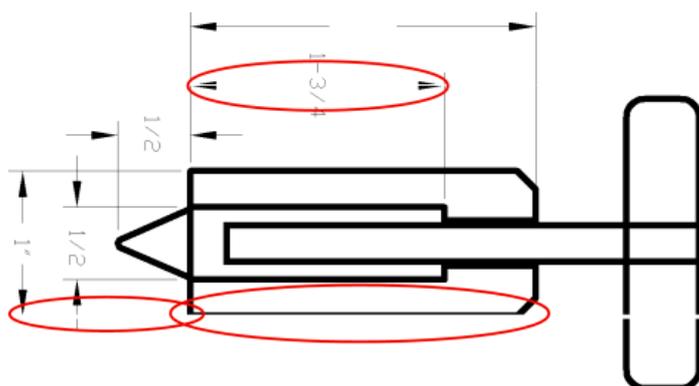
高品質で大判のプリント ジョブを印刷するには大量のデータが必要になるため、特定のワークフローでは、一部のオブジェクトが出力されなくなる問題が発生することがあります。この問題を防ぐための推奨方法は、次のとおりです。

- PostScript プリンタ ドライバでジョブを印刷したことがない場合は、それを試してみます。
- ドライバまたはフロントパネルで、希望する最終ページ サイズに応じてより小さいページ サイズを選択します。
- ファイルを TIFF や EPS など別の形式で保存し、別のアプリケーションで開きます。

- RIP を使用してファイルを印刷します。
- お使いのアプリケーションでビットマップ イメージの解像度を下げます。
- 印刷されるイメージの解像度を下げするために、より低い印刷品質を選択します。
- Windows の PLC3 ドライバ ダイアログの [詳細設定] タブで、[ドキュメントのオプション]-[プリンタの機能] を選択し、[アプリケーションの最大解像度] を「300」に設定します。

 **注記：** 上記の設定はトラブルシューティングのために挙げたものであり、最終的な出力品質や、プリント ジョブを生成するために必要な時間に影響する場合があります。したがって、上記の設定でも問題を解決できなかった場合は、デフォルト値に戻してください。

## 描画/テキストが太すぎるか細すぎる、または印刷されない

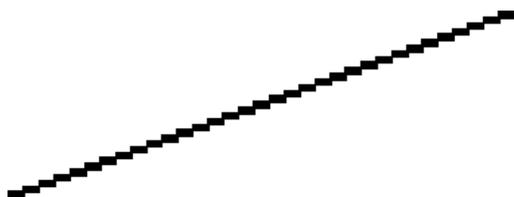


1. フロントパネルおよび使用しているソフトウェアで選択されている用紙と同じ種類の用紙が取り付けられていることを確認します。フロントパネルで確認するには、[用紙情報の表示](#) ボタンを使用します。
2. 目的に適した印刷品質設定を使用しているかどうかを確認します ([47 ページの「印刷」](#)を参照)。ドライバのダイアログ (Mac OS の [プリント] ダイアログ) でカスタム印刷の品質オプションを選択し、[高精細] オプションをオンにします。問題が解決した場合、この時点でジョブを再印刷する必要があります。
3. 線画が細すぎる、または印刷されない場合は、[イメージ診断の印刷] を印刷します。[175 ページの「\[イメージ診断の印刷\] を印刷します。」](#)を参照してください。
4. プリントヘッドの軸合わせを行います。[184 ページの「プリントヘッドの軸合わせ」](#)を参照してください。軸合わせを行って問題が解決した場合、この時点でジョブを再印刷する必要があります。
5. フロントパネルで、[用紙情報の表示](#) ボタンを押して拡張精度のキャリブレーションのステータスを確認します。ステータスが推奨になっている場合は拡張精度のキャリブレーションを実行します。[158 ページの「用紙送りのキャリブレーションを行う」](#)を参照してください。

上記のすべての処理を実行しても問題が解決されない場合は、HP カスタマー・ケア・センターにお問い合わせの上、詳細を確認してください。

## 線画が段状またはギザギザに表示される

印刷時にイメージの線が段状になる場合、またはギザギザになる場合は、以下の手順に従ってください。

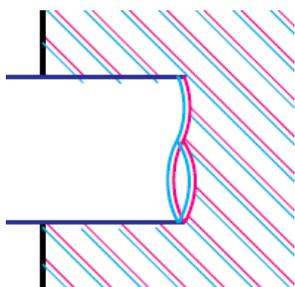


1. イメージ自体に問題がある場合もあります。イメージの編集に使用しているアプリケーションで、イメージの品質を向上させます。
2. 適切な印刷品質設定を使用しているかどうかを確認します。[47 ページの「印刷」](#)を参照してください。
3. ドライバのダイアログ (Mac OS の [プリント] ダイアログ) でカスタム印刷の品質オプションを選択し、**[高精細]** オプションをオンにします。
4. Windows 用 PCL3 ドライバを使用している場合、印刷の必要に応じて、イメージのレンダリング解像度を 300 ppi または 600 ppi に変更します。**[アプリケーションの最大解像度]** オプションは、Windows ドライバのダイアログの **[詳細設定]** タブで、**[ドキュメントのオプション]** - **[プリンタの機能]** の下に表示されます。

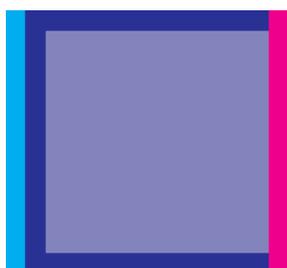
## 線画が二重または間違った色で印刷される

この問題では、以下のようなさまざまな症状が現れる場合があります。

- 色付きの線画が別の色で二重に印刷される。



- 色付きのブロックの境界線の色が間違っている。



この問題を修正するには、以下の手順を実行します。

1. プリントヘッドを取り外し、再度取り付けます。[125 ページの「プリントヘッドを取り外す」](#)および[127 ページの「プリントヘッドを取り付ける」](#)を参照してください。
2. プリントヘッドの軸合わせを行います。[184 ページの「プリントヘッドの軸合わせ」](#)を参照してください。

## 線が不連続になる

以下の図のように、線が不連続になる場合は、以下の手順に従います。



1. 適切な印刷品質設定を使用しているかどうかを確認します。[47 ページの「印刷」](#)を参照してください。
2. プリントヘッドを取り外し、再度取り付けます。[125 ページの「プリントヘッドを取り外す」](#)および[127 ページの「プリントヘッドを取り付ける」](#)を参照してください。
3. プリントヘッドの軸合わせを行います。[184 ページの「プリントヘッドの軸合わせ」](#)を参照してください。

## 線がぼやけている



湿度は、インクのにじみや線がぼやけて不鮮明になる原因となります。以下の手順を試します。

1. 環境状況 (温度、湿度) が高品質の印刷に適しているかどうかを確認します。[206 ページの「動作環境の仕様」](#)を参照してください。
2. フロントパネルおよび使用しているソフトウェアで選択されている用紙と同じ種類の用紙が取り付けられていることを確認します。フロントパネルで確認するには、[用紙情報の表示](#) ボタンを使用します。
3. HP 厚手コート紙、HP プラス スーパー厚手マット紙、またはデジタルファインアート紙などの厚い紙に変更してみてください。
4. 取り付けた用紙よりも若干薄い用紙の種類を選択してください。それによって使用されるインクの量が減ります。次に用紙の種類を挙げます。用紙は薄い方から厚い順に記載されています：普通紙、コート紙、厚手コート紙、ファインアート紙、プラス スーパー厚手マット紙、厚手ファインアート紙 (>250 g/m<sup>2</sup>)。
5. 光沢紙を使用している場合は、別の種類の用紙に変更してみてください。
6. ドライバのダイアログ (Mac OS の [プリント] ダイアログ) でカスタム印刷の品質オプションを選択し、[\[パスの拡張\]](#) オプションをオンにします。
7. プリントヘッドの軸合わせを行います。[184 ページの「プリントヘッドの軸合わせ」](#)を参照してください。

## [イメージ診断の印刷] を印刷します。

イメージ診断の印刷では、印刷の信頼性の問題を明確にするためのパターンが印刷されます。これにより、現在コンピュータに取り付けられているプリントヘッドのパフォーマンスをチェックし、目詰まりやその他の問題を起こしているプリントヘッドがないかどうかを確認できます。

イメージ診断の印刷を実行するには、以下の手順に従います。

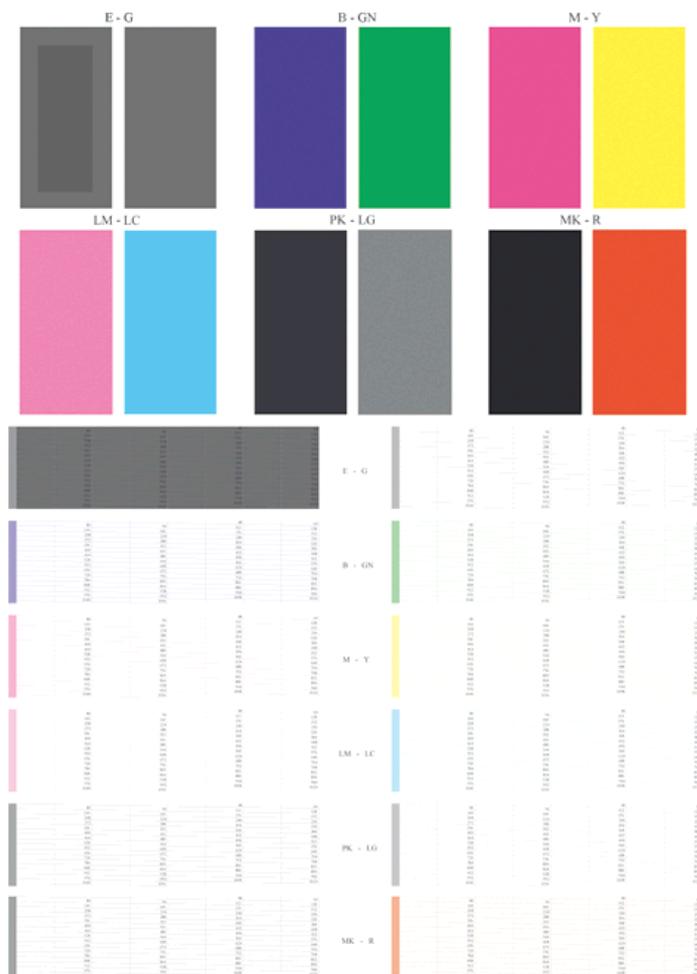
1. 問題が検出された時と同じ用紙の種類を使用します。
2. フロントパネルの **用紙情報の表示** ボタンを使用して、選択した用紙がプリンタに取り付けられている用紙と同じかどうかを確認します。
3. プリンタのフロントパネルで、[イメージ品質の保守] アイコン  を選択してから、[イメージ診断の印刷] を選択します。

[イメージ診断の印刷] の印刷には 2 分ほどかかります。

印刷は 2 つの部分に分かれており、両方でプリントヘッドのパフォーマンスがテストされます。

- パート 1 (上部) は純粋なカラーの長方形から構成され、それぞれのカラーは各プリントヘッドに対応しています。このパートは、各カラーから得られる印刷品質を表しています。
- パート 2 (下部) は小さな破線から構成され、それぞれの破線は各プリントヘッドのノズルに対応しています。このパートはパート 1 を補完するものであり、各プリントヘッドの問題のあるノズルの個数をより明確に検出することを目的としています。

印刷物を注意して見てください。カラーの名前が、長方形の上および破線のパターンの中央に表示されます。



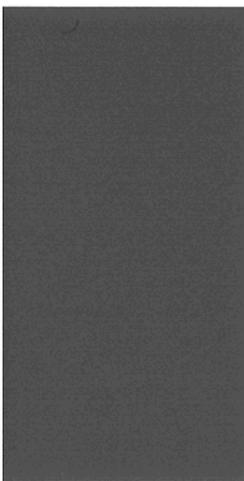
最初に印刷の上部 (パート 1) を見てください。各カラーの長方形の色は、水平の線がなく均一である必要があります。

次に、印刷の下部 (パート 2) を見てください。各カラーのパターンに、破線の大部分が表示されているかどうかを確認します。

パート 1 に水平の線が表示され、パート 2 の破線の一部が印刷されない場合、問題のあるプリントヘッドをクリーニングする必要があります。ただし、長方形が塗りつぶされている場合は、パート 2 の破線の一部が印刷されなくても気にする必要はありません。ノズルが多少目詰まりを起こしてもプリンタで補正されるため、問題はありません。

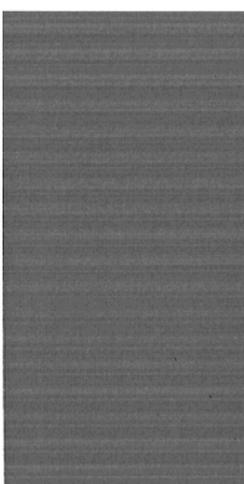
これは、ライトグレーが良い状態で印刷された例です。

LG



同じライトグレーが悪い状態で印刷された例です。

LG



グロスエンハンサ (E) は、透明な液体であるため、単独で印刷した場合には見えません。該当部分が実際に見えるようにするため、イメージ診断の印刷ではグレーのインク (G) の上に印刷されます。

- パート 1 (上部) では、グロスエンハンサは、グレーの長方形のうち、わずかに異なるグレーの内部ブロックとして見えます。用紙によっては、内部ブロックが暗く見えたり、明るく見えたりすることがあります。
- パート 2 (下部) では、グロスエンハンサの小さな破線は、プリントヘッドのノズルに合わせてグレーの領域にかかる明るいグレーの小さな破線として見えます。

一般的な普通紙やコート紙の上ではグロスエンハンサはほとんど見えないため、これらの用紙はグロスエンハンサのトラブルシューティングには適していません。

## 解決のための処置

1. 問題のあるプリントヘッドをクリーニングします ([181 ページの「プリントヘッドのクリーニング」](#)を参照)。次に、[イメージ診断の印刷] を再印刷し、問題が解決したかどうかを確認します。
2. 問題が解決しない場合は、プリントヘッドをもう一度クリーニングしてから [イメージ診断の印刷] を再印刷し、問題が解決したかどうかを確認します。

3. 問題が解決しない場合は、プリントヘッドを手動でクリーニングしてみてください ([181 ページの「プリントヘッドのクリーニング」](#)を参照)。印刷がうまくいく場合は、現在の印刷ジョブを再印刷することもできます。
4. 問題が解決しない場合は、プリントヘッドのドロップ検出器をクリーニングしてみてください。通常、この操作が必要な場合はプリンタから表示されますが、プリンタから表示されていない場合でも良い結果を得られることがあります。 [182 ページの「プリントヘッドドロップ検出器のクリーニング」](#)を参照してください。
5. それでも問題が解決しない場合は、問題が解消しないプリントヘッドを交換するか ([121 ページの「インクカートリッジとプリントヘッドの取り扱い」](#)を参照)、HP サポートにお問い合わせください ([201 ページの「HP サポートへのお問い合わせ」](#)を参照)。

## 問題が解決されない場合

この章のヒントを適用しても印刷品質の問題が解決しない場合は、次のいずれかを実行してください。

- 印刷品質オプションのレベルを上げます。 [47 ページの「印刷」](#)を参照してください。
- 印刷に使用しているドライバを確認します。HP 製以外のドライバをご使用の場合、ドライバベンダーにお問い合わせの上、問題についてご確認ください。可能であれば、適切な HP ドライバを試します。最新の HP ドライバは <http://www.hp.com/go/z3200ps/drivers/> からダウンロードできます。
- HP 製以外の RIP を使用している場合、RIP の設定が正しくない可能性があります。RIP に収録されているマニュアルを参照してください。
- プリンタのファームウェアが最新のものであるかどうかを確認します。 [138 ページの「ファームウェアをアップデートする」](#)を参照してください。
- ソフトウェア アプリケーションの設定が正しいかどうかを確認します。

## 14 インクカートリッジとプリントヘッドに関するトラブルシューティング

- [インクカートリッジを取り付けられない](#)
- [インクカートリッジのステータス メッセージ](#)
- [プリントヘッドを取り付けられない](#)
- [フロントパネルにプリントヘッドを取り付け直す、または交換するようにメッセージが表示される](#)
- [プリントヘッドのクリーニング](#)
- [プリントヘッド ドロップ検出器のクリーニング](#)
- [プリントヘッドの軸合わせ](#)
- [プリントヘッドのステータス メッセージ](#)

## インクカートリッジを取り付けられない

1. 正しいカートリッジ (モデル番号) を使用しているかどうかを確認します。
2. カートリッジのラベルの色がスロットのラベルの色と同じであるかどうかを確認します。
3. カートリッジの向きが正しいかどうか、カートリッジのラベルを示す文字や文字列の右側が上になっていて読み取れるかどうかを確認します。

△ **注意：** インクカートリッジスロットの内部はクリーニングしないでください。

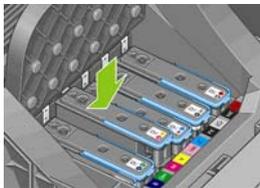
## インクカートリッジのステータス メッセージ

表示されるインクカートリッジのステータス メッセージには、以下のものがあります。

- **OK**：カートリッジは問題なく正常に動作しています。
- **未装着です**：カートリッジが全く取り付けられていないか、または正しく取り付けられていません。
- **もうすぐなくなります**：インクの残量が少なくなっています。
- **残量が僅かです**：インクの残量がきわめて少なくなっています。
- **インクがありません**：カートリッジが空です。
- **再度取付け下さい**：クリーナをいったん取り外して、取り付け直してください。
- **交換して下さい**：プリンタに該当する種類の新しいカートリッジと交換することをお勧めします。
- **変更済み**：インクの補充などカートリッジのステータスに予期しないことが起こりました。
- **使用期限切れ**：カートリッジの使用期限が切れました。

## プリントヘッドを取り付けられない

1. 正しいプリントヘッド (モデル番号) を使用しているかどうかを確認します。
2. プrintヘッドから2つのオレンジ色の保護キャップを取り外したかどうかを確認します。
3. プrintヘッドのラベルの色がスロットのラベルの色と同じであるかどうかを確認します。
4. プrintヘッドの向きが正しいかどうかを (他のPrintヘッドと比較して) 確認します。

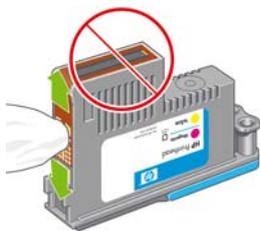


5. キャリッジのカバーが正しく閉じられ、ラッチで固定されているかどうかを確認します。  
[127 ページの「プリントヘッドを取り付ける」](#)を参照してください。

## フロントパネルにプリントヘッドを取り付け直す、または交換するようにメッセージが表示される

1. フロントパネルで、電源をオフにしてからもう一度オンにします。
2. フロントパネルを確認して [印刷可能です] というメッセージが表示されている場合は、プリンタが印刷できる状態です。問題が解決しない場合は、次の手順を続行します。
3. プrintヘッドを取り外します (125 ページの「[プリントヘッドを取り外す](#)」を参照)。
4. プrintヘッドの裏面にある電極部分を、糸くずの出ない布でクリーニングします。付着物の除去に水分が必要な場合、脱イオン水または蒸留水を注意しながら使用します。水は使用しないでください。

△ **注意：** デリケートな処理のため、プリントヘッドが破損する場合があります。プリントヘッドの底面のノズルは、特にアルコールで触れないようにしてください。



5. プrintヘッドを再度取付けます (127 ページの「[プリントヘッドを取り付ける](#)」を参照)。
6. フロントパネルのメッセージを確認します。問題が解決しない場合は、新しいプリントヘッドを取り付けてみてください。

## プリントヘッドのクリーニング

プリンタの電源が常にオンになっている限り、定期的に自動クリーニングが実行されます。これによりノズル内に新しいインクが確保され、ノズルの目詰まりを防止し、カラー精度が保たれます。まだ自動クリーニングを行っていない場合は、次に進む前に [175 ページの「\[イメージ診断の印刷\]を印刷します。」](#) を参照してください。

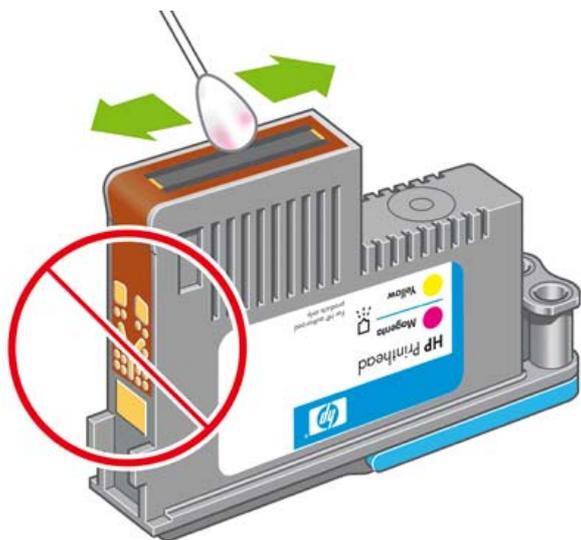
プリントヘッドをクリーニングするには、フロントパネルで [イメージ品質の保守] アイコン  を選択し、[プリントヘッドのクリーニング] を選択します。イメージ品質診断の印刷プロセスを行うと、問題のあるカラーが判断できます。問題のあるカラーを含むプリントヘッドを 2 個 1 組選択します。クリーニングするカラーが不明な場合は、すべてのプリントヘッドをクリーニングするよう選択することもできます。すべてのプリントヘッドのクリーニングには、10 分ほどかかります。1 組のプリントヘッドのクリーニングには、6 分ほどかかります。

📖 **注記：** すべてのプリントヘッドのクリーニングには、1 組のプリントヘッドのクリーニングよりも多くのインクが必要です。

フロントパネルで [プリントヘッドのクリーニング] 処理を行ってもイメージ品質に関する問題が発生する場合は、以下の手順に従って、手動でプリントヘッドのノズルをクリーニングすることもできます。

△ **注意：** デリケートな処理のため、プリントヘッドが破損する場合があります。プリントヘッドの裏面にある電極部分に触らないでください。

プリントヘッドを取り外し ([125 ページの「プリントヘッドを取り外す](#)」を参照)、糸くずの出ない布を使用して付着物が除去されるまでプリントヘッドの裏面をクリーニングします。

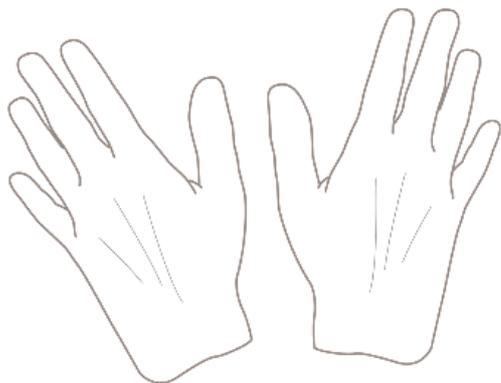


## プリントヘッド ドロップ検出器のクリーニング

プリントヘッド ドロップ検出器はセンサーとして機能し、印刷できないプリントヘッドのノズルが検出された場合、良好な印刷結果が得られるプリントヘッドと交換します。繊維、頭髮、紙くずなどがあると、センサーが遮られて印刷品質に悪影響を与えます。

フロントパネルにクリーニング処理が必要であるとの警告メッセージが表示された場合、プリントヘッド ドロップ検出器をクリーニングすることをお勧めします。すぐにプリントヘッド ドロップ検出器をクリーニングしない場合、プリンタは通常通り作動しますが、フロントパネルには警告が表示され続けます。

☞ **ヒント：** 手にインクがつかないように手袋をはめてください。



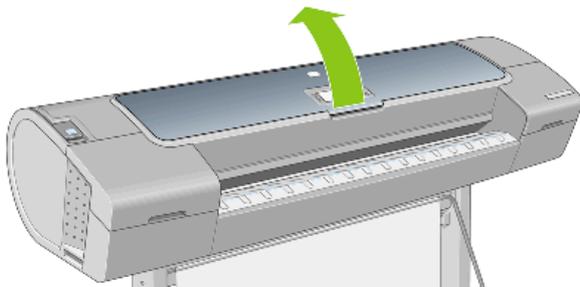
1. フロントパネルでプリンタの電源を切ります。



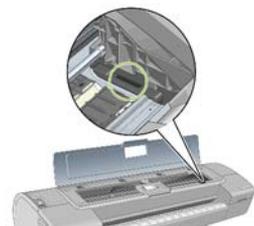
2. 感電を防ぐため、プリンタのスイッチをオフにしてから電源コードを抜いてください。



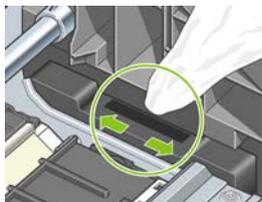
3. 透明ウィンドウを開きます。



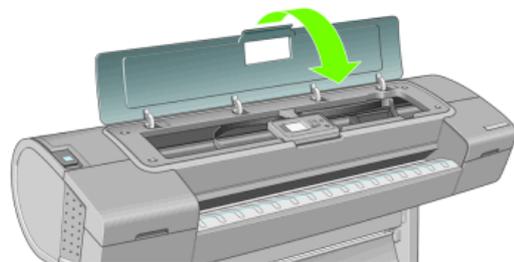
4. 格納されているプリントヘッド キャリッジの横にあるプリントヘッド ドロップ検出器を確認します。



5. プリントヘッド ドロップ検出器に付着しているゴミを取り除きます。
6. 糸くずのない布を使用してドロップ検出器の表面を拭き、目に見えないゴミを取り除きます。



7. ウィンドウを閉じます。



8. ケーブルを差し込み、プリンタの電源を入れます。



9. フロントパネルでプリンタの電源を入れます。



## プリントヘッドの軸合わせ

プリントヘッド間の正確な軸合わせは、高いカラー精度、なめらかなカラーグラデーション、およびグラフィック要素の鮮明なエッジを実現する上で重要です。このプリンタには、プリントヘッドの入手または交換時に、プリントヘッドの軸合わせ処理を自動で行う機能があります。

カスタム用紙を使用して紙詰まりが発生した場合、またはカラーが正確に再現されない問題が発生した場合は (65 ページの「[カラーマネジメント](#)」を参照)、プリントヘッドの軸合わせを行う必要があります。

 **注記：** 紙詰まりが発生した場合、プリントヘッドを取り付け直し、[イメージ品質の保守] アイコン  でもう一度軸合わせ処理を行うことをお勧めします。

 **ヒント：** 最高の品質を得るにはフォト用紙をお勧めします。普通紙、ボンド紙、薄手のコート紙の場合、許容範囲ですが最低限の結果しか得られません。

プリントヘッドの軸合わせの際は、透明または半透明な用紙は使用しないでください。

## プリントヘッドを再度取り付ける手順

1. 軸合わせ処理の実行中に誤った用紙が取り付けられている場合は、フロントパネルの **キャンセル** ボタンを押してください。

軸合わせ処理をキャンセルした場合は、印刷を行わないでください。[イメージ品質の保守] メニューの手順で軸合わせをやり直します。

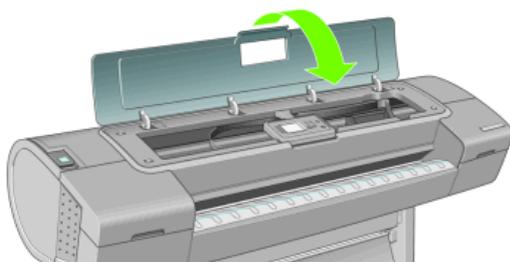
2. 使用する用紙を取り付けます (25 ページの「[用紙の取り扱い](#)」を参照)。ロール紙またはカット紙を使用することもできますが、A3 横置きより大きいサイズ (297 x 420 mm) にする必要があります。最高の品質を得るには、フォト用紙をお勧めします。

 **注記：** A3 カット紙を使用する場合、用紙の長辺側がプリンタ内に給紙されるよう確認します。

プリントヘッドの軸合わせの際は、透明または半透明な用紙は使用しないでください。

3. すべてのプリントヘッドを取り外して、取り付け直します。125 ページの「[プリントヘッドを取り外す](#)」および127 ページの「[プリントヘッドを取り付ける](#)」を参照してください。プリントヘッドの軸合わせ処理が開始されます。

4. 透明のウィンドウが閉じられていることを確認します。プリントヘッドの軸合わせ中に強い光源がプリンタの近くにあると、軸合わせが影響を受けることがあります。



5. この処理には6分ほどかかります。フロントパネルに処理の完了が表示されてから、プリンタを使用します。

**注記：** プリンタによりキャリブレーションイメージが印刷されます。イメージの印刷結果は気にする必要はありません。フロントパネルには、処理中のあらゆるエラーが表示されます。

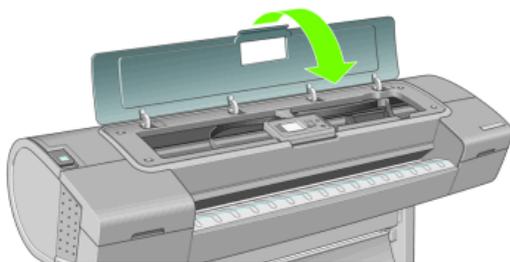
## [イメージ品質の保守] メニューの手順

1. 使用する用紙を取り付けます (25 ページの「[用紙の取り扱い](#)」を参照)。ロール紙またはカット紙を使用することもできますが、A3 横置きより大きいサイズ (297 x 420 mm) にする必要があります。最高の品質を得るにはフォト用紙をお勧めします。普通紙、ボンド紙、薄手のコート紙の場合、許容範囲ですが最低限の結果しか得られません。

**注記：** A3 カット紙を使用する場合、用紙の長辺側がプリンタ内に給紙されるよう確認します。

プリントヘッドの軸合わせの際は、透明または半透明な用紙は使用しないでください。

2. フロントパネルで [イメージ品質の保守] アイコン  を選択し、[プリントヘッドの軸合わせ] を選択します。プリンタによって、軸合わせの実行に必要な十分な用紙が取り付けられているかどうかを確認されます。
3. 十分な用紙が取り付けられている場合、プリンタによって軸合わせが実行され、軸合わせのパターンが印刷されます。透明のウィンドウが閉じられていることを確認します。プリントヘッドの軸合わせ中に強い光源がプリンタの近くにあると、軸合わせが影響を受けることがあります。



4. この処理には6分ほどかかります。フロントパネルに処理の完了が表示されてから、プリンタを使用します。

## 軸合わせ中のスキャン エラー

軸合わせ処理がうまくいかない場合、「スキャンの問題」に関するメッセージがフロントパネルに表示されます。これは、軸合わせが正常に完了されなかったことを意味します。プリンタの軸合わせが

行われていないため、印刷品質を高くするには、印刷前に軸合わせを繰り返す必要があります。問題の原因として、以下のことが考えられます。

- 使用する用紙が適切ではない。適切な用紙で軸合わせを繰り返します。
- プリントヘッドの状態に関する問題。プリントヘッドのクリーニングを行います ([181 ページの「プリントヘッドのクリーニング」](#)を参照)。
- 透明のウィンドウが開いた状態で軸合わせが行われた。ウィンドウを閉じて軸合わせを繰り返します。

適切な用紙を使用し、プリントヘッドのクリーニングを行い、ウィンドウを閉じておいても問題が解消されない場合は、スキヤニングシステムに問題がある可能性があるため、修復が必要です。プリントヘッドがきれいであるにもかかわらず動作しない場合は、交換が必要です。

## プリントヘッドのステータス メッセージ

表示されるプリントヘッドのステータス メッセージには、以下のものがあります。

- **OK** : プリントヘッドは問題なく正常に動作しています。
- **未装着です** : プリントヘッドが全く取り付けられていないか、または正しく取り付けられていません。
- **個別テストが必要** : プリントヘッドを個別にテストして、問題のあるプリントヘッドを確認します。すべてのプリントヘッドをいったん取り外してから 1 つずつ取り付け直します。1 つ取り付ける度に、ラッチとキャリッジのカバーを閉じます。問題のあるプリントヘッドがフロントパネルで示され、取り付け直しまたは交換のメッセージが表示されます。
- **再度取り付け下さい** : プリントヘッドをいったん取り外して、取り付け直してください。メッセージが消えない場合は、電極部分をクリーニングします ([181 ページの「フロントパネルにプリントヘッドを取り付け直す、または交換するようにメッセージが表示される」](#)を参照)。それでもメッセージが消えない場合は、新しいプリントヘッドと交換します。([125 ページの「プリントヘッドを取り外す」](#)および[127 ページの「プリントヘッドを取り付ける」](#)を参照)。
- **交換して下さい** : プリントヘッドに問題があります。該当する種類の動作するプリントヘッドと交換します (see [125 ページの「プリントヘッドを取り外す」](#)および[127 ページの「プリントヘッドを取り付ける」](#)参照)。
- **交換が不完全** : プリントヘッドの交換処理を正常に完了できませんでした。交換処理を再度行って正常に完了させてください (プリントヘッドを交換する必要はありません)。
- **取り外して下さい** : プリントヘッドが印刷用途に適していません。

---

## 15 一般的なプリンタに関するトラブルシューティング

- [プリンタで印刷されない](#)
- [プリンタの印刷が遅い](#)
- [コンピュータとプリンタ間の通信に問題がある](#)
- [HP Printer Utility にアクセスできない](#)
- [一部の Color Center オプションが使用できない](#)
- [内蔵 Web サーバにアクセスできない](#)
- [ファイルシステムの自動確認](#)
- [Microsoft Visio 2003 から印刷しても出力されない](#)
- [QuarkXPress から印刷する際に使用できない機能](#)
- [プリンタ アラート](#)

## プリンタで印刷されない

すべての手順を正しい順序で実行しても (用紙およびインク コンポーネントを正しく装着し、ファイルのエラーがない状態)、コンピュータから送信されたファイルが正しく印刷されない場合があります。

- 電源に問題がある可能性があります。プリンタが動作せず、フロントパネルに何も表示されない場合は、電源ケーブルが正しく接続され、ソケットに電源が供給されているかどうかを確認してください。
- 強力な電磁場や重大な電気障害など、異常な電磁現象が発生している場合、プリンタが異常な動作をしたり、動作を停止することがあります。このような場合は、フロントパネルの電源ボタンを押してプリンタの電源を切り、電源コードを抜き、電磁的な環境が正常に戻るまで待機してから、電源を入れ直してください。問題が解決しない場合は、HP カスタマー・ケア・センターにお問い合わせください。
- ネスティングがオンになっている場合があります。適切なネストの計算までの指定されたネスト待機時間をプリンタが待っています。このような場合は、フロントパネルにネスティングまでの残り時間が表示されます。
- グラフィック言語の設定が間違っている場合は、[23 ページの「グラフィック言語の設定を変更する」](#)を参照してください。
- プリンタに適したドライバがコンピュータにインストールされていない可能性があります。セットアップ手順を参照してください。
- カット紙に印刷する場合は、カット紙を給紙方法として指定する必要があります。
- 用紙情報やアカウント情報 ([114 ページの「ジョブのステータスメッセージ」](#)を参照) が指定されるまでジョブが保留されている可能性があります。
- プリンタ ドライバから印刷プレビューの実行を要求した可能性があります。プレビューは、イメージが目的のイメージになっているかどうかを確認するための機能です。この場合、プレビューは画面に表示されるため、**[印刷]**ボタンをクリックして印刷を開始する必要があります。
- Mac OS 環境で USB 接続を使用している場合、データ エンコーディングを変更する必要がある

場合があります。[セットアップ] アイコン  を選択し、次に **[印刷設定] - [PostScript の設定] - [エンコードの選択] - [ASCII]** を選択します。その後、ASCII データを送信するようにアプリケーションを設定します。メッセージが消えない場合は、エンコードを **[バイナリ]** に設定して、バイナリ データを送信するようにアプリケーションを設定することもできます。

## プリンタの印刷が遅い

次のような原因が考えられます。

- 印刷品質を [高品質] または [高精細] に設定している場合。[高品質] および [高精細] での印刷は、パスの回数が多くなるため時間がかかります。
- 用紙を取り付けたときに、正しい用紙の種類を指定しなかった場合。フォト用紙およびコート紙では、パス間の乾燥時間が長くなる場合があります。プリンタに現在設定されている用紙の種類を確認するには、[38 ページの「用紙に関する情報を表示する」](#)を参照してください。用紙の種類によっては、さらに長い印刷時間が必要です。
- プリンタをネットワーク経由で接続している場合。ネットワーク上のすべてのコンポーネント (ネットワーク インタフェース カード、ハブ、ルータ、スイッチ、およびケーブル) が高速動作に対応しているかどうかを確認します。ネットワーク上の他のデバイスのトラフィック量も確認してください。
- フロントパネルで乾燥時間を [長い] に設定している場合。乾燥時間を [最適] に変更してみてください。

## コンピュータとプリンタ間の通信に問題がある

問題の例を以下に示します。

- プリンタにイメージを送信しても、フロントパネルのディスプレイに **データを受信していません** というメッセージが表示されない。
- 印刷しようとする、コンピュータにエラーメッセージが表示される。
- 通信が確立された状態で、コンピュータまたはプリンタのいずれかがハングしている (アイドル状態)。
- 印刷結果に不規則なエラーまたは原因不明なエラーが発生する (線が正しく表示されない、グラフィックの一部だけ表示されるなど)。

通信の問題を解決するには、以下の手順に従います。

- アプリケーションで正しいプリンタを選択していることを確認します ([47 ページの「印刷」](#)を参照)。
- 問題が起きているアプリケーションとは別のアプリケーションで印刷した場合に、プリンタが正しく動作することを確認します。
- 大判印刷の場合は、受信、処理、印刷に時間がかかる場合があります。
- プリンタがネットワークに接続されている場合は、USB ケーブルでプリンタとコンピュータを直接接続して印刷してみます。
- プリンタとコンピュータの間に、スイッチ ボックス、バッファ ボックス、ケーブル アダプタ、ケーブル コンバータなどの中間デバイスがある場合は、それらを取り外し、プリンタとコンピュータを直接接続して印刷してみます。
- インタフェース ケーブルを別のものに変えて試してみます。
- グラフィック言語の設定が正しいことを確認します ([23 ページの「グラフィック言語の設定を変更する」](#)を参照)。
- プリンタが USB で接続されている場合、USB ケーブルをいったん取り外してから再びコンピュータに取り付けます。USB ケーブルが高品質であることを確認します。

## HP Printer Utility にアクセスできない

まだお読みでない場合は、まず [19 ページの「HP Printer Utility にアクセスする」](#) をお読みください。

1. フロントパネルで [接続] アイコン  を選択します。
2. [詳細設定] - [Web サービス] - [プリンタ ユーティリティ ソフトウェア] - [有効] の順に選択します。
3. プリンタと TCP/IP で接続されている場合は、[接続] アイコン  をもう一度選択します。
4. 使用している接続の種類を選択します。
5. [情報の表示] を選択し、プリンタが [IP 有効] に設定され、有効な IP アドレスが表示されることを確認します。

それでも接続できない場合は、プリンタの電源を切り、フロントパネルの **電源** ボタンで電源を入れ直してください。

## 一部の Color Center オプションが使用できない

Mac OS で Color Center の一部のオプションが使用できない場合、そのプリンタで印刷するためのプリンタ キューをインストールせずに、HP プリンタ ユーティリティ プリンタ セレクタの **[ほかのプリンタ]** または **[手動で追加]** から直接プリンタを検索したことが原因である場合があります。

この場合、プリンタ セレクタでプリンタ名の横に緑色の円が表示されます。緑色の小さな家が表示されている場合は、正しく印刷設定されており、すべてのオプションが使用できます。

## 内蔵 Web サーバにアクセスできない

内蔵 Web サーバにパスワードを設定して、パスワードを忘れてしまった可能性があります。その場

合は、フロントパネルで **[接続]** アイコン  を選択し、**[詳細設定] - [内蔵 Web サーバ] - [内蔵 Web サーバのパスワードをリセット]** を選択します。これ以外の場合は、引き続きこの章をお読みください。

まだお読みでない場合は、まず [19 ページの「内蔵 Web サーバにアクセスする」](#) をお読みください。

 **注記：** USB ケーブルでプリンタに直接接続している場合は、HP Printer Utility を使用してください。

1. フロントパネルで **[接続]** アイコン  を選択します。
2. **[詳細設定] - [内蔵 Web サーバを使用] - [オン]** を選択します。
3. プリンタと TCP/IP で接続されている場合は、**[接続]** アイコン  をもう一度選択します。
4. 使用している接続の種類を選択します。
5. **[情報の表示]** を選択し、
6. **[IP 有効]** が表示されていることを確認します。表示されていない場合は、別の接続を選択する必要があります。

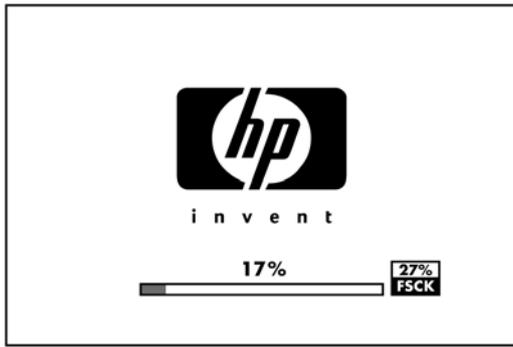
プロキシ サーバを使用している場合は、プロキシ サーバを経由せずに内蔵 Web サーバに直接アクセスします。

- Windows 版の Internet Explorer 6 を使用している場合は、**[ツール] - [インターネット オプション] - [接続] - [LAN の設定]** をクリックし、**[ローカル アドレスにはプロキシ サーバを使用しない]** ボックスをオンにします。さらに高度な設定を行うには、**[詳細設定]** ボタンをクリックし、プロキシ サーバを使用しないように、プリンタの IP アドレスを **[次で始まるアドレスにはプロキシを使用しない]** の一覧に追加します。
- Mac OS の Safari を使用している場合は、**[Safari] - [環境設定] - [詳細]** をクリックし、**[プロキシ：設定を変更]** ボタンをクリックします。プロキシ サーバを使用しないように、プリンタの IP アドレスまたはドメイン名を **[プロキシ設定を使用しないホストとドメイン]** の一覧に追加します。

それでも接続できない場合は、プリンタの電源を切り、フロントパネルの **電源** ボタンで電源を入れ直してください。

## ファイルシステムの自動確認

プリンタの電源を入れると、フロントパネルに以下のような表示が現れることがあります。



これは、ファイルシステムの確認が行われているところです。完了するまでに最大 40 分かかることがあります。完了するまでお待ちください。

- △ **注意：** ファイルシステムの確認が完了する前にプリンタの電源を切ると、ファイルシステムに重大な損傷が発生し、ハードディスクが使用できなくなることがあります。いずれの場合も、再びプリンタの電源を入れると、ファイルシステムの確認が最初から開始されます。

ファイルシステムの確認は、ハードディスクのファイルシステムの完全性を維持するため、90 日ごとに実行されるようにスケジュールされています。

- 🔍 **注記：** プリンタの電源を入れ直すと、初期化、およびプリントヘッドのチェックと準備に約 3 分間かかります。しかし、プリンタが長期間使用されておらず、プリントヘッドの準備にさらに時間がかかるなど、状況によっては最大で 40 分かかることがあります。

## Microsoft Visio 2003 から印刷しても出力されない

Microsoft Visio 2003 から大きなイメージ (長さ 129 インチ以上) を印刷する場合の問題についての詳細は、Microsoft のオンライン サポート技術情報 (<http://support.microsoft.com/search/>) を参照してください。

これらの問題を解消するには、Visio でイメージのサイズを 129 インチ以下に縮小し、Windows ドライバの [機能] タブの [サイズ変更オプション] を使用して描画を拡大します。アプリケーションでの縮小率とドライバでの拡大率が一致する場合、結果は設定どおりになります。

## QuarkXPress から印刷する際に使用できない機能

QuarkXPress から印刷する場合、以下のドライバ機能は使用できません。

- 印刷プレビュー
- 回転
- 拡大/縮小
- Office の機能または用紙節約オプション
- 後ろから前の順序で印刷

同じ結果を得るには、QuarkXPress に用意されている同等の機能を使用します。

# プリンタ アラート

このプリンタは2種類のアラートを発信します。

- **エラー**：主に、プリンタによる印刷ができないことを警告します。ただしドライバでは、プリンタで印刷が可能な場合でも、イメージの途切れなど、印刷結果を損なう状態についても警告します。
- **警告**：キャリブレーションなどの調整、または予防保守やインク残量が少なくなったなど、要注意の状態である場合に警告します。

プリンタのシステム内には、3つの異なる警告装置があります。

- **内蔵 Web サーバ**：EWS の画面の右上隅には、プリンタのステータスが表示されます。プリンタ内に警告がある場合、警告テキストがステータスに表示されます。フロントパネルの画面および EWS の両方に、同じ警告が表示されます。
- **ドライバ**：ドライバからアラートが表示されます。最終出力で問題を発生させる可能性のあるジョブ設定について警告します。プリンタで印刷の準備ができていない場合は、警告が表示されません。
- **HP Printer Utility**：HP Printer Utility (Windows) では、**[概要]** タブの **[注意すべき項目]** にアラートが表示されます。HP プリンタ ユーティリティ (Mac OS) では、**[HP プリンタ モニタ]** パネルの下部にアラートが表示されます。この領域には、次のような項目が表示されます。
  - プリンタ ステータス
  - プリンタがジョブを印刷できないときのアラート
  - 印刷品質と全般的なトラブルシューティング関連のリンク
  - ファームウェアのアップデートに関する注記
  - カラーキャリブレーションなどの保守ツール
  - ジョブ キュー、ジョブ アカウンティング、およびプリンタの使用状況に関する情報へのアクセス
  - 一部のプリンタ設定およびネットワーク設定へのアクセス

デフォルトでは、印刷中に問題が発生した場合のみアラートが表示されます。たとえば、カートリッジの残りが少なくなった、インクがなくなった、プリンタの用紙がなくなったなどの場合です。アラートが有効になっている状態で印刷を妨げる問題が発生すると、ポップアップ ウィンドウが表示され、プリンタで印刷できない理由が説明されます。必要な結果を得るには、画面の指示に従って操作します。

これらのアラートをデスクトップ警告として設定することもできます。

- HP Printer Utility (Windows) でアラート設定は、**[概要]** タブ、**[サポート]** タブ、および **[ツール]** タブからアクセスできます。各アラートのダイアログ ボックスにも、**[アラート設定]** へのリンクがあります。アラート設定ウィンドウで設定を **[オフ]** にしてアラートを完全に無効にすることができます。アラートの受信を選択できるのは、プリンタに印刷しているとき (デフォルト) か、問題が発生したときのみです。アラートの方法をポップアップ ダイアログ (デフォルト) とデスクトップ警告のいずれかに設定することもできます。
- HP Printer Utility (Mac OS) でアラート設定は、**[HP プリンタ モニタ]** - **[環境設定]** - **[通知]** を選択してアクセスできます。

デフォルトでは、すべてのユーザがジョブ キューにアクセスできます。管理者がパスワードを設定することによって、ユーザが次の操作を行う際にパスワードを必要とすることができます。

- ジョブのプレビューの表示
- ジョブのキャンセルまたは削除



## 16 フロントパネルのエラー メッセージ

フロントパネルの画面に、以下のメッセージのいずれかが表示される場合があります。その場合は、[推奨] 列のヒントに従ってください。

ここに示されていないエラー メッセージが表示され、適切な対応が不明な場合は、HP サポートにお問い合わせください。[201 ページの「HP サポートへのお問い合わせ」](#)を参照してください。

表 16-1 テキストメッセージ

メッセージ	推奨
[カラー] カートリッジの使用期限が切れています	カートリッジを交換してください。 <a href="#">121 ページの「インクカートリッジとプリントヘッドの取り扱い」</a> を参照してください。
[カラー] カートリッジがありません	該当するカラーのカートリッジを取り付けてください。 <a href="#">121 ページの「インクカートリッジとプリントヘッドの取り扱い」</a> を参照してください。
[カラー] カートリッジがインク切れです	カートリッジを交換してください。 <a href="#">121 ページの「インクカートリッジとプリントヘッドの取り扱い」</a> を参照してください。
[カラー] プリントヘッド #[n] エラー：取り付けられていません	該当するプリントヘッドを取り付けてください。 <a href="#">121 ページの「インクカートリッジとプリントヘッドの取り扱い」</a> を参照してください。
[カラー] プリントヘッド #[n] エラー：取り外して下さい	間違ったプリントヘッドを取り外し、該当する種類 (カラーおよび番号) の新しいプリントヘッドを取り付けてください。 <a href="#">121 ページの「インクカートリッジとプリントヘッドの取り扱い」</a> を参照してください。
[カラー] プリントヘッド #[n] エラー：交換して下さい	機能していないプリントヘッドを取り外し、新しいプリントヘッドを取り付けてください。 <a href="#">121 ページの「インクカートリッジとプリントヘッドの取り扱い」</a> を参照してください。
[カラー] プリントヘッド #[n] エラー：再度取り付けて下さい	プリントヘッドを取り外してから同じプリントヘッドを取り付け直すか、電極部分のクリーニングを行います。必要に応じて、新しいプリントヘッドを取り付けます。 <a href="#">181 ページの「フロントパネルにプリントヘッドを取り付け直す、または交換するようにメッセージが表示される」</a> を参照してください。
[カラー] プリントヘッド #[n] は保証期間切れです	試用期間の長さまたはインク消費量のいずれかが原因で、プリントヘッドの保証期間が切れました。『法律情報』を参照してください。
[カラー] プリントヘッド #[n] での保証に関する警告です	間違った種類のインクを使用したことにより、プリントヘッドの保証が無効になっている可能性があります。『法律情報』を参照してください。
IO エラー	プリンタを再起動してください。問題が解決されない場合は、HP サポートにお問い合わせください。 <a href="#">201 ページの「HP サポートへのお問い合わせ」</a> を参照してください。
IO/警告	再実行してください。それでも問題が解決されない場合は、HP サポートにお問い合わせください。 <a href="#">201 ページの「HP サポートへのお問い合わせ」</a> を参照してください。

**表 16-1 テキストメッセージ (続き)**

メッセージ	推奨
拡張精度キャリブレーションの保留	拡張精度キャリブレーションを実行してください。 <a href="#">158 ページの「用紙送りのキャリブレーションを行う」</a> を参照してください。
拡張精度印刷キャリブレーションには用紙が小さすぎます	用紙を取り外し、より大きい用紙を取り付けてください。
拡張精度スキャンキャリブレーションには用紙が小さすぎます	用紙を取り外し、より大きい用紙を取り付けてください。
プリントヘッドの軸合わせエラー：用紙が小さすぎます	用紙を取り外し、より大きい用紙を取り付けてください。
[カラー] カートリッジを交換して下さい	カートリッジを交換してください。 <a href="#">121 ページの「インクカートリッジとプリントヘッドの取り扱い」</a> を参照してください。
[カラー] カートリッジを再度取り付けて下さい	カートリッジを取り外し、同じカートリッジを再度取り付けてください。 <a href="#">121 ページの「インクカートリッジとプリントヘッドの取り扱い」</a> を参照してください。
アップデート：失敗。無効なファイルです。	正しいファームウェアのアップデート ファイルが選択されていることを確認してください。次に、再度アップデートを実行してください。

**表 16-2 数値エラーコード**

エラーコード	推奨
52:01	プリンタの内部クリーニングが必要です。 <a href="#">182 ページの「プリントヘッド ドロップ検出器のクリーニング」</a> を参照してください。問題が解決されない場合は、HP サポートにお問い合わせください。 <a href="#">201 ページの「HP サポートへのお問い合わせ」</a> を参照してください。
61:01	ファイル形式が間違っているため、プリンタがジョブを処理できません。プリンタのグラフィック言語設定を確認してください ( <a href="#">23 ページの「グラフィック言語の設定を変更する」</a> を参照)。Mac OS から USB 接続経由で PostScript を送信している場合は、ドライバとアプリケーションの両方で ASCII エンコードを選択してください。ファームウェアとドライバのリリースが最新であることを確認してください。
62, 63, 64, 65, 67	プリンタ ケーブルが正しく接続され、USB ケーブルが高品質であることを確認します。同じファイルの印刷を再実行してください。プリンタに適したドライバを使用していることを確認します。プリンタのファームウェアをアップデートしてください。 <a href="#">138 ページの「ファームウェアをアップデートする」</a> を参照してください。
74.1	もう一度ファームウェアのアップデートを実行してみてください。USB でのアップデートに失敗した場合、可能であれば、ネットワークでアップデートしてください。アップデートの処理中は、コンピュータを使用しないでください。問題が解決されない場合は、HP サポートにお問い合わせください。 <a href="#">201 ページの「HP サポートへのお問い合わせ」</a> を参照してください。
75	プリンタ保守キットが必要です。 <a href="#">139 ページの「プリンタ保守キット」</a> を参照してください。
78	フチ無し印刷をサポートしていない用紙の種類でフチ無し印刷を試行している可能性があります。 <a href="#">58 ページの「マージンなしで印刷する」</a> を参照してください。
79	プリンタを再起動してください。問題が解決されない場合は、プリンタのファームウェアをアップデートしてください。 <a href="#">138 ページの「ファームウェアをアップデートする」</a> を参照してください。それでも問題が解決されない場合は、HP サポートにお問い合わせください。 <a href="#">201 ページの「HP サポートへのお問い合わせ」</a> を参照してください。
81, 86, 87	紙詰まりが発生している可能性があります。 <a href="#">155 ページの「用紙が詰まっている」</a> を参照してください。問題が解決されない場合は、HP サポートにお問い合わせください。 <a href="#">201 ページの「HP サポートへのお問い合わせ」</a> を参照してください。
94, 94.1	カラーキャリブレーションを再度行ってください。 <a href="#">71 ページの「カラーキャリブレーション」</a> を参照してください。

表 16-2 数値エラーコード (続き)

エラーコード	推奨
98	プリントヘッドに問題がある可能性があります。179 ページの「インクカートリッジとプリントヘッドに関するトラブルシューティング」を参照してください。
その他の任意のコード	プリンタを再起動してください。問題が解決されない場合は、HP サポートにお問い合わせください。201 ページの「HP サポートへのお問い合わせ」を参照してください。



---

## 17 HP カスタマー・ケア

- [はじめに](#)
- [HP プロフェッショナル グラフィック サービス](#)
- [HP Proactive Support](#)
- [HP サポートへのお問い合わせ](#)

## はじめに

HP カスタマー・ケアは、その優れたサポート内容が評価され、受賞経験もあります。お使いの HP Designjet から常に最高の結果を得られるようなサポートをご提供します。弊社は、サポートに関する幅広く信頼性の高い専門知識を有し、常に新しい技術を効果的に使用することで、細かなサポートをご提供します。サービスには、セットアップおよびインストールのサポート、トラブル解決のための情報提供、アップグレード保証、修理および交換サービス、電話と Web によるサポート、ソフトウェアのアップデート、自己保守サービスなどがあります。HP カスタマー・ケアについての詳細は、以下の弊社 Web サイトをご覧ください。

<http://www.hp.com/go/graphic-arts/>

または、お電話でお問い合わせください (201 ページの「[HP サポートへのお問い合わせ](#)」を参照)。  
保証の登録先：

<http://register.hp.com/>

## HP プロフェッショナル グラフィック サービス

このセクションに記載されているすべてのサービスに関する詳細は、弊社 Web サイト (<http://www.hp.com/go/pgs/>) をご覧ください。

### Knowledge Center

専用のサービスとリソースを十分にご活用いただくことで、HP Designjet 製品およびソリューションに関して最高のパフォーマンスを実現することができます。

Knowledge Center の HP コミュニティにご登録ください。大判印刷に携わる方々のコミュニティ (<http://www.hp.com/go/z3200ps/knowledgecenter/>) では以下のリソースをいつでもご利用になれます。

- マルチメディア チュートリアル
- 使用方法に関する手順書
- ダウンロード - プリンタの最新ファームウェア、ドライバ、ソフトウェア、用紙プリセットなど
- 技術サポート - オンラインのトラブルシューティング、HP カスタマー・ケアへのご連絡など
- 特定のソフトウェア アプリケーションからさまざまな印刷作業を完了させるためのワークフローおよび詳細なヒント
- HP の専門技術者や他の上級ユーザと直接連絡することのできるフォーラム
- オンラインでの保証の確認。いつでも確認できるので安心です
- 最新の製品情報 - プリンタ、サプライ品、アクセサリ、ソフトウェアなど
- インクと用紙に関するすべての情報を確認できるサプライ センター

購入製品とビジネス分野に合わせて登録内容をカスタマイズし、ご希望の連絡方法を設定することができます。

### HP スタートアップ キット

『HP スタートアップ キット』はプリンタに同梱されている CD でプリンタのソフトウェアが含まれています。

### HP Care Pack および保証期間の延長

HP Care Pack および保証期間の延長により、標準期間を超えてプリンタの保証を延長できます。

HP Care Pack および保証期間の延長には、リモートサポートが含まれます。必要に応じて、2つの対応時間のオプションをお選びいただけるオンサイトサービスもご提供します。

- 翌営業日
- 同日営業日の4時間以内 (一部の国ではご利用いただけません)

HP Care Packの詳細は、弊社Webサイト (<http://www.hp.com/go/lookuptool/>) をご覧ください。

## HP インストレーション

HP インストレーション サービスでは、プリンタを箱から取り出してセットアップし、接続します。

これはHP Care Packの一例です。詳細は、弊社Webサイト (<http://www.hp.com/go/lookuptool/>) をご覧ください。

## HP Proactive Support

HP Proactive Supportによってプリンタの問題が顕在化する前に問題の識別、診断、および解決ができ、プリンタの休止時間がもたらす損失を低減します。HP プロアクティブ サポート ツールは、サポートにかかるコストを削減しながら生産性を最大限発揮できるよう、あらゆる規模のビジネスをお手伝いします。すべての操作はマウスのクリックだけで行えます。

HP イメージング&プリンティング サービス スイートのコンポーネントのひとつであるプロアクティブ サポートは、投資価値の最大化、プリンタ稼働時間の拡大、およびプリンタ管理コストの削減に明確に焦点を当てた、印刷環境の管理を支援するサービスです。

HPでは、プロアクティブ サポートを今すぐ有効化して時間を節約し、問題を未然に防ぐようお勧めしています。これによってプリンタの休止時間がもたらす損失を低減します。またプロアクティブ サポートは、診断を実行してソフトウェアとファームウェアのアップデートをチェックします。

HP Printer Utility でプロアクティブ サポートを有効化して、コンピュータとHPのWebサーバとの接続の頻度、および診断チェックの頻度を指定できます。また、診断チェックは手動で実行することもできます。

- Windows の場合、HP Printer Utility から、HP Proactive Support にアクセスする方法は2つあります。
  - **[ツール] - [HP Proactive Support]** を選択します。
  - **[ご使用のシステムでは、HP Proactive Support が有効になっていません]** というテキストが表示されているウィンドウの下部近くをクリックします。
- Mac OS の場合は、**[情報] - [プリンタ ステータス] - [プリンタの詳細]** を選択します。HP プリンタ モニタが開きます。**[環境設定] - [監視] - [HP Proactive Support の有効化]** を選択します。

プロアクティブ サポートによって潜在的な問題が発見された場合は、アラートで通知され、問題の説明と共に解決方法が推奨されます。場合によっては、解決方法が自動的に適用される場合があります。その他の場合には、問題の解決手順を実行するよう求めるメッセージが表示されます。

[19 ページの「HP Printer Utility にアクセスする」](#)も参照してください。

## HP サポートへのお問い合わせ

HP サポートはお電話でご利用いただけます。お問い合わせになる前に、以下を行ってください。

- 本書で紹介されているトラブルの解決手段を再度確認してください。
- 関連ドライバのマニュアルを参照してください。

- サードパーティ製のソフトウェア ドライバおよび RIP をインストールしている場合は、それぞれのマニュアルを参照してください。
- 弊社にお問い合わせの際は、お客様のご質問により迅速にお答えできるよう、下記の事項をご確認ください。
  - お使いのプリンタの情報 (プリンタの背面のラベルに記載されている、製品番号とシリアル番号)
  - フロントパネルにエラー コードが表示される場合は、エラー コードをメモに取ります ([195 ページの「フロントパネルのエラー メッセージ」](#)を参照)。
  - プリンタのサービス ID : フロントパネルで [情報] アイコン  を選択し、次に [**プリンタ情報の表示**] を選択します。
  - お使いのコンピュータ
  - お使いの特別な機器やソフトウェア (スプーラ、ネットワーク、スイッチボックス、モデム、特別なソフトウェア ドライバなど)
  - お使いのケーブル (製品番号) とケーブルの購入場所
  - プリンタでお使いのインタフェースの種類 (USB、またはネットワーク)
  - 現在使用中のソフトウェアの名前とバージョン
  - 可能であれば、[ネットワークと I/O 設定の印刷]、[プリンタ使用状況の印刷] の全ページを印刷しておいてください。サポート センターからこれらのページの FAX 送信をお願いする場合があります (詳細は、[8 ページの「プリンタの印刷メニュー」](#)を参照)。

## 電話番号

HP サポートの電話番号は、Web で提供しています。 [http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact\\_us.html](http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact_us.html) をご覧ください。

---

## 18 プリンタの仕様

- [プリンタ機能の仕様](#)
- [物理的仕様](#)
- [メモリの仕様](#)
- [電源の仕様](#)
- [エコロジーに関する仕様](#)
- [動作環境の仕様](#)
- [動作音に関する仕様](#)

# プリンタ機能の仕様

表 18-1 HP No.70 インク サプライ品

プリントヘッド	各プリントヘッドに2種類のインク：グロスエンハンサ/グレー、ブルー/グリーン、マゼンタ/イエロー、ライトマゼンタ/ライトシアン、フォトブラック/ライトグレー、およびマットブラック/レッド
インクカートリッジ	130 ml のインク容量カートリッジ：グロスエンハンサ、グレー、ブルー、グリーン、マゼンタ、イエロー、ライトマゼンタ、ライトシアン、フォトブラック、ライトグレー、マットブラックおよびレッド

表 18-2 用紙サイズ

	最小	最大
ロール紙の幅	11 インチ (279 mm)	24 インチ プリンタ：24 インチ (609 mm) 44 インチ プリンタ：44 インチ (1118 mm)
ロール紙の長さ		300 フィート (91.4 m)
カット紙の幅	8.3 インチ (210 mm、A4 縦置き)	24 インチ プリンタ：24 インチ (609 mm) 44 インチ プリンタ：44 インチ (1118 mm)
カット紙の長さ	11 インチ (279 mm、レター縦置き)	24 インチ プリンタ：36 インチ (915 mm) 44 インチ プリンタ：66 インチ (1676 mm)
用紙の厚さ		0.0315 インチ (0.8 mm)

表 18-3 印刷解像度

印刷品質	高精細	パスの拡張	レンダリング解像度 (ppi)	印刷解像度 (dpi)
高品質	オン	オン	600 × 600	2400 × 1200 (光沢用紙および半光沢用紙のみ)
	オン	オフ	600 × 600	1200 × 1200
	オフ	オン	600 × 600	1200 × 1200
	オフ	オフ	600 × 600	1200 × 1200
標準	オン		600 × 600	1200 × 1200
	オフ		600 × 600	1200 × 1200
	オフ		300 × 300	1200 × 1200
高速	オン		600 × 600	1200 × 1200
	オフ		600 × 600	1200 × 1200
	オフ		300 × 300	1200 × 1200

表 18-4 マージン

上左右のマージン	5 mm = 0.2 インチ
下マージン (用紙の下端)	5 mm = 0.2 インチ (ロール紙) 17 mm = 0.67 インチ (カット紙)

注記： 光沢用紙および半光沢用紙では、マージンなしで印刷が可能です。

表 18-5 機構的な精度

指定ベクトル長±0.2% または±0.3 mm (いずれか大きい方)、気温 23° C (73° F)、相対湿度 50 ~ 60%、E/A0 サイズの印刷物に [高品質] または [標準] で HP マットフィルム ロール フィードを使用して印刷。

表 18-6 サポートされているグラフィック言語

HP Designjet Z3200ps Photo プリンタ HP-PCL3 GUI、CALS/G4、PostScript

表 18-7 サポートされているオペレーティング システム

Apple Mac OS X	10.4 以降
Microsoft Windows	XP 以降

## 物理的仕様

表 18-8 プリンタの物理的仕様

	24 インチ プリンタ	24 インチ プリンタ (スタンドなし)	44 インチ プリンタ
重量	65 kg (143 ポンド)	47 kg (103.6 ポンド)	86 kg (189 ポンド)
幅	49.7 インチ (1262 mm)	49.7 インチ (1262 mm)	69.7 インチ (1770 mm)
奥行き	最小 : 26 インチ (661 mm) 最大 : 28.8 インチ (732 mm)	最小 : 26 インチ (661 mm) 最大 : 28.8 インチ (732 mm)	最小 : 26 インチ (661 mm) 最大 : 28.8 インチ (732 mm)
高さ	41.2 インチ (1047 mm)	15.4 インチ (391 mm)	41.2 インチ (1047 mm)

## メモリの仕様

表 18-9 メモリの仕様

標準搭載メモリ (DRAM)	256MB
ハードディスク	80GB

## 電源の仕様

表 18-10 プリンタの電源の仕様

電源	100 ~ 240 V ac ±10%、自動判別
周波数	50 ~ 60Hz
電流	< 2A
消費電力	< 200W

## エコロジーに関する仕様

本製品は、欧州連合における WEEE および RoHS の指示に準拠しており、米国 EPA (環境保護庁) の Energy Star Program に適合しています。

プリンタのエコロジーに関する仕様の最新情報については、<http://www.hp.com/> にアクセスし、「ecological specifications」で検索してください (US サイト)。

## 動作環境の仕様

表 18-11 プリンタの動作環境の仕様

	温度範囲	湿度範囲
オプション印刷品質での動作時	22° C ~ 26° C (72° F ~ 79° F)	30% ~ 60%
標準印刷での動作時	15° C ~ 35° C (59° F ~ 95° F)	20% ~ 80%
消耗品を取り付けていないプリンタ	5° C ~ 40° C (41° F ~ 104° F)	
開梱前の消耗品およびプリンタ	-40° C ~ 60° C (-40° F ~ 140° F)	

## 動作音に関する仕様

プリンタの動作音に関する仕様 (ISO 9296 に準拠)

表 18-12 プリンタの動作音に関する仕様

アイドル状態の騒音出カレベル	4.4B (A)
動作時の騒音出カレベル	6.5B (A)
アイドル状態のバースタンド位置での音圧	29dB (A)
動作時のバースタンド位置での音圧	49dB (A)

# 用語集

**AppleTalk** Apple Computer 株式会社が 1984 年に開発したコンピュータ ネットワーク用のプロトコル ツールですが、このプリンタではサポートされていません。Apple は、現在では TCP/IP ネットワークを推奨しています。

**Bonjour** IETF のゼロコンフィギュレーション仕様フレームワークの実装に関する Apple Computer 株式会社の商標で、Apple の Mac OS X バージョン 10.2 以降で使用されているコンピュータ ネットワーク技術。ローカル エリアネットワークで使用可能なサービスを検索するために使用され、当初は Rendezvous と呼ばれていました。

**ESD** 静電気の放電。静電気は、日常的に頻繁に発生します。自動車ドアに触れるとスパークしたり、衣服を張り付かせたりします。制御された静電気には役に立つ用途がありますが、未制御の静電気の放電は電子製品の主な障害の 1 つとなります。したがって、破損を防ぐには、製品を設定したり、静電気放電に敏感なデバイスを扱う際に、いくつかの手順が必要です。このような破損によって、デバイスの平均寿命が短くなる場合があります。未制御の静電気放電を最小限にして、このような破損を減らす方法の 1 つは、静電気放電に敏感なデバイス (プリントヘッドまたはインクカートリッジなど) を扱う前に、製品の接地した箇所 (主に金属部分) に触れることです。また、身体での帯電の発生を減らすには、カーペットを敷いた場所での作業を避け、静電気放電に敏感なデバイスを扱う際に身体の移動を最小限に抑えます。さらに、湿度の低い環境での作業を避けます。

**I/O** 入力/出力：デバイス間におけるデータのやり取りを説明する用語です。

**ICC** International Color Consortium (国際カラーコンソーシアム) の略語。カラー プロファイルの標準化に同意している企業の団体です。

**IP アドレス** TCP/IP ネットワーク上で、特定のノードを識別するための固有の識別子。4 組の整数から構成され、各組はドットで区切られています。

**Jetdirect** HP 社のプリントサーバシリーズの商品名。直接ローカル エリア ネットワークへ接続することが可能になります。

**LED** 発光ダイオード。電気的な刺激が与えられると発光する半導体機器です。

**MAC アドレス** Media Access Control address (メディアアクセス コントロール アドレス) の略。ネットワーク上で特定のデバイスを識別するために使用される固有の識別子です。IP アドレスよりも下位レベルの識別子であり、デバイスは MAC アドレスおよび IP アドレスの両方を持ちます。

**Rendezvous** Apple Computer 社のネットワーク ソフトウェアの元の名称。現在は Bonjour と呼ばれます。

**TCP/IP** Transmission Control Protocol/Internet Protocol: インターネットのベースとなる通信プロトコルです。

**USB** Universal Serial Bus (ユニバーサル シリアル バス) の略語。コンピュータに接続するために設計された標準シリアルバスです。

**イーサネット** ローカル エリア ネットワーク用の一般的なコンピュータ ネットワーク技術。

**インクカートリッジ** 取り外し可能なプリンタ コンポーネント。特定カラーのインクが収められておりプリントヘッドに提供します。

**カッター** プラテン上を前後にスライドし、用紙をカットするプリンタのコンポーネント。

**ガモット** プリンタまたはモニタなど、出力デバイス上で再現可能なカラーおよび濃度値の範囲。

**カラー スペース** 各カラーが一連の固有の数値で表されるカラー モデル。また、複数のカラー スペースで同じカラー モデルを使用することもできます。たとえば、通常、モニタは RGB カラー モデルを使用しますが、特定の RGB 数値セットがさまざまなモニタ上でさまざまなカラーとなるので、モニタはさまざまなカラー スペースを持ちます。

**カラーの一貫性** 大量の出力でも、またプリンタを変えても、特定の印刷ジョブの同じカラーを印刷する機能。

**カラー モデル** RGB または CMYK など、数値でカラーを想定したシステム。

**カラー精度** 元のイメージにできるだけ忠実な色あいを印刷する機能。色域はすべてのデバイスで限定されているため、特定のカラーについて色を完全に一致させることができない場合があります。

**グロスエンハンス** 光沢の均一性を向上させる透明な液体で、イメージ品質が問題となるフォト用紙での変色を防止します。マット紙では使用されません。

**スピンドル** 印刷に使用されるロール紙を支えるための棒。

**ノズル** プリントヘッドにある多数の小さな穴の一つ。印刷に使用するインクが通過します。

**ファームウェア** プリンタの機能を管理し、プリンタに半永久的に保存されます (アップデート可能)。

**プラテン** プリンタ内にある平らな面。印刷中に用紙がプラテン上を通過します。

**プリンタ ドライバ** 生成フォーマットされた印刷ジョブを、特定のプリンタに適したデータに変換するソフトウェア。

**プリントヘッド** 取り外し可能なプリンタ コンポーネント。対応するインクカートリッジから 1 つまたは複数のインクを吸収し、ノズルの集合体を通して用紙に付着させます。HP Designjet Z3200ps では、2 つの異なるカラーが各プリントヘッドで印刷されます。

**用紙** 書いたり印刷したりすることを目的に製造される、薄くて平らな素材。用紙の多くは、繊維をパルプにしたり、乾燥または圧縮させて製造されます。

**用紙プリセット** 各用紙の種類の特徴と必要な設定の指定。

# 索引

## 記号/数字

16 ビット カラー イメージの印刷 57

## H

HP Care Pack 200  
HP Proactive Support 201  
HP インストレーション 201  
HP カスタマー・ケア 200  
HP サポート 201  
HP スタートアップ キット 200  
HP スタートアップ キット CD 2

## K

Knowledge Center 200

## P

PANTONE エミュレーション 80  
Printer Utility  
    アクセス 19  
    アクセスできない 189  
    言語 20  
Proactive Support 201

## Q

QuarkXPress、使用できないドライバの機能 191

## V

Visio 2003、出力されない 191

## あ

アカウントティング  
    コスト 119  
アクセサリ  
    注文する 148  
アラート 192

## い

イメージの回転 59  
イメージの問題  
    Visio 2003 191  
    一部のイメージ 170

印刷されないオブジェクト 171

下部の一部が印刷されない 170

イメージ診断の印刷 175

インク  
    使用状況 118  
    節約して使用 63

インクカートリッジ  
    ステータス 122  
    仕様 204

取り外し 122

取り付け 124

取り付けられない 180

詳細 122

注文する 142

保守 137

## え

エコロジーに関する仕様 206

エラー メッセージ、フロントパネル 195

## お

オペレーティング システム 205

## か

カスタマー・ケア 200

カッター

    オン/オフ 45

    問題 157

カッター、交換 132

カット紙

    取り外す 37

    取り付ける 34

カラー

    エミュレーション 78

    キャリブレーション 71

    プロファイリング 73

    正確に再現されない 169

    調整オプション 82

カラーマネジメント

    オプション 76

シナリオ 84

プロセス 70

## き

キャリブレーション

    カラー 71

## く

グラフィック言語 205

クリーニングを行う、プラテン 166

グレー階調 58

グロス エンハンサ 57

## こ

コスト アカウンティング 119

このガイドの使用方法 2

コンピュータの通信

    コンピュータとプリンタ間の通信の問題 189

## さ

サポート サービス

    HP Care Pack 200

    HP Proactive Support 201

    HP カスタマー・ケア 200

    HP サポート 201

    HP スタートアップ キット 200

    Knowledge Center 200

    プリンタのインストール 201

    保証期間の延長 200

## し

ショートカット 52

ショートカットを使用して印刷する 52

ジョブ

    作成 48

    送信 48

    保存 48

- ジョブ キュー
  - ジョブのプレビュー;内蔵 Web サーバ 112
  - 内蔵 Web サーバ 112
- ジョブのステータス 114
- ジョブの送信 48
- ジョブを再印刷する 114
- す**
- スタンド 149
- ステータス 114
- スリープ モード待ち時間 21
- そ**
- ソフトウェア 7
- ソフトウェア アップデート 139
- て**
- ディスク消去、安全 139
- と**
- ドライバの機能
  - QuarkXPress 191
- ね**
- ネスティング 61
- ネットワーク設定 22
- は**
- ハードディスクの仕様 205
- ハードディスクを安全に消去する 139
- バスケット
  - 排出の問題 157
- パスの拡張 56
- バンディングの問題 158
- ふ**
- ファームウェア アップデート 138
- ファイルシステムの確認 190
- ファイルの印刷 48
- ブザーのオン/オフ 21
- プラテンのクリーニング 166
- プリンタ スタンド 149
- プリンタ ステータス 132
- プリンタ ソフトウェア
  - Mac OS のアンインストール 16
  - Windows のアンインストール 12
- プリンタで印刷されない 188
- プリンタのコンポーネント 4
- プリンタの機能 4
- プリンタの主なコンポーネント 4
- プリンタの主な機能 4
- プリンタをクリーニングする 132
- プリンタを移動する 137
- プリンタを接続する
  - Mac OS に直接 15
  - Mac OS ネットワーク 12
  - Windows に直接 11
  - Windows ネットワーク 10
  - 方法を選択する 10
- プリンタを保管する 137
- プリンタ機能の仕様 204
- プリントヘッド
  - クリーニング; 除去 181
  - ステータス 125
  - 交換する、取り付け直す 181
  - 仕様 204
  - 軸合わせ 184
  - 取り外し 125
  - 取り付け 127
  - 取り付けられない 180
  - 詳細 124
  - 注文する 143
- プリントヘッドクリーナ
  - 仕様 204
- プリントヘッド ドロップ検出器
  - クリーニング 182
- フロントパネル
  - コントラスト 21
  - 言語 18
  - 単位 21
- フロントパネル オプション
  - EWS を使用 190
  - I/O タイムアウトの選択 170
  - イメージ診断の印刷 175
  - インクカートリッジの交換 123
  - インクカートリッジ情報 122
  - カッターの寿命カウンタをリセット 132
  - カッターの有効化 45
  - カット紙の取り付け 36
  - カラーキャリブレーション 72
  - カラーキャリブレーションの有効化 71
  - グラフィック言語の選択 23
  - グロス エンハンサ 57
  - サイズ変更 54
  - スリープ モード待ち時間 21
  - パスの拡張の有効化 56
  - ブザーの有効化 21
- プリンタ ユーティリティ ソフトウェア 189
- プリンタ情報の表示 202
- プリントヘッドのクリーニング 181
- プリントヘッドの交換 125
- プリントヘッドの軸合わせ 185
- プリントヘッド情報 125
- レンダリング用途の選択 78
- ロール紙の取り付け 32
- 印刷メニュー 8
- 印刷品質 50
- 画面コントラストの選択 21
- 回転 59
- 拡張精度のキャリブレーション 159
- 拡張精度のリセット 159
- 拡張精度の調整 159
- 乾燥時間の選択 44
- 言語の選択 18
- 高精細の有効化 56
- 黒点補正 78
- 再印刷 114
- 切り取り線 60
- 接続の情報を表示する 189, 190
- 設定の表示 12
- 設定の変更 22
- 待ち時間の選択 63
- 単位の選択 21
- 用紙サイズの選択 50
- 用紙の移動 43
- 用紙の取り外し 33, 38
- 用紙の種類を選択 154
- 用紙情報の表示 38
- フロントパネルのコントラスト 21
- へ**
- ページサイズ 50
- ほ**
- ぼやけた線 174
- ま**
- マージン
  - なし 58
  - 仕様 204
- マニュアル 2
- め**
- メモリの仕様 205
- れ**
- レンダリング用途 78

## ろ

### ロール紙

- スピンドルに取り付ける 26
- プリンタに取り付ける 29
- 取り外す 33

安全なディスク消去 139

安全に関する注意事項 2

一部のイメージ 170

印刷が遅い 188

印刷ジョブ

インクの使用状況 118

ネスティング 61

作成 48

送信 48

保存 48

用紙の使用状況 118

印刷プレビュー 54

印刷プロパティの変更 41

印刷メニュー 8

印刷をプレビューする 54

印刷を拡大縮小する 53

印刷解像度 204

印刷品質

選択 49

印刷品質の問題

インクが残る 165

ウィザード 162

バンディング 163

ぼやけた線 174

異なる色の縦線が印刷される 169

一般的な問題 162

印刷物の下部 168

横線 163

褐色化する 168

間違った色 173

黒インクが擦れる 167

擦り切れる 165

縦の連続した線 167

傷がつく 165

垂直な点線 166

線の太さ 172

端が段状になっているかまたは鮮明ではない 167

端が予期したよりも暗い 168

段状の線画 172

白色の点 169

用紙が平らになっていない 164

粒状感 164

連続していない線 173

下部の一部が印刷されない 170

乾燥時間

変更 44

間違った色 173

機構的な精度 205

言語 18

高精細 56

黒点補正 77

擦り切れた印刷 165

仕様

インク サプライ品 204

オペレーティング システム 205

グラフィック言語 205

ハードディスク 205

マージン 204

メモリ 205

印刷解像度 204

環境関連情報 206

機構的な精度 205

機能 204

電源 205

動作音 206

動作環境 206

物理的 205

用紙サイズ 204

試し印刷 55

時刻、リセット 21

傷がついた印刷 165

情報

インクカートリッジ 122

コストの割り当て 119

プリンタ使用状況 118

芯アダプタ 28

切り取り線 60

節約

インク 63

用紙 61

線の太さ 172

段状の線画 172

注文する

アクセサリ 148

インクカートリッジ 142

プリントヘッド 143

用紙 143

電源

オン/オフ 18

電源の仕様 205

電子メールによるアカウントイン

グ データ 119

電池の交換 139

電話番号 202

動作音に関する仕様 206

動作環境の仕様 206

内蔵 Web サーバ

アクセス 19

アクセスできない 190

インクおよび用紙の使用状

況 118

ジョブキュー 112

ジョブキュー;ジョブのプレビュー

ー 112

パスワード 20

プリンタの使用状況に関する情

報 118

言語 20

日付、リセット 21

白黒 58

半光沢フォト用紙 57

品質、高い 56

物理的仕様 205

分光測光器 69

保守キット 139

保証期間の延長 200

保存ジョブ 48

用紙

カッターの問題 157

カットされた帯を取り除

く 157

カット紙がプリンタに留ま

る 157

カット紙の取り付け 34

カット紙を取り外す 37

サイズ 50

サイズ(最大と最小) 204

スピンドルに取り付ける 26

ドライバに含まれない 154

バスケットへの排出の問

題 157

プリセット 39

プリセットのダウンロード 39

プリセットの作成 40

プリセットの削除 39

プリンタにカットされる 157

ロール紙がスピンドルでたる

む 157

ロール紙をプリンタに取り付け

る 29

ロール紙を取り外す 33

移動 43

拡張精度キャリブレーション

ン 158

乾燥時間を変更する 44

給紙してカット 45

高度なプリセットの作成 41

使用状況 118

紙詰まり 155

自動カッターのオン/オフ 45

- 取り付けに関するヒント 26
- 取り付けられている用紙への印刷 43
- 取り付けられない 152
- 種類 143
- 種類の選択 43
- 情報の表示 38
- 節約して使用 61
- 注文する 143
- 平らになっていない 164
- 保守 44
- 用紙の取り外し
  - カット紙 37
  - プリンタからロール紙を取り外す 33
- 用紙の取り付け
  - カット紙 34
  - ロール紙をスピンドルに 26
  - ロール紙をプリンタに 29
  - 一般的なヒント 26
  - 取り付けられない 152
- 用紙プリセットのインポート 39
- 用紙プリセットの作成 40
- 用紙プリセットの作成(高度) 41
- 用紙プリセットの削除 39
- 粒状感 164